

第45図 鷺足館跡 平場A-5・緩斜面2・平場B-11~14 平面図

(5) 平場 A-6(第 25・46～48 図)**【平場 A-6】**(第 25・46～48 図)

[位置] E 区の標高 127.5～130.4m の尾根上に位置する。平場 A-6 は鷲足館跡の中で最も西端にある平場に位置付けられる。平場 A-6 の北・南側は急斜面で、西側には急斜面・溝跡 (SD10)、東側の尾根上には土塁 1・2 と溝跡 (SD8・9) が所在する。土塁 1・2 のさらに東の尾根には鷲足館跡で最も標高が高い平場がある。

[検出遺構] 平場平坦面の中央やや南東に位置し、東西 6m・南北 4m、面積 15 m²ほどの平坦面がさらに作り出されており (第 46 図写真 2)、その範囲内で掘立柱建物跡 3 棟 (SB31～33) を検出した。

[規模・形状] 南西-北東 35.2m、北西-南東 7.2～9.3m、面積約 270 m²で、南西-北東方向に長い平場である。平場斜面の傾斜角度は、北斜面が約 32°、南斜面が約 33°、西斜面が約 32° である。

[出土遺物] なし。



1. 平場 A-6 平坦面 完掘状況 (東から撮影)

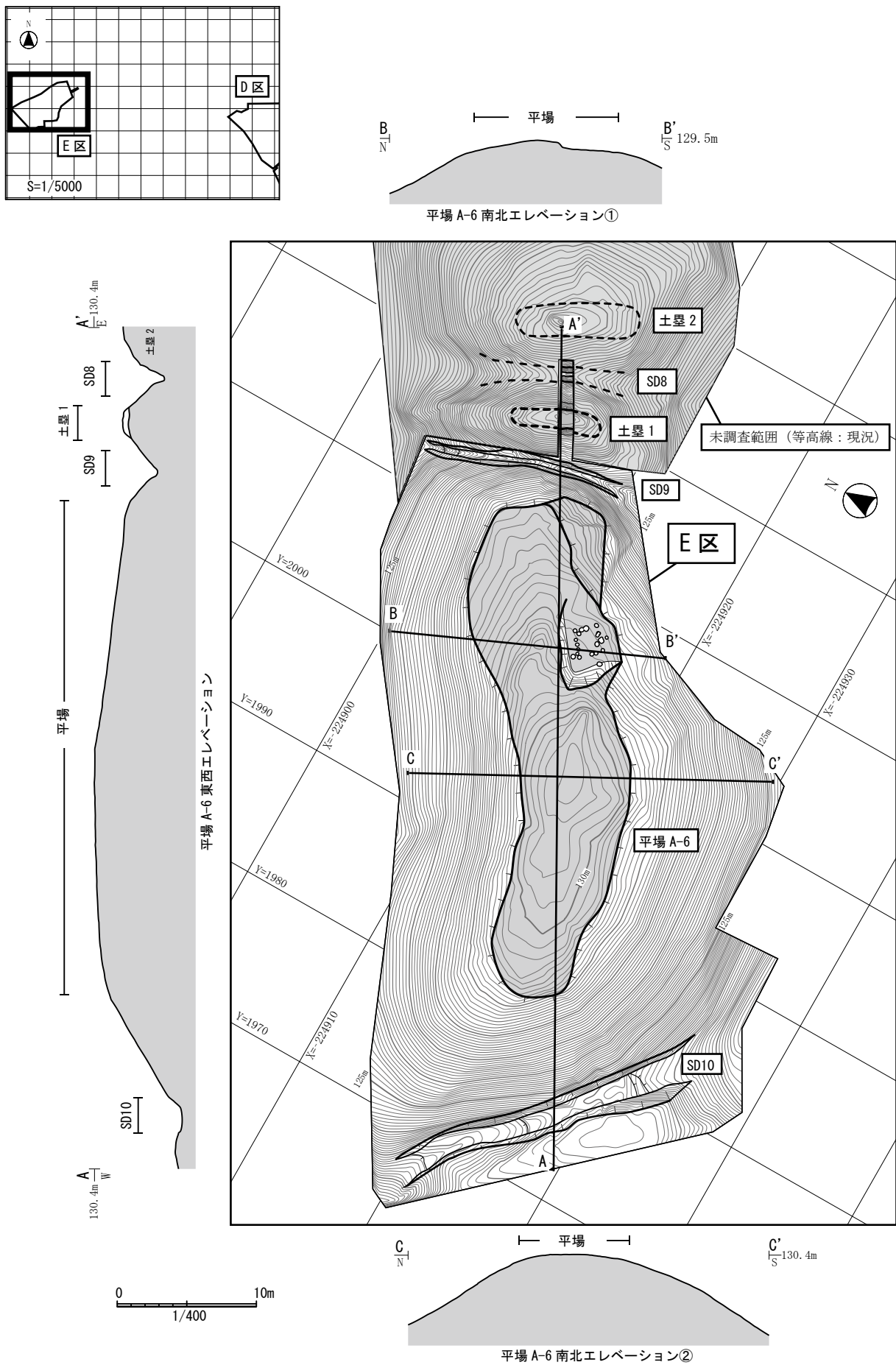


2. 平場 A-6 上の平坦面 (東から撮影)

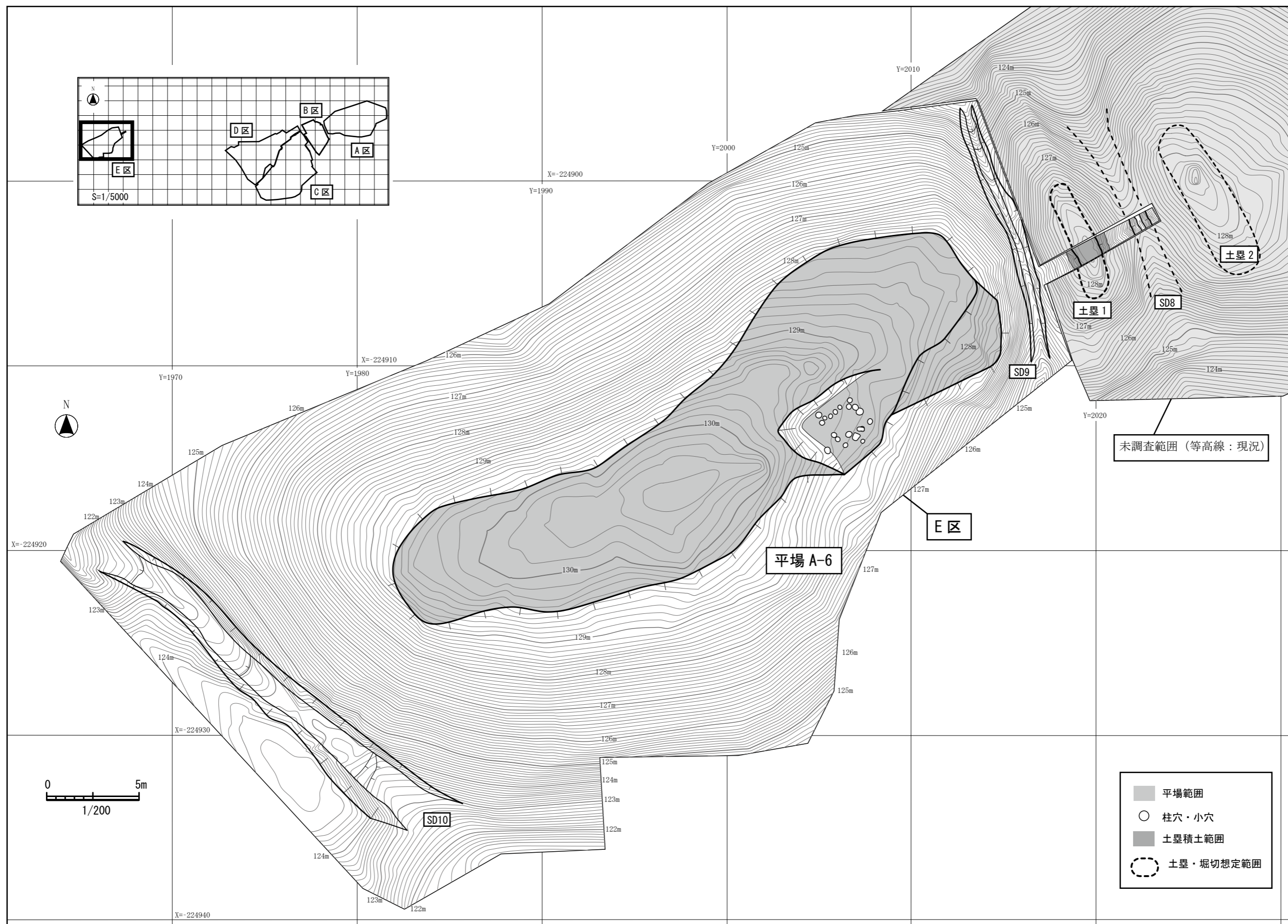


3. 平場 A-6 西側の斜面周辺の状況 (南から撮影)

第46図 平場A-6の状況



第47図 鷲足館跡 平場A-6エレベーション図



第48図 鷺足館跡 平場A-6 平面図



鷲足館跡 平場の調査風景

2 土塁跡

今回の調査では、E区平場A-6の東側の地点で土塁跡1条（土塁跡1）を検出した（個別平面図：第23図参照）。以下、その詳細について記載する。

【土塁跡1】（第49～51図）

【概要】 E区平場A-6の東側に位置する。土塁跡1の西隣にSD9溝跡、東隣にSD8溝跡があり、SD8溝跡の東側には調査区外ではあるが土塁と推定される土塁跡2がある。これらは南北方向に並行する位置関係にある。検出位置の標高は128.5mほどで、調査前でも土塁状の高まりが目視で確認できる状況であった。

土塁跡1の位置は今回の工事の範囲外であり、本来は調査不要な箇所ではあったが、その西側に位置するSD9溝跡東端までが工事により切土される範囲であったことから、地権者の承諾のもと、状況を把握するため一部の調査を行った。なお、調査後は、調査箇所を埋戻し保存している。

【重複】 なし。

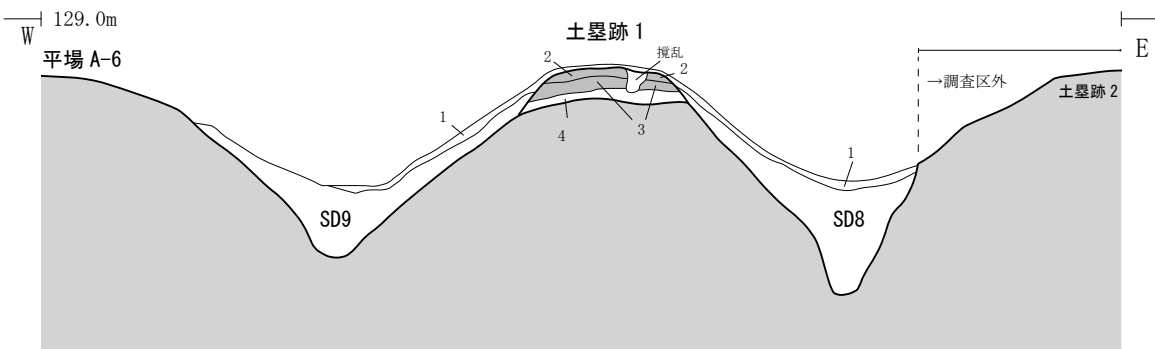
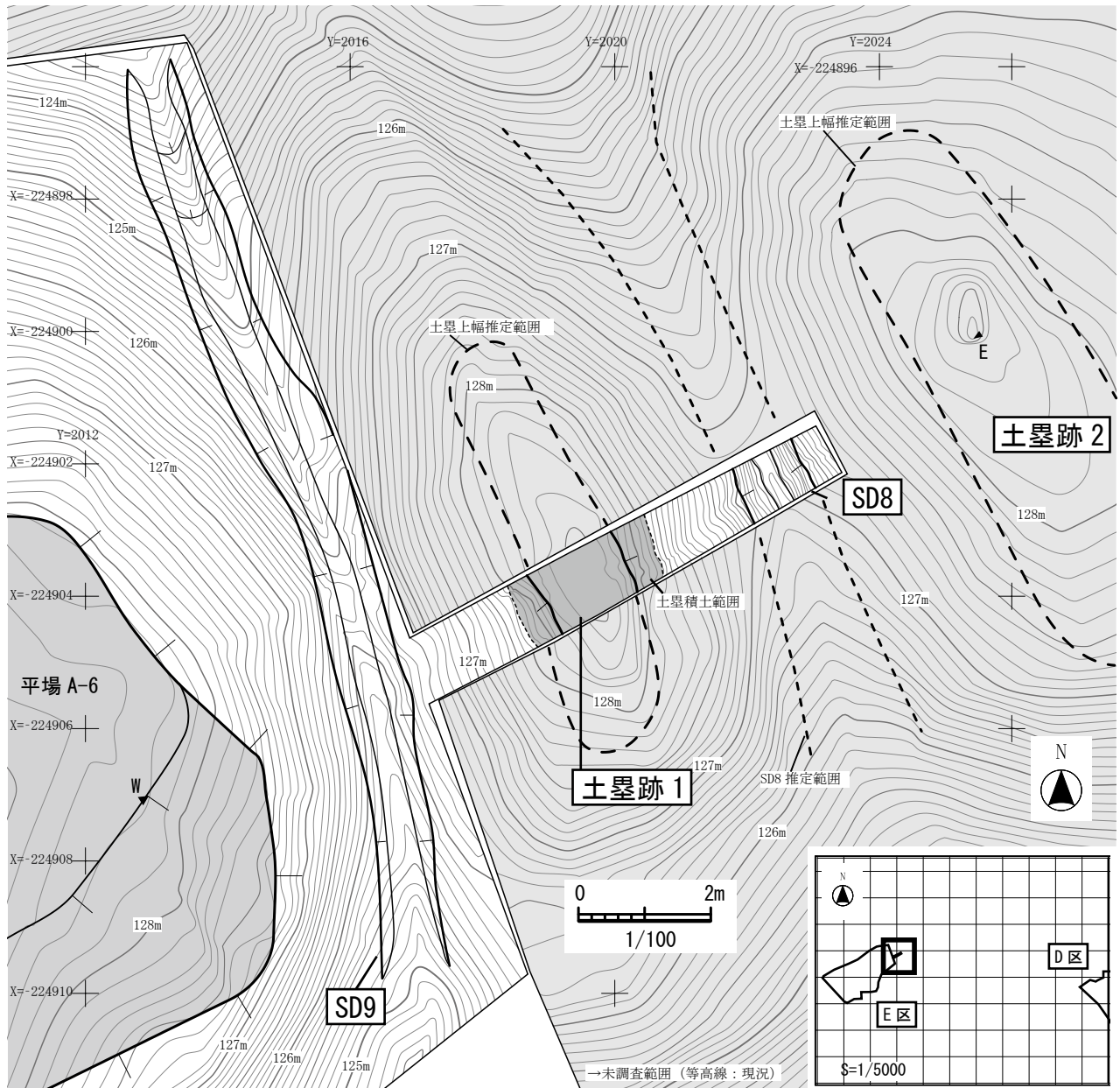
【規模・形状】 南-北方向に細長い土塁で、その推定範囲は土塁の上幅で南北6.5m、東西1.3mほどである。土塁に隣接するSD8溝跡底面と土塁跡1の頂部との比高差は150cm、SD9溝跡底面と土塁跡1の頂部との比高差は125cmである。

【積土】 2層確認した（第50図土層断面2・3層）。土塁は、地山直上に堆積している旧表土（第50図土層断面4層）の上に、地山由来の土を盛って造成されている。土塁積土の断面形は台形状で、残存している厚さは30cmほどである。積土は、上層（2層）：地山由来の細かい地山粒子を多く含む層と下層（3層）：地山ブロックを多量含む層に分けられ、土塁の東西に位置するSD8・9溝跡の掘削排土を利用して造成されたと考えられる。SD8・9溝跡の埋没状況を踏まえると、土塁跡1の積土の厚さは現況以上だったと推定される。

【出土遺物】 なし。



第49図 土塁跡1 調査前の状況（南から）



【土塁1 土層注記】

層	土色	土性	備考
1	にぶい黄褐色(10YR4/3)	砂質シルト	表土。
2	黄褐色(2.5Y5/3)	砂質シルト	地山粒子含む。土塁積土(人為)。
3	黄褐色(2.5Y5/4)	砂質シルト	地山ブロック多く含む。土塁積土(人為)。
4	にぶい黄褐色(10YR5/3)	砂質シルト	旧表土。

第50図 土塁跡1 平面・断面図



1. 土塁跡1・2
SD8溝跡
調査前の状況
(北から撮影)



2. 土塁跡1完掘状況(南西から撮影)



3. 土塁跡1土層断面(南から撮影)

第51図 土塁跡1 完掘状況・土層断面

3 溝跡

今回の調査では、溝跡 10 条 (SD1～10) を検出した。このうち、SD1・2 溝跡は B 区緩斜面 1 (個別平面図：第 12・15 図)、SD6 溝跡は D 区平場 B-14 (個別平面図：第 17 図)、SD3～5・7 溝跡は D 区平場 A-5 (個別平面図：第 16・18 図)、SD8～10 は E 区平場 A-6 の周辺 (個別平面図：第 23・24 図) で確認した。以下、それぞれの詳細について記載する。

【SD1 溝跡】 (第 52・53 図)

〔位置〕 B 区緩斜面 1 西半の標高 80.0m 付近の緩斜面で検出した。

〔重複〕 溝跡の北端部分は緩斜面 1 北端に広がる整地層下で確認した (SD1→整地層)。

〔規模・形状〕 南-北方向に延びる溝で、溝の北端が標高 77.5m 付近、南端が標高 79.5m 付近で途切れる。検出長 10.78m、上幅 59～149cm、下幅 35～128cm、深さ 24cm、底面の標高は溝の中央部が高く、北側・南側が低い。溝の断面形は U 字形である。

〔堆積土〕 3 層確認した。いずれも自然堆積層である。

〔出土遺物〕 なし。

【SD2 溝跡】 (第 52・53 図)

〔位置〕 B 区緩斜面 1 西半の標高 77.2m 付近の緩斜面で検出した。溝の南端は平場 B-2 と接続する。

〔重複〕 溝跡の北端部分は緩斜面 1 北端に広がる整地層下で確認した。SA13・P325 と重複し、これより古い。SA13・P325 についても整地層下で検出されていることから「SD2→SA13→整地層」の新旧関係となる。

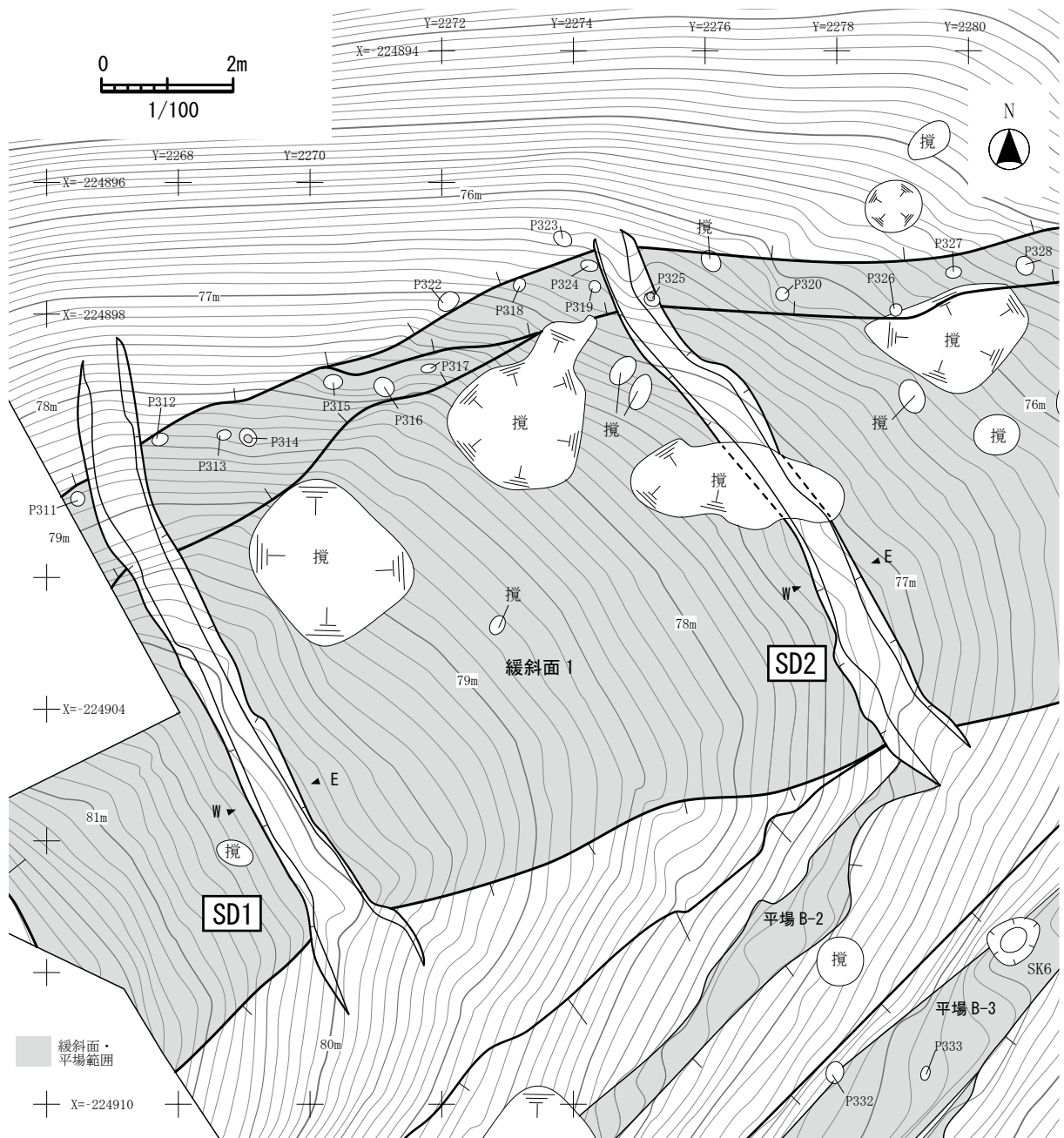
〔規模・形状〕 南-北方向に延びる溝で、溝の北端が標高 76.4m 付近、南端が標高 76.7m 付近で途切れ、南端は平場 B-2 と接続する。検出長 9.65m、上幅 60～98cm、下幅 46～60cm、深さ 20cm、底面の標高は溝の中央部が高く、北側・南側が低い。溝の断面形は U 字形である。

〔堆積土〕 2 層確認した。いずれも自然堆積層である。

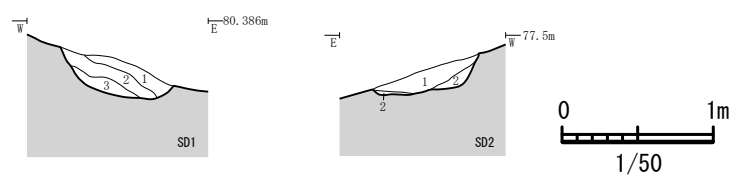
〔出土遺物〕 なし。



第52図 SD1・2 溝跡 完掘状況 (西から)

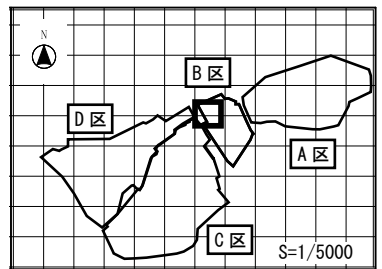


※平面図 S=1/100 断面図 S=1/50



【SD1・2 土層注記】

	層	土色	土性	備考
SD1	1	にぶい褐色 (10YR5/3)	砂質シルト	地山粒子含む。
	2	灰黄褐色 (10YR4/2)	砂質シルト	地山粒子含む。
	3	にぶい黄褐色 (10YR5/3)	砂質シルト	地山粒子多く含む。
SD2	1	にぶい黄褐色 (10YR5/3)	砂質シルト	地山粒子含む。
	2	にぶい黄橙色 (10YR6/3)	砂質シルト	地山粒子含む。



第53図 SD1・2 溝跡 平面・断面図

【SD3 溝跡】（第54・55図）

【位置】 D区平場A-5北西端の標高105.8～107.8m付近の平坦面で検出した。

【重複】 なし。

【規模・形状】 北西-南東方向に延びる溝で、溝の北西部は標高107.8m付近で途切れ、南東部端は標高106.3m付近から底面が階段状になりSD4溝跡に接続する。検出長約10.89m、上幅41～109cm、下幅29～69cm、深さ10cm、底面の標高は溝の北西部が高く、南東部が低い。溝の断面形は皿状である。

【堆積土】 1層確認した。自然堆積層である。

【出土遺物】 なし。

【SD4・5 溝跡】（第54・55図）

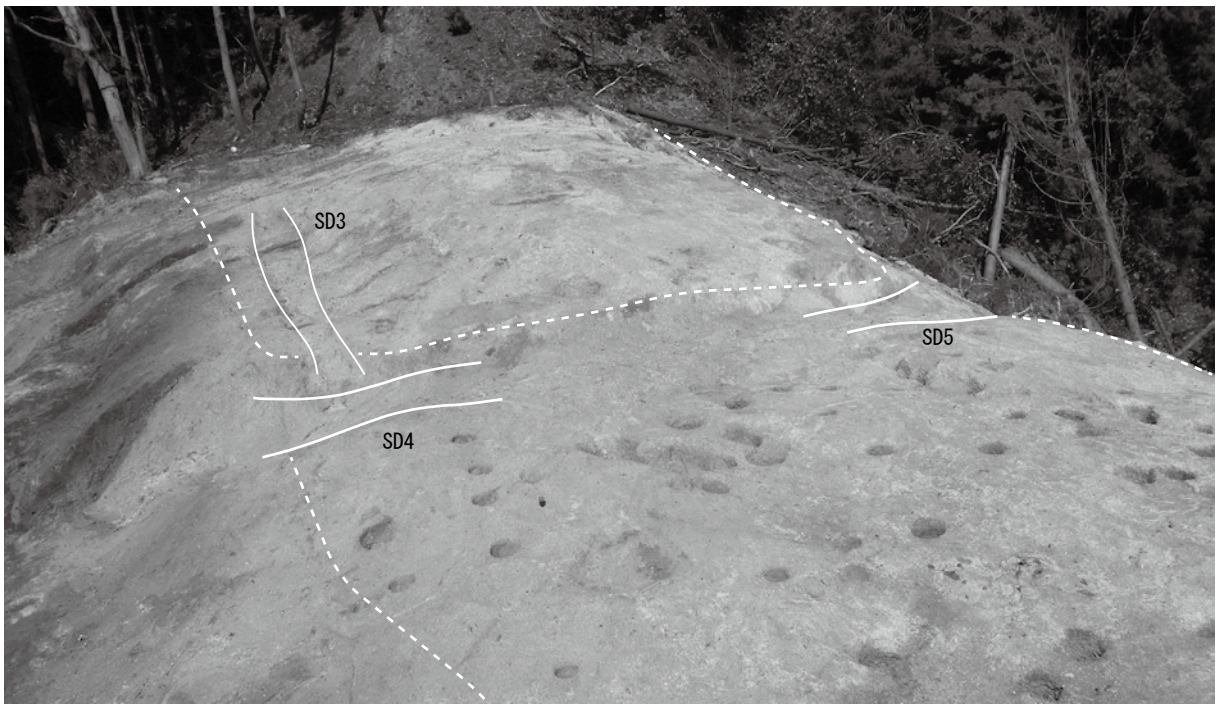
【位置】 D区平場A-5北西端の標高104.7～106.0m付近の平坦面で検出した。SD4溝跡は平場A-5上の南西端、SD5溝跡は平場A-5上の北東端に位置する。SD4・5溝跡は、その形状・位置関係から本来は同一の溝であったと考えられる。なお、SD4溝跡の中央北壁はSD3溝跡と接続する位置関係にあり、また、平場A-5の平坦面はこのSD4・5溝跡を境にその北西側が一段高くなる。

【重複】 SD4は平場A-5西端の整地層造成後につくられている（平場A-5整地層→SD4）。

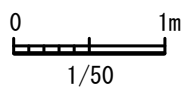
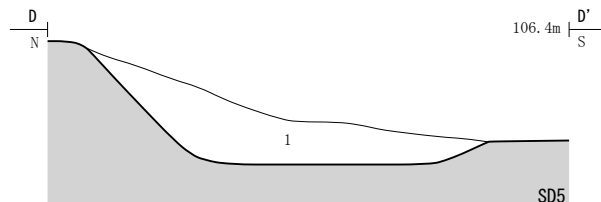
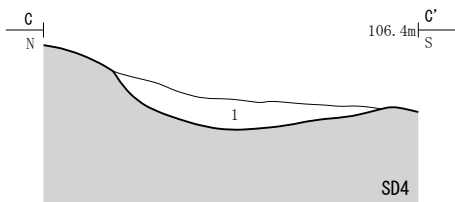
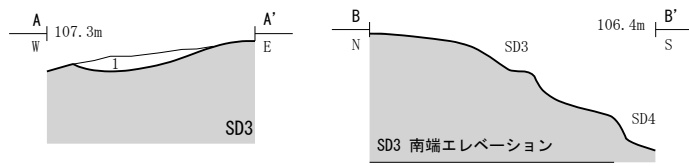
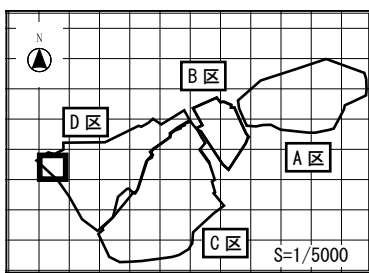
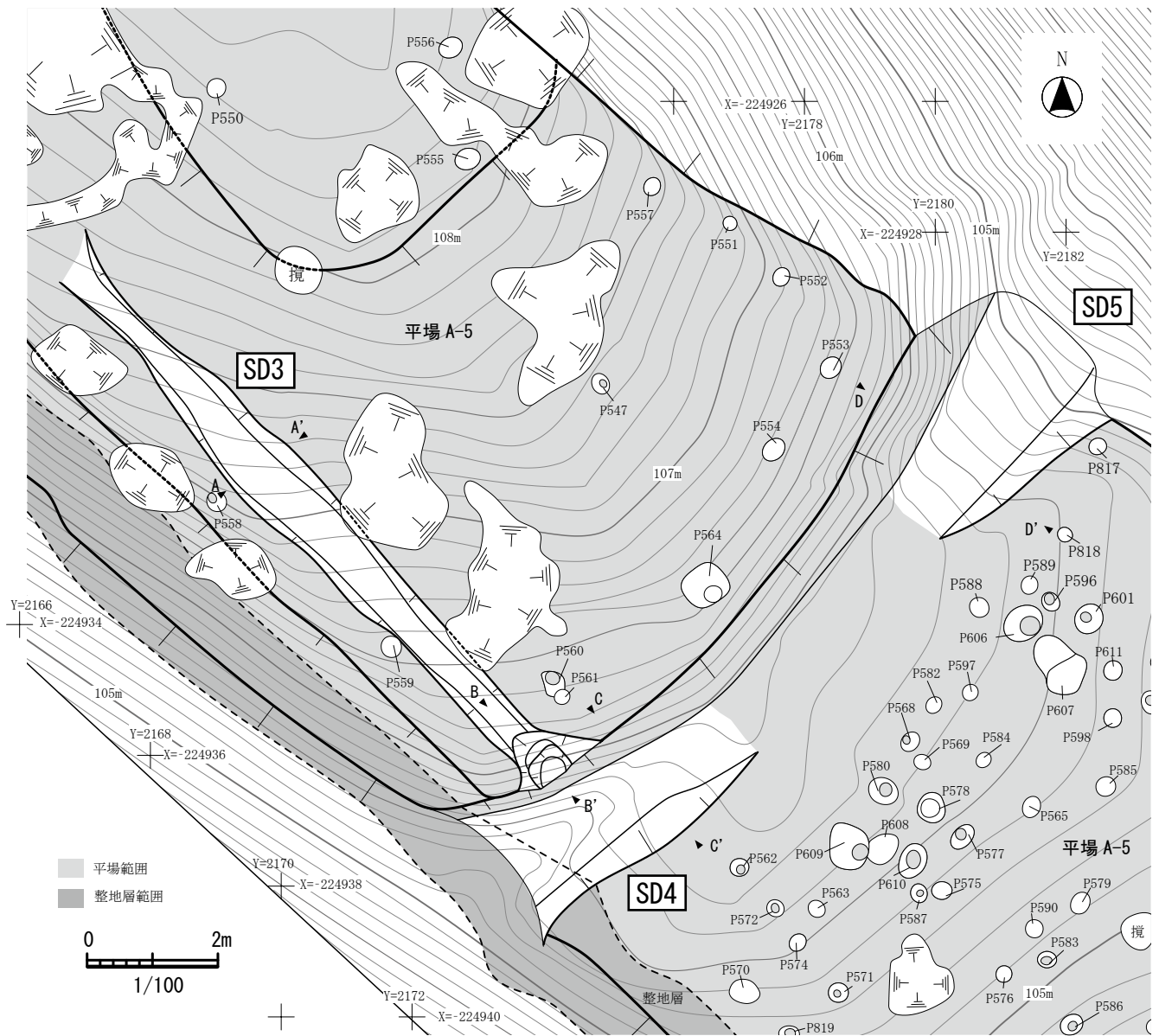
【規模・形状】 北東-南西方向に延びる溝で、**SD4溝跡**は溝の南西端が標高105.3m付近、北東端が標高105.9m付近で途切れ、検出長3.95m、上幅172～203cm、下幅93～133cm、深さ20cm、底面の標高は溝の北東部が高く、南西が低い。**SD5溝跡**は溝の南西端が標高105.7m付近、北東端が標高104.8m付近で途切れ、検出長3.57m、上幅198～278cm、下幅105～179cm、深さ45cm、底面の標高は溝の北東部が高く、南西が低い。溝の断面形は、SD4・5溝跡ともに皿状である。

【堆積土】 SD4・5溝跡ともに1層確認した。自然堆積層である。

【出土遺物】 なし。



第54図 SD3～5 溝跡 完掘状況（南東から）



【SD3～5 土層注記】

層	土色	土性	備考
1	にぶい黄褐色(10YR5/3)	砂質シルト	地山粒子含む。

第55図 SD3～5 溝跡 平面・断面図

【SD6 溝跡】（第56・57図）

【位置】 D区緩斜面2の尾根上に位置する平場B-14の標高95.0m付近の平坦面で検出した。

【重複】 平場B-14の平坦面造成後につくられている（平場B-14→SD6）。

【規模・形状】 北-南方向に延びる溝で、溝の北端は標高94.5m付近で平場B-12と接続する。溝の南端は調査区外へと延びるが、地形的にみて平場B-14の南斜面上部で途切れるとみられる。検出長9.01m、上幅89～195cm、下幅21～95cm、深さ46cm、底面の標高は溝の中央が高く、南・北側が低い。溝の断面形は皿状である。

【堆積土】 1層確認した。自然堆積層である。

【出土遺物】 なし。

【SD7 溝跡】（第58図）

【位置】 D区平場A-5中央部の標高104.0～104.5m付近の平坦面で検出した。

【重複】 溝の西端・中央部・東端が攪乱を受け残存していない。

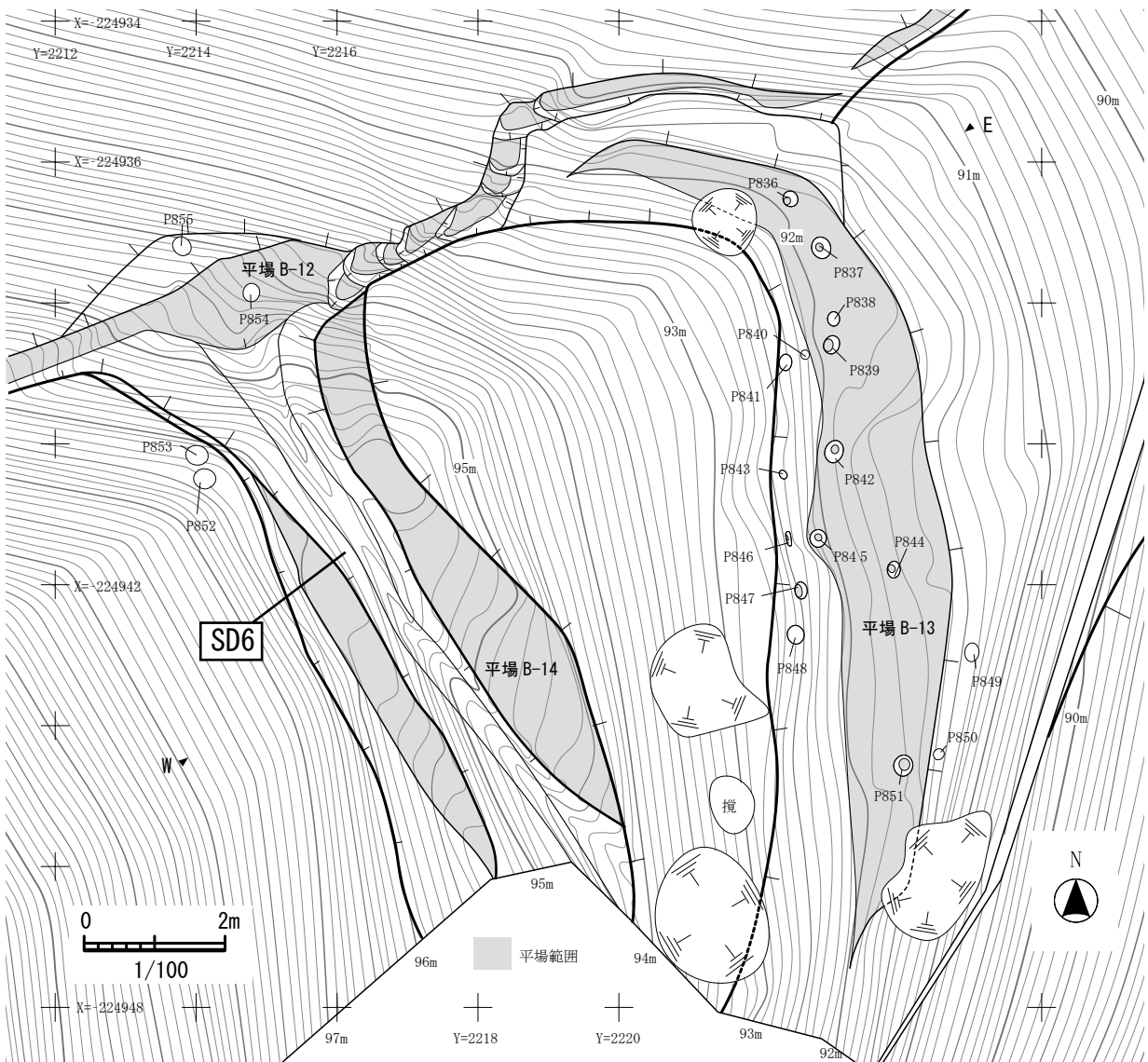
【規模・形状】 東-西方向に延びる溝で、その残存状況からみて、平場A-5の平場上を東西に横断せず、平場の東端から中央部付近まで延び途切れる溝と考えられる。検出長約5.14m、上幅76～156cm、下幅54～109cm、深さ11cm、底面の標高はほぼ平坦であるが、溝の東側がわずかに低い。溝の断面形は皿状である。

【堆積土】 1層確認した。自然堆積層である。

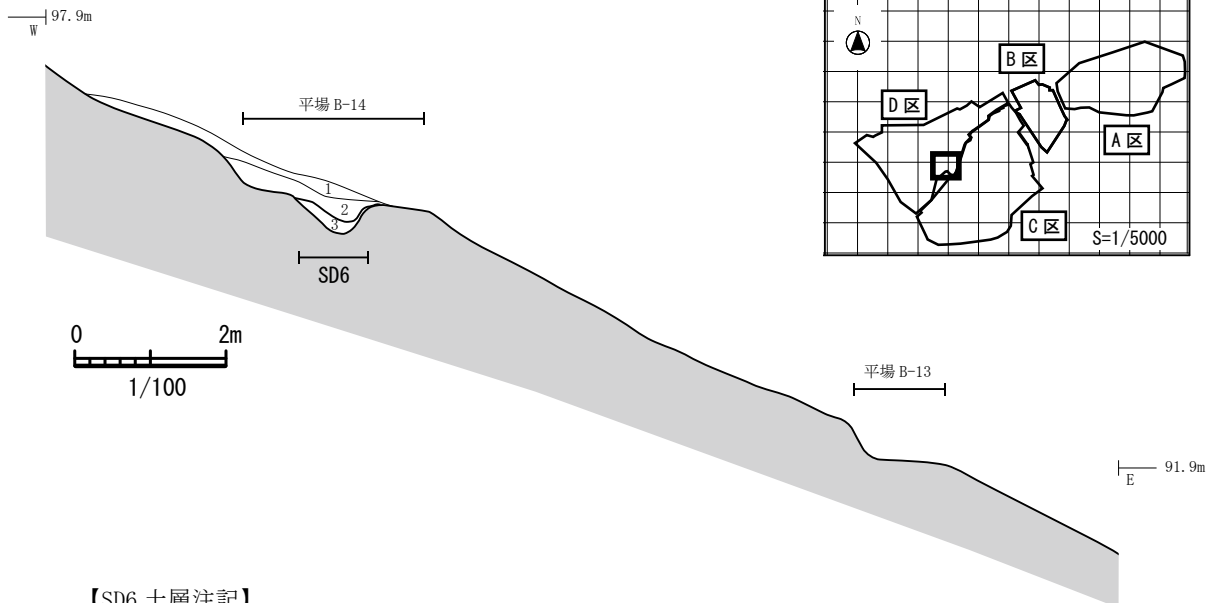
【出土遺物】 なし。



第56図 SD6 溝跡 完掘状況（北から）



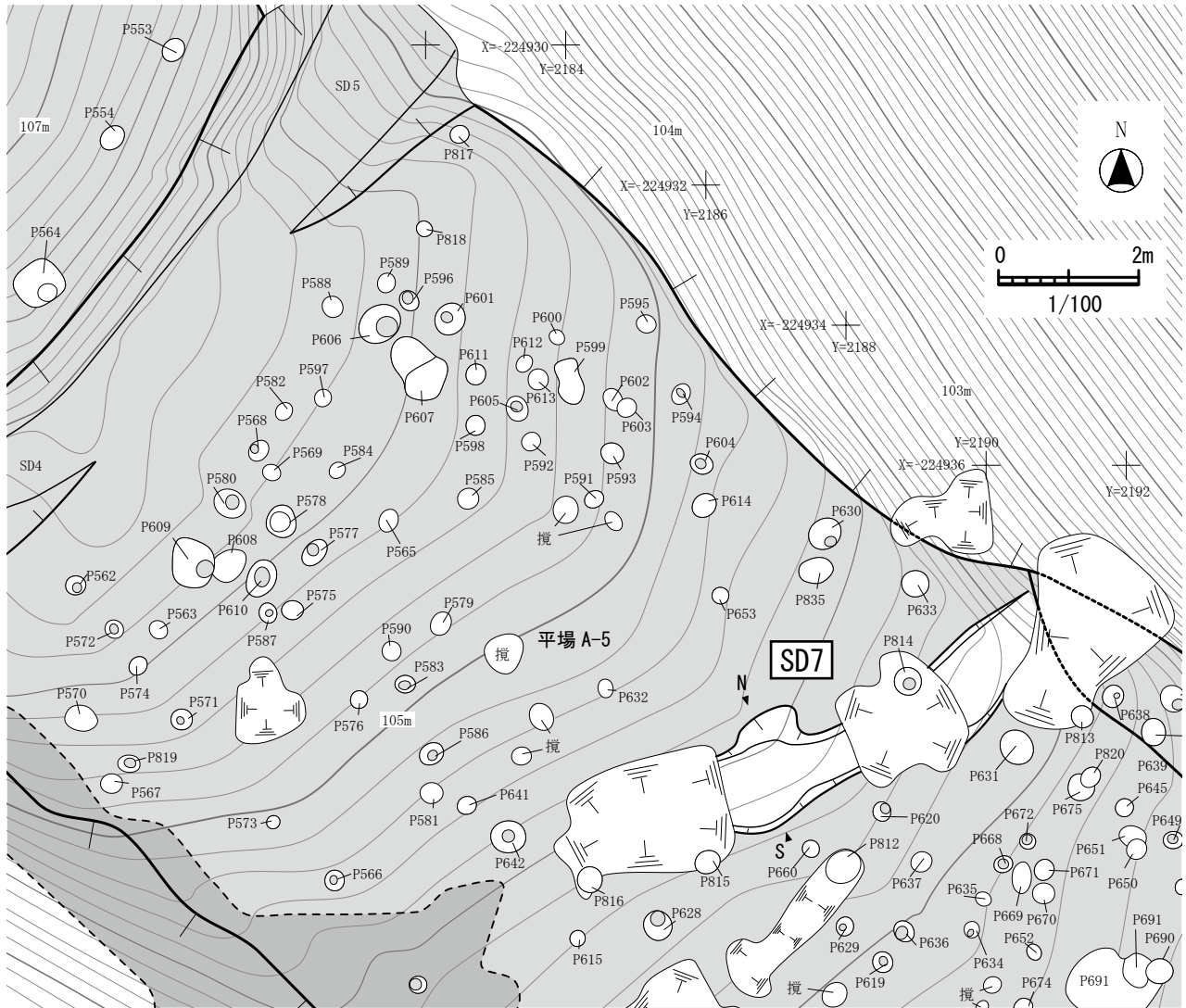
※平面図・断面図 S=1/100



【SD6 土層注記】

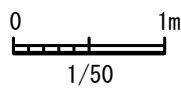
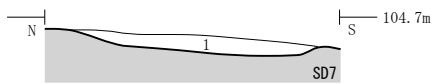
層	土色	土性	備考
1	暗褐色 (10YR3/4)	砂質シルト	炭化物片・地山粒子含む。平場B-14堆積土。
2	にぶい黄褐色 (10YR4/3)	砂質シルト	地山粒子・地山ブロック含む。平場B-14堆積土。
3	にぶい黄褐色 (10YR5/3)	砂質シルト	地山粒子多く含む。SD6堆積土。

第57図 SD6 溝跡 平面・断面図



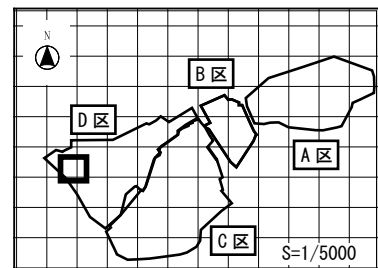
※平面図 S=1/100 断面図 S=1/50

■ 平場範囲
■ 整地層範囲



【SD7 土層注記】

層	土色	土性	備考
1	にぶい黄褐色(10YR5/3)	砂質シルト	地山粒子・地山ブロック含む。



第58図 SD7 溝跡 平面・断面図

【SD8 溝跡】 (第 59・60 図)

【位置】 E区平場 A-6 東側に位置する土塁跡 1 の東隣に位置する。西側の土塁跡 1・SD9 溝跡、調査区外東側の土塁跡 2 とは並行関係にある。その検出位置は標高 127m 前後の地点で、調査前の状況はわずかに溝状の窪みがあり、その存在が目視で確認できる状況であった。SD8 溝跡の位置は今回の工事の範囲外であり、本来は調査不要な箇所ではあったが、西側に位置する SD9 溝跡東端までが工事により切土される範囲であったことから、地権者の承諾のもと、状況を把握するため一部の調査を行った。なお、調査後は、調査箇所を埋戻し、保存している。

【重複】 なし。

【規模・形状】 南-北方向に延びる溝で、遺構の北側・南側は調査区外に延びる。溝跡の規模は、下幅が 26cm 前後で、SD8 底面と土塁跡 1 の頂部との比高差は 150cm ほどである。溝の断面形は V 字形を呈し、底面は平坦である。

【堆積土】 8 層確認した (第 60 図断面図 1~8 層)。いずれも自然堆積層である。

【出土遺物】 なし。

【SD9 溝跡】 (第 59・60 図)

【位置】 E区平場 A-6 東側に位置する土塁跡 1 の西隣に位置する。東側の土塁跡 1・SD9 溝跡、調査区外東側の土塁跡 2 とは並行関係にある。その検出位置は標高 126m 前後の地点で、SD8 溝跡と同様、調査前の状況はわずかに溝状の窪みがあり、その存在が目視で確認できる状況であった。

【重複】 なし。

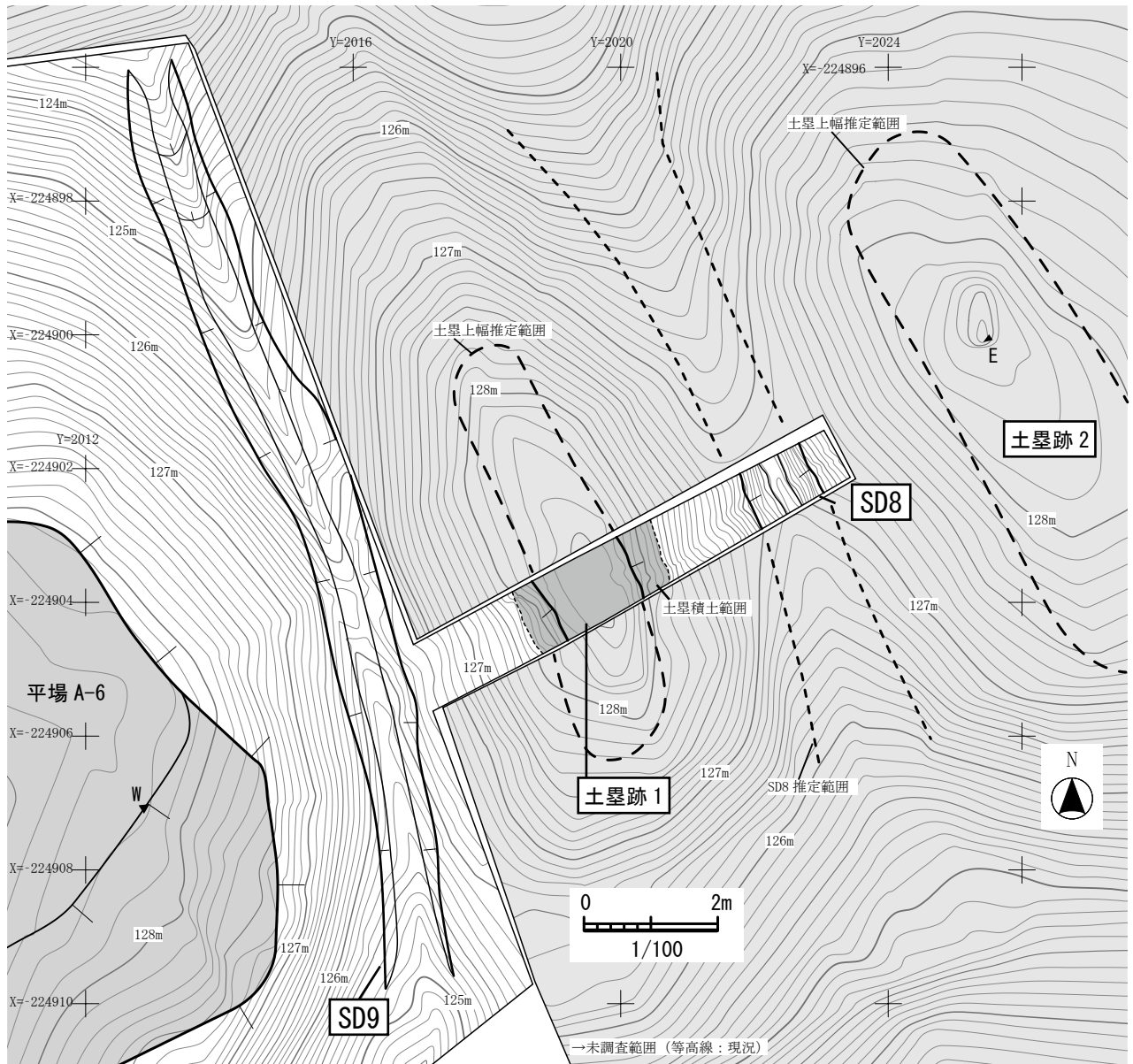
【規模・形状】 南-北方向に延びる溝で、遺構の北側は標高 123.4m 付近、南側は標高 125.1m 付近で途切れる。溝跡の規模は、下幅が 35~76cm で、SD9 底面と土塁跡 1 の頂部との比高差は 125cm、平場 A-6 東端平坦面との比高差は 120cm ほどである。底面の標高は溝の中央が高く、南・北側が低い。溝の断面形は V 字形を呈し、底面は平坦である。

【堆積土】 5 層確認した。いずれも自然堆積層である (第 60 図断面図 1・9~12 層)。

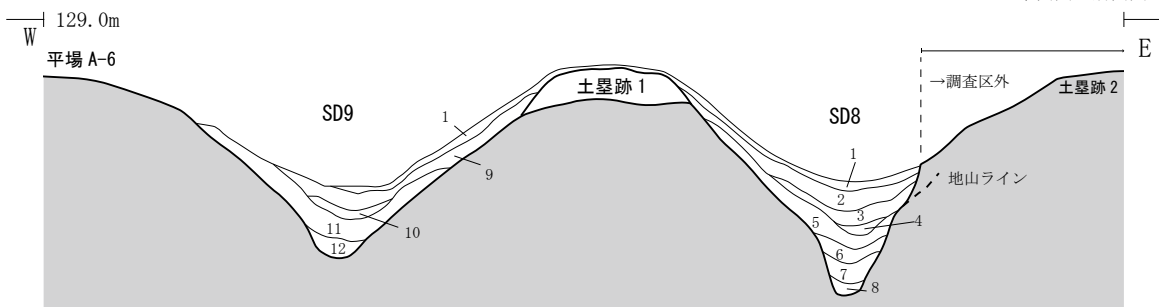
【出土遺物】 なし。



第59図 SD9 溝跡 断面 (南から)

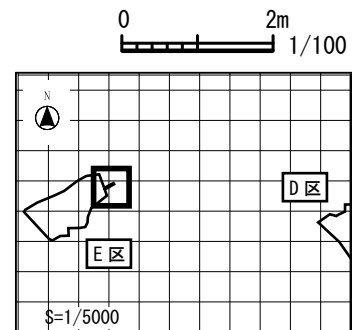


※平面図・断面図 S=1/100



【SD8・9 土層注記】

層	土色	土性	備考
1	にぶい黄褐色(10YR4/3)	砂質シルト	表土。
2	にぶい黄褐色(10YR5/3)	砂質シルト	地山粒子含む。
3	にぶい黄橙色(10YR6/4)	砂質シルト	地山粒子含む。
4	にぶい黄橙色(10YR6/3)	砂質シルト	地山粒子含む。
5	にぶい黄色(2.5Y6/4)	砂質シルト	地山粒子含む。
6	にぶい黄色(2.5Y6/3)	砂質シルト	地山粒子含む。
7	にぶい黄色(2.5Y6/4)	砂質シルト	地山粒子含む。
8	黄褐色(2.5Y5/3)	砂質シルト	地山ブロック・地山粒子含む。
9	にぶい黄橙色(10YR6/4)	砂質シルト	地山粒子含む。
10	にぶい黄色(2.5Y6/3)	砂質シルト	地山粒子含む。
11	にぶい黄色(2.5Y6/3)	砂質シルト	地山粒子含む。
12	にぶい黄色(2.5Y6/4)	砂質シルト	地山ブロック・地山粒子含む。



第60図 SD8・9 溝跡 平面・断面図

【SD10 溝跡】（第 61・62 図）

【位置】 E 区平場 A-6 西側の急斜面下に位置する。その検出位置は標高 122～124m 前後の地点である。調査前の状況はわずかに溝状の窪みがあり、その存在が目視で確認できる状況であった。

【重複】 なし。

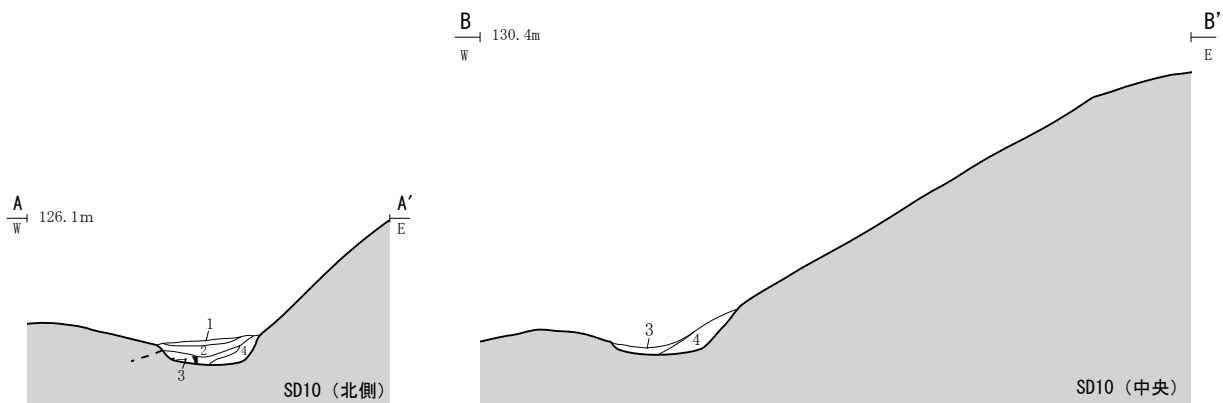
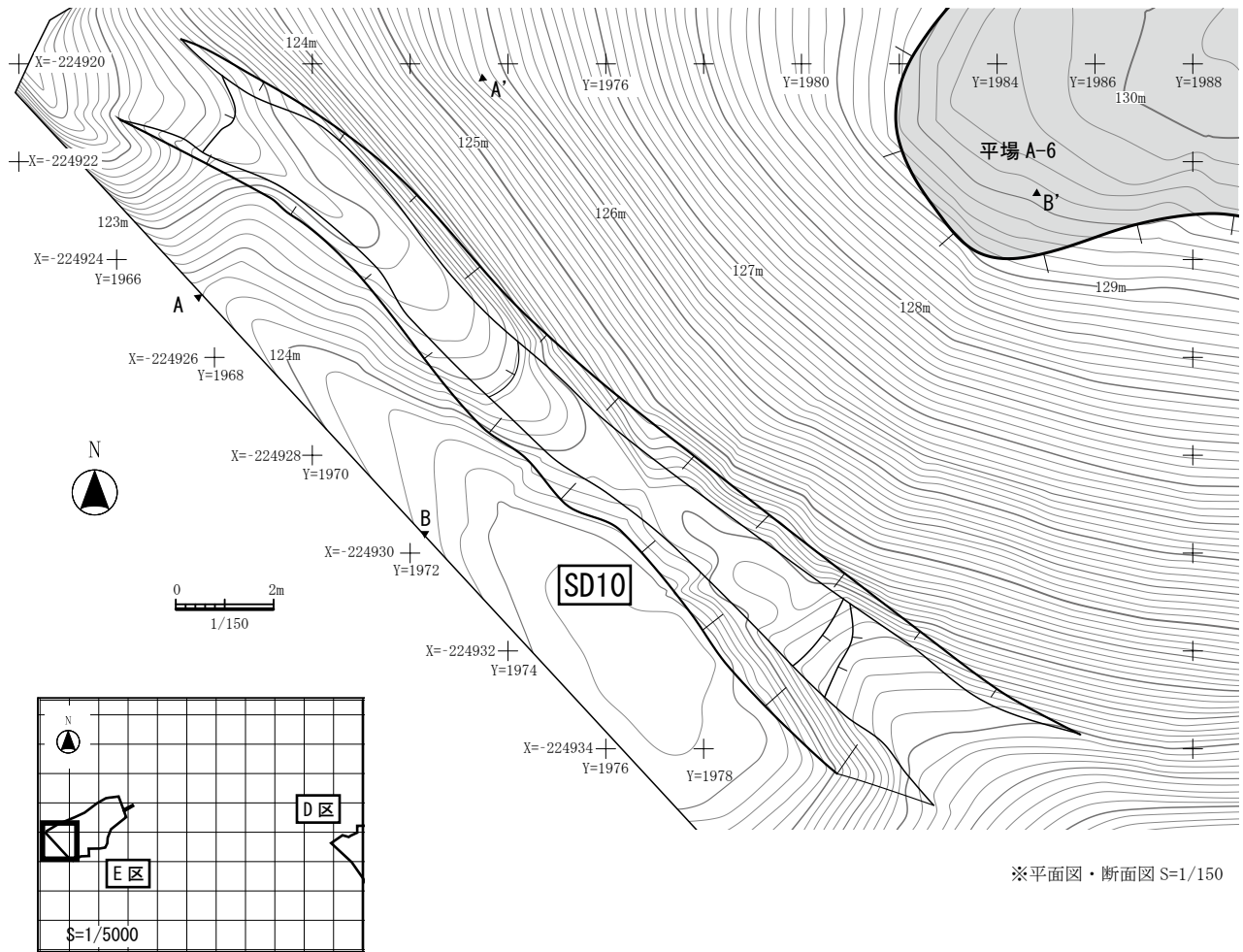
【規模・形状】 北西-南東方向に延びる溝で、遺構の北西側は標高 122m 付近、南側は標高 123m 付近で途切れる。溝跡の規模は、下幅が 130～228cm で、SD10 底面と平場 A-6 西端平坦面との比高差は 5.5m ほどである。底面の標高は溝の中央が高く、南・北側が低い。溝の断面形は U 字形を呈し、底面は平坦である。

【堆積土】 4 層確認した。いずれも自然堆積層である。

【出土遺物】 なし。



第61図 SD10 溝跡 完掘状況（写真上段：北西から/写真下段：南東から）



【SD10 土層注記】

層	土色	土性	備考
1	黄褐色 (2.5Y5/3)	砂質シルト	地山粒子・黒色土粒子含む。
2	灰黄色 (2.5Y6/2)	砂質シルト	地山粒子含む。
3	にぶい黄色 (2.5Y6/3)	砂質シルト	地山粒子含む。
4	にぶい黄色 (2.5Y6/4)	砂質シルト	地山ブロック含む。地山粒子多く含む。

第62図 SD10 溝跡 平面・断面図

4 掘立柱建物跡、柱穴列跡、その他の柱穴・小穴

今回の調査では、875個の柱穴跡・小穴を検出した。これらの柱穴・小穴の多くは、掘立柱建物跡や柱穴列跡などを構成する柱穴であったと考えられる。検出した875個の柱穴・小穴を検討した結果、掘立柱建物跡33棟、柱穴列跡70条を抽出することができた。以下、柱穴・小穴の調査方法と建物の認定基準、確認した建物の詳細、その他の柱穴・小穴の特徴について記載する。

(1) 柱穴・小穴の調査方法と掘立柱建物跡の認定方法

本項で報告する掘立柱建物跡については、次の手順で検討を行い、その認定を行った。また、検出した柱穴・小穴の調査方法は以下のとおり行った。

【柱穴・小穴の調査方法】

今回の調査では、現場での建物検討時間の確保のため、柱穴の一部の記録作成の省略（単層ないし柱痕跡のない小穴の断面図作成の省略、柱穴・小穴の下場計測の省略）を行った。一方で、今後も建物の再検討ができる情報を記録・提示するために、柱痕跡の有無の確認、重複関係の確認、柱穴・小穴すべての土層注記作成、底面標高の記録、柱穴の断面写真撮影は徹底して行い、本報告に検出した柱穴・小穴すべての情報（平面・属性表）を掲載することとした。

【建物・柱穴列の認定基準】

- ① 建物については、柱通り・柱の対応関係のよいもので、歪みの少ない四角形・長方形となるものを建物として認定した。また、柱通り・柱の対応関係が多少悪い場合でも、柱列が平行し、隅柱の位置が対応する歪みの少ないものも建物として認定した。
- ② 柱穴列については、原則として直線的に柱穴がある程度一定の間隔で並ぶものを優先して「柱穴列」として認定したが、山城の性格を踏まえ、平場の端部などにおいては「L」字形や「へ」字形になるものも柱穴列として採用した。

【建物・柱穴列抽出の手順】

建物の抽出作業は、原則として、現地調査の段階で行い、その後、整理作業段階でそれらの建物についての再検討を行うといった2段階での作業を経て建物・柱穴列を認定した。

(現地作業での手順)

- ① 遺構検出段階で、柱穴及び柱痕跡のプランを測量して作成した白図をもとに建物・柱穴列を検討。
- ② 柱穴精査（半裁）時に遺構の重複関係・深さ・埋土の状態を確認し、①で検討した建物・柱穴列と照らし合わせ、切合の矛盾や柱筋等を考慮しながら再度検討。
- ③ ①と②の検討により、建物・柱穴列として想定しても差し支えないと判断できたものを建物・柱穴列として認定。
- ④ 建物・柱穴列として認定できなかった柱穴のみを抽出し、かつ、柱穴群の周囲を再度精査し、柱穴の検出漏れがないか確認した上で、残った柱穴で再度建物を検討。

(整理作業での手順)

- ① 現地調査で認定した建物・柱穴列の方向・軸をもとに、再度余った柱穴で建物を検討。
検討にあたっては、現場で作成した柱穴の属性表（埋土・底面標高などの情報）を参考にした。
- ② 現地調査で認定した建物・柱穴列の再確認（より大型にならないか、建物として無理がないか、庇等の付属施設がないかなどの再確認）。

以上の方法により、掘立柱建物跡・柱穴列跡を認定したが、これらを構成する柱穴として判断できたものは875個中601個（全体の7割程度）であり、約3割の「柱穴・小穴」が残る結果となった。これらの残された柱穴・小穴の多くは、本来、建物等を構成する柱穴であったと考えられ、今回の調査区内ではさらに建物・柱穴列などが存在したと推定される。このことから、今回報告する建物・柱穴列については、今後の掘立柱建物等の研究の進展、建物群の再検討等により、変更・追加する可能性があることを申し添えておきたい。

(2) 検出した掘立柱建物跡・柱穴列跡

今回の調査では、掘立柱建物跡33棟(SB1~33)、柱穴列跡70条(SA1~70)を検出した(第64~71図)。以下、それぞれの詳細について記載する。なお、本書での掘立柱建物跡・柱穴列跡の情報掲載にあたっては、柱穴規模・柱間寸法・傾きなどの各計測値、柱穴の土層観察表、平面図の表記方法は以下のとおりとした。

[掘立柱建物跡総括表(一覧表)の記載方法]

遺構No.	建物間数		棟方向	平面規模(m) ※()内:推定値/[]内:庇・張出の計測値				建物の方向		建物面積(m ²)	備考	
	桁行	梁行		桁行総長/測定柱列/柱間寸法		梁行総長/測定柱列/柱間寸法		建物傾斜角度/真北基準	真北基準			
SB1	3	[1]+2	東西	5.7	南	1.4+2.1+2.2	4.2 [6.2]	西	[2.0]+2.2+2.0	西7° N-7° -W [26.7]	23.9 m ²	構成Pit:P9・16・21・23・30・32・43・45・46・57・76・165 重複:P44→SB1 掘立柱建物跡(張出:北)
SB2	4	1	東西	7.7	北	2.2+2.3+1.8+1.4	4.3	西	4.3	西10° N-10° -W	33.1 m ²	構成Pit:P20・31・50・51・69・72・75・77・162・164 重複:P38・44→SB2→P11

※建物の規模・方向・平面規模・傾き・面積の情報を記載
※備考欄には、建物・柱穴列を構成するP番号、重複関係、その他特記を記載

[各柱穴・小穴の個別情報の記載方法]

(例) SB1 掘立柱建物跡 構成 Pit 属性表

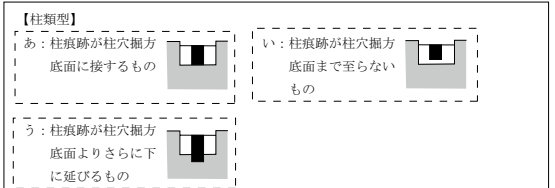
遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸・ca、底面標高:m)				柱 痕 跡				柱 類 型	備 考	
	平面形	長 軸	短 軸	残存 深	底面 標高	埋土 堆土	平面形	長 軸			短 軸
P9	方形	43	36	26	65.4	4Bd・f	円形	13	11	3B	あ 堆f:礫 かわらけ
P16	楕円形	39	33	50	65.2	7Bd	円形	14	12	9B	あ
P21	楕円形	50	43	60	64.9	掘埋1:10Bc 掘埋2:7Be	楕円形	29	24	3B	あ
P23	円形	42	40	39	65.3	抜穴:7Bc 掘埋:9Bd	-	-	-	-	- 柱抜取
P30	楕円形	46	40	52	65.0	3Bb・f	円形	18	17	1B	あ 堆f:礫
P32	円形	44	40	55	65.1	1層:10Bc 2層:7Be	-	-	-	-	-

※()内の数値は推定値

①類型表により記号化

②その他の記載事項参照

①ピット(柱穴・小穴) 類型



[柱痕跡・掘方の埋土・堆積土類型]

■土色

- 1: 黒褐色 (10YR2/2) 2: 黒褐色 (10YR3/1) 3: 黒褐色 (10YR3/2)
- 4: 暗褐色 (10YR3/3) 5: 暗褐色 (10YR3/4) 6: 褐灰色 (10YR4/1)
- 7: 灰黄褐色 (10YR4/2) 8: 灰黄褐色 (10YR5/2) 9: にぶい黄褐色 (10YR4/3)
- 10: にぶい黄褐色 (10YR5/3) 11: にぶい黄褐色 (10YR6/4)

■土性

A: シルト B: 砂質シルト

■混入物

- a: 地山ブロック含む b: 地山ブロック少量含む
- c: 地山粒子多く含む d: 地山粒子含む
- e: 地山粒子少量含む f: その他のもの(上記以外のもの※)

※fを選択した場合は備考欄に堆積土混入物を記載
※備考欄幅の関係から、下記の内容については記載を省略した
炭化物片→炭片 黒色土ブロック→黒ブ 礫・小礫

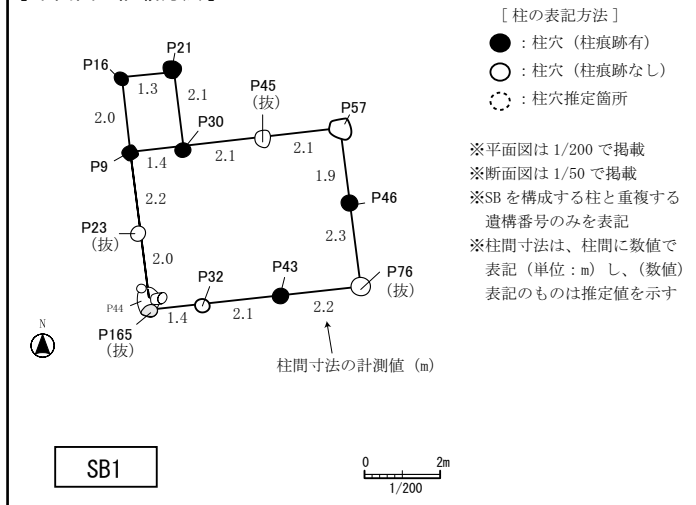
[記載例]

1Aa・・・土色: 黒褐色(10YR2/2)、土性: シルト、混入物: 地山ブロック含む

②その他の記載事項

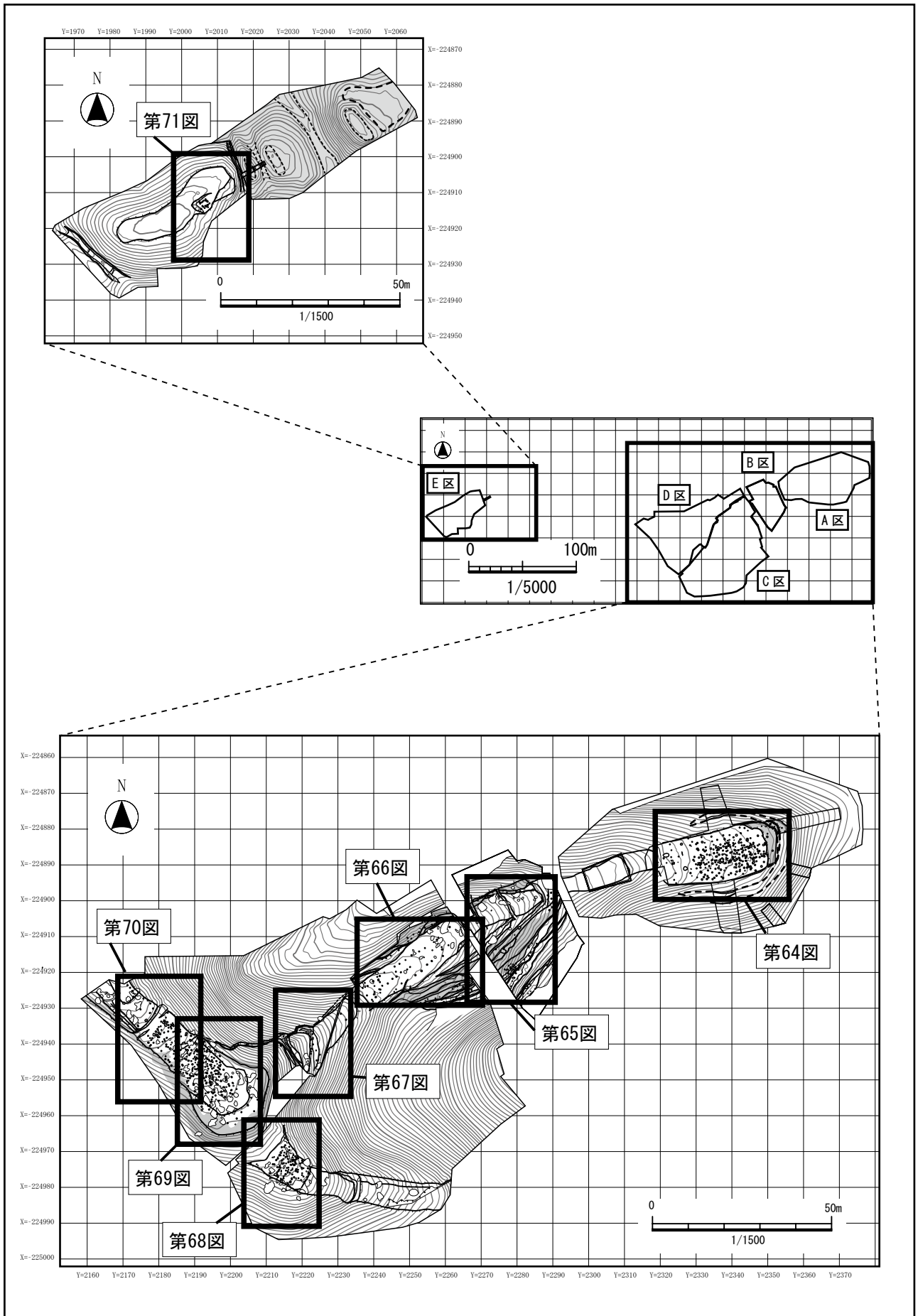
- 柱穴・ピットの計測値
 - ・(数値)は推定値を示す
- 柱穴・ピット掘方の「埋土・堆土(堆積土)」記載事項
 - ・柱穴の場合は「掘方埋土」を意味する
 - ・「1層・2層」等の記載: 「柱穴・小穴」の埋土等が2層以上に分層した場合は示す
 - ・「抜穴」: 柱抜き取り穴の埋土・堆積土 / 「抜穴1」: 抜き取り穴1層の埋土・堆積土
 - ・「切穴」: 柱切り取り穴の埋土・堆積土 / 「切穴1」: 切り取り穴1層の埋土・堆積土
- 備考欄の記載事項
 - ・柱抜取: 柱が抜き取られているもの ・柱切取: 柱が切り取られているもの
 - ・その他、重複関係・出土遺物を記載

[平面図の記載方法]

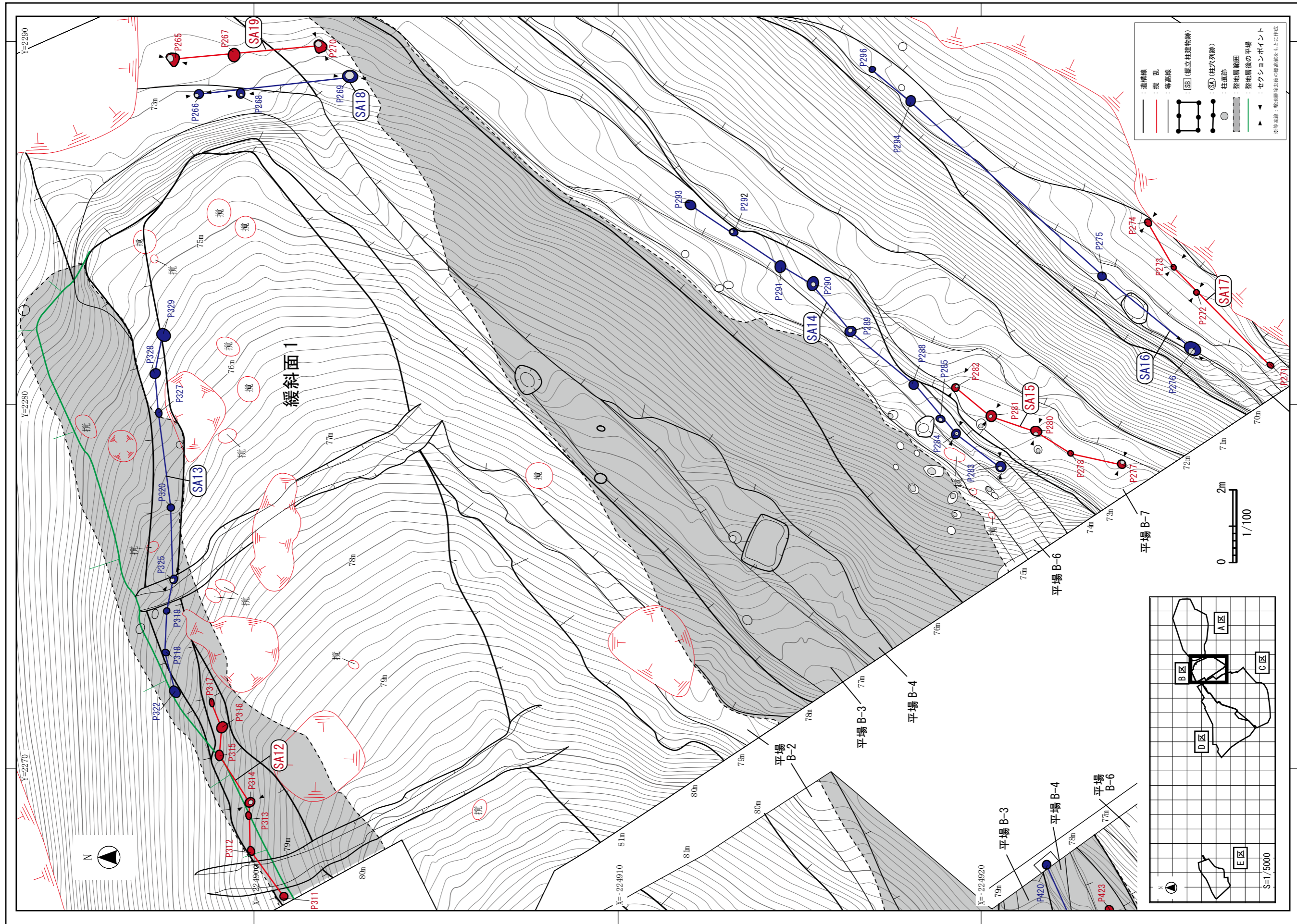


- : 柱穴(柱痕跡有)
- : 柱穴(柱痕跡なし)
- : 柱穴推定箇所

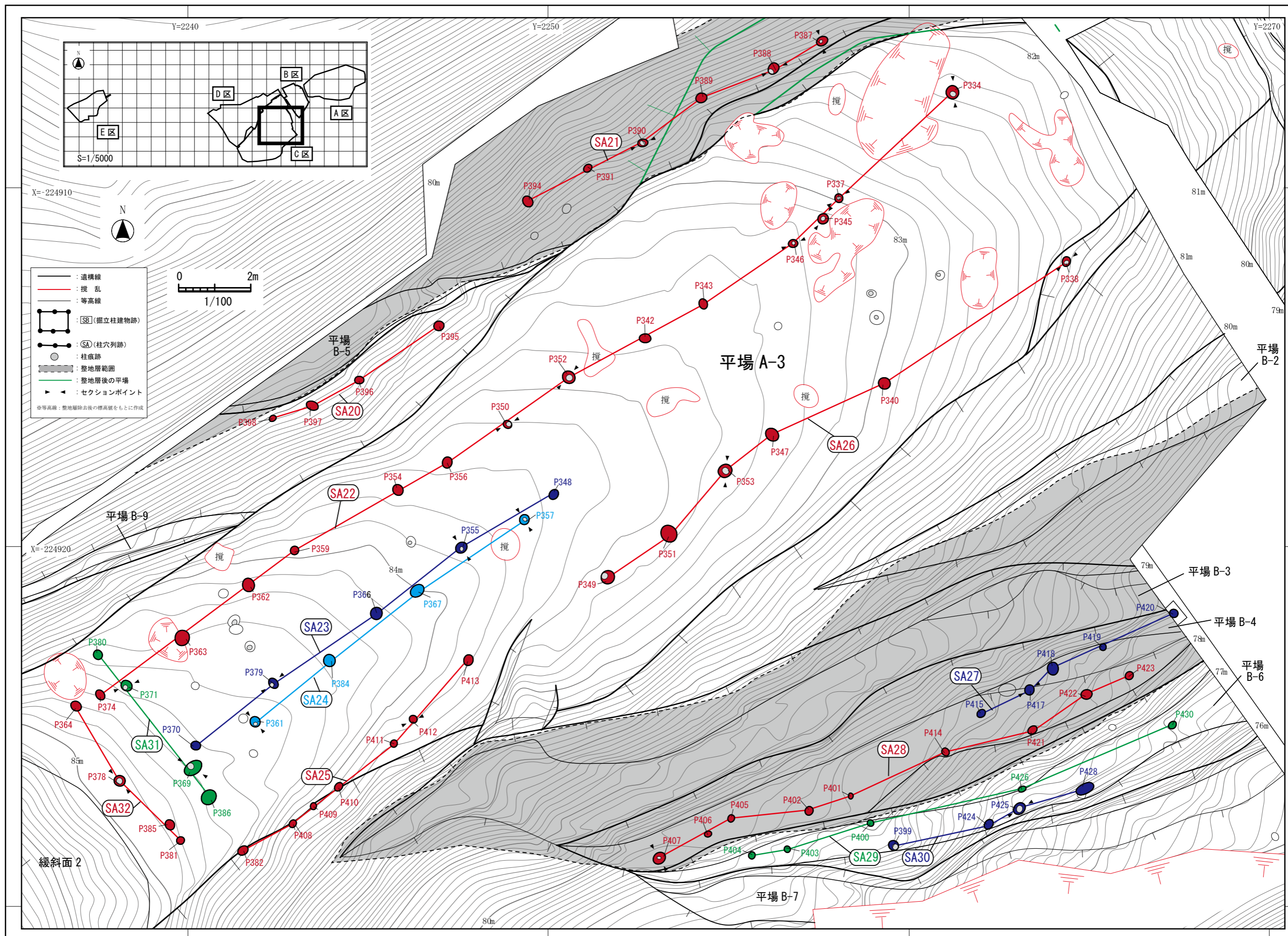
※平面図は1/200で掲載
※断面図は1/50で掲載
※SBを構成する柱と重複する遺構番号のみを表記
※柱間寸法は、柱間に数値で表記(単位:m)し、(数値)表記のものは推定値を示す



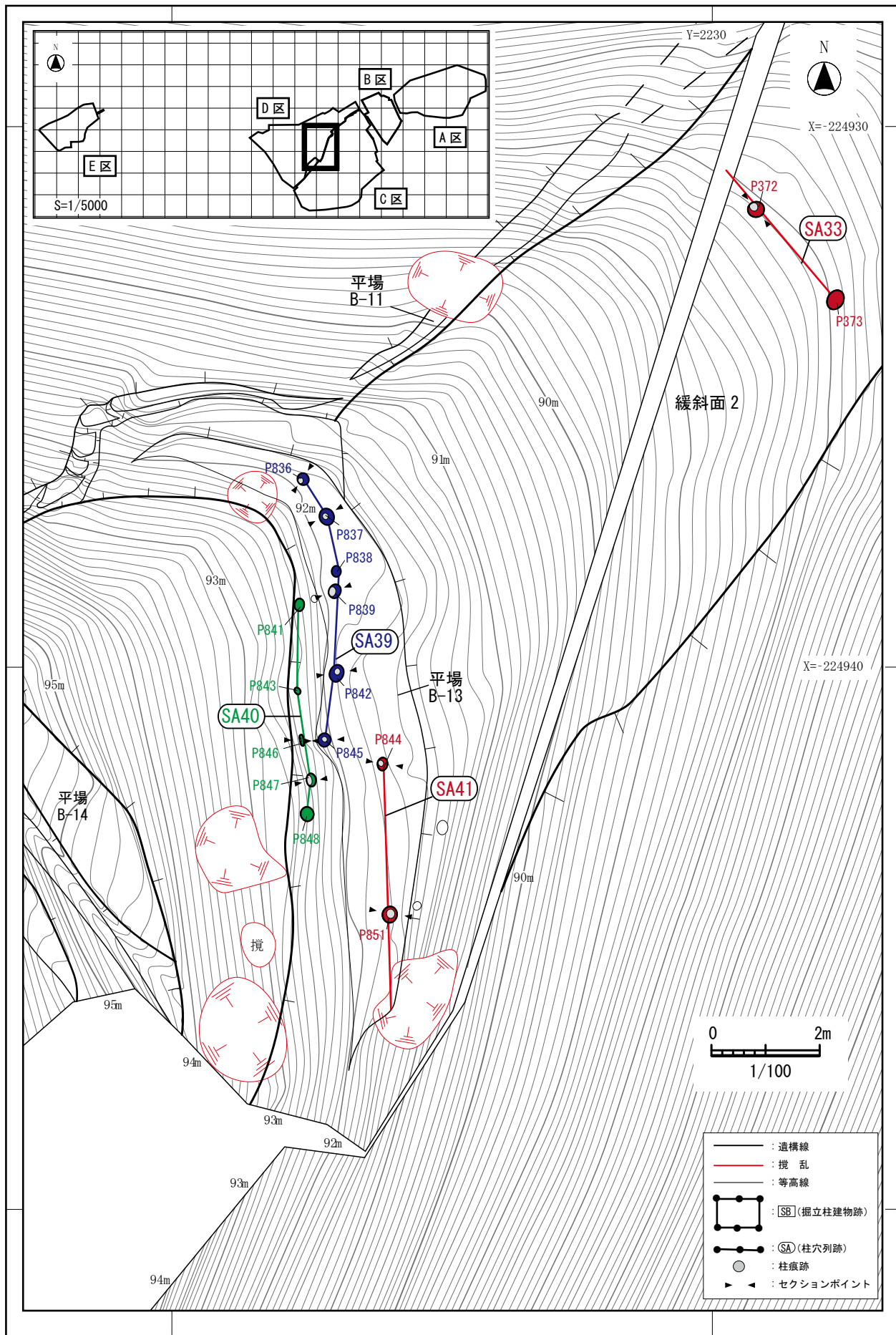
第63図 掘立柱建物跡・柱穴列跡掲載区分図



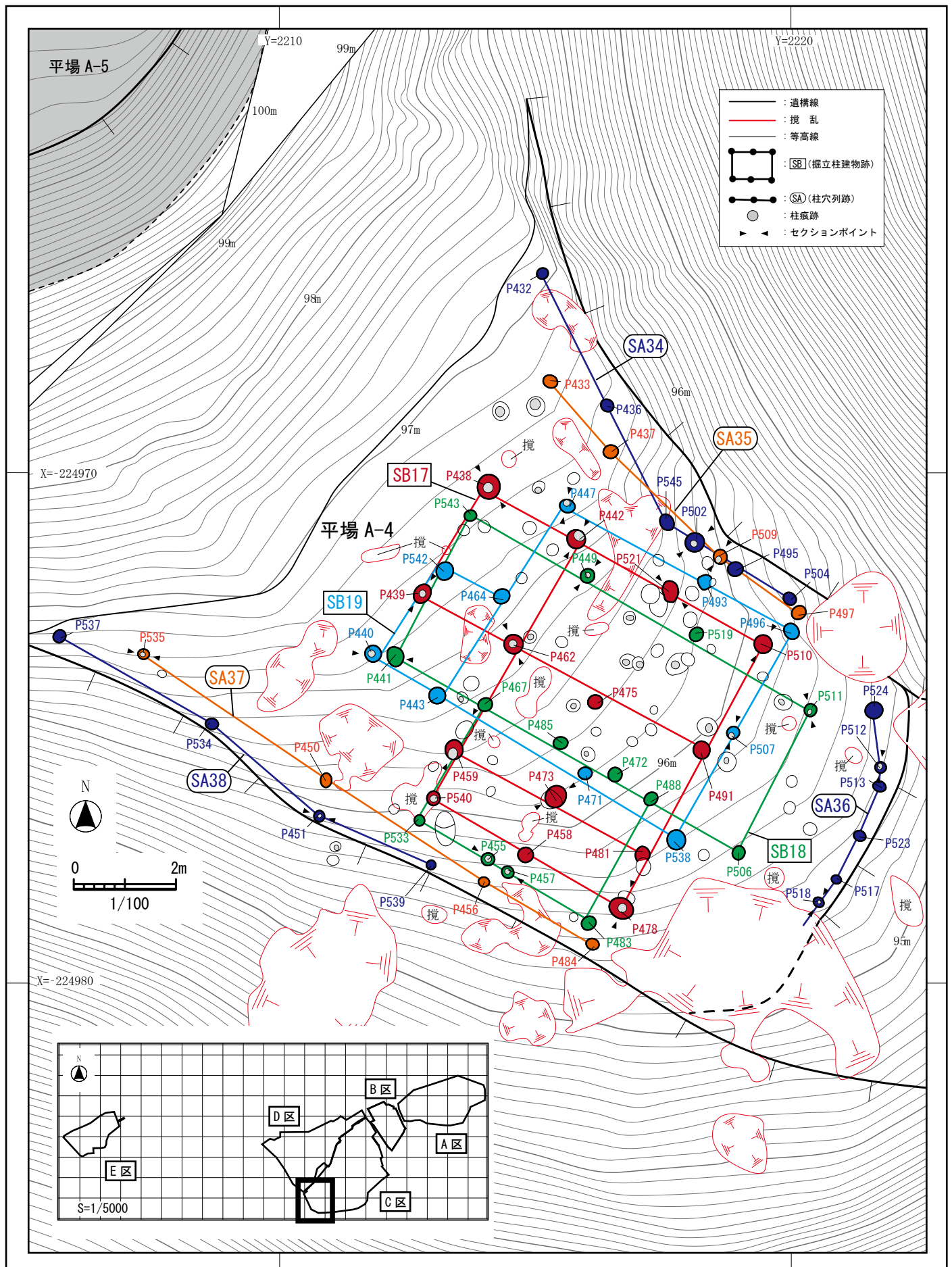
第65図 掘立柱建物跡・柱穴列跡 平面図 (2) — SA12~19 —



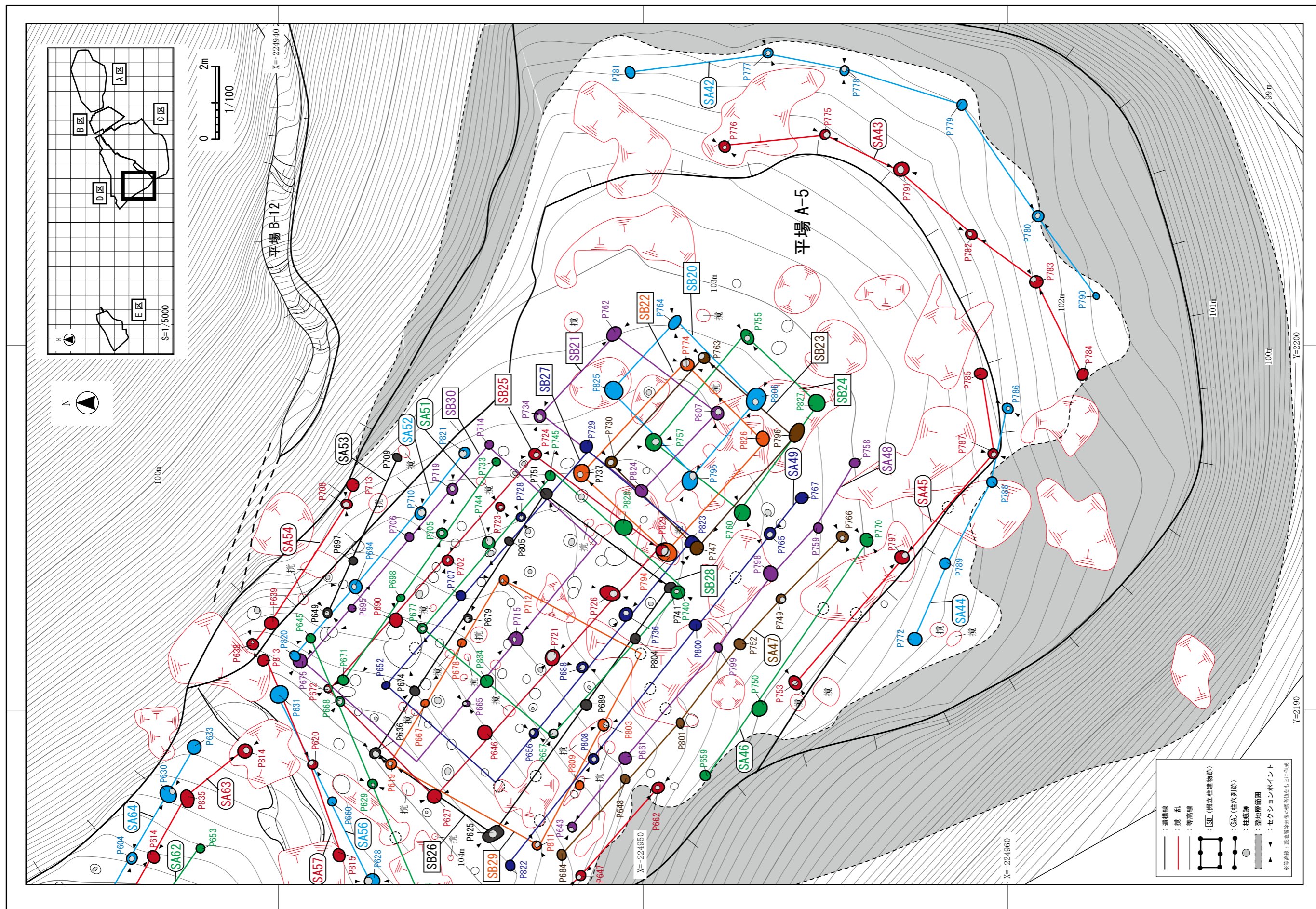
第66図 掘立柱建物跡・柱穴列跡 平面図(3) -SA20~32-



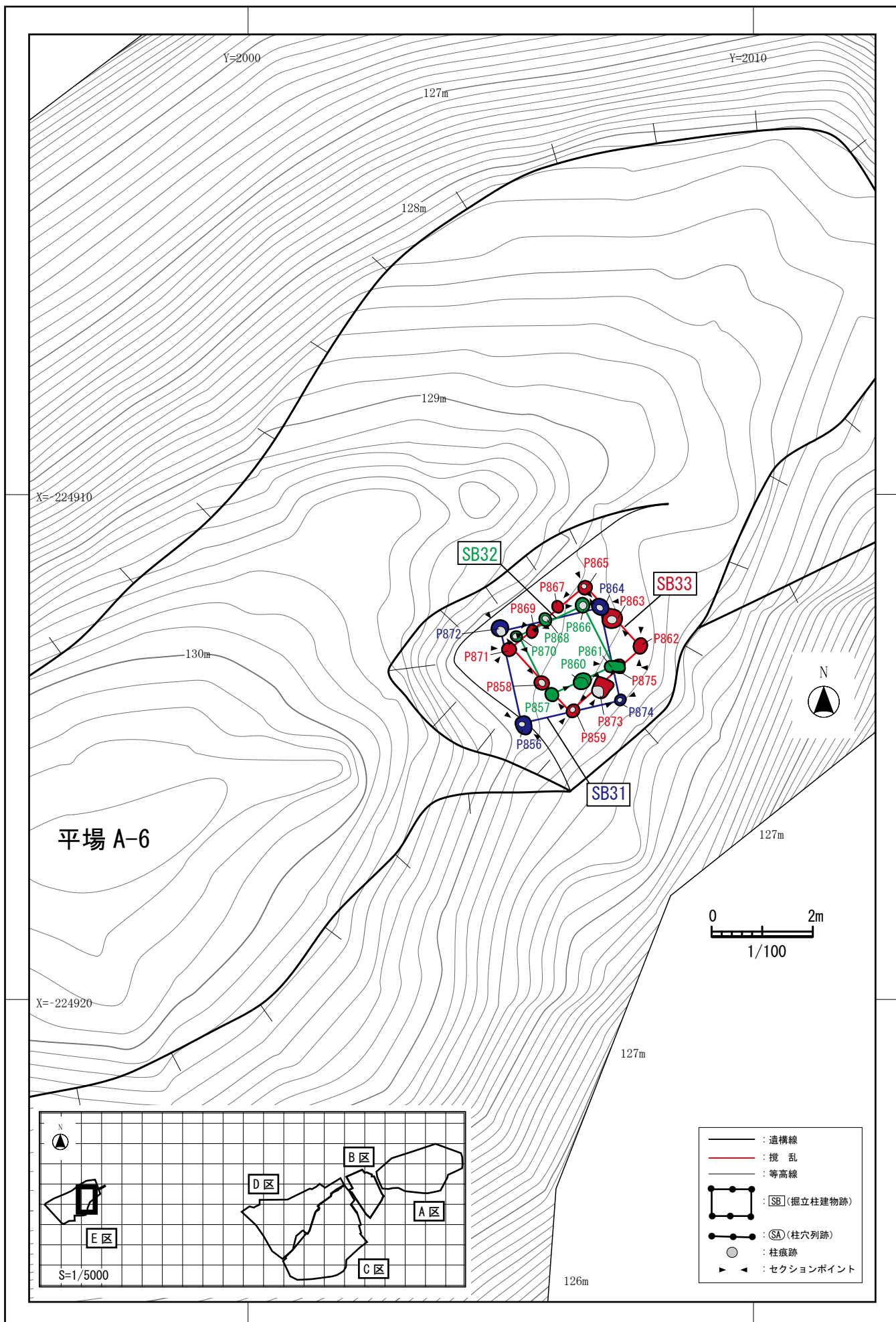
第67図 掘立柱建物跡・柱穴列跡 平面図(4) -SA33・39~41-



第68図 掘立柱建物跡・柱穴列跡 平面図(5) -SB17~19・SA34~38-



第69図 掘立柱建物跡・柱穴列跡 平面図 (6) -SB20~30・SA42~49・51~54-



第71図 掘立柱建物跡・柱穴列跡 平面図(8) -SB31~33-

1) 掘立柱建物跡 (第64・68・69・71～91・118・120図、第5表)

今回の調査では、掘立柱建物跡を33棟(SB1～33)確認した。建物跡は平場A-1・4～6といった比較的面積の広い平場上に分布する。その内訳は、平場A-1で16棟(SB1～16:第64図)、平場A-4で3棟(SB17～19:第68図)、平場A-5で11棟(SB20～30:第69図)、平場A-6で3棟(SB31～33:第71図)である。今回検出した掘立柱建物跡については、柱穴の特徴・遺構の重複関係・出土遺物・周辺の遺跡の調査事例などから、そのほとんどが中世以降の建物であると考えられる。以下、その概要について説明する。それぞれの建物の詳細については、第72～91図、第5表を参照していただきたい。

【建物の規模】

検出した建物跡のうち、その身舎の規模の内訳は、**4間の建物**が7棟(4間×2間:1棟、4間×1間:5棟、4間×1間の推定:1棟)、**3間の建物**が9棟(3間×2間:5棟、3間×1間:4棟)、**2間の建物**が11棟(2間×2間:5棟、2間×1間:6棟)、**1間の建物**が6棟(1間×1間:6棟)である。

【柱穴規模・柱痕跡・柱間寸法】

柱穴掘方の規模は、長軸30～40cm前後の円形・楕円形を呈するものが主体で、柱痕跡は、直径10～30cm前後のもので円形・楕円形を呈するものが多い。身舎の桁行の柱間寸法は、0.6～4.8mでばらつきがあるが、2.5m前後のものが多い。

【建物の方向・傾き】

建物棟方向の内訳は、東西棟建物が17棟、南北棟建物が6棟、正方形建物が10棟である。建物の傾きは、建物の東辺・西辺が真北に対して西に傾くもの・東に傾くものの両者がある。

【庇・張出が付く建物】

検出した建物33棟中、身舎に庇や張出の付く建物は7棟確認した。その内訳は、庇の付く建物2棟(SB6・11)、張出の付く建物4棟(SB1・14・18・19)、庇・張出しの付く建物1棟(SB17)である。

【掘立柱建物跡の分布】

掘立柱建物跡は先にも示したとおり、比較的面積の広い平場上に分布しており、その平場の中央部付近を中心に密集して建物が配置されている。各平場の建物の分布状況をまとめると以下のとおりとなる。

【平場A-1】 4×1間張出付:1棟(SB14)、3×2間張出付:1棟(SB1)、2×2間庇付:1棟(SB6)、2×1間庇付:1棟(SB11)、4×2間:1棟(SB4)、4×1間:1棟(SB2)、3×2間:3棟(SB5・7・8)、3×1間:2棟(SB3・9)、2×2間:1棟(SB12)、2×1間:4棟(SB10・13・15・16)

【平場A-4】 2×2間庇・張出付:1棟(SB17)、3×1間張出付:1棟(SB18)、2×2間張出付:1棟(SB19)

【平場A-5】 4×1間:4棟(SB25～27・30)、3×1間:1棟(SB29)、2×2間:1棟(SB28)、1×1間:5棟(SB20～24)

【平場A-6】 3×2間:1棟(SB33)、2×1間:1棟(SB32)、1×1間:1棟(SB31)

【出土遺物】

掘立柱建物跡を構成する柱穴跡からは、遺物が8点出土したのみですべて図示した(第118・120図)。遺物の出土遺構・種別等は次のとおりで、SB1・P9掘方埋土:かわらけ皿2点(第118図1・2)、SB1・P45堆積土:かわらけ皿(第118図3)、SB1・P165の1層:中世陶器甕(第118図4)、SB4・P34掘方埋土:砥石(第118図6)、SB4・P37堆積土:天目茶碗(第118図5)、SB10・P58堆積土:灰釉陶器瓶子または梅瓶の破片(第118図7)、SB16・P156の1層:灰釉陶器大型鉢(第118図8)である。これらの出土遺物の詳細については第4章で触れるが、その年代は中世に属するものと考えられる。

第5表 鷲足館跡 掘立柱建物跡(SB1~33) 一覧表

位置	遺構No.	建物間数		棟方向	平面規模(m) ※()内:推定値/[]内:底・張出しの計測値				建物の方向		建物面積(m ²)	備考		
		桁行	梁行		桁行総長/測定柱列/柱間寸法	梁行総長/測定柱列/柱間寸法	建物傾斜角度/真北基準	建物傾斜角度/真北基準						
平場 A-1	SB 1	3	[1]+2	東西	5.7	南	1.4+2.1+2.2	4.2 [6.2]	西	[2.0]+2.2+2.0	西7°	N-7° -W	23.9 [26.7] nf	構成Pit:P9・16・21・23・30・32・43・45・46・57・76・165 重複:SB1→P44 張出し付建物(張出:北)
	SB 2	4	1	東西	7.7	北	2.2+2.3+1.8+1.4	4.3	西	4.3	西10°	N-10° -W	33.1 nf	構成Pit:P20・31・50・51・69・72・75・77・162・164 重複:P38・44→SB2→P11
	SB 3	3	1	東西	7.3	北	2.5+2.1+2.7	3.5	西	3.5	西9°	N-9° -W	25.6 nf	構成Pit:P29・33・39・48・63・82・97・166 重複:なし
	SB 4	4	2	東西	8.3	南	1.1+2.4+2.2+2.6	3.3	西	2.1+1.2	西12.5°	N-13° -W	27.4 nf	構成Pit:P6・10・17・18・22・28・34・37・47・54・86 重複:なし
	SB 5	3	2	東西	7.0	北	2.7+2.1+2.2	4.9	東	2.3+2.6	西11.5°	N-12° -W	34.3 nf	構成Pit:P1・13・53・179・184・234→236・249 重複:なし
	SB 6	2	[1]+2	東西	4.8	南	3.6+1.2	4.3 [5.0]	東	[0.7]+2.2+2.1	西6.5°	N-7° -W	20.6 [24.0] nf	構成Pit:P52・56・62・70・81・95・100・105・107・227・229 重複:SB6→SB7・10 底付建物(底:北)
	SB 7	3	2	東西	5.1	北	1.2+1.8+2.1	4.8	西	2.7+2.1	西15.5°	N-16° -W	24.5 nf	構成Pit:P60・67・68・80・99・106・109・121・126・137 重複:SB6→SB7
	SB 8	3	2	南北	5.8	西	1.9+1.6+2.3	5.0	北	3.1+1.9	西22.5°	N-23° -W	29.0 nf	構成Pit:P87・98・123・128・143・149・187・195・199・206・208・216 重複:SB11、P207→SB8 東柱あり
	SB 9	3	1	東西	7.7	南	2.1+2.9+2.7	3.5	東	3.5	東19.5°	N-20° -E	27.0 nf	構成Pit:P59・71・94・113・148・189・217・231 重複:SB10→SB9→SB12
	SB 10	2	1	東西	5.8	北	2.8+3.0	3.4	西	3.4	西54°	N-54° -W	19.7 nf	構成Pit:P58・96・117・138・198・228 重複:SB6→SB10→SB9
	SB 11	2	1+[1]	-	3.5	北	1.7+1.8	3.5 [4.5]	西	3.5+[1.0]	西44°	N-44° -W	12.3 [15.8] nf	構成Pit:P91・116・124・141・186・188・200・205・212 重複:SB12・13→SB11→SB8、P207 底付建物(底:南)
	SB 12	2	2	東西	5.8	南	2.9+2.9	4.5	西	2.5+2.0	東21°	N-21° -E	26.1 nf	構成Pit:P90・104・108・132・157・185・203・218 重複:SB9・16→SB12→SB11・13・14
	SB 13	2	1	南北	5.8	東	3.2+2.6	4.2	北	4.2	西44°	N-44° -W	24.4 nf	構成Pit:P88・103・131・133・213・230 重複:SB12→SB13→SB11
	SB 14	4	1+[1]	南北	7.2	東	2.0+1.9+1.6+1.7	4.8 [7.2]	北	4.8+[2.4]	東27°	N-27° -E	34.6 [43.0] nf	構成Pit:P101・111・120・134・147・155・193・194・202・204・220・226 重複:SA9、SB12、整地層→SB14→P135 張出し付建物(張出:東)
	SB 15	2	1	南北	5.4	西	2.8+2.6	3.5	南	3.5	西45°	N-45° -W	18.9 nf	構成Pit:P125・129・145・150・221・222 重複:なし
	SB 16	2	1	南北	5.8	東	2.7+3.1	3.3	北	3.3	西44°	N-44° -W	19.1 nf	構成Pit:P156・167・210・215・224・225 重複:整地層→SB16→SB12
平場 A-4	SB 17	2+[1]	[1]+2	-	4.8 [5.9]	東	2.4+2.4+[1.1]	4.2 [6.2]	北	[2.0]+2.0+2.2	東29°	N-29° -E	20.2 [29.8] nf	構成Pit:P438・439・442・458・459・462・473・475・478・481・491・510・521・540 重複:P479・531→SB17→P480 底・張出し付建物(底:南、張出:西)、東柱あり
	SB 18	3	1+[1]	東西	7.6	北	2.5+2.5+2.6	3.1 [5.8]	東	3.1+[2.7]	東28°	N-28° -E	23.9 [33.9] nf	構成Pit:P441・449・455・457・467・472・483・485・488・506・511・519・533・543 重複:なし 張出し付建物(張出:南)
	SB 19	[1]+2	2	東西	5.4 [6.9]	南	[1.5]+3.2+2.2	4.7	東	2.3+2.4	東33°	N-33° -E	25.4 [28.8] nf	構成Pit:P440・443・447・464・471・493・496・507・538・542 重複:SB19→P494 張出し付建物(張出:西)
平場 A-5	SB 20	1	1	-	3.2	西	3.2	2.8	南	2.8	西47°	N-47° -W	9.0 nf	構成Pit:P764・795・806・825 重複:なし
	SB 21	1	1	-	3.5	東	3.5	3.0	北	3.0	西48°	N-48° -W	10.5 nf	構成Pit:P734・762・807・824 重複:なし
	SB 22	1	1	-	4.1	北	4.1	3.2	西	3.2	西47°	N-47° -W	13.1 nf	構成Pit:P737・774・794・826 重複:SB25→SB22
	SB 23	1	1	-	4.1	南	4.1	3.3	西	3.3	西48°	N-48° -W	13.5 nf	構成Pit:P730・747・763・796 重複:SB27→SB23
	SB 24	1	1	-	3.8	北	3.8	3.1	西	3.1	西47°	N-47° -W	11.8 nf	構成Pit:P755・757・760・827 重複:なし
	SB 25	4	1	東西	9.1	南	2.2+2.7+2.4+1.8	4.3	東	4.3	西49°	N-49° -W	39.1 nf	構成Pit:P627・646・672・690・702・721・723・724・726・829 重複:P691→SB25→SB22
	SB 26	4	1	東西	8.5	北	2.0+2.5+2.4+1.6	4.2	東	4.2	東35°	N-35° -E	35.7 nf	構成Pit:P625・636・674・679・689・741・751・804・805 重複:SB26→SB28
	SB 27	4	1	南北	8.6	東	(1.5)+(1.7)+2.8+2.6	3.9	南	3.9	西50°	N-50° -W	33.5 nf	構成Pit:P652・656・688・707・728・729・736・823 重複:SB27→SB23
	SB 28	2	2	東西	5.4	北	2.9+2.5	4.7	東	2.4+2.3	東39°	N-39° -E	25.4 nf	構成Pit:P657・677・740・744・745・828・834 重複:SB26、P691→SB28→P743
	SB 29	3	1	東西	5.9	北	1.9+1.9+2.1	4.6	西	4.6	東29°	N-29° -E	27.1 nf	構成Pit:P619・667・678・712・803・809・811 重複:なし
平場 A-6	SB 30	4	(1)	東西	7.9	東	2.0+2.5+1.8+1.6	(4.2)	北	(4.2)	西49°	N-49° -W	(33.2) nf	構成Pit:P665・675・695・706・714・715・719 重複:SB30→SA52、P716
	SB 31	1	1	-	2.0	南	2.0	1.9	西	1.9	西12°	N-12° -W	3.8 nf	構成Pit:P856・864・872・874 重複:SB33→SB31
	SB 32	2	1	-	1.5	北	0.7+0.8	1.3	東	1.3	西27°	N-27° -W	1.9 nf	構成Pit:P857・860・861・866・868・870 重複:SB33→SB32
	SB 33	3	2	-	2.0	北	0.6+0.7+0.7	1.7	西	0.9+0.8	西42°	N-42° -W	3.4 nf	構成Pit:P858・859・862・863・865・867・869・871・873・875 重複:SB33→SB31・32

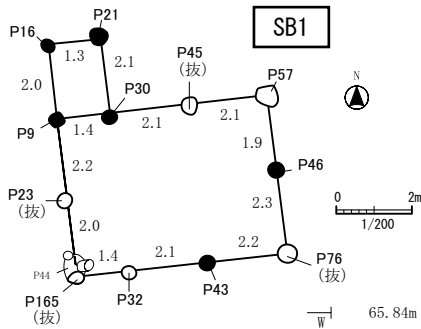
※建物間数の欄で「2+[1]」とあるのは「身舎2間、南側または東側に底(または張出し)1間」、「[1]+2」とあるのは「身舎2間、北側または西側に底(または張出し)1間」であることを示す。
 ※平面規模の()内の数値は推定値を示す。
 ※平面規模の桁行・梁行総長の数値は原則として「身舎部分の総長」を示した。このうち、底・張出しの付く建物については、その下段の[]内に底・張出しを含めた総長を表記した。
 ※柱間寸法は、東西方向のものは西から、南北方向のものは北から順に記した。柱間寸法の【ゴシック体数字】は底または張出しの柱間寸法を示す。
 ※建物が調査区外に延びているため、規模が不明な建物や柱の一部が残存していない建物については、下記のとおり表記した。
 ○調査区外に延びる建物・・・建物間数:「●以上×1間」、平面規模:総長を「●m以上」と表記と表記。
 ○柱穴の一部が残存していない建物・・・総長・柱間寸法のうち、実際の計測値は●、推定値は(●)とし、総長(●)、「●+(●)+(●)」と表記。
 ※建物面積は、底・張出しの付く建物については、上段に身舎の面積、下段の[]内に底・張出しを含めた面積を表記した。

■:身舎に底または張出しが付く建物

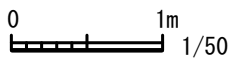
①平場 A-1 で検出した掘立柱建物跡 (第72~79・87・88 図)

【SB1 掘立柱建物跡】

[建物間数] 桁行3間×梁行2間+張出1間
東西棟建物跡
[建物方向] N-7° -W
[構成 Pit] P9. 16. 21. 23. 30. 32. 43. 45. 46. 57. P76. 165
[平面規模] 桁行5.7m×梁行4.2m
[柱間寸法] 桁行1.4~2.2m・梁行1.9~2.3m
[出土遺物] かわらけ (第118図1~3)
中世陶器 (第118図4)
[重複] SB1→P44

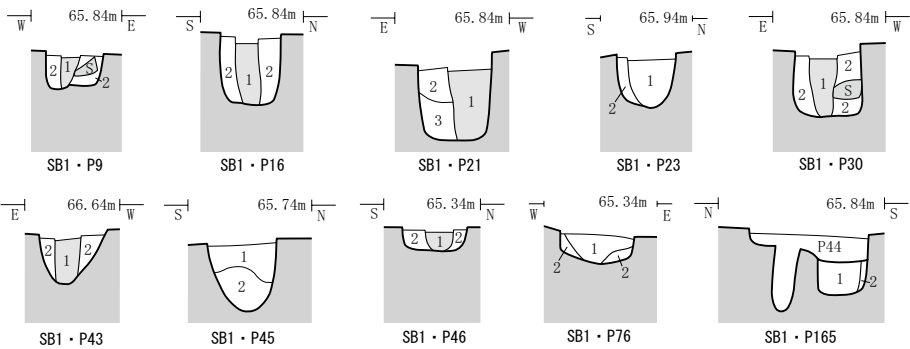


【P9・16・30・43・46】
1層：柱痕跡 2層：掘方埋土
【P21】
1層：柱痕跡 2・3層：掘方埋土
【P23・76・165】
1層：堆積土 (柱抜取) 2層：掘方埋土
【P45】
1・2層：堆積土 (柱抜取)



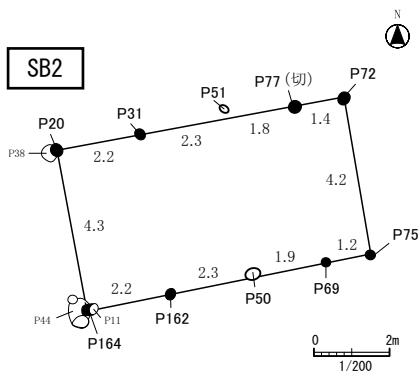
SB1 掘立柱建物跡 構成 Pit 属性表

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸：cm、底面標高：m)					柱痕跡				柱類型	備考		
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸			埋土	
P9	方形	43	36	26	65.4	4Bd・f	円形	13	11	3B	あ	堆f:礫かわらけ	
P16	楕円形	39	33	50	65.2	7Bd	円形	14	12	9B	あ		
P21	楕円形	50	43	60	64.9	掘埋1:10Bc 掘埋2:7Be	楕円形	29	24	3B	あ		
P23	円形	42	40	39	65.3	抜穴:7Bc 掘埋:9Bd	-	-	-	-	-	-	柱抜取
P30	楕円形	46	40	52	65.0	3Bb・f	円形	18	17	1B	あ	堆f:礫	
P32	円形	44	40	55	65.1	1層:10Bc 2層:7Be	-	-	-	-	-	-	
P43	円形	44	38	37	65.1	7Bc	円形	18	17	9B	あ		
P45	円形	47	45	50	65.0	抜穴1:3Be 抜穴2:7Be	-	-	-	-	-	-	柱抜取 かわらけ
P46	円形	44	42	15	65.1	7Bc	円形	19	17	9B	あ		
P57	楕円形	65	55	20	65.1	1層:4Be 2層:3Be	-	-	-	-	-	-	
P76	楕円形	54	48	23	65.0	抜穴:9Bc 掘埋:7Bd	-	-	-	-	-	-	柱抜取
P165	円形	41	40	50	65.1	抜穴:8Bc 掘埋:9Be	-	-	-	-	-	-	柱抜取 P44より古 中世陶器



【SB2 掘立柱建物跡】

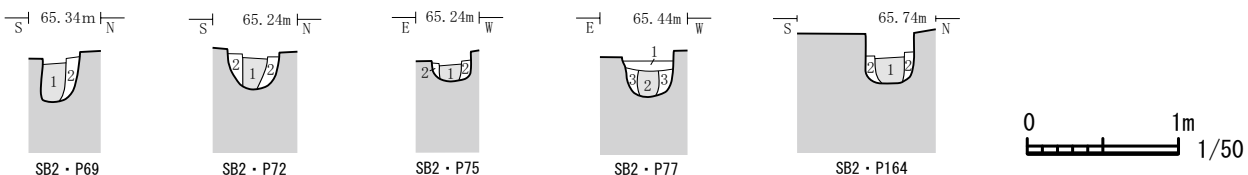
[建物間数] 桁行4間×梁行1間 東西棟建物跡
[建物方向] N-10° -W
[構成 Pit] P20. 31. 50. 51. 69. 72. 75. 77. 162. 164
[平面規模] 桁行7.7m×梁行4.3m
[柱間寸法] 桁行1.2~2.3m・梁行4.2~4.3m
[出土遺物] なし
[重複] P38・44→SB2→P11



【P20・31・69・72・75・164】
1層：柱痕跡 2層：掘方埋土
【P77】
1層：堆積土 (柱切取) 2層：柱痕跡
3層：掘方埋土

SB2 掘立柱建物跡 構成 Pit 属性表

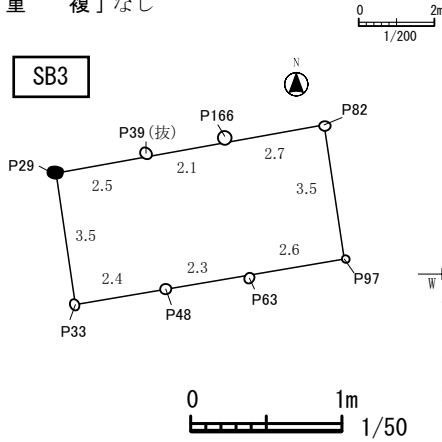
遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸：cm、底面標高：m)					柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸			埋土
P20	円形	35	34	26	65.4	4Bd	円形	18	18	3B	あ	P38より新
P31	円形	32	30	51	65.0	10Bc	円形	17	15	3B	あ	
P50	楕円形	37	30	10	65.2	6Be	-	-	-	-	-	
P51	円形	40	38	20	-	7Bc	-	-	-	-	-	
P69	円形	28	26	34	64.8	7Bc	円形	15	14	9B	あ	
P72	円形	37	36	30	65.0	7Bc	円形	16	15	9B	あ	
P75	円形	27	25	18	64.9	7Bd	円形	14	12	9B	あ	
P77	円形	35	33	28	64.9	切穴:9Bd 掘埋:4Bd	円形	14	12	3B	あ	柱切取
P162	円形	28	28	57	65.0	7Be	円形	18	15	5B	あ	
P164	円形	34	32	36	65.2	5Be	円形	18	17	4B	あ	P11より古 P44より新



第72図 SB1・2 掘立柱建物跡

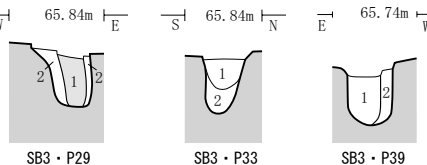
【SB3 掘立柱建物跡】

- [建物間数] 桁行3間×梁行1間 東西棟建物跡
- [建物方向] N-9°-W
- [構成Pit] P29. 33. 39. 48. 63. 82. 97. 166
- [平面規模] 桁行7.3m×梁行3.5m
- [柱間寸法] 桁行2.1~2.7m・梁行3.5m
- [出土遺物] なし
- [重複] なし



SB3 掘立柱建物跡 構成Pit属性表

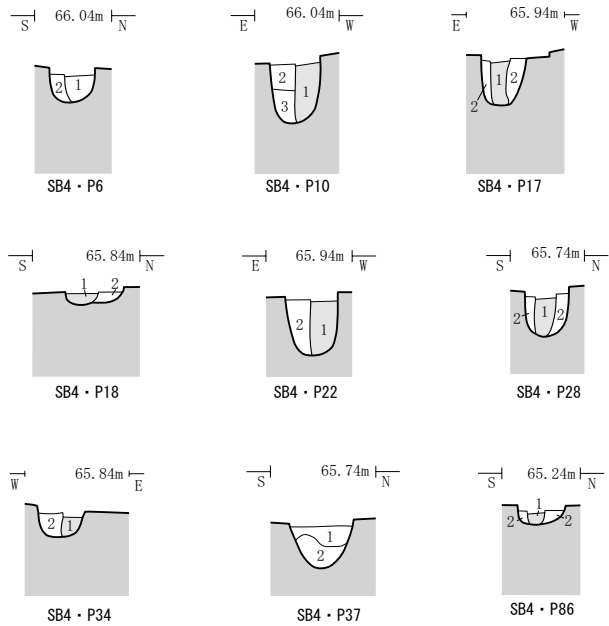
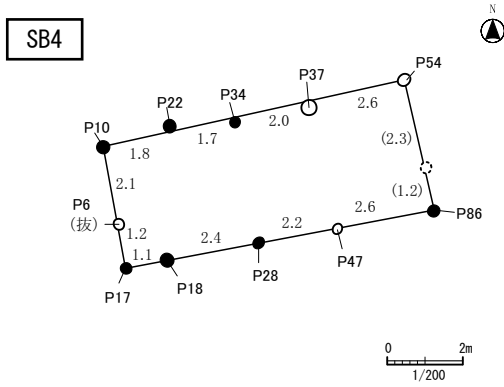
遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)					柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸			埋土
P29	楕円形	40	28	46	65.1	4Bd	円形	18	16	8B	あ	
P33	円形	33	33	36	65.1	1層: 10Bc 2層: 7Be	-	-	-	-	-	
P39	円形	34	32	43	65.0	抜穴: 10Bc 掘埋: 4Be	-	-	-	-	-	柱抜取
P48	楕円形	35	30	26	65.1	掘埋1: 10Bc 掘埋2: 7Bc	-	-	-	-	-	
P63	円形	29	26	28	64.8	7Bc	-	-	-	-	-	
P82	円形	28	26	14	64.8	9Bd	-	-	-	-	-	
P97	円形	22	20	18	64.7	9Be	-	-	-	-	-	
P166	円形	36	32	36	64.8	1層: 8Bc 2層: 7Bc	-	-	-	-	-	



- 【P29】
1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土
- 【P33】
1・2層: 堆積土
- 【P39】
1層: 堆積土 (柱抜取) 2層: 掘方埋土

【SB4 掘立柱建物跡】

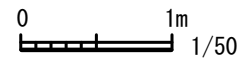
- [建物間数] 桁行4間×梁行2間 東西棟建物跡
- [建物方向] N-13°-W
- [構成Pit] P6. 10. 17. 18. 22. 28. 34. 37. 47. 54. 86
- [平面規模] 桁行8.3m×梁行3.3m
- [柱間寸法] 桁行1.1~2.6m・梁行1.2~2.1m
- [出土遺物] 天目茶碗 (第118図5)、砥石 (第118図6)
- [重複] なし



SB4 掘立柱建物跡 構成Pit属性表

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)					柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸			埋土
P6	円形	34	34	20	65.4	抜穴: 10Aa 掘埋: 7Be・f	-	-	-	-	-	柱抜取 堆f: 炭片少量
P10	円形	36	35	40	65.3	掘埋1: 8Bc 掘埋2: 7Bd	円形	16	15	9B	あ	
P17	円形	29	26	33	65.3	7Be	円形	15	13	9B	あ	
P18	円形	40	37	8	65.5	5Be	円形	21	21	4B	あ	
P22	円形	36	35	48	65.2	3Bd・f	円形	18	17	1B	あ	堆f: 礫
P28	円形	33	32	39	65.1	4Be	円形	15	13	3B	あ	
P34	円形	32	30	23	65.3	4Bd	円形	12	12	3B	あ	砥石
P37	円形	44	33	35	65.0	1層: 9Bc 2層: 7Bc	-	-	-	-	-	天目茶碗
P47	円形	31	30	20	65.1	7Be	-	-	-	-	-	
P54	楕円形	36	31	13	65.0	7Bc	-	-	-	-	-	
P86	円形	32	31	11	65.0	7Bc	円形	10	10	9B	あ	

- 【P6】
1層: 柱痕跡 (柱抜取) 2層: 掘方埋土
- 【P10】
1層: 柱痕跡 2・3層: 掘方埋土
- 【P17・18・22・28・34・86】
1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土
- 【P37】
1・2層: 堆積土



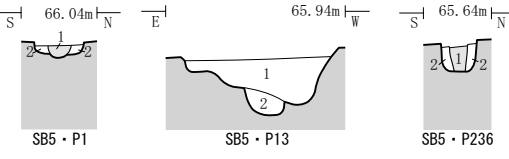
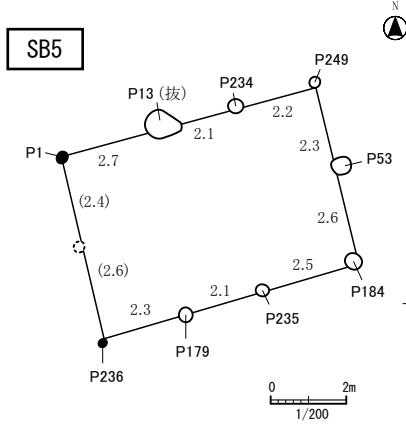
第73図 SB3・4 掘立柱建物跡

【SB5 掘立柱建物跡】

[建物間数] 桁行3間×梁行2間 東西棟建物跡
 [建物方向] N-12° -W
 [構成 Pit] P1.13.53.179.184.234~236.249
 [平面規模] 桁行7.0m×梁行4.9m
 [柱間寸法] 桁行2.1~2.7m・梁行2.3~2.6m
 [出土遺物] なし
 [重複] なし

SB5 掘立柱建物跡 構成 Pit 属性表

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm、底面標高: m)					柱 痕 跡				柱 類 型	備 考	
	平面形	長 軸	短 軸	残存 深	底面 標高	埋土 堆土	平面形	長 軸	短 軸			堆 土
P1	円形	36	35	9	65.7	3Be	円形	15	15	1B	う	
P13	楕円形	30	25	45	65.2	抜穴1:3Be 抜穴2:2Ba	-	-	-	-	-	柱抜取
P53	楕円形	47	43	9	65.1	9Bd	-	-	-	-	-	
P179	円形	36	33	27	65.2	1層:7Bc 2層:9Be	-	-	-	-	-	
P184	円形	42	42	11	65.0	9Be	-	-	-	-	-	
P234	楕円形	42	33	7	65.4	9Bc	-	-	-	-	-	
P235	円形	36	33	8	65.0	7Bc	-	-	-	-	-	
P236	円形	24	24	20	65.1	7Bc	円形	10	9	9B	あ	
P249	円形	32	30	15	65.1	9Bd	-	-	-	-	-	



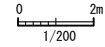
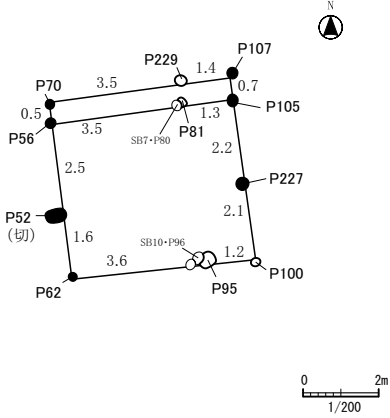
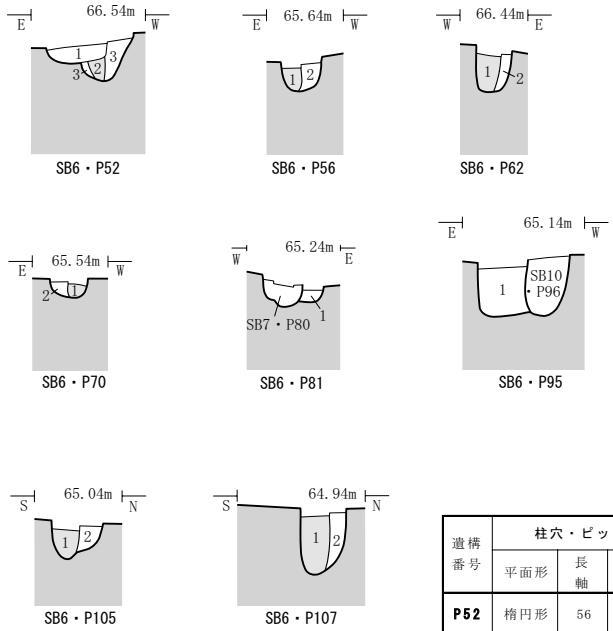
【P1・236】
 1層:柱痕跡 2層:掘方埋土
 【P13】
 1・2層:堆積土(柱抜取)



【SB6 掘立柱建物跡】

[建物間数] 桁行2間×梁行2間+庇1間 東西棟建物跡 / [建物方向] N-7° -W
 [構成 Pit] P52.56.62.70.81.95.100.105.107.227.229
 [平面規模] 桁行4.8m×梁行4.3m / [柱間寸法] 桁行1.2~3.6m・梁行1.6~2.5m
 [出土遺物] なし / [重複] SB6→SB7・10

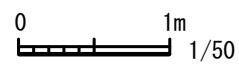
SB6



SB6 掘立柱建物跡 構成 Pit 属性表

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm、底面標高: m)					柱 痕 跡				柱 類 型	備 考	
	平面形	長 軸	短 軸	残存 深	底面 標高	埋土 堆土	平面形	長 軸	短 軸			堆 土
P52	楕円形	56	37	31	65.0	切穴:9Bd 掘埋:10Bc	円形	16	13	9B	あ	柱切取
P56	円形	31	30	23	65.1	5Be	円形	12	11	4B	あ	
P62	円形	27	23	31	64.9	7Bc	円形	15	14	9B	あ	
P70	円形	26	26	15	65.1	9Bc	円形	12	11	5B	あ	
P81	円形?	24	(16)	16	64.8	7Bd	-	-	-	-	-	SB7・P80より古
P95	円形?	44	(34)	42	64.6	7Bc	-	-	-	-	-	SB10・P96より古
P100	円形	23	22	16	64.7	9Be	-	-	-	-	-	
P105	楕円形	36	30	26	64.6	9Bc	円形	17	16	5B	う	
P107	円形	30	29	43	64.4	9Bc	円形	18	17	9B	あ	
P227	円形	34	34	8	64.8	7Bc	円形	18	17	9B	あ	
P229	円形	32	28	13	64.7	7Bc	-	-	-	-	-	

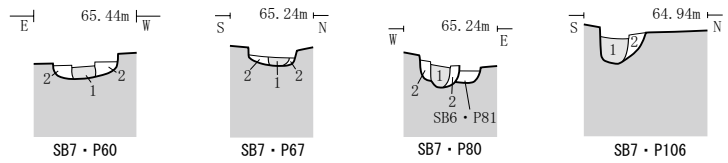
【P52】
 1層:堆積土(柱切取) 2層:柱痕跡
 3層:掘方埋土
 【P56・62・70・105・107】
 1層:柱痕跡 2層:掘方埋土
 【P81・95】
 1層:堆積土



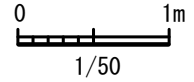
第74図 SB5・6 掘立柱建物跡

【SB7 掘立柱建物跡】

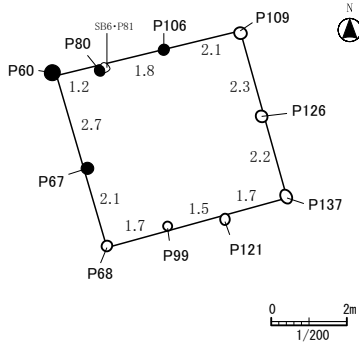
- [建物間数] 桁行3間×梁行2間 東西棟建物跡
- [建物方向] N-16°-W
- [構成Pit] P60. 67. 68. 80. 99. 106. 109. 121. 126. 137
- [平面規模] 桁行5.1m×梁行4.8m
- [柱間寸法] 桁行1.2～2.1m・梁行2.1～2.7m
- [出土遺物] なし
- [重複] SB6→SB7



【P60・67・80・106】
1層：柱痕跡 2層：掘方埋土



SB7



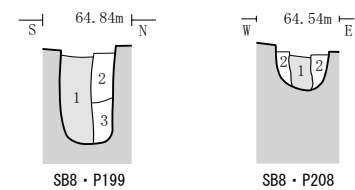
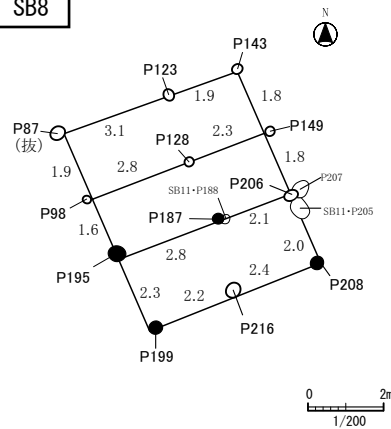
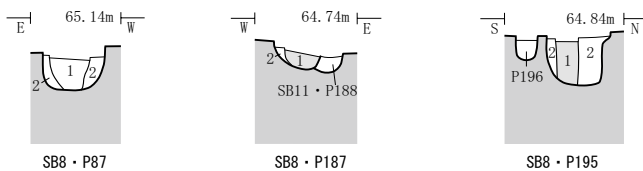
SB7 掘立柱建物跡 構成Pit属性表

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸：cm、底面標高：m)					柱痕跡				柱類型	備考
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸		
P60	円形	45	43	13	65.0	7Bc	円形	14	14	9B	あ
P67	円形	36	32	12	64.9	7Be	円形	15	14	9B	あ
P68	円形	28	26	30	64.7	7Be	-	-	-	-	-
P80	楕円形	27	22	21	64.8	7Bd	円形	14	13	9B	あ SB6・P81より新
P99	円形	25	24	20	64.7	9Be	-	-	-	-	-
P106	円形	30	29	27	64.6	9Bc	円形	14	14	9B	あ
P109	円形	31	31	22	64.4	9Bc	-	-	-	-	-
P121	円形	27	25	18	64.6	9Bd	-	-	-	-	-
P126	円形	32	30	26	64.4	9Bd	-	-	-	-	-
P137	楕円形	34	29	26	64.3	7Bd	-	-	-	-	-

【SB8 掘立柱建物跡】

- [建物間数] 桁行3間×梁行2間 南北棟建物跡
- [建物方向] N-23°-W
- [構成Pit] P87. 98. 123. 128. 143. 149. 187. 195. 199. 206. 208. 216
- [平面規模] 桁行5.8m×梁行5.0m
- [柱間寸法] 桁行1.6～2.3m・梁行1.9～3.1m
- [出土遺物] なし
- [重複] SB11、P207→SB8

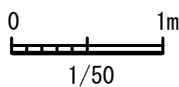
SB8



SB8 掘立柱建物跡 構成Pit属性表

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸：cm、底面標高：m)					柱痕跡				柱類型	備考
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸		
P87	楕円形	42	36	24	64.7	抜穴：5Bd 掘埋：9Bd	-	-	-	-	柱抜取
P98	円形	22	22	13	64.8	9Be	-	-	-	-	-
P123	円形	30	27	25	64.5	9Bd	-	-	-	-	-
P128	円形	28	24	25	64.4	9Be	-	-	-	-	-
P143	円形	30	30	20	64.4	9Bc	-	-	-	-	-
P149	円形	25	23	12	64.4	7Bd	-	-	-	-	-
P187	楕円形	33	28	12	64.4	7Bc	円形	24	23	5B	あ SB11・P188より新
P195	楕円形	47	43	35	64.3	9Bd	円形	15	15	5B	あ
P199	円形	36	36	62	64.0	掘埋1：9Bc 掘埋2：9Be	円形	20	19	9B	あ
P206	円形？	40	(33)	20	64.2	7Bd	-	-	-	-	SB11・P205、 P207より新
P208	円形	35	34	25	64.0	9Bd	円形	15	14	9B	あ
P216	楕円形	38	32	23	64.2	9Bd	-	-	-	-	-

【P87】
1層：堆積土 (柱抜取) 2層：掘方埋土
【P187・195・208】
1層：柱痕跡 2層：掘方埋土
【P199】
1層：柱痕跡 2・3層：掘方埋土



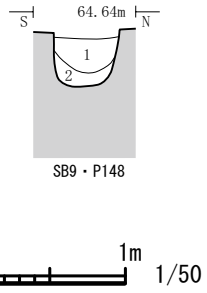
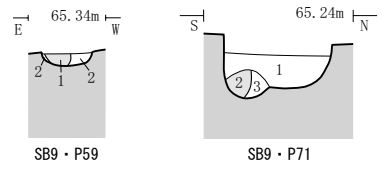
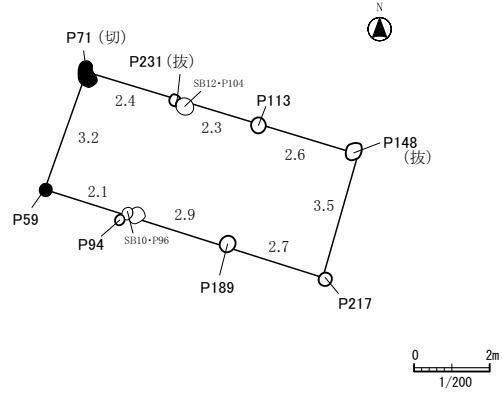
第75図 SB7・8 掘立柱建物跡

【SB9 掘立柱建物跡】

[建物間数] 桁行3間×梁行1間 東西棟建物跡
 [建物方向] N-20° -E
 [構成 Pit] P59. 71. 94. 113. 148. 189. 217. 231
 [平面規模] 桁行7.7m×梁行3.5m
 [柱間寸法] 桁行2.1～2.9m・梁行3.2～3.5m
 [出土遺物] なし
 [重複] SB10→SB9→SB12

【P59】1層：柱痕跡 2層：掘方埋土
 【P71】1層：堆積土（柱切取） 2層：柱痕跡 3層：掘方埋土
 【P148】1・2層：堆積土（柱抜取）

SB9



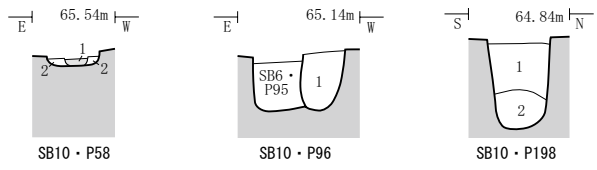
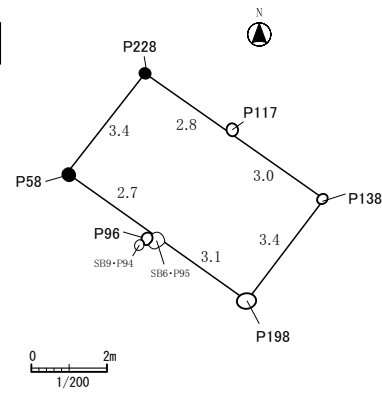
SB9 掘立柱建物跡 構成 Pit 属性表

遺構番号	柱穴・ビット掘方 (長軸・短軸：cm、底面標高：m)					柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸			堆土
P59	円形	35	33	9	65.1	9Bd	円形	16	15	5B	あ	
P71	楕円形	78	42	47	64.7	切穴：9Bc 掘埋：7Bc	円形	19	18	5B	あ	柱切取
P94	円形	25	22	15	64.9	9Be	-	-	-	-	-	SB10・P96より新
P113	円形	40	37	12	64.6	9Bd	-	-	-	-	-	
P148	楕円形	50	36	37	64.1	抜穴1：7Bd 抜穴2：9Bd	-	-	-	-	-	柱抜取
P189	楕円形	44	39	50	64.1	1層：7Bc 2層：9Bd	-	-	-	-	-	
P217	円形	35	34	21	64.2	9Bd	-	-	-	-	-	
P231	円形?	32	(13)	33	64.5	抜穴：9Bc	-	-	-	-	-	SB12・P104より古 柱抜取

【SB10 掘立柱建物跡】

[建物間数] 桁行2間×梁行1間 東西棟建物跡
 [建物方向] N-54° -W
 [構成 Pit] P58. 96. 117. 138. 198. 228
 [平面規模] 桁行5.8m×梁行3.4m
 [柱間寸法] 桁行2.7～3.1m・梁行3.4m
 [出土遺物] 灰軸陶器 (第118図7)
 [重複] SB6→SB10→SB9

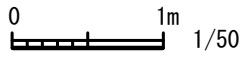
SB10



SB10 掘立柱建物跡 構成 Pit 属性表

遺構番号	柱穴・ビット掘方 (長軸・短軸：cm、底面標高：m)					柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸			堆土
P58	円形	36	35	10	65.1	7Bc	楕円形	21	14	9B	あ	灰軸陶器
P96	円形	28	28	42	64.6	9Be	-	-	-	-	-	SB9・P94より古 SB6・P95より新
P117	円形	29	28	16	64.6	9Bc	-	-	-	-	-	
P138	円形	30	30	40	64.1	7Bd	-	-	-	-	-	
P198	楕円形	49	44	60	64.0	1層：9Bd 2層：9Bc	-	-	-	-	-	
P228	円形	30	28	18	64.6	7Bc	円形	10	10	9B	あ	

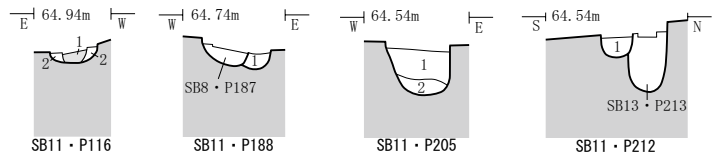
【P58】1層：柱痕跡 2層：掘方埋土
 【P96】1層：堆積土
 【P198】1・2層：堆積土



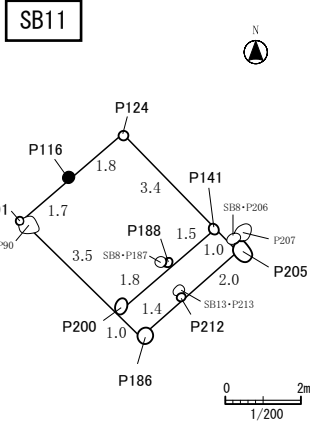
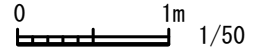
第76図 SB9・10 掘立柱建物跡

【SB11 掘立柱建物跡】

- [建物間数] 桁行2間×梁行1間+庇1間
正方形建物跡
- [建物方向] N-44° -W
- [構成Pit] P91. 116. 124. 141. 186. 188. 200. 205. 212
- [平面規模] 桁行3.5m×梁行3.5m
- [柱間寸法] 桁行1.5～1.8m・梁行3.4～3.5m
- [出土遺物] なし
- [重複] SB12・13→SB11→SB8、P207



【P116】1層：柱痕跡 2層：掘方埋土
 【P188・212】1層：堆積土
 【P205】1・2層：堆積土

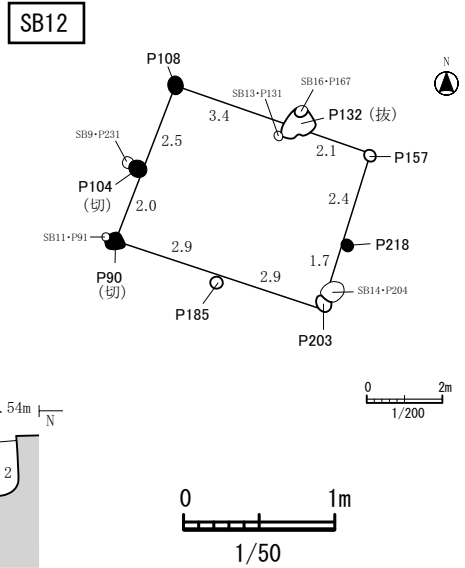
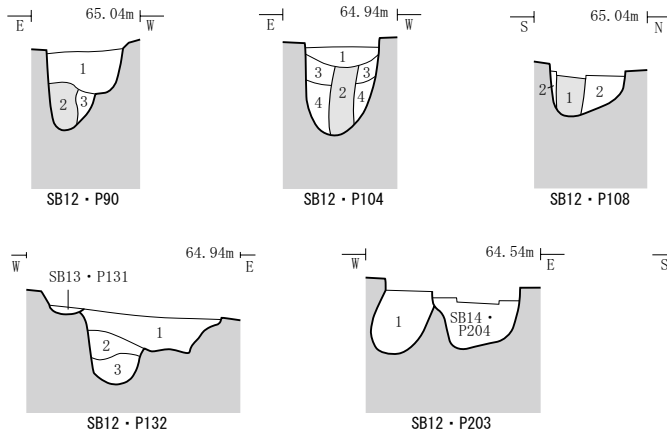


SB11 掘立柱建物跡 構成Pit属性表

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土		
P91	円形	25	24	29	64.6	7Be	-	-	-	-	-	SB12・P90より新
P116	円形	32	30	13	64.6	7Be	円形	17	15	9B	-	あ
P124	円形	24	23	14	64.5	9Bd	-	-	-	-	-	
P141	円形	30	28	17	-	7Be	-	-	-	-	-	
P186	円形	40	40	29	64.2	9Be	-	-	-	-	-	
P188	円形?	24	(15)	12	64.3	9Bc	-	-	-	-	-	SB8・P187より古
P200	楕円形	37	30	34	64.2	1層:9Bd 2層:9Bc	-	-	-	-	-	
P205	楕円形?	(56)	47	33	63.9	1層:7Bc 2層:7Be	-	-	-	-	-	SB8・P206、 P207より古
P212	円形	22	20	24	64.2	9Bd	-	-	-	-	-	SB13・P213より新

【SB12 掘立柱建物跡】

- [建物間数] 桁行2間×梁行2間 東西棟建物跡
- [建物方向] N-21° -E
- [構成Pit] P90. 104. 108. 132. 157. 185. 203. 218
- [平面規模] 桁行5.8m×梁行4.5m
- [柱間寸法] 桁行2.1～3.4m・梁行1.7～2.5m
- [出土遺物] なし / [重複] SB9・16→SB12→SB11・13・14



SB12 掘立柱建物跡 構成Pit属性表

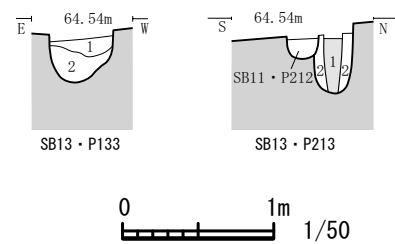
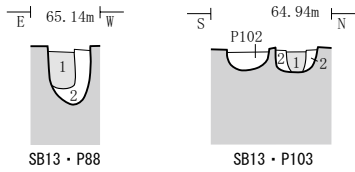
遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土		
P90	楕円形	54	46	54	64.3	切穴:7Bc 掘埋:9Be	円形	21	18	5B	-	柱切取 SB11・P91より古
P104	楕円形	52	42	67	64.1	切穴:9Bc 掘埋1:7Bc 掘埋2:9Be	楕円形	20	16	5B	-	柱切取 SB9・P231より新
P108	楕円形	50	39	40	64.3	7Bc	円形	20	19	9B	-	あ
P132	円形	48	46	62	63.9	抜穴1:7Bd 抜穴2:9Bd 抜穴3:5Bd	-	-	-	-	-	柱抜取 SB13・P131より古 SB16・P167より新
P157	楕円形	37	30	34	64.0	8Bc	-	-	-	-	-	
P185	円形	32	29	19	64.4	9Be	-	-	-	-	-	
P203	円形?	47	(33)	52	63.8	8Bc	-	-	-	-	-	SB14・P204より古
P218	円形	35	34	37	63.9	7Bc	円形	16	14	9B	-	あ

【P90】
 1層：堆積土 (柱切取) 2層：柱痕跡
 3層：掘方埋土
 【P104】
 1層：堆積土 (柱切取) 2層：柱痕跡
 3・4層：掘方埋土
 【P108・218】
 1層：柱痕跡 2層：掘方埋土
 【P132】
 1・2・3層：堆積土 (柱抜取)
 【P203】
 1層：堆積土

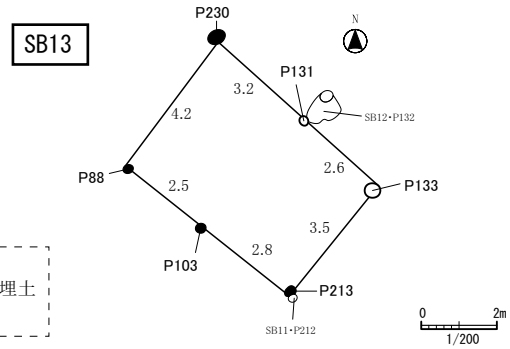
第77図 SB11・12 掘立柱建物跡

【SB13 掘立柱建物跡】

- [建物間数] 桁行2間×梁行1間 南北棟建物跡
- [建物方向] N-44° -W
- [構成Pit] P88. 103. 131. 133. 213. 230
- [平面規模] 桁行5.8m×梁行4.2m
- [柱間寸法] 桁行2.5～3.2m・梁行3.5～4.2m
- [出土遺物] なし
- [重複] SB12→SB13→SB11



【P88・103・213】
1層：柱痕跡 2層：掘方埋土
【P133】1・2層：堆積土



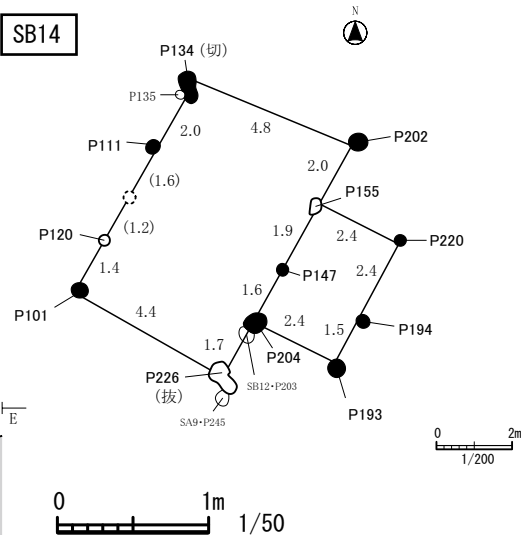
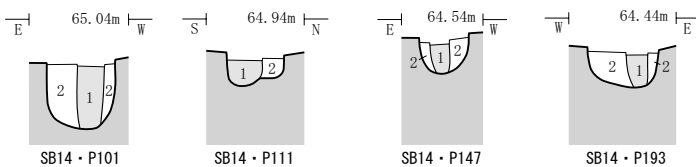
SB13 掘立柱建物跡 構成Pit属性表

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸：cm、底面標高：m)					柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸			堆土
P88	円形	30	30	40	64.5	9Bc	円形	16	15	7B	い	
P103	円形	28	27	18	64.6	9Be	円形	13	13	5B	あ	
P131	円形	26	26	14	64.4	9Bc	-	-	-	-	-	SB12・P132より新
P133	円形	45	45	32	64.1	1層：9Be 2層：8Be	-	-	-	-	-	
P213	円形	33	33	45	64.0	7Bd	円形	13	12	9B	あ	SB11・P212より古
P230	楕円形	48	37	16	64.4	7Bc	円形	17	17	9B	あ	

【SB14 掘立柱建物跡】

- [建物間数] 桁行4間×梁行1間+張出1間 南北棟建物跡
- [建物方向] N-27° -E
- [構成Pit] P101. 111. 120. 134. 147. 155. 193. 194. 202. 204. 220. 226
- [平面規模] 桁行7.2m×梁行4.8m
- [柱間寸法] 桁行1.4～2.0m・梁行4.4～4.8m
- [出土遺物] なし
- [重複] SA9、SB12、整地層→SB14→P135

【P101・111・147・193・194・202・204】
1層：柱痕跡 2層：掘方埋土
【P134】
1・2層：堆積土 (柱切取) 3層：柱痕跡 4層：掘方埋土
【P220】1層：柱痕跡 2・3層：掘方埋土

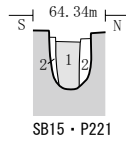
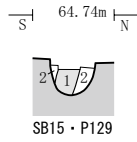


SB14 掘立柱建物跡 構成Pit属性表

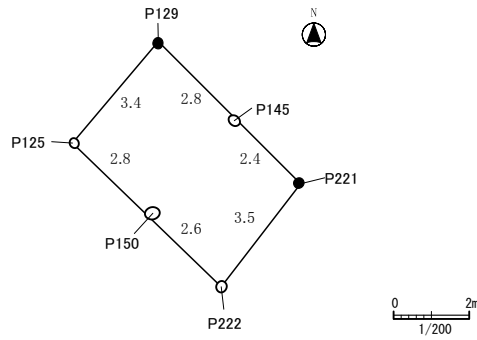
遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸：cm、底面標高：m)					柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸			堆土
P101	円形	45	43	48	64.3	7Bc	円形	19	18	9B	あ	
P111	円形	41	38	25	64.4	7Bc	円形	23	23	9B	う	
P120	円形	27	27	24	64.5	9Bd	-	-	-	-	-	
P134	円形	46	44	83	63.6	切穴1：10Bc 切穴2：9Bc 掘埋：9Bd	楕円形	30	19	5B	あ	柱切取 P135より古
P147	円形	34	32	25	64.1	7Bc	円形	14	13	5B	あ	
P155	楕円形	40	33	77	63.5	1層：8Bc 2層：9Be	-	-	-	-	-	
P193	円形	46	46	26	63.9	7Bd	円形	14	13	9B	あ	
P194	楕円形	39	34	40	63.8	9Bd	円形	16	16	9B	あ	
P202	円形	50	50	35	63.8	7Bc	円形	18	16	9B	あ	
P204	楕円形	55	50	40	63.8	7Bd	楕円形	28	24	9B	あ	SB12・P203より新
P220	円形	31	28	39	63.7	掘埋1：7Bc 掘埋2：5Be	円形	18	17	9B	あ	整地層より新
P226	楕円形	55	45	30	64.0	抜穴1：5Bd 抜穴2：8Be	-	-	-	-	-	柱抜取 SA9・P245より新

【SB15 掘立柱建物跡】

- [建物間数] 桁行2間×梁行1間 南北棟建物跡
- [建物方向] N-45° -W
- [構成 Pit] P125, 129, 145, 150, 221, 222
- [平面規模] 桁行5.4m×梁行3.5m
- [柱間寸法] 桁行2.4～2.8m・梁行3.4～3.5m
- [出土遺物] なし
- [重複] なし



SB15



【P129・221】
1層：柱痕跡 2層：掘方埋土

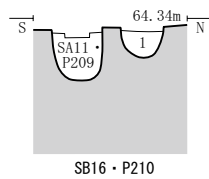
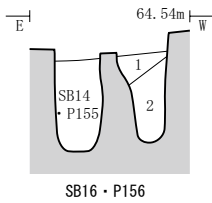
SB15 掘立柱建物跡 構成 Pit 属性表

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸：cm、底面標高：m)					柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸			堆土
P125	円形	24	22	15	64.5	9Bd	—	—	—	—	—	
P129	円形	30	30	25	64.0	10Be	円形	13	12	7B	あ	
P145	円形	32	32	30	64.0	7Be	—	—	—	—	—	
P150	楕円形	35	30	15	64.3	7Bd	—	—	—	—	—	
P221	円形	28	25	40	63.7	7Bd	円形	17	15	9B	あ	
P222	円形	26	26	17	64.1	7Bd	—	—	—	—	—	

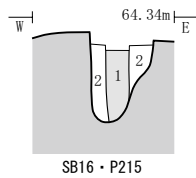
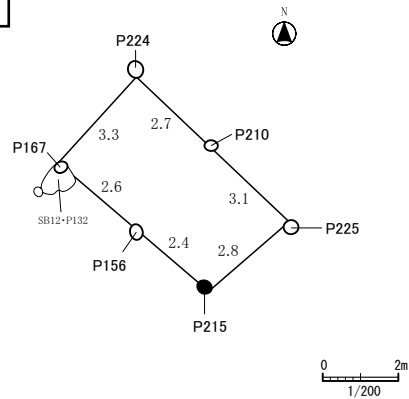


【SB16 掘立柱建物跡】

- [建物間数] 桁行2間×梁行1間 南北棟建物跡
- [建物方向] N-44° -W
- [構成 Pit] P156, 167, 210, 215, 224, 225
- [平面規模] 桁行5.8m×梁行3.3m
- [柱間寸法] 桁行2.4～3.1m・梁行2.8～3.3m
- [出土遺物] 灰釉陶器 (第118図8)
- [重複] 整地層→SB16→SB12



SB16



【P156】
1・2層：堆積土
【P210】
1層：堆積土
【P215】
1層：柱痕跡 2層：掘方埋土

SB16 掘立柱建物跡 構成 Pit 属性表

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸：cm、底面標高：m)					柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸			堆土
P156	円形	40	39	73	63.6	1層：8Bc 2層：9Be	—	—	—	—	—	灰釉陶器
P167	円形	36	33	40	64.0	5Bc	—	—	—	—	—	SB12・P132より古
P210	円形	34	32	19	64.0	7Bd	—	—	—	—	—	
P215	楕円形	42	35	60	63.5	9Bd	円形	15	14	5B	あ	
P224	円形	41	40	6	63.9	7Be	—	—	—	—	—	
P225	円形	38	36	45	63.5	1層：9Be 2層：9Bd	—	—	—	—	—	整地層より新

第79図 SB15・16 掘立柱建物跡

②平場 A-4 で検出した掘立柱建物跡 (第 80・81・87・88 図)

【SB17 掘立柱建物跡】

[建物間数] 桁行 2 間 × 梁行 2 間 + 庇 1 間 + 張出 1 間
正方形建物跡

[建物方向] N-29° -E

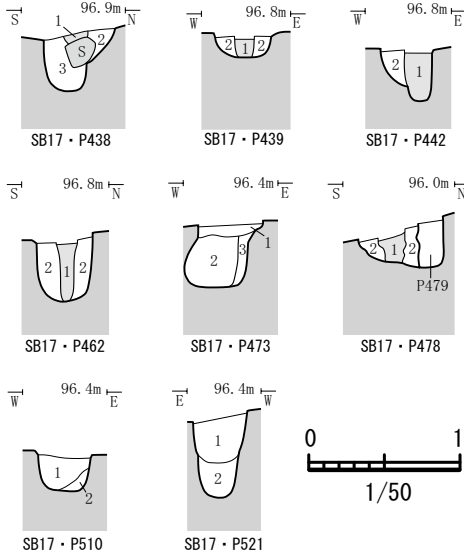
[構成 Pit] P438. 439. 442. 458. 459. 462. 473. 475. 478. 481.
P491. 510. 521. 540

[平面規模] 桁行 4.8m × 梁行 4.2m

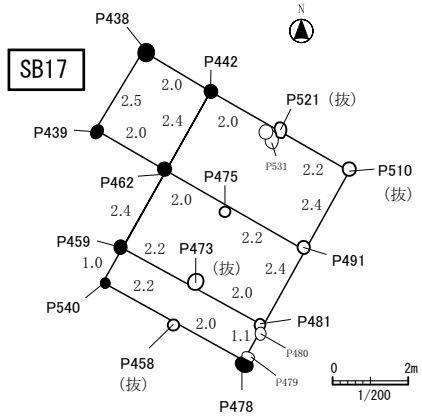
[柱間寸法] 桁行 2.4m・梁行 2.0 ~ 2.2m

[出土遺物] なし

[重複] P479・531 → SB17 → P480



- 【P438】
1層：柱痕跡 2・3層：掘方埋土
- 【P439・442・459・462・478】
1層：柱痕跡 2層：掘方埋土
- 【P473】
1・2層：堆積土 (柱抜取) 3層：掘方埋土
- 【P510・521】
1・2層：堆積土 (柱抜取)



SB17 掘立柱建物跡 構成 Pit 属性表

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸：cm、底面標高：m)					柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸			堆土
P438	円形	47	47	37	96.3	掘埋1：9Bd 掘埋2：5Bd	円形	20	19	5B	い	
P439	楕円形	38	31	14	96.5	10Bc	円形	14	13	5B	あ	
P442	円形	40	37	36	96.2	9Bc	楕円形	22	18	5B	う	
P458	円形	30	30	23	95.6	抜穴：5Ba 掘埋：10Bd	-	-	-	-	-	柱抜取
P459	円形	38	34	52	95.7	9Bd	楕円形	22	18	5B	あ	
P462	円形	38	36	42	96.0	10Bc	円形	15	15	9B	あ	
P473	円形	43	42	50	95.6	抜穴1：11Bc 抜穴2：4Bd 掘埋：11Bc	-	-	-	-	-	柱抜取
P475	円形	28	27	10	96.1	7Bd	-	-	-	-	-	
P478	円形	45	44	24	95.5	11Bc	円形	18	17	5B	あ	P479より新
P481	円形?	29	(29)	14	95.7	10Bc	-	-	-	-	-	P480より古
P491	円形	35	34	20	95.8	9Bd	-	-	-	-	-	
P510	円形	39	36	39	95.7	抜穴1：9Bc 抜穴2：7Bc	-	-	-	-	-	柱抜取
P521	楕円形	40	33	62	95.6	抜穴1：9Bd 抜穴2：5Bd	-	-	-	-	-	柱抜取 P531より新
P540	円形	30	28	30	95.7	4Bd	円形	15	14	4B	あ	

【SB18 掘立柱建物跡】

[建物間数] 桁行 3 間 × 梁行 1 間 + 張出 1 間
東西棟建物跡

[建物方向] N-28° -E

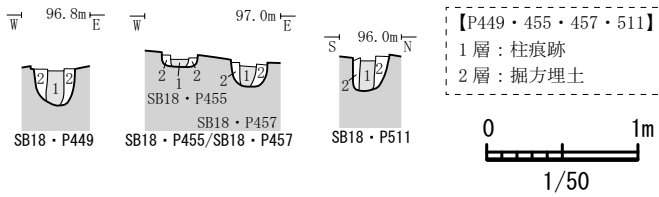
[構成 Pit] P441. 449. 455. 457. 467. 472. 483. 485. 488. 506.
P511. 519. 533. 543

[平面規模] 桁行 7.7m × 梁行 3.1m

[柱間寸法] 桁行 0.8 ~ 2.6m・梁行 3.1m

[出土遺物] なし

[重複] なし



- 【P449・455・457・511】
1層：柱痕跡
2層：掘方埋土

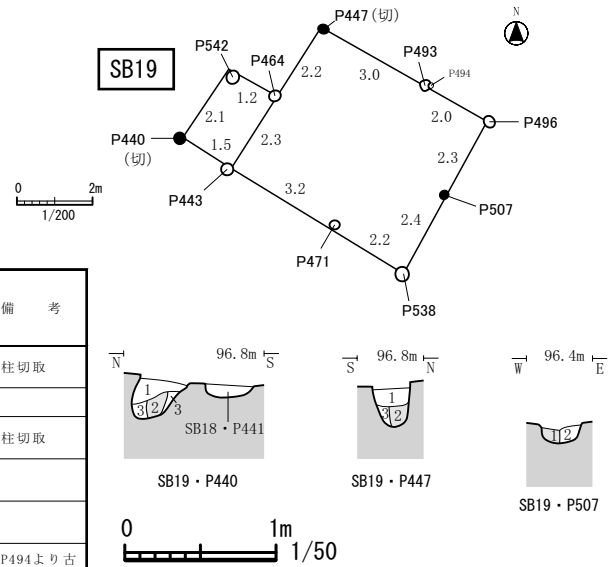
SB18 掘立柱建物跡 構成 Pit 属性表

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸：cm、底面標高：m)					柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸			堆土
P441	円形	35	33	10	96.5	9Bd	-	-	-	-	-	
P449	円形	30	28	25	96.2	5Be	円形	10	10	5B	あ	
P455	円形	26	25	11	95.7	10Bd	円形	13	13	9B	あ	
P457	円形	25	24	18	95.6	9Bd	円形	10	10	9B	あ	
P467	円形	27	27	22	96.1	10Ba	-	-	-	-	-	
P472	円形	32	29	6	96.0	10Bd	-	-	-	-	-	
P483	円形	30	26	17	95.4	9Be	-	-	-	-	-	
P485	円形	28	26	15	96.1	10Be	-	-	-	-	-	
P488	円形	28	27	27	95.7	9Bd	-	-	-	-	-	
P506	円形	25	24	20	95.5	5Bd	-	-	-	-	-	
P511	円形	24	23	24	95.6	5Bd	円形	10	8	4B	あ	
P519	円形	27	27	16	95.9	4Be	-	-	-	-	-	
P533	円形	22	20	12	95.8	9Be	-	-	-	-	-	
P543	円形	23	23	14	96.6	11Bc	-	-	-	-	-	

第 80 図 SB17・18 掘立柱建物跡

【SB19 掘立柱建物跡】

- [建物間数] 桁行2間×梁行2間+張出1間 東西棟建物跡
- [建物方向] N-33° -E
- [構成 Pit] P440. 443. 447. 464. 471. 493. 496. 507. 538. 542
- [平面規模] 桁行5.4m×梁行4.7m
- [柱間寸法] 桁行2.0～3.2m・梁行2.2～2.4m
- [出土遺物] なし
- [重複] SB19→P494



SB19 掘立柱建物跡 構成 Pit 属性表

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱 痕 跡				柱 類 型	備 考
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土		
P440	円形	35	32	26	96.4	切穴: 9Bd 掘埋: 9Bd	円形	14	13	5B	あ	柱切取
P443	円形	35	34	10	96.3	7Bd	-	-	-	-	-	-
P447	円形	30	28	30	96.3	切穴: 10Bc 掘埋: 9Be	円形	13	13	5B	あ	柱切取
P464	円形	33	32	40	96.2	1層: 9Be 2層: 5Be	-	-	-	-	-	-
P471	円形	26	24	29	95.9	1層: 10Bd 2層: 9Bd	-	-	-	-	-	-
P493	円形?	30	(23)	22	95.9	9Bd	-	-	-	-	-	P494より古
P496	円形	34	33	29	95.6	5Bd	-	-	-	-	-	-
P507	円形	26	25	16	95.8	9Bd	円形	12	10	4B	あ	-
P538	円形	40	37	23	95.6	11Bc	-	-	-	-	-	-
P542	円形	36	36	3	96.6	11Bc	-	-	-	-	-	-

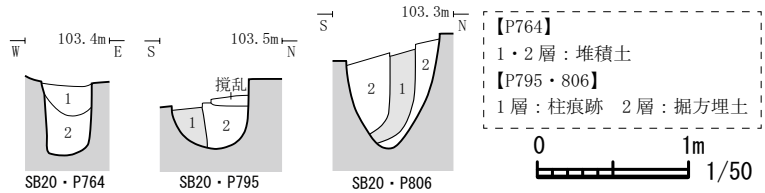
【P440・447】
1層: 堆積土 (柱切取) 2層: 柱痕跡 3層: 掘方埋土
【P507】
1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土

第 81 図 SB19 掘立柱建物跡

③平場 A-5 で検出した掘立柱建物跡 (第 82～86・88 図)

【SB20 掘立柱建物跡】

- [建物間数] 桁行1間×梁行1間 正方形建物跡
- [建物方向] N-47° -W
- [構成 Pit] P764. 795. 806. 825
- [平面規模] 桁行3.2m×梁行2.8m
- [柱間寸法] 桁行3.0～3.2m・梁行2.5～2.8m
- [出土遺物] なし
- [重複] なし



SB20 掘立柱建物跡 構成 Pit 属性表

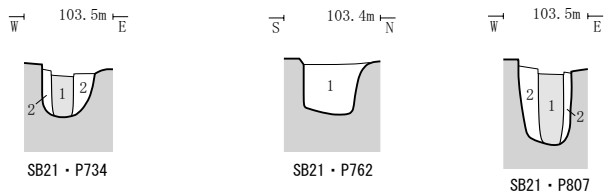
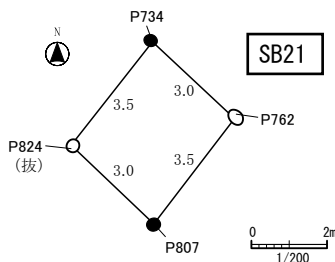
遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱 痕 跡				柱 類 型	備 考
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土		
P764	楕円形	43	26	50	102.6	1層: 9Be 2層: 10Be	-	-	-	-	-	-
P795	楕円形	54	43	36	102.7	9Bc	円形	20	18	5B	あ	-
P806	楕円形	60	40	66	102.4	10Bd	円形	17	16	9B	あ	-
P825	楕円形	50	43	40	102.7	抜穴: 9Bf	-	-	-	-	-	柱抜取 堆土: 礫多量

【SB21 掘立柱建物跡】

- [建物間数] 桁行1間×梁行1間 正方形建物跡
- [建物方向] N-48° -W
- [構成 Pit] P734. 762. 807. 824
- [平面規模] 桁行3.5m×梁行3.0m
- [柱間寸法] 桁行3.5m・梁行3.0m
- [出土遺物] なし
- [重複] なし

SB21 掘立柱建物跡 構成 Pit 属性表

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱 痕 跡				柱 類 型	備 考
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土		
P734	円形	36	35	37	102.8	9Bd	円形	18	16	5B	あ	-
P762	楕円形	41	35	44	102.7	5Be	-	-	-	-	-	-
P807	円形	34	34	56	102.6	10Bd	円形	18	17	9B	あ	-
P824	円形	32	32	10	103.2	抜穴: 9Be	-	-	-	-	-	柱抜取

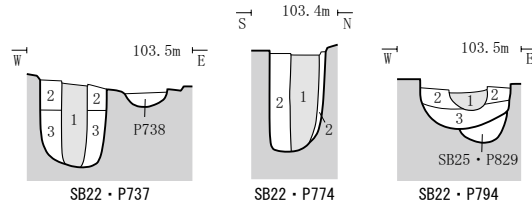


【P734・807】1層: 柱痕跡 2層: 堆積土
【P762】1層: 堆積土

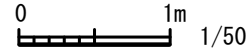
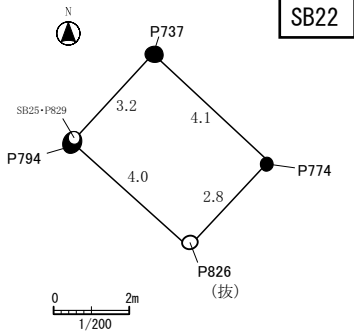
第 82 図 SB20・21 掘立柱建物跡

【SB22 掘立柱建物跡】

- [建物間数] 桁行1間×梁行1間 正方形建物跡
- [建物方向] N-47° -W
- [構成 Pit] P737, 774, 794, 826
- [平面規模] 桁行4.1m×梁行3.2m
- [柱間寸法] 桁行4.0～4.1m・梁行2.8～3.2m
- [出土遺物] なし
- [重複] SB25→SB22



- 【P737・794】
- 1層：柱痕跡
- 2・3層：掘方埋土
- 【P774】
- 1層：柱痕跡
- 2層：掘方埋土

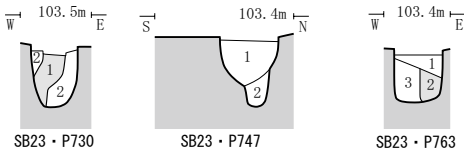


SB22 掘立柱建物跡 構成 Pit 属性表

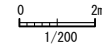
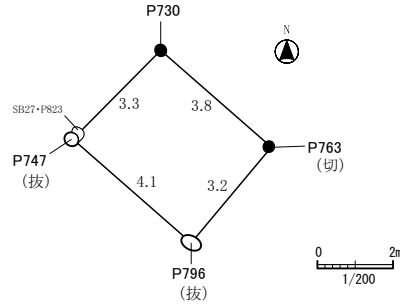
遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸：cm、底面標高：m)					柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸			堆土
P737	円形	45	44	62	102.7	掘埋1: 9Bd 掘埋2: 11Bc	円形	16	16	4B	あ	
P774	円形	38	34	70	102.4	10Bc	円形	22	20	9B	あ	
P794	楕円形	66	51	35	103.0	掘埋1: 9Bd 掘埋2: 10Bd	円形	25	24	5B	い	SB25・P829より新
P826	円形	36	34	40	102.7	抜穴: 9Bd	-	-	-	-	-	柱抜取

【SB23 掘立柱建物跡】

- [建物間数] 桁行1間×梁行1間 正方形建物跡
- [建物方向] N-48° -W
- [構成 Pit] P730, 747, 763, 796
- [平面規模] 桁行4.1m×梁行3.3m
- [柱間寸法] 桁行3.8～4.1m・梁行3.2～3.3m
- [出土遺物] なし
- [重複] SB27→SB23



SB23



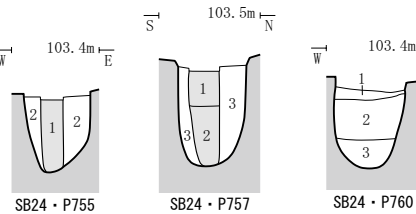
SB23 掘立柱建物跡 構成 Pit 属性表

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸：cm、底面標高：m)					柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸			堆土
P730	円形	34	31	45	102.8	9Bc	円形	17	15	4B	あ	
P747	円形	40	39	48	102.8	抜穴1: 11Bf 抜穴2: 10Bf	-	-	-	-	-	SB27・P823より新 柱抜取 堆f: 炭多量
P763	円形	30	26	33	102.8	切穴: 11Bc 掘埋: 9Be	円形	18	15	5B	あ	柱切取
P796	楕円形	50	36	48	102.6	抜穴1: 10Bc 抜穴2: 9Bd	-	-	-	-	-	柱抜取

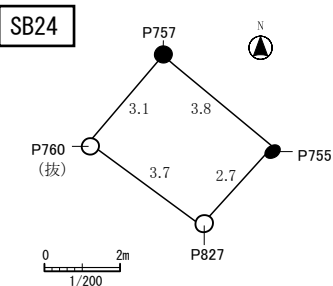
- 【P730】
- 1層：柱痕跡 2層：掘方埋土
- 【P747】
- 1・2層：堆積土 (柱抜取)
- 【P763】
- 1層：堆積土 (柱切取) 2層：柱痕跡
- 3層：掘方埋土

【SB24 掘立柱建物跡】

- [建物間数] 桁行1間×梁行1間 正方形建物跡
- [建物方向] N-47° -W
- [構成 Pit] P755, 757, 760, 827
- [平面規模] 桁行3.8m×梁行3.1m
- [柱間寸法] 桁行3.7～3.8m・梁行2.7～3.1m
- [出土遺物] なし
- [重複] なし



- 【P755】
- 1層：柱痕跡 2層：掘方埋土
- 【P757】
- 1・2層：柱痕跡 3層：掘方埋土
- 【P760】
- 1・2・3層：堆積土 (柱抜取)



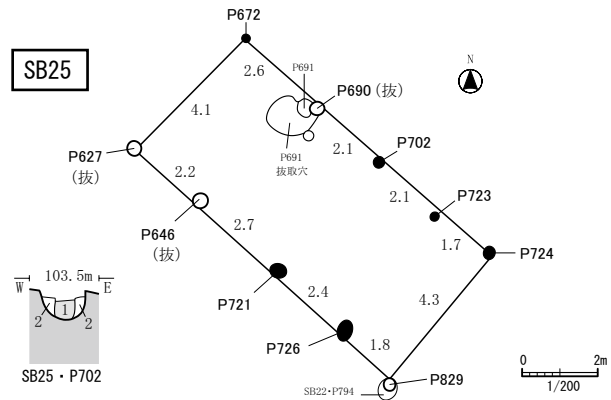
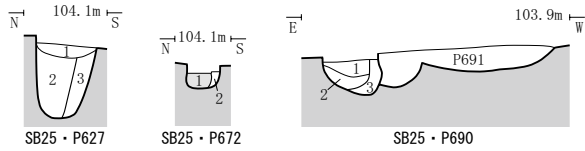
SB24 掘立柱建物跡 構成 Pit 属性表

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸：cm、底面標高：m)					柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸			堆土
P755	楕円形	42	33	58	102.5	9Bd	円形	16	15	5B	あ	
P757	円形	46	46	71	102.5	9Bd	円形	21	18	10B 5B	あ	
P760	円形	43	43	59	102.6	抜穴1: 5Bd・f 抜穴2: 11Bf 抜穴3: 9Bd	-	-	-	-	-	柱抜取 堆f (抜穴1): 炭片 堆f (抜穴2): 炭多量
P827	円形	44	40	14	102.8	9Bd	-	-	-	-	-	

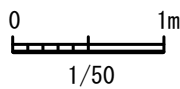
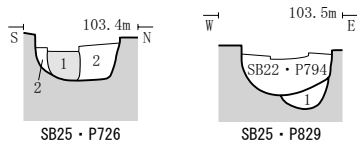
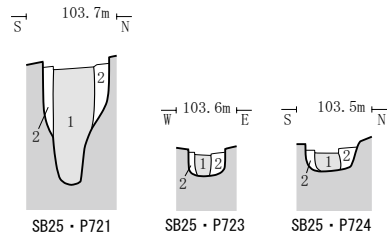
第83図 SB22～24 掘立柱建物跡

【SB25 掘立柱建物跡】

[建物間数] 桁行4間×梁行1間 東西棟建物跡
 [建物方向] N-49° -W
 [構成 Pit] P627. 646. 672. 690. 702. 721. 723. 724. 726. 829
 [平面規模] 桁行9.1m×梁行4.3m
 [柱間寸法] 桁行1.7～2.7m・梁行4.1～4.3m
 [出土遺物] なし
 [重複] P691→SB25→SB22



【P627・690】1・2層：堆積土（柱抜取） 3層：掘方埋土
 【P672・702・721・723・724・726】1層：柱痕跡 2層：掘方埋土
 【P829】1層：堆積土

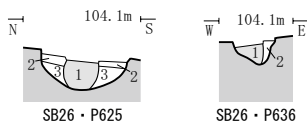


SB25 掘立柱建物跡 構成 Pit 属性表

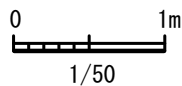
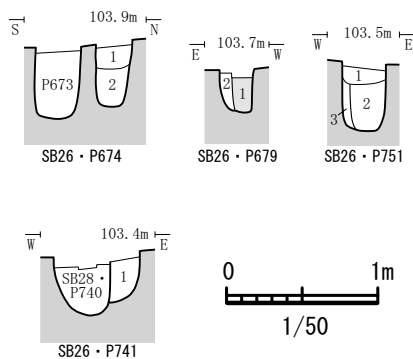
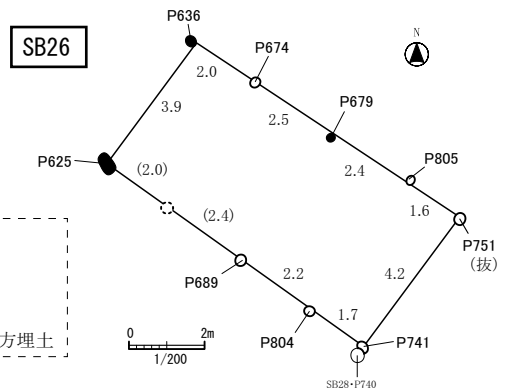
遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸：cm, 底面標高：m)					柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸			堆土
P627	円形	37	36	52	103.4	抜穴1:4Bd・f 抜穴2:9Bf 掘埋:5Bd	-	-	-	-	-	柱抜取 堆f(抜穴1):焼土粒子 堆f(抜穴2):小礫多量
P646	円形	40	40	52	103.2	抜穴1:10Bc 抜穴2:5Bd	-	-	-	-	-	柱抜取
P672	円形	20	20	19	103.8	10Bd	円形	15	14	9B	あ	
P690	円形	38	34	24	103.4	抜穴1:9Bd 抜穴2:9Bc 掘埋:5Bd	-	-	-	-	-	柱抜取 P691より新
P702	円形	30	29	24	103.2	10Bd	楕円形	13	10	9B	あ	
P721	円形	46	42	83	102.5	9Bd	円形	28	25	5B	う	
P723	円形	25	24	18	103.2	10Bd	楕円形	13	10	9B	あ	
P724	円形	36	32	20	103.0	10Bd	円形	16	13	9B	あ	
P726	楕円形	53	36	27	103.0	9Bd	楕円形	21	18	5B	あ	
P829	円形	45	45	43	102.9	9Bd	-	-	-	-	-	SB22・P794より古

【SB26 掘立柱建物跡】

[建物間数] 桁行4間×梁行1間 東西棟建物跡
 [建物方向] N-35° -E
 [構成 Pit] P625. 636. 674. 679. 689. 741. 751. 804. 805
 [平面規模] 桁行8.5m×梁行4.2m
 [柱間寸法] 桁行1.6～2.5m・梁行3.9～4.2m
 [出土遺物] なし
 [重複] SB26→SB28



【P625】1層：柱痕跡 2・3層：掘方埋土
 【P636・679】1層：柱痕跡 2層：掘方埋土
 【P674】1・2層：堆積土
 【P741】1層：堆積土
 【P751】1・2層：堆積土（柱抜取） 3層：掘方埋土



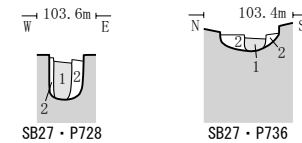
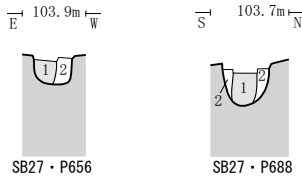
SB26 掘立柱建物跡 構成 Pit 属性表

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸：cm, 底面標高：m)					柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸			堆土
P625	楕円形	58	35	24	103.6	掘埋1:5Bd 掘埋2:10Bf	円形	22	21	5B	あ	堆f:礫
P636	円形	30	30	17	103.8	9Bd	円形	19	17	5B	あ	
P674	円形	28	27	41	103.3	1層:10Bc 2層:9Bd	-	-	-	-	-	
P679	円形	23	23	30	103.2	10Bd	円形	15	13	5B	あ	
P689	円形	31	31	44	103.0	9Bc	-	-	-	-	-	
P741	円形?	31	(23)	20	103.0	9Bd	-	-	-	-	-	SB28・P740より古
P751	円形	30	30	50	102.8	抜穴1:9Bd・f 抜穴2:5Bd 掘埋:10Bc	-	-	-	-	-	柱抜取 堆f:炭片
P804	円形	28	27	22	103.1	9Be	-	-	-	-	-	
P805	楕円形	29	23	25	103.1	9Be	-	-	-	-	-	

第84図 SB25・26 掘立柱建物跡

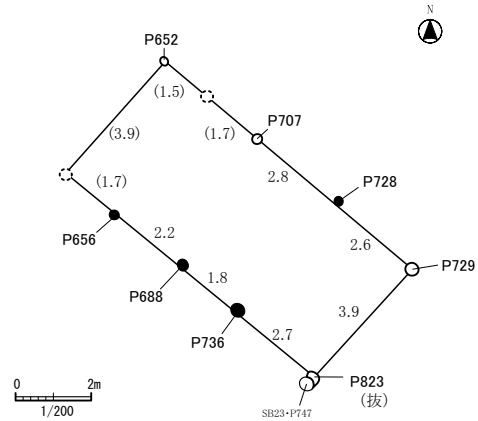
【SB27 掘立柱建物跡】

[建物間数] 桁行4間×梁行1間 南北棟建物跡
 [建物方向] N-50° -W
 [構成 Pit] P652. 656. 688. 707. 728. 729. 736. 823
 [平面規模] 桁行8.6m×梁行3.9m
 [柱間寸法] 桁行1.8～2.8m・梁行3.9m
 [出土遺物] なし
 [重複] SB27→SB23



【P656・688・728・736】
 1層：柱痕跡 2層：掘方埋土

SB27

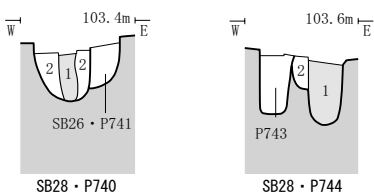
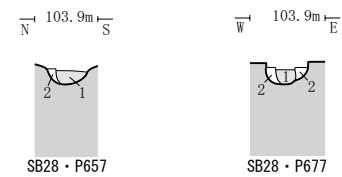


SB27 掘立柱建物跡 構成 Pit 属性表

遺構番号	柱穴・ビット掘方 (長軸・短軸：cm、底面標高：m)					柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸			堆土
P652	円形	23	20	24	103.6	1層：11Bd 2層：9Bd	-	-	-	-	-	
P656	円形	27	27	16	103.4	10Bd	円形	14	13	9B	あ	
P688	円形	33	30	29	103.1	10Bc	楕円形	18	15	4B	あ	
P707	円形	26	25	22	103.3	9Be	-	-	-	-	-	
P728	円形	26	25	30	103.1	10Bd	円形	13	12	9B	あ	
P729	円形	35	32	20	103.0	5Bf	-	-	-	-	-	堆f: 礫多量
P736	円形	38	33	17	103.2	9Be	円形	15	14	9B	あ	
P823	円形?	37	(20)	38	102.9	抜穴：9Be	-	-	-	-	-	柱抜取 SB23・P747より古

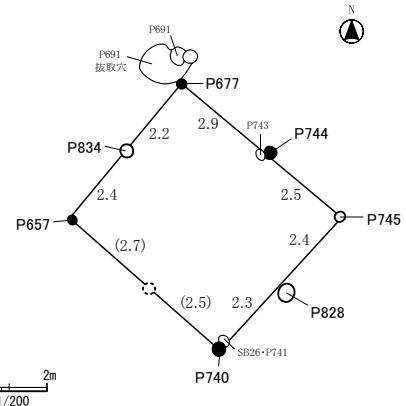
【SB28 掘立柱建物跡】

[建物間数] 桁行2間×梁行2間 東西棟建物跡
 [建物方向] N-39° -E
 [構成 Pit] P657. 677. 740. 744. 745. 828. 834
 [平面規模] 桁行5.4m×梁行4.7m
 [柱間寸法] 桁行2.5～2.9m・梁行2.2～2.4m
 [出土遺物] なし
 [重複] SB26、P691→SB28→P743



【P657・677・740・744】
 1層：柱痕跡 2層：掘方埋土

SB28



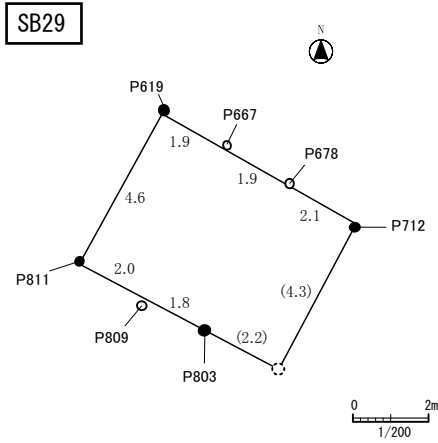
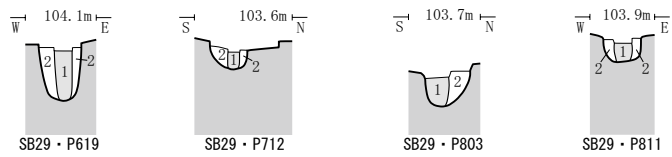
SB28 掘立柱建物跡 構成 Pit 属性表

遺構番号	柱穴・ビット掘方 (長軸・短軸：cm、底面標高：m)					柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸			堆土
P657	円形	25	24	15	103.5	10Bd	円形	22	19	9B	あ	
P677	円形	28	27	14	103.5	10Bd	円形	15	13	9B	あ	P691より新
P740	円形	38	38	41	102.8	9Bc	楕円形	14	10	5B	あ	SB26・P741より新
P744	円形	36	36	38	103.0	9Bc	円形	24	20	5B	う	P743より古
P745	円形	27	26	13	103.1	10Bd	-	-	-	-	-	
P828	円形	40	40	50	102.8	9Bd	-	-	-	-	-	
P834	円形	34	34	15	103.4	9Bd	-	-	-	-	-	

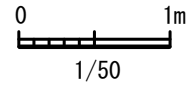
第85図 SB27・28 掘立柱建物跡

【SB29 掘立柱建物跡】

- [建物間数] 桁行3間×梁行1間 東西棟建物跡
- [建物方向] N-29° -E
- [構成Pit] P619. 667. 678. 712. 803. 809. 811
- [平面規模] 桁行5.9m×梁行4.6m
- [柱間寸法] 桁行1.8～2.1m・梁行4.6m
- [出土遺物] なし
- [重複] なし



【P619・712・803・811】
1層：柱痕跡 2層：掘方埋土



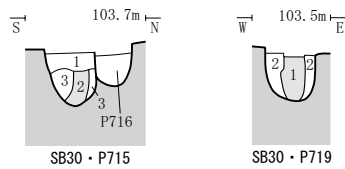
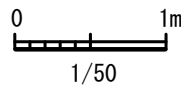
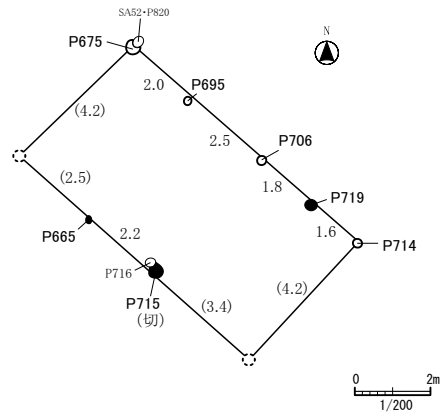
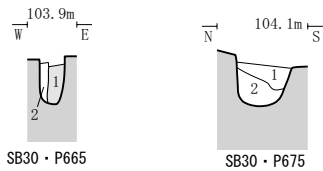
SB29 掘立柱建物跡 構成Pit属性表

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土		
P619	円形	28	27	37	103.5	10Bd	円形	14	12	4B	あ	
P667	円形	23	23	14	103.6	10Bd	-	-	-	-	-	
P678	円形	24	24	32	103.2	10Bd	-	-	-	-	-	
P712	円形	30	26	21	103.2	9Bd	楕円形	11	8	5B	あ	
P803	円形	32	32	27	103.1	9Bd	円形	16	15	9B	あ	
P809	円形	27	23	20	103.5	9Bd	-	-	-	-	-	
P811	円形	26	23	26	103.6	9Bd	円形	16	13	9B	あ	

【SB30 掘立柱建物跡】

- [建物間数] 桁行4間×梁行1間 (推定) 東西棟建物跡
- [建物方向] N-49° -W
- [構成Pit] P665. 675. 695. 706. 714. 715. 719
- [平面規模] 桁行7.9m×梁行4.2m (推定)
- [柱間寸法] 桁行1.6～2.5m・梁行4.2m (推定)
- [出土遺物] なし
- [重複] SB30→SA52、P716

SB30



SB30 掘立柱建物跡 構成Pit属性表

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土		
P665	円形	21	20	34	103.4	10Bd	円形	11	11	3B	あ	
P675	円形	40	36	33	103.6	1層: 10Bc 2層: 9Bd	-	-	-	-	-	SA52・P820より古
P695	円形	21	20	12	103.5	11Bd	-	-	-	-	-	
P706	円形	24	23	16	103.2	9Bd	-	-	-	-	-	
P714	円形	22	22	13	103.1	9Be	-	-	-	-	-	
P715	円形?	37	(35)	40	103.1	切穴: 9Be 掘埋: 10Be	楕円形	13	10	5B	あ	柱切取 P716より古
P719	楕円形	33	28	34	102.9	5Be	円形	15	14	5B	あ	

【P665・719】
1層：柱痕跡 2層：掘方埋土
【P675】
1・2層：堆積土
【P715】
1層：堆積土 (柱切取) 2層：柱痕跡
3層：掘方埋土

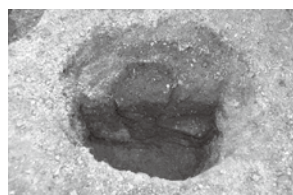
第86図 SB29・30 掘立柱建物跡



1. 平場 A-1 掘立柱建物跡完掘状況 (西から撮影) ※柱穴列跡も含む



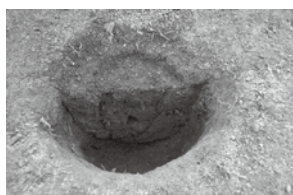
2. 平場 A-4 掘立柱建物跡完掘状況 (北東から撮影) ※柱穴列跡も含む



3. SB1・P30 断面 (北から)



4. SB2・P77 断面 (北から)



5. SB4・P28 断面 (東から)



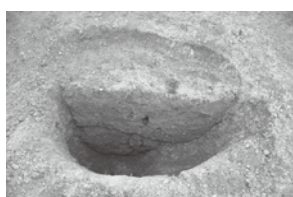
6. SB7・P80 (左)、SB6・P81 (右) 断面 (南から)



7. SB8・P199 断面 (東から)



8. SB10・P198 断面 (東から)



9. SB12・P90 断面 (北から)



10. SB11・P212 (左)、SB13・P213 (右) 断面 (東から)

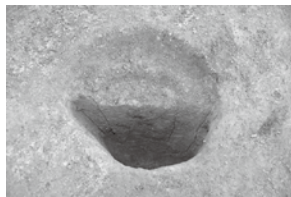
第87図 掘立柱建物跡 完掘状況・柱穴断面 (1)



1. 平場 A-5 掘立柱建物跡完掘状況 (北東から撮影) ※柱穴列跡も含む



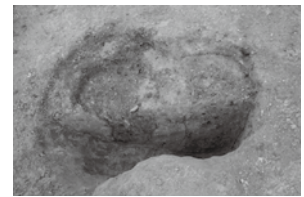
2. SB14・P220 断面 (東から)



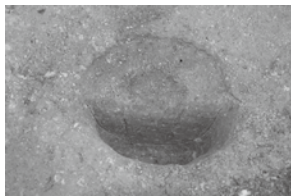
3. SB15・P221 断面 (東から)



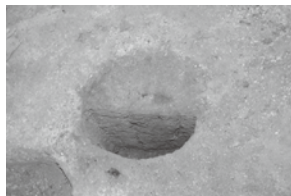
4. SB16・P215 断面 (南から)



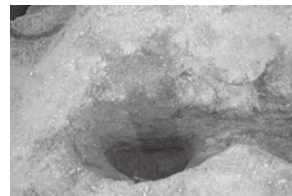
5. SB17・P478 (左)、
P479 (右) 断面 (東から)



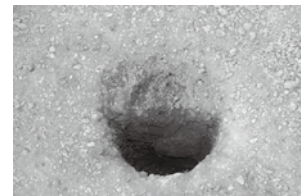
6. SB18・P457 断面 (南から)



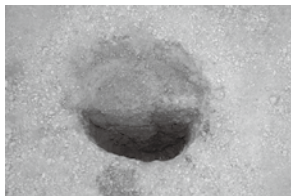
7. SB21・P807 断面 (南から)



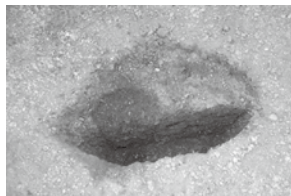
8. SB22・P737 断面 (南から)



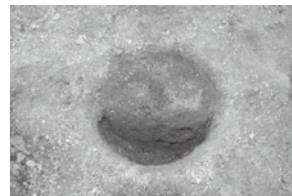
9. SB23・P730 断面 (南から)



10. SB24・P757 断面 (東から)



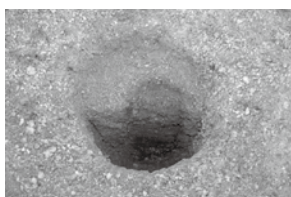
11. SB25・P726 断面 (東から)



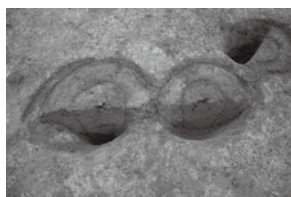
12. SB27・P656 断面 (北から)



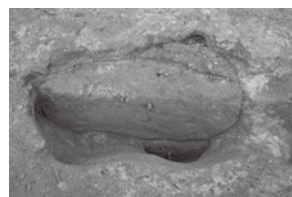
13. P743 (左)、SB28・P744 (右)
断面 (南から)



14. SB29・P619 断面 (南から)



15. SB33・P863 (左)、SB31
・P864 (右) 断面 (東から)



16. SB32・P861 (上)、SB33・
P875 (下) 断面 (南から)



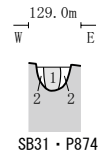
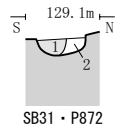
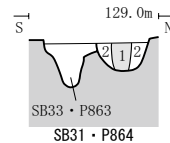
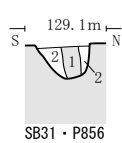
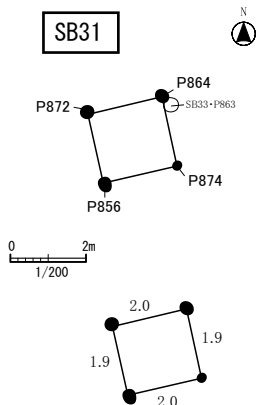
17. SB33・P859 断面 (東から)

第88図 掘立柱建物跡 完掘状況・柱穴断面 (2)

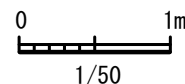
④平場 A-6 で検出した掘立柱建物跡 (第 88~91 図)

【SB31 掘立柱建物跡】

- [建物間数] 桁行1間×梁行1間 正方形建物跡
- [建物方向] N-12° -W
- [構成 Pit] P856.864.872.874
- [平面規模] 桁行2.0m×梁行1.9m
- [柱間寸法] 桁行2.0m・梁行1.9m
- [出土遺物] なし
- [重複] SB33→SB31



【P856・864・872・874】
1層：柱痕跡 2層：掘方埋土

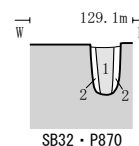
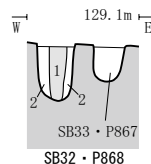
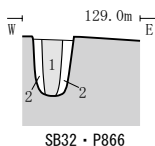
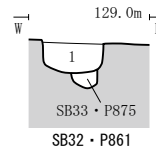
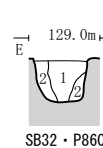
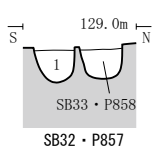
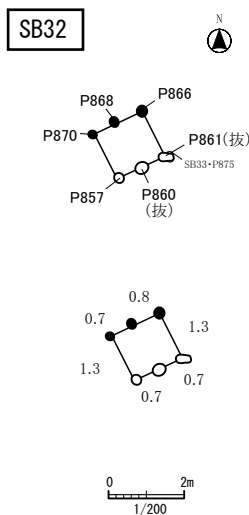


SB31 掘立柱建物跡 構成 Pit 属性表

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸：cm、底面標高：m)					柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸			堆土
P856	楕円形	37	31	22	128.8	12Bd	円形	13	10	9A	あ	
P864	円形	34	33	19	128.6	12Bc	楕円形	15	12	13B	あ	SB33・P863より新
P872	円形	33	32	12	128.8	12Bd	円形	20	17	13B	あ	
P874	円形	22	20	14	128.6	12Bd	楕円形	10	9	13B	あ	

【SB32 掘立柱建物跡】

- [建物間数] 桁行2間×梁行1間 正方形建物跡
- [建物方向] N-27° -W
- [構成 Pit] P857.860.861.866.868.870
- [平面規模] 桁行1.5m×梁行1.3m
- [柱間寸法] 桁行0.7~0.8m・梁行1.3m
- [出土遺物] なし
- [重複] SB33→SB32



【P857】1層：堆積土
【P860】1層：堆積土 (柱抜取) 2層：掘方埋土
【P861】1層：堆積土 (柱抜取)
【P866・868・870】1層：柱痕跡 2層：掘方埋土



SB32 掘立柱建物跡 構成 Pit 属性表

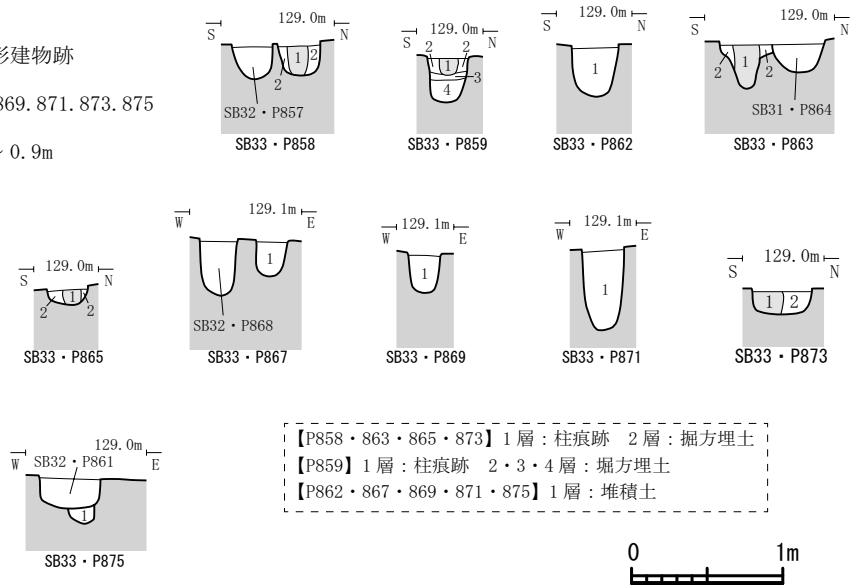
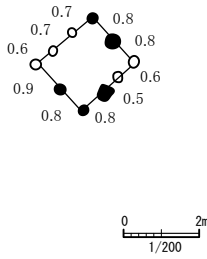
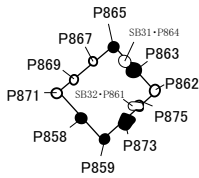
遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸：cm、底面標高：m)					柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸			堆土
P857	円形	29	27	19	128.6	12Bd	-	-	-	-	-	
P860	楕円形	35	31	27	128.6	抜穴：10Ae・f 掘埋：12Bd	-	-	-	-	-	柱抜取 堆土：炭片
P861	不整形	41	31	18	128.6	抜穴：13Ae	-	-	-	-	-	柱抜取 SB33・P875より新
P866	円形	30	28	38	128.5	10Bd	円形	15	15	14B	あ	
P868	円形	27	23	35	128.5	10Bd	楕円形	15	12	14B	あ	
P870	円形	23	22	33	128.6	10Bd	円形	12	12	14B	あ	

第 89 図 SB31・32 掘立柱建物跡

【SB33 掘立柱建物跡】

- [建物間数] 桁行3間×梁行2間 正方形建物跡
- [建物方向] N-42° -W
- [構成 Pit] P858. 859. 862. 863. 865. 867. 869. 871. 873. 875
- [平面規模] 桁行2.0m×梁行1.7m
- [柱間寸法] 桁行0.5～0.8m・梁行0.8～0.9m
- [出土遺物] なし
- [重複] SB33→SB31・32

SB33



【P858・863・865・873】1層：柱痕跡 2層：掘方埋土
 【P859】1層：柱痕跡 2・3・4層：堀方埋土
 【P862・867・869・871・875】1層：堆積土

SB33 掘立柱建物跡 構成 Pit 属性表

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)					柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸			堆土
P858	円形	29	25	20	128.7	12Bd	楕円形	15	12	11A	あ	
P859	円形	27	25	29	128.5	掘埋1: 12Bd 掘埋2: 13Bc 掘埋3: 12Bd	円形	12	11	11A	い	
P862	円形	31	26	30	128.5	12Bd	-	-	-	-	-	
P863	円形?	39	(34)	31	128.5	12Bd	円形	19	15	13B	う	SB31・P864より古
P865	円形	28	28	12	128.8	12Bd	円形	10	10	13B	あ	
P867	円形	23	21	22	128.7	12Bd	-	-	-	-	-	
P869	円形	25	23	25	128.7	12Bd	-	-	-	-	-	
P871	円形	27	26	53	128.4	12Bd	-	-	-	-	-	
P873	不整形	41	36	20	128.6	12Bd	不整形	23	21	13B	あ	
P875	円形?	30	(24)	29	128.5	12Be	-	-	-	-	-	SB32・P861より古

第90図 SB33 掘立柱建物跡



第91図 平場A-6 掘立柱建物跡 完掘状況 (西から撮影)

2) 柱穴列跡 (第 64～70・92～114 図、第 6・7 表)

今回の調査では、柱穴列跡を 70 条 (SA1～70) 確認した。柱穴列跡は平場 A-1～5 といった比較的面積の広い平場上や斜面部に位置する平場などに分布する (第 6 表)。その内訳は、平場 A-1 で 11 条 (SA1～11 : 第 64 図)、平場 A-2 で 2 条 (SA18・19 : 第 65 図)、緩斜面 1 の周辺部で 6 条 (SB12～17 : 第 65 図)、平場 A-3 の周辺部で 13 条 (SB20～32 : 第 66 図)、緩斜面 2 で 4 条 (SA33・39～41 : 第 67 図)、平場 A-4 で 5 条 (SA34～38 : 第 68 図)、平場 A-5 で 29 条 (SA42～70 : 第 69・70 図) である。

以下、その概要について説明する。なお、それぞれの建物の詳細については、第 92～112 図、第 7 表を参照していただきたい。

【柱穴列の特徴】

今回の調査で確認した柱穴列跡の規模は、1～13 間、総長 2.4～28.9m を測る。柱間寸法は 0.3～7.1m とばらつきがある。その方向は、南北方向に伸びるものと東西方向に伸びるものが確認されたが、特に規則性は認められない。それぞれの柱穴掘方は、直径 30cm 前後の円形を呈するものが多く、今回の調査区で確認されている掘立柱建物跡の柱穴と規模・埋土の面で類似する。

【柱穴列の配置・性格】

比較的面積の広い平場 (平場 A) にある柱穴列のほとんどは平場の周縁部付近に、斜面部に位置する幅の狭い平場 (平場 B) 上に位置する柱穴列は平場と並行する形で配置されている。

今回検出した柱穴列の性格については、その配置や掘立柱建物跡との位置関係から、平場外周等を区画するための柵であったと推定される。ただし、柱間が 1 間の柱穴列跡 (SA68～70) については、柱穴の規模・配置などから別の性格を有していた可能性が考えられる。

【出土遺物と所属時期】

柱穴列として認定した柱穴から遺物は出土していない。柱穴の特徴が掘立柱建物の柱穴と類似していること、掘立柱建物跡の位置関係などから、建物と同時期のものと考えられ、その時期はおおむね中世に属するものと推定される。

第 6 表 柱穴列の検出位置一覧

検出位置		遺構数	遺構名	掲載図版	
平場 A-1	平坦面周縁部	11	SA1～11	全体図 : 第 64 図/個別図第 92～94 図	
平場 A-2	平坦面西端	2	SA18・19	全体図 : 第 65 図/個別図第 96・97 図	
緩斜面 1	北側端部	2	SA12・13	全体図 : 第 65 図/個別図第 95・96 図	
	南斜面	平場 B-6 平坦面	1		SA14
		平場 B-7 平坦面	1		SA15
	平場 B-8 平坦面	2	SA16・17		
平場 A-3	北斜面	2	SA20・21	全体図 : 第 66 図/個別図第 97～101 図	
	平坦面	7	SA22～26・31・32		
	南斜面	平場 B-4 平坦面	2		SA27・28
平場 B-6 平坦面		2	SA29・30		
緩斜面 2	平場 A-3 西側付近	1	SA33	全体図 : 第 67 図/個別図第 101・103 図	
	平場 B-13 平坦面	3	SA39～41		
平場 A-4	平坦面周縁部	5	SA34～38	全体図 : 第 68 図/個別図第 101・102 図	
平場 A-5	平坦面周縁部・平坦面内部	29	SA42～70	全体図 : 第 69・70 図/個別図第 104～112 図	

第7表 鷲足館跡 柱穴列跡(SA1～70) 一覧表

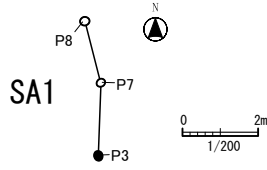
遺構No.	規模	方向	平面規模		備考	遺構No.	規模	方向	平面規模		備考
			総長(m)/柱間寸法(m)						総長(m)/柱間寸法(m)		
SA1	2間	南北	3.7	1.7+2.0	構成Pit:P3・7・8	SA36	5間以上	南北	3.9以上	1.1+0.4+1.0+0.9+0.5	構成Pit:P512-513-517-518-523-524
SA2	3間	南北	5.7	2.7+1.9+1.1	構成Pit:P168・169・252-264	SA37	3間	東西	10.4	4.3+3.7+2.4	構成Pit:P450-456-484-535
SA3	6間	東西	13.8	3.7+2.8+2.3+1.7+2.0+1.3	構成Pit:P41・74・85・112・118・232-233	SA38	3間	東西	8.4	3.4+2.7+2.3	構成Pit:P451-534-537-539
SA4	6間	東西	12.2	1.7+2.4+2.1+1.5+2.0+2.5	構成Pit:P4・15-42-61-73-89-163	SA39	5間	南北	4.8	0.8+1.0+0.3+1.5+1.2	構成Pit:P836～839-842-845
SA5	6間	東西	16.1	2.8+2.1+2.1+2.9+2.8+3.4	構成Pit:P170-175-181-182-197-211-214 重複:P180→SA5	SA40	4間	南北	3.7	1.5+0.9+0.7+0.6	構成Pit:P841-843-846～848
SA6	7間	東西	15.1	1.8+1.5+2.0+2.1+1.9+2.1+3.7	構成Pit:P237～239-241～244-247 重複:SA7→SA6	SA41	1間以上	南北	2.8以上	2.8	構成Pit:P844-851
SA7	4間	東西	14.3	3.5+4.1+3.9+2.8	構成Pit:P171-178-240-246-248 重複:SA7→SA6	SA42	5間	南北	15.7	3.8+2.2+3.3+3.7+2.7	構成Pit:P777～781-790
SA8	2間	東西	4.4	1.5+2.9	構成Pit:P172-174-176	SA43	5間	南北	12.7	2.8+2.3+2.6+2.2+2.8	構成Pit:P775-776-782～784-791
SA9	3間	東西	12.1	3.3+5.0+3.8	構成Pit:P173-177-191-245 重複:P190→SA9→SB14	SA44	3間	東西	6.8	2.2+2.6+2.0	構成Pit:P772-786-788-789
SA10	2間	東西	2.4	1.3+1.1	構成Pit:P114-115-119	SA45	(5間)	南北	10.5	(2.5)+(2.0)+(1.9)+(1.9)+2.2	構成Pit:P753-785-787-797
SA11	2間	南北	5.1	2.5+2.6	構成Pit:P209-219-250	SA46	(3間)	南北	7.9	2.4+(3.2)+(2.3)	構成Pit:P659-750-770
SA12	6間	東西	5.6	1.5+0.9+0.3+1.5+0.7+0.7	構成Pit:P311～317 重複:SA12→整地層	SA47	5間	南北	11.4	2.7+2.1+2.7+1.6+2.3	構成Pit:P648-684-749-752-766-801
SA13	7間	東西	9.9	1.1+1.1+0.9+2.0+2.6+1.1+1.1	構成Pit:P318～320-322-325-327～329 重複:SD2→SA13→整地層	SA48	(6間)	南北	12.5	2.3+(1.8)+(2.1)+2.5+1.8+2.0	構成Pit:P643-661-758-759-798-799
SA14	8間	南北	11.2	1.4+1.6+1.0+1.7+2.2+1.2+0.6+1.5	構成Pit:P283～285-288～293	SA49	(7間)	南北	13.8	(1.4)+(2.3)+(2.5)+(2.1)+(1.7)+(1.5)+1.3	構成Pit:P675-767-800-808-822
SA15	4間	南北	5.0	1.2+1.3+1.1+1.4	構成Pit:P277-278-280～282	SA50	5間	南北	15.2	2.9+3.1+3.0+3.0+3.2	構成Pit:P573-574-616-622-647-662 重複:整地層→SA50
SA16	3間	南北	11.6	1.3+7.1+2.1+3.2	構成Pit:P275-276-294-296	SA51	3間	南北	7.2	2.7+2.1+2.4	構成Pit:P671-698-705-733
SA17	3間	東西	4.1	2.8+0.9+0.4	構成Pit:P271～274	SA52	3間	南北	7.2	2.5+2.7+2.0	構成Pit:P694-710-820-821 重複:SB30→SA52
SA18	2間	南北	4.2	1.2+3.0	構成Pit:P266-268-269	SA53	2間	東西	4.6	1.6+3.0	構成Pit:P649-697-709
SA19	2間	南北	4.0	1.7+2.3	構成Pit:P265-267-270	SA54	3間	南北	5.2	0.8+3.8+0.6	構成Pit:P638-639-708-713
SA20	3間	東西	5.4	1.2+1.5+2.7	構成Pit:P395～398	SA55	3間	東西	8.1	3.8+2.4+1.9	構成Pit:P629-644-645-668
SA21	5間	東西	9.3	1.9+1.7+2.0+2.2+1.5	構成Pit:P387～391-394 重複:SA21→整地層	SA56	2間	東西	5.7	2.5+3.2	構成Pit:P628-631-660
SA22	13間	東西	28.9	2.7+2.3+1.6+3.3+1.6+2.0+2.1+2.3+1.9+3.0+1.1+0.7+4.3	構成Pit:P334-337-342-343-345-346-350-352-354-356-359-362-363-374	SA57	2間	東西	5.8	2.6+3.2	構成Pit:P620-813-815
SA23	4間	東西	12.1	2.7+3.4+3.0+3.0	構成Pit:P348-355-366-370-379	SA58	4間	南北	11.7	2.4+3.1+3.1+3.1	構成Pit:P562-566-571-617-618 重複:整地層→SA58
SA24	3間	東西	9.4	2.7+3.1+3.6	構成Pit:P357-361-367-384	SA59	3間	南北	6.1	1.6+2.1+2.4	構成Pit:P575-576-615-641
SA25	6間	東西	8.0	1.6+0.7+0.8+1.9+0.8+2.2	構成Pit:P382-408～413	SA60	2間	南北	4.8	2.2+2.6	構成Pit:P577-583-642
SA26	5間	東西	15.4	2.0+2.3+1.6+3.4+6.1	構成Pit:P338-340-347-349-351-353	SA61	2間	南北	5.9	3.0+2.9	構成Pit:P586-587-816
SA27	4間	東西	6.1	1.5+0.9+1.5+2.2	構成Pit:P415-417～420 重複:SA27→整地層	SA62	2間	南北	4.2	2.0+2.2	構成Pit:P591-598-653
SA28	8間	東西	14.2	1.5+0.8+2.2+1.2+2.9+2.5+1.8+1.3	構成Pit:P401-402-405～407-414-421～423 重複:SA28→整地層	SA63	4間	南北	7.5	2.2+1.5+1.8+2.0	構成Pit:P593-611-614-814-835
SA29	4間	東西	12.2	1.0+2.4+4.3+4.5	構成Pit:P400-403-404-426-430	SA64	3間	南北	5.7	2.2+2.0+1.5	構成Pit:P599-604-630-633
SA30	3間	東西	5.4	2.7+0.9+1.8	構成Pit:P399-424-425-428 重複:P427→SA30	SA65	2間	南北	2.4	1.4+1.0	構成Pit:P596-817-818
SA31	3間	南北	5.0	1.2+2.9+0.9	構成Pit:P369-371-380-386	SA66	6間	南北	10.5	1.3+1.1+1.6+1.5+2.3+2.7	構成Pit:P551～554-557-560-564 重複:SA66→P561
SA32	3間	南北	4.6	2.3+1.8+0.5	構成Pit:P364-378-381-385	SA67	3間	南北	3.8	1.0+1.1+1.7	構成Pit:P548-549-555-556
SA33	1間以上	南北	2.2以上	2.2	構成Pit:P372-373	SA68	1間	南北	4.3	4.3	構成Pit:P606-609 重複:P608→SA68
SA34	5間	南北	8.2	2.8+2.6+0.7+0.9+1.2	構成Pit:P432-436-495-502-504-545	SA69	1間	南北	3.8	3.8	構成Pit:P578-601
SA35	3間	南北	6.6	1.8+2.9+1.9	構成Pit:P433-437-497-509	SA70	1間	南北	3.7	3.7	構成Pit:P607-610

※柱間寸法は、東西方向のものは西から、南北方向のものは北から順に記した。

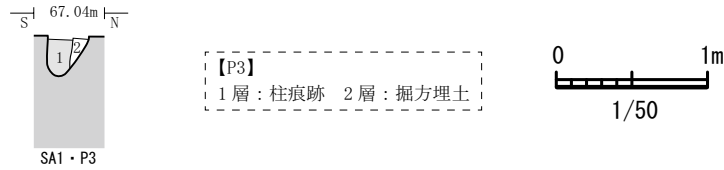
※柱の一部が残存していないと判断した柱穴列の柱間寸法は、実際の計測値：●、推定値：○とし、総長(●)、「●+(●)+(●)」と表記。

【SA1 柱穴列跡】

[構成 Pit] P3, 7, 8
 [規模] 2間・総長3.7m
 [柱間寸法] 1.7～2.0m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし / [重複] なし

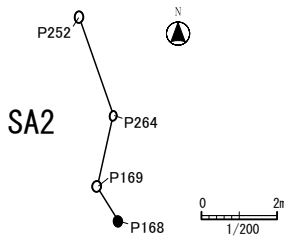


遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA1	P3	円形	27	24	26	66.6	7Be	円形	15	14	6B	あ	
	P7	円形	23	22	10	66.6	7Ba	-	-	-	-	-	
	P8	円形	28	27	63	66.0	7Bd	-	-	-	-	-	

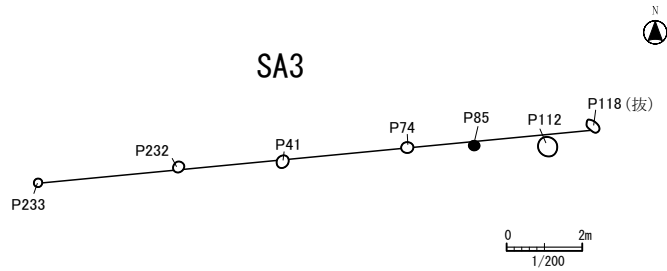


【SA2 柱穴列跡】

[構成 Pit] P168, 169, 252, 264
 [規模] 3間・総長5.7m
 [柱間寸法] 1.1～2.7m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし / [重複] なし

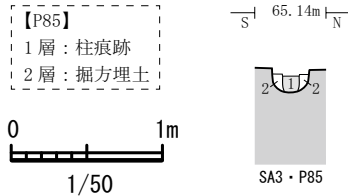


遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA2	P168	円形	29	25	20	66.5	7Bc	円形	9	9	9B	あ	
	P169	円形	28	26	8	66.8	7Bc	-	-	-	-	-	
	P252	楕円形	26	20	6	66.8	9Bd	-	-	-	-	-	
	P264	円形	27	17	7	67.0	8Ad	-	-	-	-	-	



【SA3 柱穴列跡】

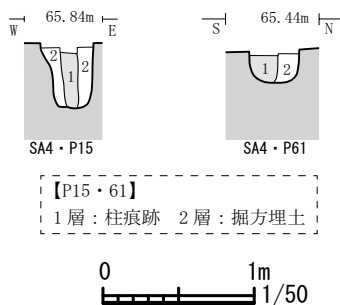
[構成 Pit] P41, 74, 85, 112, 118, 232, 233
 [規模] 6間・総長13.8m
 [柱間寸法] 1.7～3.7m
 [方向] 東西
 [出土遺物] なし / [重複] なし



遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA3	P41	円形	37	34	25	65.2	9Be	-	-	-	-	-	
	P74	円形	37	34	12	64.8	9Bc	-	-	-	-	-	
	P85	円形	26	25	17	64.6	7Bc	円形	11	10	9B	あ	
	P112	円形	45	42	11	64.5	9Bc	-	-	-	-	-	
	P118	円形	28	28	35	64.1	抜穴: 8Bd 掘埋: 7Bd	-	-	-	-	-	柱抜取
	P232	円形	33	30	25	65.1	9Bc	-	-	-	-	-	
	P233	円形	23	21	11	65.5	9Bc	-	-	-	-	-	

【SA4 柱穴列跡】

[構成 Pit] P4, 15, 42, 61, 73, 89, 163
 [規模] 6間・総長12.2m
 [柱間寸法] 1.5～2.5m
 [方向] 東西
 [出土遺物] なし / [重複] なし

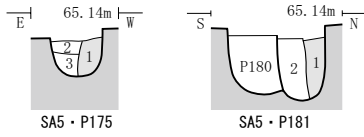
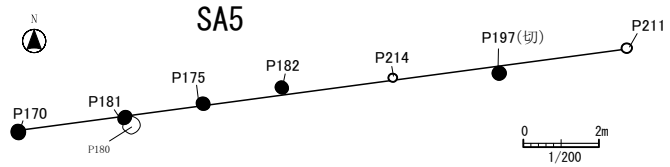


遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA4	P4	円形	31	30	11	65.6	7Be	-	-	-	-	-	
	P15	円形	33	31	51	65.1	7Bd	円形	11	10	9B	あ	
	P42	円形	25	25	9	65.2	9Be	-	-	-	-	-	
	P61	円形	33	33	23	65.0	7Bc	円形	19	18	9B	あ	
	P73	円形	45	43	15	64.8	9Bc	-	-	-	-	-	
	P89	楕円形	40	35	40	64.3	1層: 7Bc 2層: 9Bc	-	-	-	-	-	
	P163	円形	26	20	17	65.3	9Bc	-	-	-	-	-	

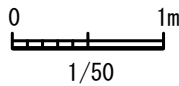
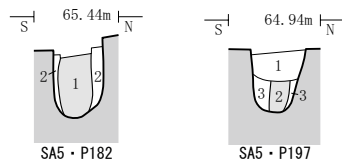
第92図 SA1～4 柱穴列跡

【SA5 柱穴列跡】

[構成 Pit] P170. 175. 181. 182. 197. 211. 214
 [規模] 6間・総長 16.1m
 [柱間寸法] 2.1～3.4m
 [方向] 東西
 [出土遺物] なし / [重複] P180→SA5



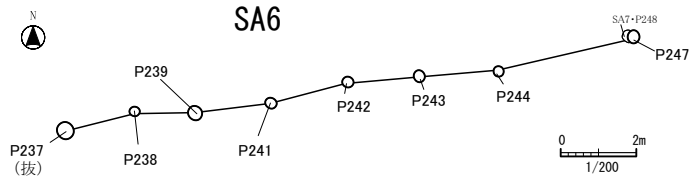
【P175】1層：柱痕跡 2・3層：掘方埋土
 【P181・182】1層：柱痕跡 2層：掘方埋土
 【P197】1層：堆積土（柱切取） 2層：柱痕跡 3層：掘方埋土



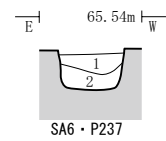
遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸：cm、底面標高：m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA5	P170	円形	36	36	20	65.5	7Bc	円形	20	17	9B	あ	
	P175	円形	32	29	26	65.1	掘埋1:7Bc 掘埋2:9Be	円形	15	14	5B	あ	
	P181	円形	34	33	50	65.0	9Be・f	円形	17	14	5B	あ	P180より新堆f:炭片少量
	P182	円形	34	33	49	64.8	9Bd	楕円形	20	16	5B	あ	
	P197	円形	36	35	44	64.2	切穴:9Bd 掘埋:7Bc	円形	13	10	9B	あ	柱切取
	P211	円形	24	24	26	64.2	7Bd	-	-	-	-	-	-
P214	円形	25	23	8	64.9	7Bd	-	-	-	-	-	-	

【SA6 柱穴列跡】

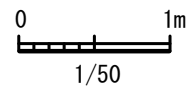
[構成 Pit] P237～239. 241～244. 247
 [規模] 7間・総長 15.1m
 [柱間寸法] 1.5～3.7m
 [方向] 東西
 [出土遺物] なし
 [重複] SA7→SA6



遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸：cm、底面標高：m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA6	P237	円形	44	43	26	64.9	抜穴1:9Be 抜穴2:9Bd・f	-	-	-	-	-	柱抜取 堆f:炭片
	P238	円形	25	24	10	65.0	7Bc	-	-	-	-	-	
	P239	楕円形	40	35	6	64.9	7Bd	-	-	-	-	-	
	P241	円形	30	30	10	64.8	7Bd	-	-	-	-	-	
	P242	円形	27	27	30	64.5	7Bd	-	-	-	-	-	
	P243	円形	28	26	28	64.3	7Bd	-	-	-	-	-	
	P244	円形	30	27	30	64.2	7Bd	-	-	-	-	-	
P247	円形	32	30	44	63.7	9Bd	-	-	-	-	-	SA7・P248より新	

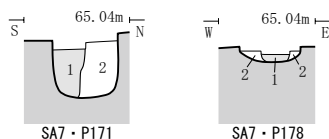
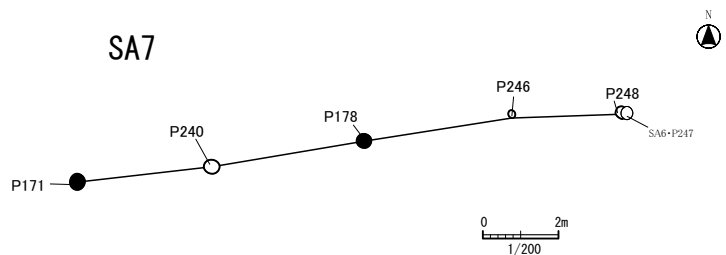


【P237】
1・2層：堆積土（柱抜取）

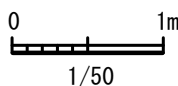


【SA7 柱穴列跡】

[構成 Pit] P171. 178. 240. 246. 248
 [規模] 4間・総長 14.3m
 [柱間寸法] 2.8～4.1m
 [方向] 東西
 [出土遺物] なし / [重複] SA7→SA6



【P171・178】
1層：柱痕跡 2層：掘方埋土



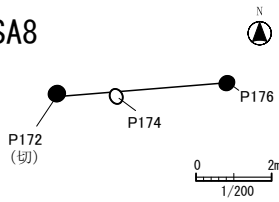
遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸：cm、底面標高：m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA7	P171	楕円形	50	44	40	64.9	7Bc	円形	22	22	9B	あ	
	P178	楕円形	43	36	11	64.7	7Bd	円形	18	15	9B	あ	
	P240	円形	40	38	13	64.8	7Bd	-	-	-	-	-	
	P246	円形	19	17	17	64.3	7Bd	-	-	-	-	-	
	P248	円形?	26	(10)	42	63.7	7Bd	-	-	-	-	-	SA6・P247より古

第93図 SA5～7 柱穴列跡

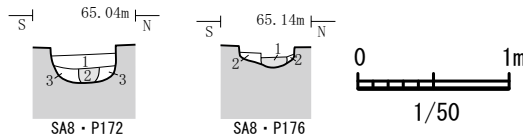
【SA8 柱穴列跡】

[構成 Pit] P172. 174. 176
 [規模] 2間・総長4.4m
 [柱間寸法] 1.5～2.9m
 [方向] 東西
 [出土遺物] なし / [重複] なし

SA8



遺構番号	柱穴・ビット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA8	P172	円形	45	42	28	65.0	切穴: 7Bc 掘埋: 5Be	楕円形	17	13	9B	あ	柱切取
	P174	円形	37	33	16	65.0	5Be	-	-	-	-	-	-
	P176	円形	38	38	12	64.9	9Bd	円形	16	16	5B	あ	-

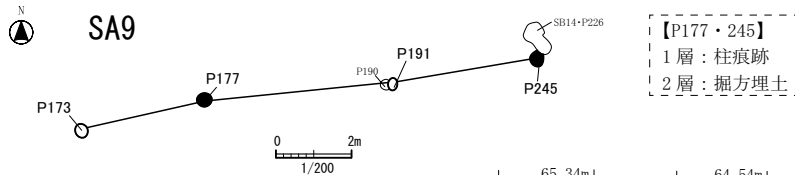


【P172】
 1層: 堆積土 (柱切取) 2層: 柱痕跡
 3層: 掘方埋土
 【P176】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土

【SA9 柱穴列跡】

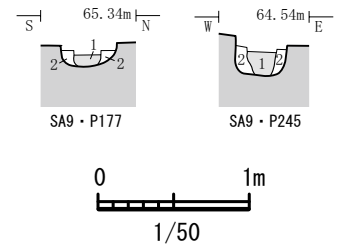
[構成 Pit] P173. 177. 191. 245
 [規模] 3間・総長12.1m
 [柱間寸法] 3.3～5.0m
 [方向] 東西
 [出土遺物] なし
 [重複] P190→SA9→SB14

SA9



【P177・245】
 1層: 柱痕跡
 2層: 掘方埋土

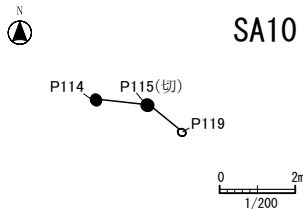
遺構番号	柱穴・ビット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA9	P173	円形	33	33	20	65.2	9Be	-	-	-	-	-	-
	P177	円形	39	38	14	65.0	7Bd	楕円形	21	17	9B	あ	-
	P191	円形	29	26	13	64.5	9Bd	-	-	-	-	-	P190より新
	P245	円形	37	37	25	64.0	7Bd	円形	19	18	9B	あ	SB14・P226より古



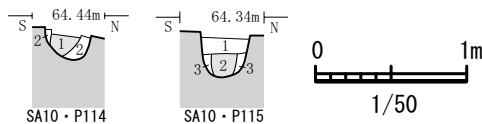
【SA10 柱穴列跡】

[構成 Pit] P114. 115. 119
 [規模] 2間・総長2.4m
 [柱間寸法] 1.1～1.3m
 [方向] 東西
 [出土遺物] なし / [重複] なし

SA10



遺構番号	柱穴・ビット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA10	P114	円形	32	28	20	64.1	8Be	円形	18	15	9B	あ	-
	P115	円形	33	32	29	63.9	切穴: 7Bc 掘埋: 8Be	円形	18	17	9B	あ	柱切取
	P119	円形	25	24	18	64.0	8Be	-	-	-	-	-	-

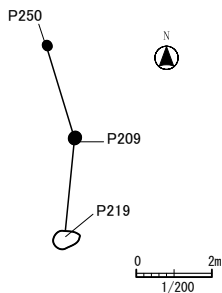


【P114】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土
 【P115】
 1層: 堆積土 (柱切取) 2層: 柱痕跡
 3層: 掘方埋土

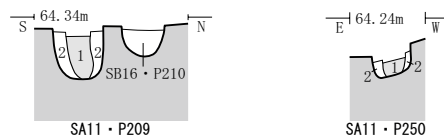
【SA11 柱穴列跡】

[構成 Pit] P209. 219. 250
 [規模] 2間・総長5.1m
 [柱間寸法] 2.5～2.6m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし / [重複] なし

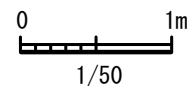
SA11



遺構番号	柱穴・ビット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA11	P209	円形	36	35	32	63.8	7Bd	円形	16	16	9B	あ	-
	P219	楕円形	62	46	35	63.8	1層: 7Bc 2層: 7Be	-	-	-	-	-	-
	P250	円形	26	26	15	63.8	9Bd	円形	14	13	4B	あ	-



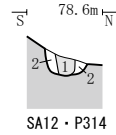
【P209・250】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土



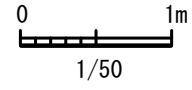
第94図 SA8～11 柱穴列跡

【SA12 柱穴列跡】

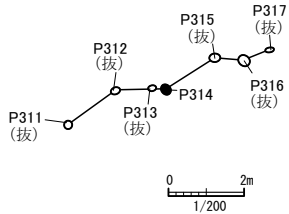
- [構成 Pit] P311 ~ 317
- [規模] 6間・総長 5.6m
- [柱間寸法] 0.3 ~ 1.5m
- [方向] 東西
- [出土遺物] なし
- [重複] SA12→整地層



【P314】
1層：柱痕跡 2層：掘方埋土



SA12

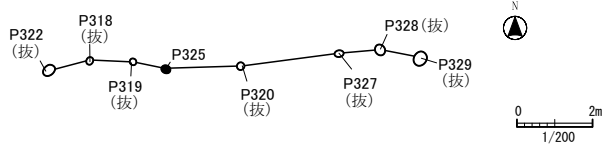


遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸：cm、底面標高：m)						柱痕跡				柱 類 型	備 考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA12	P311	円形	22	20	28	78.6	抜穴：7Be	-	-	-	-	整地層より古	
	P312	円形	25	24	13	78.2	抜穴：7Be	-	-	-	-	整地層より古	
	P313	円形	24	23	14	78.2	抜穴：7Be	-	-	-	-	整地層より古	
	P314	円形	29	26	15	78.2	7Be	円形	12	11	9B	あ	整地層より古
	P315	円形	30	29	9	77.6	抜穴：7Be	-	-	-	-	整地層より古	
	P316	楕円形	38	30	14	77.6	抜穴：7Be	-	-	-	-	整地層より古	
	P317	円形	20	17	13	77.4	抜穴：7Be	-	-	-	-	整地層より古	

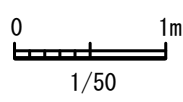
【SA13 柱穴列跡】

- [構成 Pit] P318 ~ 320. 322. 325. 327 ~ 329
- [規模] 7間・総長 9.9m
- [柱間寸法] 0.9 ~ 2.6m
- [方向] 東西
- [出土遺物] なし
- [重複] SD2→SA13→整地層

SA13



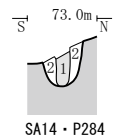
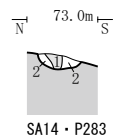
【P325】
1層：柱痕跡 2層：掘方埋土



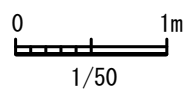
遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸：cm、底面標高：m)						柱痕跡				柱 類 型	備 考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA13	P318	円形	20	19	12	76.6	抜穴：7Be	-	-	-	-	整地層より古	
	P319	円形	19	18	9	76.5	抜穴：7Be	-	-	-	-	整地層より古	
	P320	円形	22	21	12	76.0	抜穴：7Be	-	-	-	-	整地層より古	
	P322	円形	34	30	46	76.5	抜穴：7Be	-	-	-	-	整地層より古 柱抜取	
	P325	円形	27	24	15	76.4	7Be	円形	13	10	9B	あ	SD2より新 整地層より古
	P327	円形	24	21	20	74.9	抜穴：7Be	-	-	-	-	柱抜取	
	P328	円形	26	26	15	74.7	抜穴：7Be	-	-	-	-	柱抜取	
	P329	円形	34	31	20	74.7	抜穴：7Be	-	-	-	-	柱抜取	

【SA14 柱穴列跡】

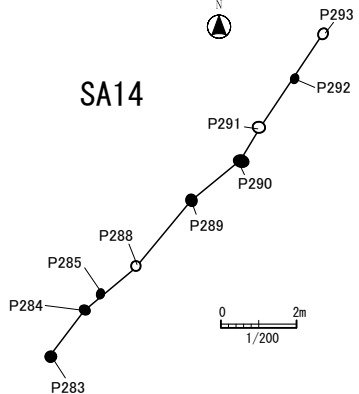
- [構成 Pit] P283 ~ 285. 288 ~ 293
- [規模] 8間・総長 11.2m
- [柱間寸法] 0.6 ~ 2.2m
- [方向] 南北
- [出土遺物] なし
- [重複] なし



【P283・284】
1層：柱痕跡 2層：掘方埋土



SA14

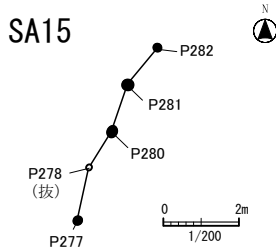


遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸：cm、底面標高：m)						柱痕跡				柱 類 型	備 考
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土		
SA14	P283	円形	29	28	14	72.7	7Bc	円形	11	11	9B	あ
	P284	楕円形	29	25	28	72.5	5Bd	円形	10	10	5B	あ
	P285	円形	25	23	13	72.6	5Bd	円形	11	10	5B	あ
	P288	円形	22	22	16	72.4	9Bd	-	-	-	-	-
	P289	円形	31	31	23	71.5	9Bc	円形	12	11	9B	あ
	P290	楕円形	40	31	10	71.2	掘埋1：10Bd 掘埋2：8Ba	円形	12	10	9B	あ
	P291	円形	34	32	14	71.3	7Bc	-	-	-	-	-
	P292	円形	23	20	10	71.2	掘埋1：10Bd 掘埋2：8Ba	円形	10	8	9B	あ
	P293	円形	26	23	11	71.2	7Bc	-	-	-	-	-

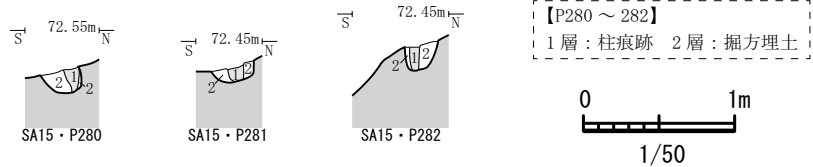
第95図 SA12 ~ 14 柱穴列跡

【SA15 柱穴列跡】

[構成 Pit] P277. 278. 280 ~ 282
 [規模] 4間・総長 5.0m
 [柱間寸法] 1.1 ~ 1.4m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし / [重複] なし

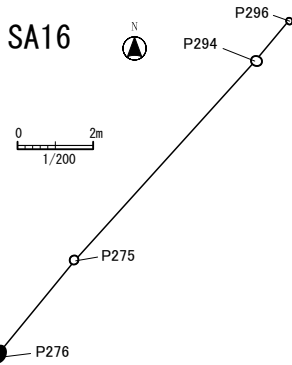


遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA15	P277	円形	28	25	25	72.0	掘埋1: 7Bd 掘埋2: 10Bd	円形	11	10	9B	あ	
	P278	円形	20	20	20	72.2	抜穴: 7Bd	-	-	-	-	-	柱抜取
	P280	円形	32	30	18	72.2	10Bc	円形	12	10	5B	あ	
	P281	円形	30	30	15	72.2	7Bc	円形	10	10	5B	あ	
	P282	円形	25	23	18	72.1	5Bc	円形	9	8	5B	あ	

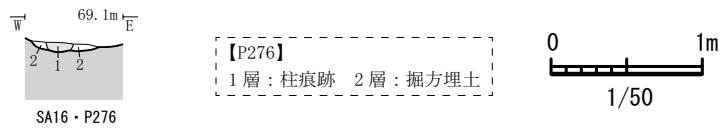


【SA16 柱穴列跡】

[構成 Pit] P275. 276. 294. 296
 [規模] 3間・総長 11.6m
 [柱間寸法] 1.3 ~ 7.1m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし / [重複] なし

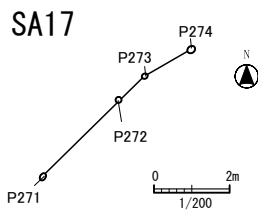


遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA16	P275	円形	25	23	6	68.9	9Be	-	-	-	-	-	
	P276	楕円形	44	36	8	68.8	9Be	円形	18	17	5B	あ	
	P294	楕円形	30	26	33	68.1	5Bd	-	-	-	-	-	
	P296	円形	14	13	12	68.4	5Bd	-	-	-	-	-	

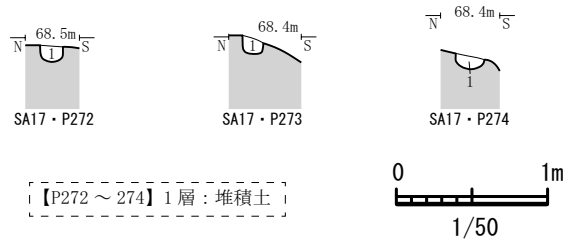


【SA17 柱穴列跡】

[構成 Pit] P271 ~ 274
 [規模] 3間・総長 4.1m
 [柱間寸法] 0.4 ~ 2.8m
 [方向] 東西
 [出土遺物] なし
 [重複] なし

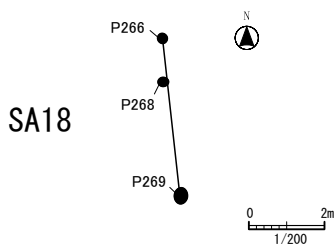


遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA17	P271	円形	22	20	7	68.4	4Bd	-	-	-	-	-	
	P272	円形	16	15	12	68.3	4Be	-	-	-	-	-	
	P273	円形	18	16	9	68.3	4Be	-	-	-	-	-	
	P274	円形	21	21	10	68.0	4Be	-	-	-	-	-	

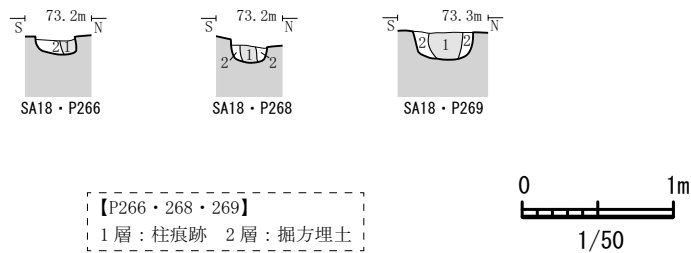


【SA18 柱穴列跡】

[構成 Pit] P266. 268. 269
 [規模] 2間・総長 4.2m
 [柱間寸法] 1.2 ~ 3.0m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし / [重複] なし



遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA18	P266	円形	27	25	11	72.9	7Bd	円形	11	10	9B	あ	
	P268	円形	26	26	16	72.8	7Bd	円形	9	7	9B	あ	
	P269	楕円形	41	33	18	72.9	7Bd	円形	23	22	9B	あ	

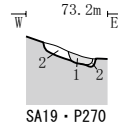
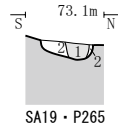
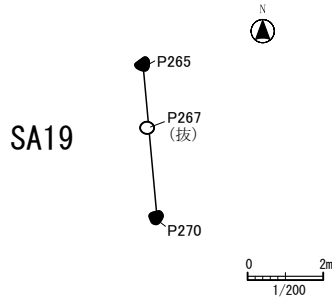


第96図 SA15 ~ 18 柱穴列跡

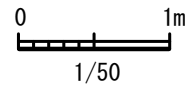
【SA19 柱穴列跡】

[構成 Pit] P265, 267, 270
 [規模] 2間・総長4.0m
 [柱間寸法] 1.7～2.3m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし
 [重複] なし

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土		
SA19 P265	円形	35	33	15	72.7	7Bd	円形	20	17	9B	う	
SA19 P267	円形	33	33	35	72.5	抜穴1: 7Bd 抜穴2: 9Bd	-	-	-	-	-	柱抜取
SA19 P270	楕円形	35	29	8	72.8	7Bd	円形	17	16	9B	あ	



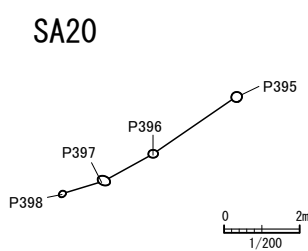
【P265・270】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土



【SA20 柱穴列跡】

[構成 Pit] P395～398
 [規模] 3間・総長5.4m
 [柱間寸法] 1.2～2.7m
 [方向] 東西
 [出土遺物] なし / [重複] なし

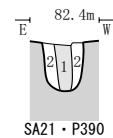
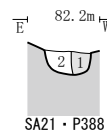
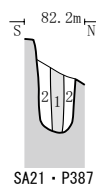
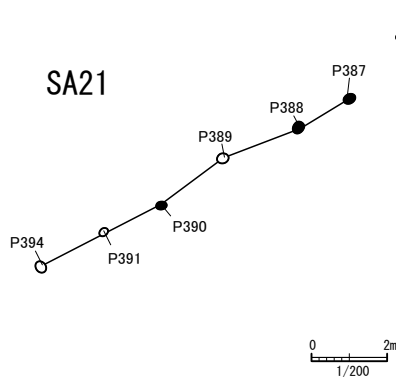
遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土		
SA20 P395	楕円形	25	20	13	82.5	4Bb	-	-	-	-	-	
SA20 P396	円形	25	24	12	82.1	4Bb	-	-	-	-	-	
SA20 P397	円形	30	28	12	82.0	4Bd	-	-	-	-	-	
SA20 P398	円形	24	20	11	82.0	4Bd	-	-	-	-	-	



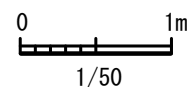
【SA21 柱穴列跡】

[構成 Pit] P387～391, 394
 [規模] 5間・総長9.3m
 [柱間寸法] 1.5～2.2m
 [方向] 東西
 [出土遺物] なし
 [重複] SA21→整地層

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土		
SA21 P387	円形	30	28	50	81.4	7Bc	円形	10	8	4B	あ	整地層より古
SA21 P388	円形	30	29	18	81.8	7Bc	楕円形	17	12	9B	あ	整地層より古
SA21 P389	円形	28	26	17	81.9	7Bc	-	-	-	-	-	整地層より古
SA21 P390	円形	27	23	30	81.9	7Bc	楕円形	16	12	4B	あ	整地層より古
SA21 P391	円形	26	24	10	82.1	7Bc	-	-	-	-	-	整地層より古
SA21 P394	円形	24	23	15	81.7	4Bb	-	-	-	-	-	整地層より古



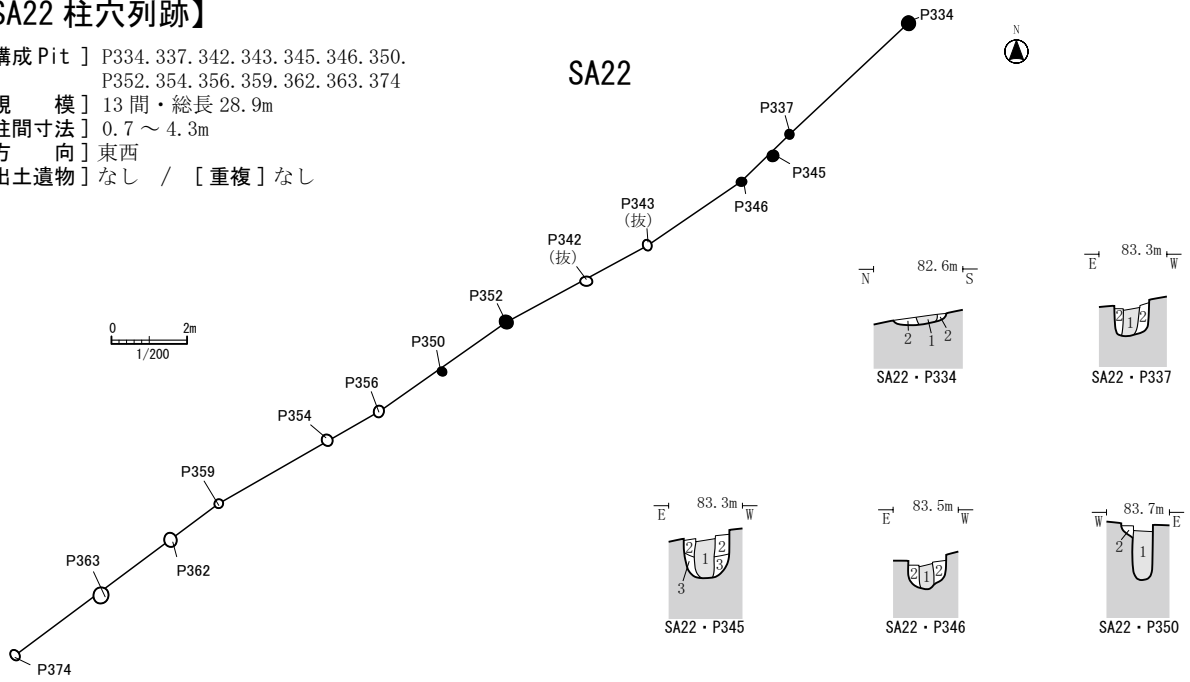
【P387・388・390】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土



第97図 SA19～21 柱穴列跡

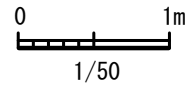
【SA22 柱穴列跡】

[構成 Pit] P334. 337. 342. 343. 345. 346. 350. 352. 354. 356. 359. 362. 363. 374
 [規模] 13間・総長 28.9m
 [柱間寸法] 0.7～4.3m
 [方向] 東西
 [出土遺物] なし / [重複] なし



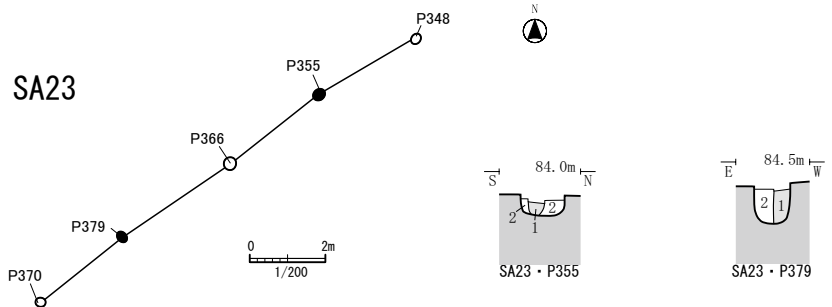
遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA22	P334	円形	38	35	3	82.3	4Ba	16	14	4B	あ		
	P337	円形	26	25	22	82.7	9Be	10	8	7B	あ		
	P342	円形	30	26	11	83.2	抜穴1: 3Be 抜穴2: 7Bd	-	-	-	-	柱採取	
	P343	円形	28	24	5	83.2	抜穴: 3Be	-	-	-	-	柱採取	
	P345	円形	30	26	32	82.8	掘埋1: 7Bd 掘埋2: 5Bd	円形	14	12	5B	あ	
	P346	楕円形	30	22	20	83.0	8Bc	円形	10	9	5B	あ	
	P350	円形	26	22	37	83.3	7Bd	円形	14	13	3A	う	
	P352	楕円形	38	33	40	83.0	7Bd	円形	18	18	4A	あ	
	P354	楕円形	33	28	18	83.5	5Ad	-	-	-	-	-	
	P356	楕円形	33	29	10	83.4	5Bd	-	-	-	-	-	
	P359	円形	24	24	4	83.9	5Ad	-	-	-	-	-	
	P362	円形	34	33	25	83.9	7Bd	-	-	-	-	-	
	P363	楕円形	43	38	38	83.9	1層: 5Bd 2層: 7Bc	-	-	-	-	-	
P374	楕円形	32	26	30	84.3	5Be	-	-	-	-	-		

【P334・337・346・350・352】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土
 【P345】
 1層: 柱痕跡 2・3層: 掘方埋土



【SA23 柱穴列跡】

[構成 Pit] P348. 355. 366. 370. 379
 [規模] 4間・総長 12.1m
 [柱間寸法] 2.7～3.4m
 [方向] 東西
 [出土遺物] なし
 [重複] なし



遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土		
SA23	P348	円形	30	26	28	83.4	7Bd	-	-	-	-	
	P355	円形	33	31	14	83.7	5Bd	円形	12	10	4B	あ
	P366	円形	29	26	10	84.0	5Bd	-	-	-	-	
	P370	円形	26	25	14	84.4	5Bd	-	-	-	-	
	P379	円形	28	27	28	84.1	7Bc	円形	12	11	9B	あ

【P355・379】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土

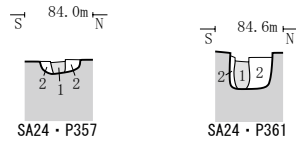
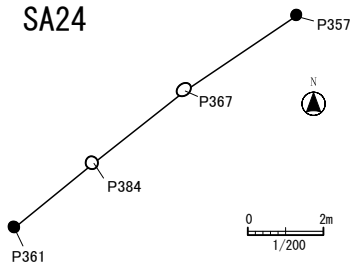


第98図 SA22・23 柱穴列跡

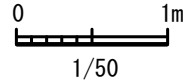
【SA24 柱穴列跡】

[構成 Pit] P357. 361. 367. 384
 [規模] 3間・総長9.4m
 [柱間寸法] 2.7～3.6m
 [方向] 東西
 [出土遺物] なし / [重複] なし

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA24	P357	円形	28	27	9	83.6	7Bd	円形	12	10	4B	あ	
	P361	円形	30	28	23	84.2	7Ad	円形	12	10	9A	あ	
	P367	楕円形	40	32	23	83.8	5Bd	-	-	-	-	-	
	P384	円形	34	33	6	84.2	5Bc	-	-	-	-	-	



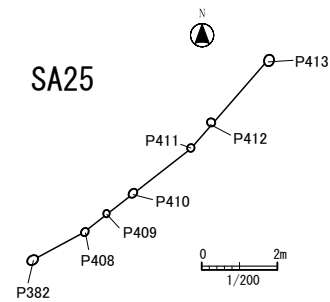
【P357・361】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土



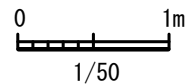
【SA25 柱穴列跡】

[構成 Pit] P382. 408 ~ 413
 [規模] 6間・総長8.0m
 [柱間寸法] 0.7～2.2m
 [方向] 東西
 [出土遺物] なし / [重複] なし

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA25	P382	円形	23	22	20	84.2	7Bd	-	-	-	-	-	
	P408	楕円形	26	20	10	83.9	5Bd	-	-	-	-	-	
	P409	円形	19	19	8	83.8	5Bd	-	-	-	-	-	
	P410	楕円形	33	24	10	83.8	7Bd	-	-	-	-	-	
	P411	円形	20	19	18	83.7	7Bc	-	-	-	-	-	
	P412	円形	26	23	10	83.8	7Bc	-	-	-	-	-	
	P413	円形	31	30	15	83.7	9Bc	-	-	-	-	-	



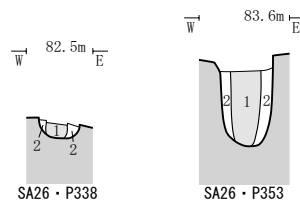
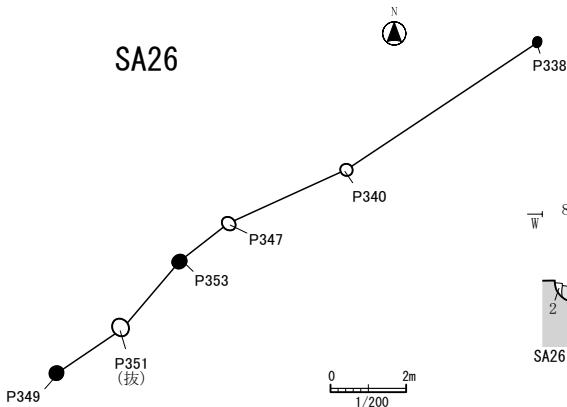
【P412】
 1層: 堆積土



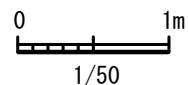
【SA26 柱穴列跡】

[構成 Pit] P338. 340. 347. 349. 351. 353
 [規模] 5間・総長15.4m
 [柱間寸法] 1.6～6.1m
 [方向] 東西
 [出土遺物] なし / [重複] なし

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA26	P338	円形	25	24	14	81.9	9Be	楕円形	14	10	7B	あ	
	P340	円形	34	33	20	82.8	7Be	-	-	-	-	-	
	P347	円形	38	34	6	83.2	7Bd	-	-	-	-	-	
	P349	円形	38	36	17	83.3	7Bd	円形	18	18	4B	あ	
	P351	楕円形	50	38	48	83.0	抜穴: 7Bd	-	-	-	-	-	柱抜取
	P353	円形	38	35	53	82.8	7Bc	円形	20	17	9A	あ	



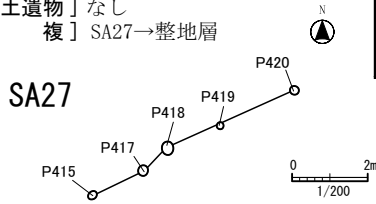
【P338・353】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土



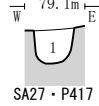
第99図 SA24～26 柱穴列跡

【SA27 柱穴列跡】

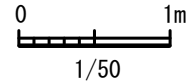
[構成 Pit] P415. 417 ~ 420
 [規模] 4間・総長 6.1m
 [柱間寸法] 0.9 ~ 2.2m
 [方向] 東西
 [出土遺物] なし
 [重複] SA27→整地層



遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA27	P415	円形	20	20	11	79.0	9Bd	-	-	-	-	-	整地層より古
	P417	円形	27	24	23	78.7	5Bd	-	-	-	-	-	整地層より古
	P418	楕円形	36	30	37	78.6	9Ba	-	-	-	-	-	整地層より古
	P419	円形	20	20	14	78.8	5Bd	-	-	-	-	-	整地層より古
	P420	円形	20	20	16	78.4	5Bd	-	-	-	-	-	整地層より古

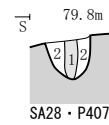
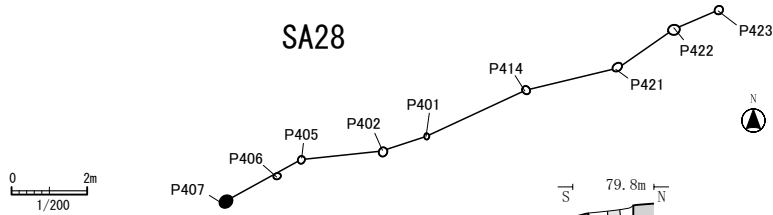


【P417】
1層: 堆積土

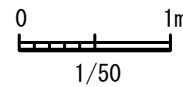


【SA28 柱穴列跡】

[構成 Pit] P401. 402. 405 ~ 407.
 P414. 421 ~ 423
 [規模] 8間・総長 14.2m
 [柱間寸法] 0.8 ~ 2.9m
 [方向] 東西
 [出土遺物] なし
 [重複] SA28→整地層



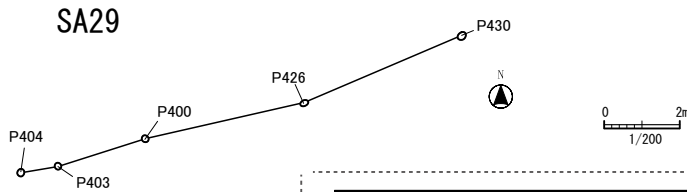
【P407】
1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土



遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA28	P401	円形	22	20	32	79.1	4Bd	-	-	-	-	-	整地層より古
	P402	円形	26	26	3	79.1	7Bc	-	-	-	-	-	整地層より古
	P405	円形	21	19	14	79.4	11Bc	-	-	-	-	-	整地層より古
	P406	円形	21	18	22	79.3	7Bd・f	-	-	-	-	-	整地層より古 堆f: 炭片
	P407	円形	35	33	27	79.4	7Bc	円形	10	8	9B	あ	整地層より古
	P414	円形	22	19	17	79.0	5Bd	-	-	-	-	-	整地層より古
	P421	円形	30	30	14	78.6	5Bd	-	-	-	-	-	整地層より古
	P422	円形	26	23	9	78.4	9Bd	-	-	-	-	-	整地層より古
	P423	円形	26	24	24	78.0	5Bd	-	-	-	-	-	整地層より古

【SA29 柱穴列跡】

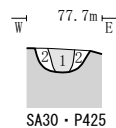
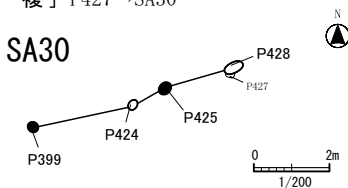
[構成 Pit] P400. 403. 404. 426. 430
 [規模] 4間・総長 12.2m
 [柱間寸法] 1.0 ~ 4.5m
 [方向] 東西
 [出土遺物] なし / [重複] なし



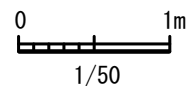
遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA29	P400	円形	18	17	38	78.9	4Bd	-	-	-	-	-	
	P403	円形	22	21	12	79.0	7Bc	-	-	-	-	-	
	P404	円形	21	21	24	79.0	4Bc	-	-	-	-	-	
	P426	楕円形	21	15	14	77.5	4Bd	-	-	-	-	-	
	P430	楕円形	24	19	15	76.8	5Bd	-	-	-	-	-	

【SA30 柱穴列跡】

[構成 Pit] P399. 424. 425. 428
 [規模] 3間・総長 5.4m
 [柱間寸法] 0.9 ~ 2.7m
 [方向] 東西
 [出土遺物] なし
 [重複] P427→SA30



【P425】
1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土

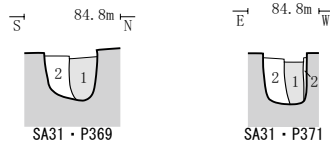
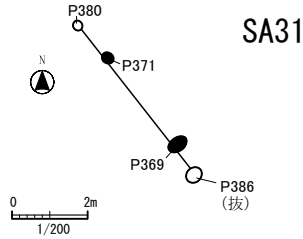


第100図 SA27 ~ 30 柱穴列跡

【SA31 柱穴列跡】

[構成 Pit] P369. 371. 380. 386
 [規模] 3間・総長 5.0m
 [柱間寸法] 0.9～2.9m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし / [重複] なし

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm、底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA31	P369	楕円形	50	34	36	84.2	5Bd	円形	20	18	4B	あ	
	P371	円形	31	29	36	84.2	7Bd	円形	12	12	9B	あ	
	P380	円形	27	25	6	84.3	7Bd	—	—	—	—	—	
	P386	楕円形	44	38	45	84.2	抜穴: 7Bd 掘埋: 9Bc	—	—	—	—	—	柱抜取



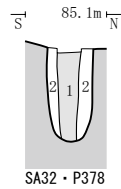
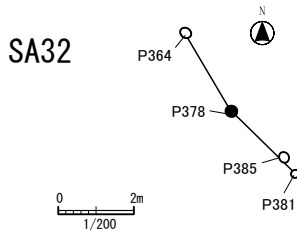
【P369・371】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土



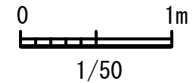
【SA32 柱穴列跡】

[構成 Pit] P364. 378. 381. 385
 [規模] 3間・総長 4.6m
 [柱間寸法] 0.5～2.3m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし / [重複] なし

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm、底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA32	P364	円形	29	28	18	84.5	5Be	—	—	—	—	—	
	P378	円形	32	29	7	84.3	7Bd	円形	17	17	9B	あ	
	P381	円形	22	20	10	84.7	7Bd	—	—	—	—	—	
	P385	円形	27	27	37	84.4	7Be	—	—	—	—	—	



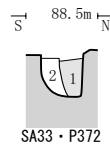
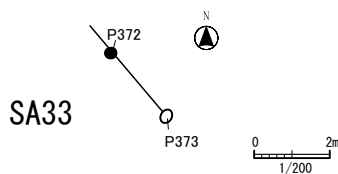
【P378】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土



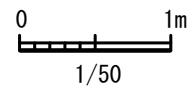
【SA33 柱穴列跡】

[構成 Pit] P372. 373
 [規模] 1間以上・総長 2.2m以上
 [柱間寸法] 2.2m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし / [重複] なし

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm、底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA33	P372	円形	30	28	34	87.9	7Bd	円形	16	15	5B	あ	
	P373	円形	33	32	7	87.9	7Bd	—	—	—	—	—	



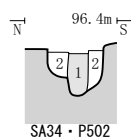
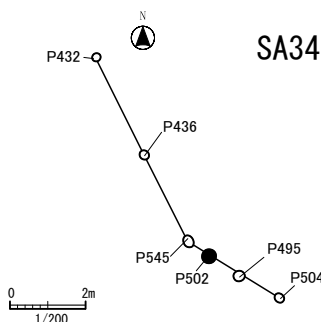
【P372】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土



【SA34 柱穴列跡】

[構成 Pit] P432. 436. 495. 502. 504. 545
 [規模] 5間・総長 8.2m
 [柱間寸法] 0.7～2.8m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし / [重複] なし

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm、底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA34	P432	円形	22	22	17	96.9	5Be	—	—	—	—	—	
	P436	円形	26	23	29	96.4	5Be	—	—	—	—	—	
	P495	円形	29	28	23	95.9	5Bd	—	—	—	—	—	
	P502	円形	40	37	35	95.9	5Bc	円形	13	12	4B	あ	
	P504	円形	28	25	20	95.7	9Be	—	—	—	—	—	
	P545	円形	32	29	33	95.9	9Ae	—	—	—	—	—	



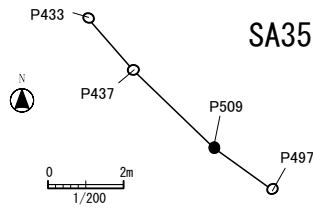
【P502】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土



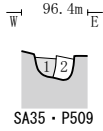
第101図 SA31～34 柱穴列跡

【SA35 柱穴列跡】

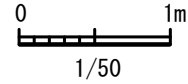
[構成 Pit] P433. 437. 497. 509
 [規模] 3間・総長 6.6m
 [柱間寸法] 1.8～2.9m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし / [重複] なし



遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA35	P433	円形	29	25	11	96.7	9Bc	—	—	—	—	—	—
	P437	円形	26	26	24	96.4	9Bd	—	—	—	—	—	—
	P497	円形	30	28	12	95.7	5Bd	—	—	—	—	—	—
	P509	円形	26	26	16	95.9	5Bd	円形	14	11	5B	あ	—

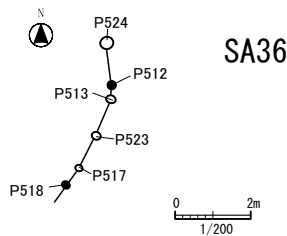


【P509】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土

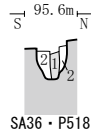
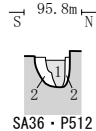


【SA36 柱穴列跡】

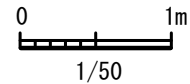
[構成 Pit] P512. 513. 517. 518. 523. 524
 [規模] 5間以上・総長 3.9m以上
 [柱間寸法] 0.4～1.1m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし / [重複] なし



遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA36	P512	円形	23	22	24	95.3	7Bd	円形	12	10	5B	あ	—
	P513	楕円形	30	25	5	95.4	7Bd	—	—	—	—	—	—
	P517	円形	19	18	14	95.3	15Be	—	—	—	—	—	—
	P518	円形	21	20	24	95.1	9Be	円形	6	6	5B	あ	—
	P523	円形	26	22	16	95.3	7Be	—	—	—	—	—	—
	P524	楕円形	40	30	34	95.4	5Bd	—	—	—	—	—	—

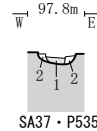
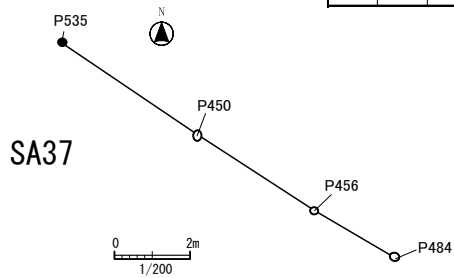


【P512・518】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土

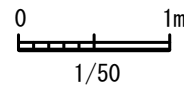


【SA37 柱穴列跡】

[構成 Pit] P450. 456. 484. 535
 [規模] 3間・総長 10.4m
 [柱間寸法] 2.4～4.3m
 [方向] 東西
 [出土遺物] なし / [重複] なし

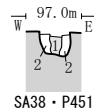
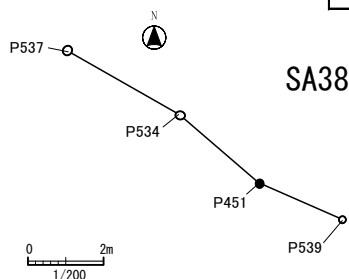


【P535】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土

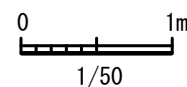


【SA38 柱穴列跡】

[構成 Pit] P451. 534. 537. 539
 [規模] 3間・総長 8.4m
 [柱間寸法] 2.3～3.4m
 [方向] 東西
 [出土遺物] なし / [重複] なし



【P451】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土



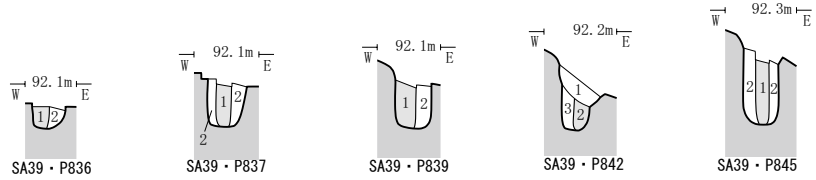
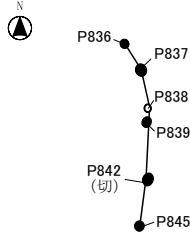
第102図 SA35～38 柱穴列跡

【SA39 柱穴列跡】

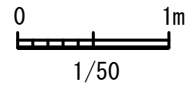
- [構成 Pit] P836 ~ 839. 842. 845
- [規模] 5間・総長 4.8m
- [柱間寸法] 0.3 ~ 1.5m
- [方向] 南北
- [出土遺物] なし
- [重複] なし

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm、底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA39	P836	円形	23	22	17	91.8	10Bc	円形	11	10	4B	あ	
	P837	円形	32	28	32	91.6	10Bc	円形	12	10	4B	あ	
	P838	円形	20	20	17	91.7	10Be	—	—	—	—	—	
	P839	円形	25	24	38	91.6	10Bc	楕円形	18	13	5B	あ	
	P842	円形	30	27	46	91.5	切穴: 10Bc 掘埋: 10Bd	円形	12	11	5B	あ	柱切取
	P845	円形	25	25	42	91.5	10Bc	円形	10	10	4B	あ	

SA39



【P836・837・839・845】1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土
 【P842】1層: 堆積土(柱切取) 2層: 柱痕跡 3層: 掘方埋土

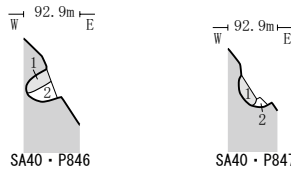
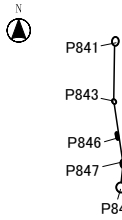


【SA40 柱穴列跡】

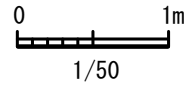
- [構成 Pit] P841. 843. 846 ~ 848
- [規模] 4間・総長 3.7m
- [柱間寸法] 0.6 ~ 1.5m
- [方向] 南北
- [出土遺物] なし
- [重複] なし

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm、底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA40	P841	円形	26	23	23	92.2	9Be	—	—	—	—	—	
	P843	円形	14	14	10	92.4	10Bd	—	—	—	—	—	
	P846	円形	23	22	20	92.3	10Bc	楕円形	7	3	4B	あ	
	P847	円形	22	21	20	92.4	10Bc	楕円形	18	10	4B	あ	
	P848	円形	29	27	28	92.4	10Bd	—	—	—	—	—	

SA40



【P846・847】
1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土

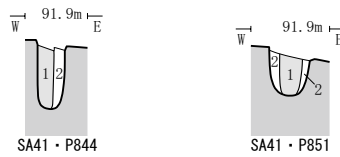
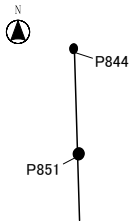


【SA41 柱穴列跡】

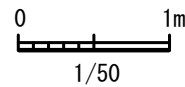
- [構成 Pit] P844. 851
- [規模] 1間以上・総長 2.8m 以上
- [柱間寸法] 2.8m
- [方向] 南北
- [出土遺物] なし
- [重複] なし

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm、底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA41	P844	円形	22	20	38	91.3	10Bc	円形	12	10	3B	あ	
	P851	円形	30	30	27	91.5	10Bc	円形	17	15	9B	あ	

SA41



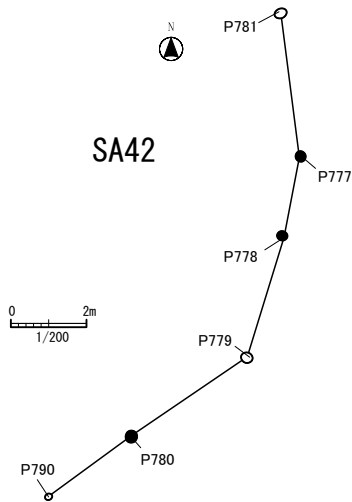
【P844・851】
1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土



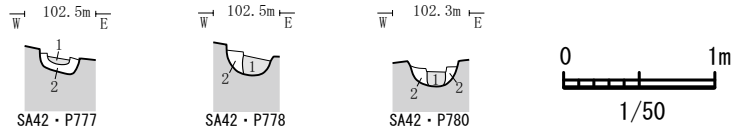
第103図 SA39 ~ 41 柱穴列跡

【SA42 柱穴列跡】

[構成 Pit] P777 ~ 781.790
 [規模] 5間・総長 15.7m
 [柱間寸法] 2.2 ~ 3.8m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし / [重複] なし



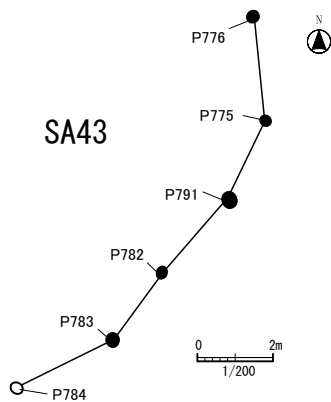
遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土		
P777	円形	29	27	13	102.1	11Bd	円形	15	13	5B	い	
P778	円形	28	25	17	102.1	10Be	円形	17	14	9B	あ	
P779	円形	32	29	24	101.8	10Be	-	-	-	-	-	
P780	円形	33	33	17	101.8	10Be	円形	16	13	9B	あ	
P781	円形	30	26	30	102.0	10Be	-	-	-	-	-	
P790	楕円形	20	15	55	101.3	11Be	-	-	-	-	-	



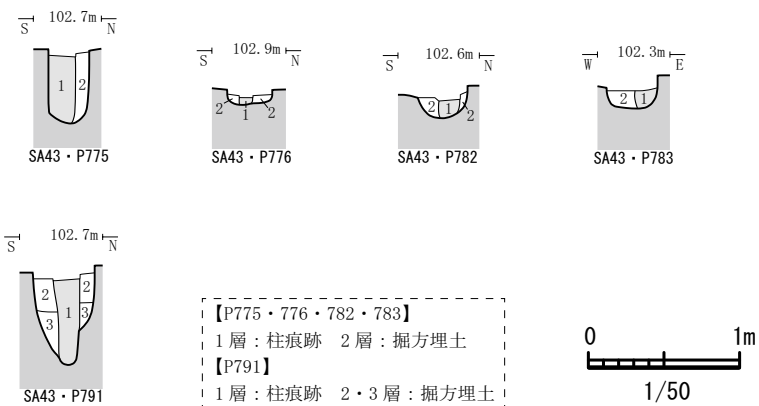
【P777・778・780】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土

【SA43 柱穴列跡】

[構成 Pit] P775, 776, 782 ~ 784.791
 [規模] 5間・総長 12.7m
 [柱間寸法] 2.2 ~ 2.8m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし / [重複] なし



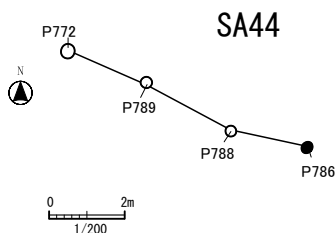
遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土		
P775	円形	28	27	50	102.0	10Bd	円形	17	17	9B	あ	
P776	円形	33	31	17	102.5	10Bd	円形	12	10	9B	あ	
P782	楕円形	35	25	21	102.2	10Be	円形	14	12	9B	あ	
P783	円形	35	32	20	101.9	10Bc	円形	16	15	9B	あ	
P784	円形	33	29	19	101.8	10Be	-	-	-	-	-	
P791	円形	42	40	65	101.8	掘埋1: 9Bd 掘埋2: 10Bd	円形	21	18	9B	う	



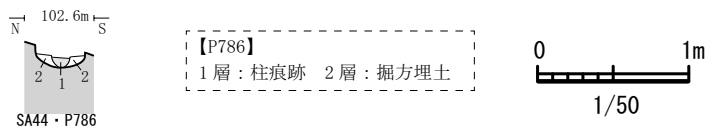
【P775・776・782・783】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土
 【P791】
 1層: 柱痕跡 2・3層: 掘方埋土

【SA44 柱穴列跡】

[構成 Pit] P772, 786, 788, 789
 [規模] 3間・総長 6.8m
 [柱間寸法] 2.0 ~ 2.6m
 [方向] 東西
 [出土遺物] なし / [重複] なし



遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土		
P772	円形	40	38	18	102.4	9Be	-	-	-	-	-	
P786	円形	33	29	15	102.3	11Be	円形	12	11	9B	あ	
P788	円形	27	27	12	102.3	9Be	-	-	-	-	-	
P789	円形	30	30	29	102.4	9Be	-	-	-	-	-	



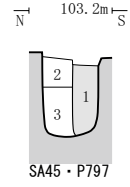
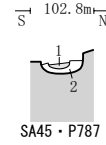
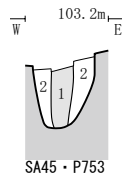
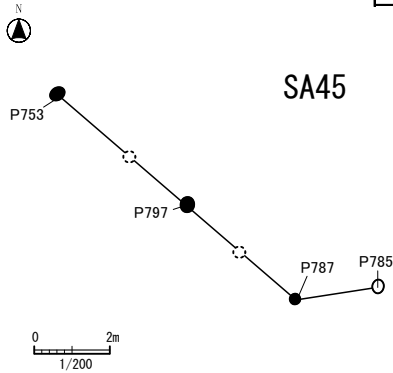
【P786】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土

第104図 SA42 ~ 44 柱穴列跡

【SA45 柱穴列跡】

[構成 Pit] P753.785.787.797
 [規模] 5間(推定)・総長10.5m
 [柱間寸法] 1.9～2.5m(推定)
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし / [重複] なし

遺構番号	柱穴・ピット掘方(長軸・短軸:cm、底面標高:m)						柱痕跡				柱 類 型	備 考	
	平面形	長軸	短軸	残存 深	底面 標高	埋土 堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA45	P753	楕円形	40	34	45	102.5	10Bd	円形	16	15	9B	あ	
	P785	楕円形	38	33	30	102.2	9Be	—	—	—	—	—	
	P787	円形	29	27	10	102.4	11Be	円形	15	13	9B	い	
	P797	円形	39	38	60	102.3	掘埋1:10Bd 掘埋2:9Bd	円形	17	16	9B	あ	



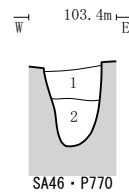
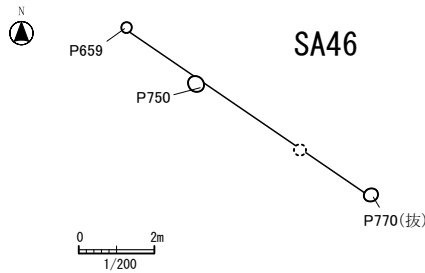
【P753・787】
 1層:柱痕跡 2層:掘方埋土
 【P797】
 1層:柱痕跡 2・3層:掘方埋土



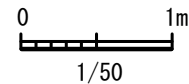
【SA46 柱穴列跡】

[構成 Pit] P659.750.770
 [規模] 3間(推定)・総長7.9m
 [柱間寸法] 2.3～3.2m(推定)
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし / [重複] なし

遺構番号	柱穴・ピット掘方(長軸・短軸:cm、底面標高:m)						柱痕跡				柱 類 型	備 考	
	平面形	長軸	短軸	残存 深	底面 標高	埋土 堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA46	P659	円形	30	29	20	102.9	5Bd	—	—	—	—	—	
	P750	楕円形	45	40	13	102.8	10Bc	—	—	—	—	—	
	P770	円形	39	37	52	102.5	抜穴1:10Bc 抜穴2:9Bd	—	—	—	—	—	柱抜取



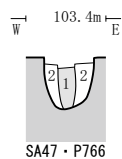
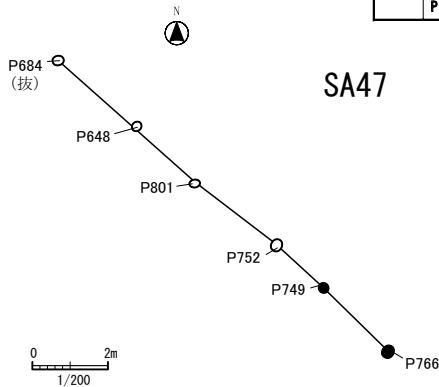
【P770】
 1・2層:堆積土(柱抜取)



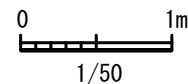
【SA47 柱穴列跡】

[構成 Pit] P648.684.749.752.766.801
 [規模] 5間・総長11.4m
 [柱間寸法] 1.6～2.7m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし / [重複] なし

遺構番号	柱穴・ピット掘方(長軸・短軸:cm、底面標高:m)						柱痕跡				柱 類 型	備 考	
	平面形	長軸	短軸	残存 深	底面 標高	埋土 堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA47	P648	円形	27	26	9	103.3	10Bd	—	—	—	—	—	
	P684	円形	30	28	70	103.0	抜穴:9Bd	—	—	—	—	—	柱抜取
	P749	円形	28	27	20	102.9	10Bd	円形	16	15	9B	あ	
	P752	円形	33	32	55	102.6	9Bc	—	—	—	—	—	
	P766	円形	33	32	34	102.7	10Bd	円形	13	12	9B	あ	
	P801	円形	25	22	13	103.0	10Be	—	—	—	—	—	



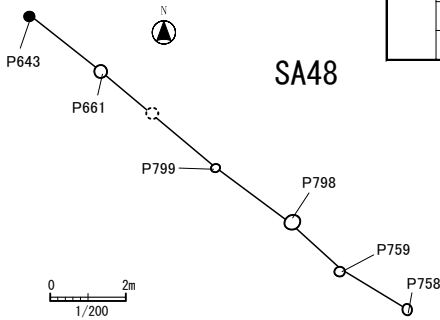
【P766】
 1層:柱痕跡 2層:掘方埋土



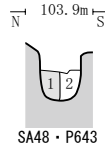
第105図 SA45～47柱穴列跡

【SA48 柱穴列跡】

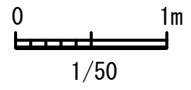
[構成 Pit] P643. 661. 758. 759. 798. 799
 [規模] 6間 (推定)・総長 12.5m
 [柱間寸法] 1.8～2.5m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし / [重複] なし



遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土		
SA48 P643	円形	28	27	25	103.4	10Bd	円形	14	12	9B	あ	
P661	円形	36	35	13	103.3	10Bd	-	-	-	-	-	
P758	円形	29	28	23	102.9	9Bd	-	-	-	-	-	
P759	円形	28	27	18	102.9	10Bd	-	-	-	-	-	
P798	円形	44	42	47	102.7	10Bd	-	-	-	-	-	
P799	円形	25	24	10	103.0	10Bc	-	-	-	-	-	

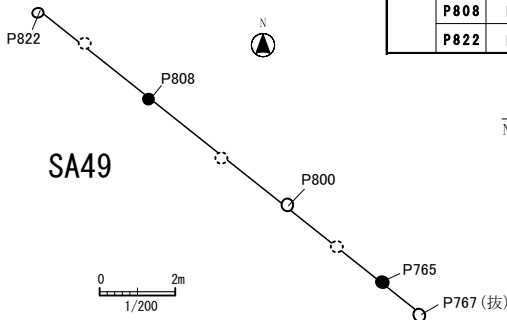


【P643】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土

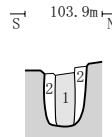
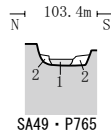


【SA49 柱穴列跡】

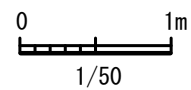
[構成 Pit] P765. 767. 800. 808. 822
 [規模] 7間 (推定)・総長 13.8m
 [柱間寸法] 1.3～2.5m (推定)
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし / [重複] なし



遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土		
SA49 P765	円形	33	33	10	103.1	9Bd	円形	17	15	5B	あ	
P767	円形	34	33	54	102.6	抜穴1: 10Bc 抜穴2: 9Bd	-	-	-	-	-	柱抜取
P800	円形	34	34	15	103.0	10Bc	-	-	-	-	-	
P808	円形	30	29	40	103.2	10Bd	円形	13	13	9B	あ	
P822	円形	27	27	23	103.7	9Be	-	-	-	-	-	

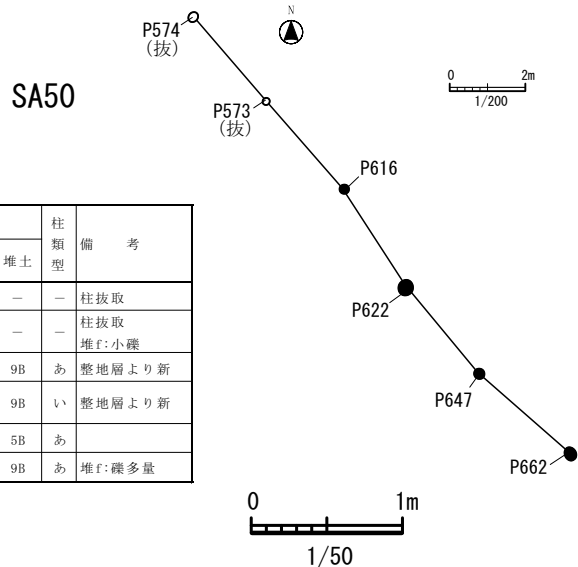


【P765・808】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土

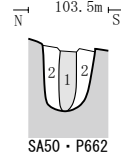
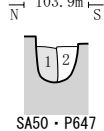
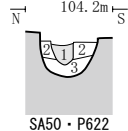
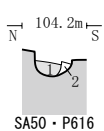


【SA50 柱穴列跡】

[構成 Pit] P573. 574. 616. 622. 647. 662
 [規模] 5間・総長 15.2m
 [柱間寸法] 2.9～3.2m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし / [重複] 整地層→SA50



遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土		
SA50 P573	円形	20	20	23	104.7	抜穴: 10Bd	-	-	-	-	-	柱抜取
P574	円形	28	25	36	105.2	抜穴1: 11Bf 抜穴2: 10Bd	-	-	-	-	-	柱抜取 堆f: 小礫
P616	円形	25	24	12	104.3	10Bd	円形	17	16	9B	あ	整地層より新
P622	円形	39	38	30	103.8	掘埋1: 10Bd 掘埋2: 11Bd	円形	15	13	9B	い	整地層より新
P647	円形	27	27	30	103.4	9Bd	円形	15	12	5B	あ	
P662	楕円形	37	29	43	102.9	11Bf	円形	13	12	9B	あ	堆f: 礫多量

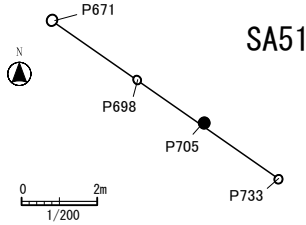


【P616・647・662】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土
 【P622】
 1層: 柱痕跡 2・3層: 掘方埋土

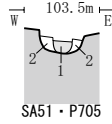
第106図 SA48～50 柱穴列跡

【SA51 柱穴列跡】

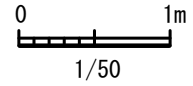
[構成 Pit] P671.698.705.733
 [規模] 3間・総長7.2m
 [柱間寸法] 2.1～2.7m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし / [重複] なし



遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA51	P671	円形	30	26	25	103.6	10Bd	—	—	—	—	—	—
	P698	円形	25	23	10	103.5	10Bd	—	—	—	—	—	—
	P705	円形	32	29	15	103.2	10Bd	円形	15	14	9B	あ	—
	P733	円形	26	24	26	103.0	10Bd	—	—	—	—	—	—

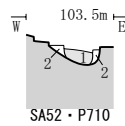
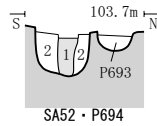
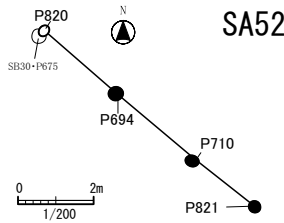


【P705】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土

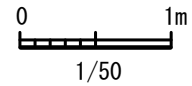


【SA52 柱穴列跡】

[構成 Pit] P694.710.820.821
 [規模] 3間・総長7.2m
 [柱間寸法] 2.0～2.7m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし / [重複] SB30→SA52



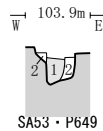
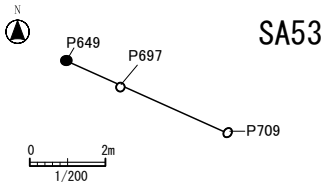
【P694・710】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土



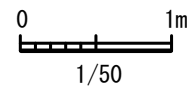
遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA52	P694	円形	38	35	30	103.3	10Bd	円形	16	13	9B	あ	—
	P710	楕円形	38	33	20	103.1	10Bd	円形	21	20	9B	あ	—
	P820	円形	30	28	14	103.7	9Be	—	—	—	—	—	SB30・P675より新
	P821	円形	32	30	40	102.7	9Bc	円形	20	18	5B	あ	—

【SA53 柱穴列跡】

[構成 Pit] P649.697.709
 [規模] 2間・総長4.6m
 [柱間寸法] 1.6～3.0m
 [方向] 東西
 [出土遺物] なし / [重複] なし



【P649】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土

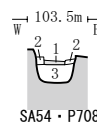
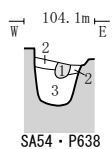


【SA54 柱穴列跡】

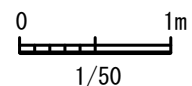
[構成 Pit] P638.639.708.713
 [規模] 3間・総長5.2m
 [柱間寸法] 0.6～3.8m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし / [重複] なし



遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA54	P638	円形	35	34	33	103.5	掘埋1: 10Bc 掘埋2: 9Bd	円形	9	8	4B	い	—
	P639	円形	37	36	20	103.5	10Bd	—	—	—	—	—	—
	P708	楕円形	30	25	27	103.0	掘埋1: 9Bd 掘埋2: 10Bd	楕円形	19	15	5B	い	—
	P713	円形	34	34	40	102.8	抜穴1: 11Bd 抜穴2: 10Bd	—	—	—	—	—	柱抜取



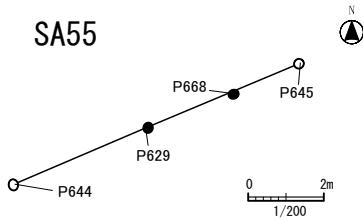
【P638・708】
 1層: 柱痕跡 2・3層: 掘方埋土



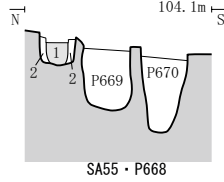
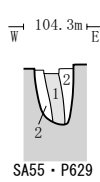
第107図 SA51～54 柱穴列跡

【SA55 柱穴列跡】

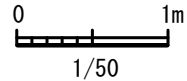
[構成 Pit] P629. 644. 645. 668
 [規模] 3間・総長 8.1m
 [柱間寸法] 1.9～3.8m
 [方向] 東西
 [出土遺物] なし / [重複] なし



遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA55	P629	円形	27	25	40	103.6	9Bd	円形	10	9	5B	あ	
	P644	円形	27	27	20	104.0	10Bf	-	-	-	-	-	堆f: 礫
	P645	円形	27	27	30	103.5	1層: 10Bc 2層: 9Bd	-	-	-	-	-	
	P668	円形	26	26	20	103.7	10Bd	円形	15	15	9B	あ	

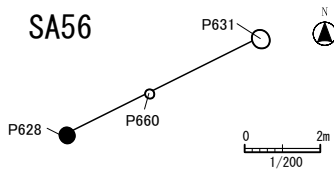


【P629・668】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土

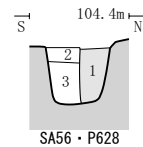


【SA56 柱穴列跡】

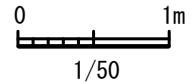
[構成 Pit] P628. 631. 660
 [規模] 2間・総長 5.7m
 [柱間寸法] 2.5～3.2m
 [方向] 東西
 [出土遺物] なし / [重複] なし



遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA56	P628	円形	44	40	40	103.8	掘埋1: 9Bd 掘埋2: 5Bd	円形	22	21	5B	あ	
	P631	円形	52	48	13	103.9	10Bc	-	-	-	-	-	
	P660	円形	26	24	40	103.8	10Bd	-	-	-	-	-	

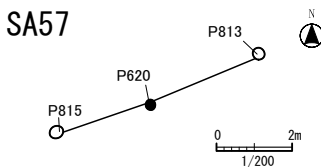


【P628】
 1層: 柱痕跡 2・3層: 掘方埋土

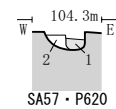


【SA57 柱穴列跡】

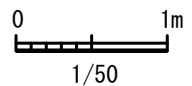
[構成 Pit] P620. 813. 815
 [規模] 2間・総長 5.8m
 [柱間寸法] 2.6～3.2m
 [方向] 東西
 [出土遺物] なし / [重複] なし



遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA57	P620	円形	27	26	11	104.1	10Bd	円形	16	13	9B	あ	
	P813	楕円形	33	28	18	103.7	9Be	-	-	-	-	-	
	P815	円形	36	33	67	103.6	9Bd	-	-	-	-	-	

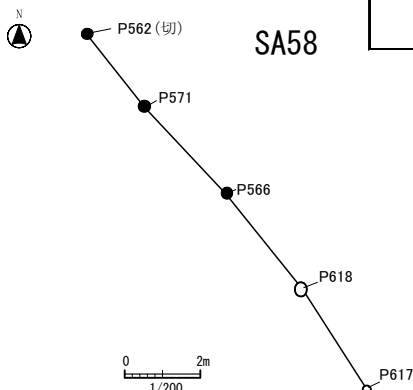


【P620】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土

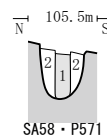
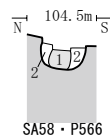
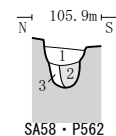


【SA58 柱穴列跡】

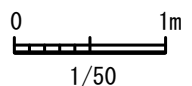
[構成 Pit] P562. 566. 571. 617. 618
 [規模] 4間・総長 11.7m
 [柱間寸法] 2.4～3.1m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし
 [重複] 整地層→SA58



遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA58	P562	円形	27	25	28	105.4	切穴: 9Bd 掘埋: 10Be	円形	14	13	9B	あ	柱切取
	P566	円形	29	29	20	104.5	10Bf	円形	13	11	9B	あ	堆f: 礫少量
	P571	円形	30	30	34	105.0	10Bd	円形	12	10	9B	あ	
	P617	円形	23	23	10	103.8	11Bd	-	-	-	-	-	
	P618	円形	35	34	18	104.1	1層: 11Bd 2層: 9Bd	-	-	-	-	-	整地層より新



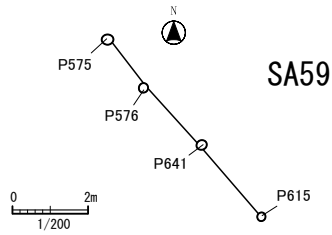
【P562】
 1層: 堆積土 (柱切取) 2層: 柱痕跡 3層: 掘方埋土
 【P566・571】
 1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土



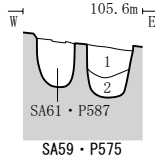
第108図 SA55～58 柱穴列跡

【SA59 柱穴列跡】

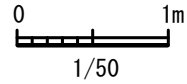
[構成 Pit] P575.576.615.641
 [規模] 3間・総長6.1m
 [柱間寸法] 1.6～2.4m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし / [重複] なし



遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)					柱痕跡				柱類型	備考		
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸			堆土	
SA59	P575	円形	30	28	37	105.0	1層:11Bd 2層:10Bd	-	-	-	-	-	-
	P576	円形	25	25	28	104.8	1層:11Bd 2層:10Bd	-	-	-	-	-	-
	P615	円形	23	22	9	104.2	10Bf	-	-	-	-	-	堆f:礫多量
	P641	円形	28	27	20	104.5	1層:10Bf 2層:9Bc	-	-	-	-	-	堆f:礫多量

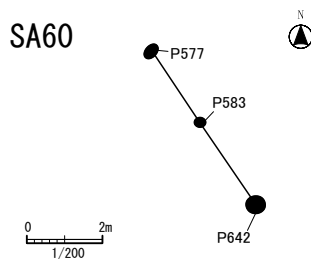


【P575】
1・2層:堆積土

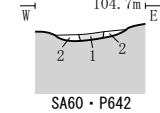
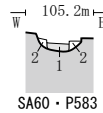
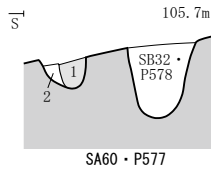


【SA60 柱穴列跡】

[構成 Pit] P577.583.642
 [規模] 2間・総長4.8m
 [柱間寸法] 2.2～2.6m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし / [重複] なし



遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)					柱痕跡				柱類型	備考		
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸			堆土	
SA60	P577	楕円形	46	33	23	105.2	10Bf	円形	18	17	9B	あ	堆f:礫多量
	P583	楕円形	30	25	14	105.0	10Bd	楕円形	17	13	9B	あ	
	P642	円形	50	50	7	104.5	10bf	円形	18	18	5B	あ	堆f:礫多量

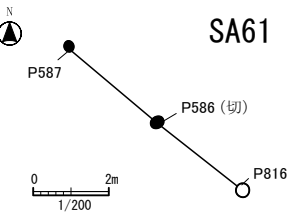


【P577・583・642】
1層:柱痕跡 2層:掘方埋土

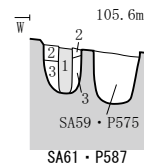
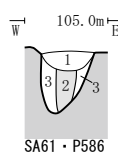


【SA61 柱穴列跡】

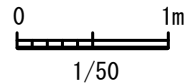
[構成 Pit] P586.587.816
 [規模] 2間・総長5.9m
 [柱間寸法] 2.9～3.0m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし / [重複] なし



遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)					柱痕跡				柱類型	備考		
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸			堆土	
SA61	P586	円形	36	33	41	104.4	切穴:11Bf 掘埋:10Bf	円形	15	13	5B	あ	柱切取 堆f:礫多量
	P587	円形	28	27	38	105.1	掘埋1:11Bf 掘埋2:10Bd	円形	11	10	9B	あ	堆f:礫多量
	P816	円形	37	35	37	104.0	9Bd	-	-	-	-	-	

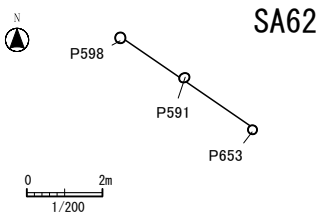


【P586】
1層:堆積土(柱切取) 2層:柱痕跡 3層:掘方埋土
 【P587】
1層:柱痕跡 2・3層:掘方埋土



【SA62 柱穴列跡】

[構成 Pit] P591.598.653
 [規模] 2間・総長4.2m
 [柱間寸法] 2.0～2.2m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし / [重複] なし



遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)					柱痕跡				柱類型	備考		
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸			堆土	
SA62	P591	円形	27	27	58	104.6	9Bd・f	-	-	-	-	-	堆f:礫
	P598	円形	27	26	27	105.1	9Bd	-	-	-	-	-	
	P653	円形	25	24	19	104.7	10Bd	-	-	-	-	-	

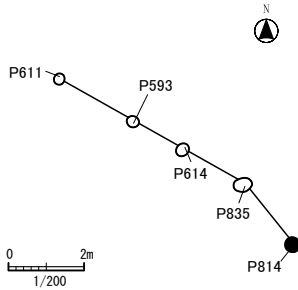
第109図 SA59～62 柱穴列跡

【SA63 柱穴列跡】

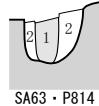
- [構成 Pit] P593. 611. 614. 814. 835
- [規模] 4間・総長7.5m
- [柱間寸法] 1.5～2.2m
- [方向] 南北
- [出土遺物] なし
- [重複] なし

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA63	P593	円形	34	34	23	104.9	9Bd	—	—	—	—	—	
	P611	円形	28	27	23	105.2	10Bf	—	—	—	—	—	堆f: 礫多量
	P614	円形	33	31	44	104.5	9Bd	—	—	—	—	—	
	P814	楕円形	42	37	35	104.0	11Bd	円形	18	17	9B	あ	
	P835	円形	40	38	22	104.4	9Bd	—	—	—	—	—	

SA63

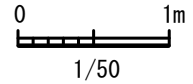


104.7m



SA63・P814

【P814】
1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土

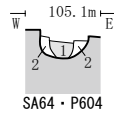
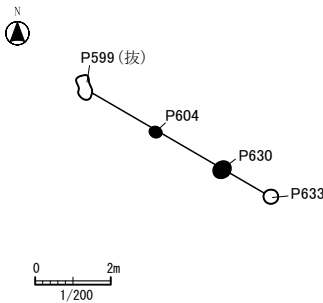


【SA64 柱穴列跡】

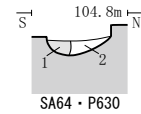
- [構成 Pit] P599. 604. 630. 633
- [規模] 3間・総長5.7m
- [柱間寸法] 1.5～2.2m
- [方向] 南北
- [出土遺物] なし
- [重複] なし

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA64	P599	楕円形	48	37	51	104.6	抜穴1: 10Bf 抜穴2: 9Bf	—	—	—	—	—	柱抜取 堆f: 礫多量
	P604	楕円形	33	28	18	104.8	9Bc	円形	16	14	5B	あ	
	P630	円形	43	40	13	104.5	10Bc	円形	17	14	9B	あ	
	P633	円形	36	36	15	104.3	11Bd	—	—	—	—	—	

SA64

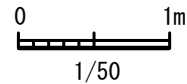


SA64・P604



SA64・P630

【P604・630】
1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土

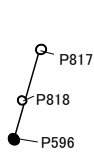


【SA65 柱穴列跡】

- [構成 Pit] P596. 817. 818
- [規模] 2間・総長2.4m
- [柱間寸法] 1.0～1.4m
- [方向] 南北
- [出土遺物] なし
- [重複] なし

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA65	P596	円形	32	30	47	105.1	10Bd	円形	18	15	9B	あ	
	P817	円形	28	28	19	105.2	10Bd	—	—	—	—	—	
	P818	円形	23	23	20	105.4	10Bd	—	—	—	—	—	

SA65

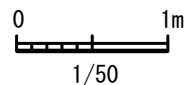


105.8m



SA65・P596

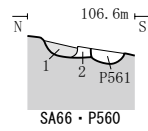
【P596】
1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土



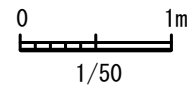
第110図 SA63～65 柱穴列跡

【SA66 柱穴列跡】

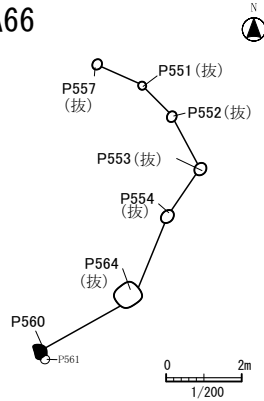
[構成 Pit] P551 ~ 554. 557. 560. 564
 [規模] 6間・総長 10.5m
 [柱間寸法] 1.1 ~ 2.7m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし
 [重複] SA66→P561



【P560】
 1層：柱痕跡 2層：掘方埋土



SA66



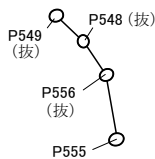
遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸：cm、底面標高：m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA66	P551	円形	30	30	13	107.0	抜穴：11Bf	-	-	-	-	-	柱抜取 堆f：礫多量
	P552	楕円形	33	28	20	106.8	抜穴：11Bf	-	-	-	-	-	柱抜取 堆f：礫少量
	P553	円形	38	35	16	106.4	抜穴：9Bf	-	-	-	-	-	柱抜取 堆f：礫多量
	P554	円形	38	34	12	106.5	抜穴：9Bf	-	-	-	-	-	柱抜取 堆f：礫少量
	P557	楕円形	30	25	17	107.4	抜穴：10Bf	-	-	-	-	-	柱抜取 堆f：礫多量
	P560	円形？	33	(30)	9	106.4	10Bf	円形	23	20	5B	あ	P561より古 堆f：礫
	P564	円形	70	70	23	106.2	抜穴1：5Bf 抜穴2：9Bf	-	-	-	-	-	柱抜取 堆f(抜穴1)：礫多量 堆f(抜穴2)：礫少量

【SA67 柱穴列跡】

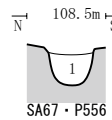
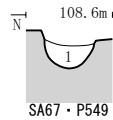
[構成 Pit] P548. 549. 555. 556
 [規模] 3間・総長 3.8m
 [柱間寸法] 1.0 ~ 1.7m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし / [重複] なし



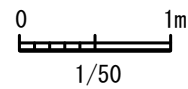
SA67



遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸：cm、底面標高：m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA67	P548	円形	39	37	15	108.2	抜穴：10Bf	-	-	-	-	-	柱抜取 堆f：礫多量
	P549	円形	38	35	30	108.2	抜穴：10Bf	-	-	-	-	-	柱抜取 堆f：礫多量
	P555	円形	40	36	22	107.9	9Bf	-	-	-	-	-	堆f：礫多量
	P556	円形	37	35	28	108.0	抜穴：10Bf	-	-	-	-	-	柱抜取 堆f：礫多量



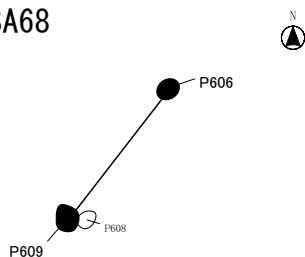
【P549・556】
 1層：堆積土 (柱抜取)



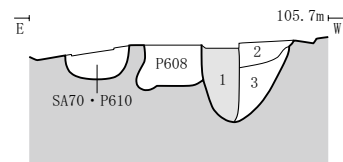
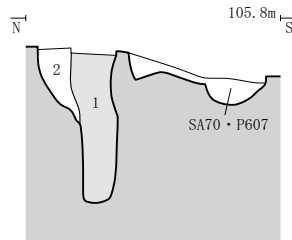
【SA68 柱穴列跡】

[構成 Pit] P606. 609
 [規模] 1間・総長 4.3m
 [柱間寸法] 4.3m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし
 [重複] P608→SA68

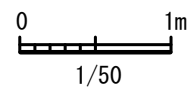
SA68



遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸：cm、底面標高：m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA68	P606	楕円形	58	50	103	104.6	11Bf	円形	30	29	9B	う	堆f：礫多量
	P609	楕円形	68	61	57	105.0	掘埋1：11Bf 掘埋2：10Be	円形	25	24	9B	あ	P608より新 堆f：礫多量



【P606】1層：柱痕跡 2層：掘方埋土
 【P609】1層：柱痕跡 2・3層：掘方埋土

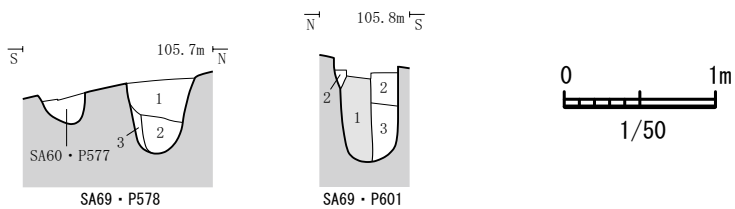
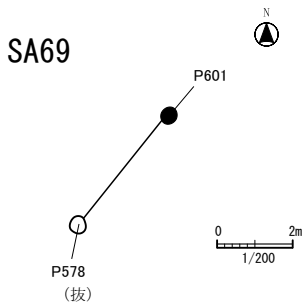


第111図 SA66 ~ 68 柱穴列跡

【SA69 柱穴列跡】

[構成 Pit] P578.601
 [規模] 1間・総長3.8m
 [柱間寸法] 3.8m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし
 [重複] なし

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA69	P578	円形	49	45	50	105.0	抜穴1:10Bd・f 抜穴2:9Bd 掘埋:11Bd	—	—	—	—	—	柱抜取 堆f:小礫
	P601	円形	44	42	67	104.8	掘埋1:11Bd・f 掘埋2:10Bc	円形	17	15	9B	あ	堆f:礫

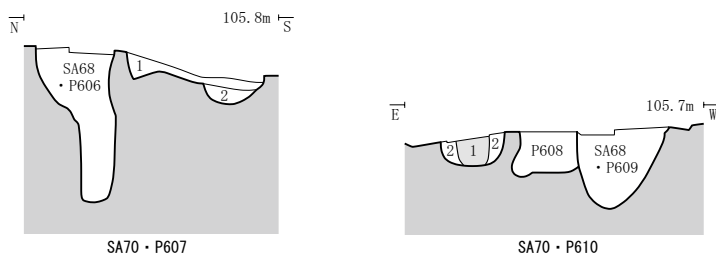
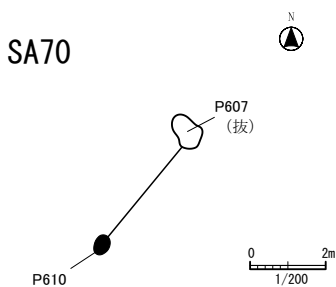


【P578】1・2層: 堆積土 (柱抜取) 3層: 掘方埋土
 【P601】1層: 柱痕跡 2・3層: 掘方埋土

【SA70 柱穴列跡】

[構成 Pit] P607.610
 [規模] 1間・総長3.7m
 [柱間寸法] 3.7m
 [方向] 南北
 [出土遺物] なし
 [重複] なし

遺構番号	柱穴・ピット掘方 (長軸・短軸: cm, 底面標高: m)						柱痕跡				柱類型	備考	
	平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土堆土	平面形	長軸	短軸	堆土			
SA70	P607	楕円形	68	40	24	105.2	抜穴1: 9Bd 抜穴2: 10Bf	—	—	—	—	—	柱抜取 堆f: 礫多量
	P610	楕円形	58	44	28	105.2	10Bd	楕円形	29	22	9B	あ	



【P607】1・2層: 堆積土 (柱抜取)
 【P610】1層: 柱痕跡 2層: 掘方埋土

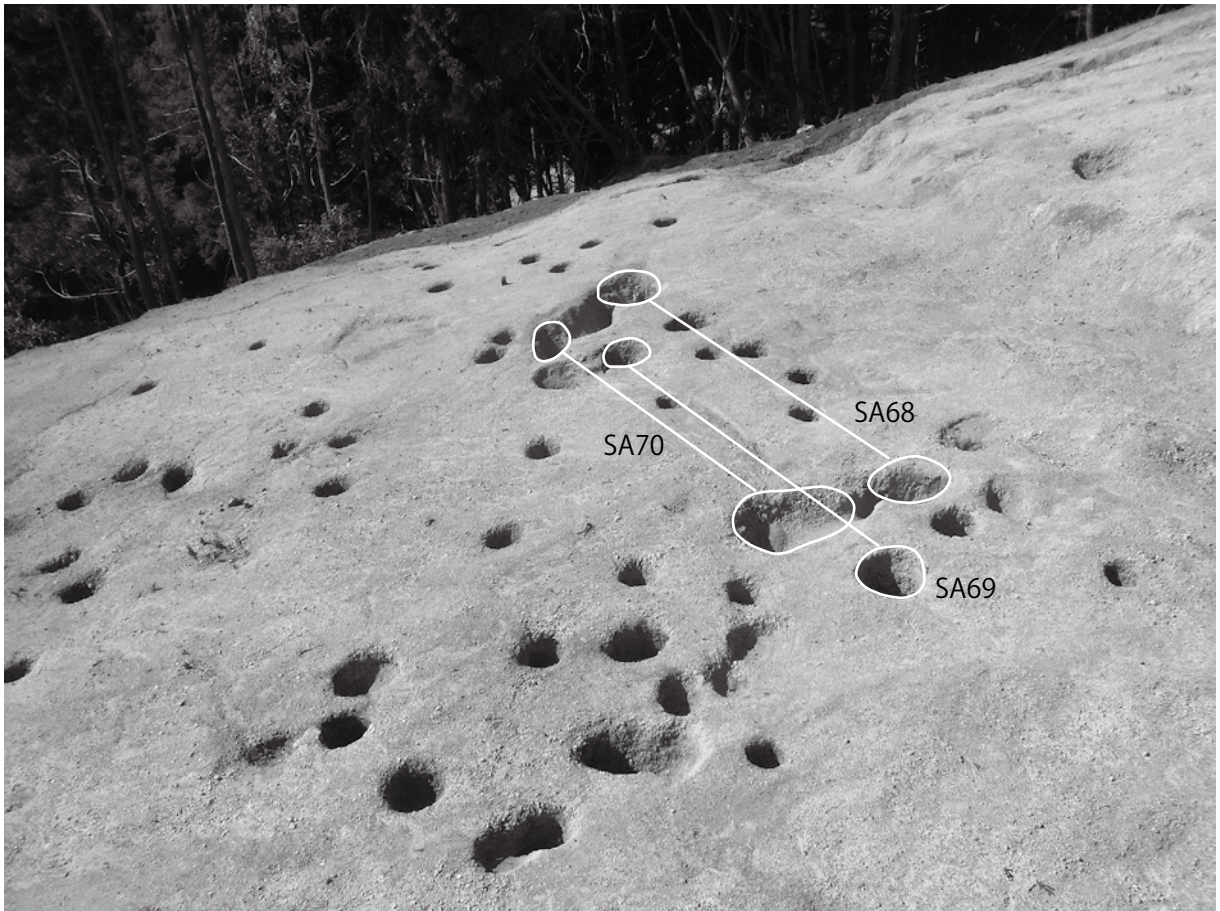
第112図 SA69・70 柱穴列跡



第113図 平場A-3 柱穴列跡 完掘状況 (南西から撮影)



1. 平場 A-5 柱穴列跡完掘状況 (北西から撮影)



2. 平場 A-5 柱穴列跡 (SA68 ~ 70 周辺) 完掘状況 (北東から撮影)

第114図 平場A-5 柱穴列跡 完掘状況

(3) その他の柱穴・小穴 (第10～24・118・120図、第8・9表)

前述のとおり、今回確認した柱穴・小穴 875 個のうち、建物 (33 棟)・柱穴列 (70 条) を構成する柱穴として認定できたものは 601 個 (掘立柱建物跡 33 棟: 柱穴数 270 個/柱穴列跡 70 条: 柱穴数 331 個) であった。その他の残された 274 個の柱穴・小穴についても、本来は建物や柱穴列・その他の建築物を構成する柱穴であったと考えられる。ここでは、建物として認定できなかった柱穴・小穴について若干の記載を行う。

なお、柱穴・小穴個別の情報は、今後もさらなる検討が加えられるよう、平面図を第10～24図、規模・堆積土・出土遺物などのデータを第9-1～9-3表に掲載した。また、今回の調査で検出したすべての柱穴・小穴 (掘立柱建物・柱穴列を構成するものも含む) の検出位置を検索するための第8表を作成したので、併せて参照していただきたい。

【その他の柱穴・小穴の特徴】

柱穴・小穴は、前述の掘立柱建物跡・柱穴列跡を構成する柱穴群とほぼ同一の範囲で確認した。検出した柱穴・小穴の規模・平面形は、長軸 14～104cm、短軸 14～57cm の円形・楕円形を呈し、残存深は 4～65cm ほどである。検出した 274 個のうち、72 個で直径 8～23cm の円形・楕円形を呈する柱痕跡を確認した。全体として、今回確認した柱穴・小穴は、平面形が円形・楕円形、掘方規模が長軸 20～40cm 前後、柱痕跡が 15cm 前後のものが主体といえる。

【出土遺物】

掘立柱建物跡・柱穴列跡以外の柱穴・小穴から出土した遺物は、平場 B-12 で検出した P854 堆積土出土の施釉陶器丸埴 (第118図9) 1点のみである。

第8表 鷺足館跡1～5次調査 検出柱穴・小穴検出位置及び掲載図版一覧


P 番号 (SB・SA を構成する P も含む)	位置	掲載図面
P1～36・38・44・162～165・168～173・175・179～181・192・232～234・236～238・252・264	平場 A-1	第10図
P13・26・28～37・39～43・45～163・166・167・171～179・182～191・193～231・234・235 P238～251・253～263	平場 A-1 平場 B-1	第11図
P265～310・315～333	平場 A-2 平場 B-2～4・6～8	第12図
P265～270	緩斜面 1	第13図
P350・354～386・393～398・408～413・849	平場 A-3・緩斜面 2	第14図
P311～317・322・334～353・357・387～394・399～407・414～431	平場 A-3・緩斜面 1 平場 B-3・4・6・7	第15図
P591・593～595・599・600・602～604・614・615・617・619・620・623・625～640・643～816 P820～835	平場 A-5	第16図
P775～779・781・791・836～855	緩斜面 2 平場 B-11～14	第17図
P547～590・592・596～601・605～613・615・616・618・621・622・624・641・642・817～819	平場 A-5	第18図
P432～546・779・780・782～786・790	平場 A-4・5	第19図
P491～497・501・504～518・522～524・528・546	平場 A-4	第20図
P856～875	平場 A-6	第22図
P856～875	平場 A-6	第23図


第9-1表 鷲足館跡 ピット(柱穴・小穴) 属性表(1) ※SA・SBを構成するもの以外 P2~333


遺構番号	種類	柱穴・ピット掘方(長軸・短軸・cm, 底面標高・m)					柱痕跡				柱類型	備考 (重複・出土遺物等)	遺構番号	種類	柱穴・ピット掘方(長軸・短軸・cm, 底面標高・m)					柱痕跡				柱類型	備考 (重複・出土遺物等)		
		平面形	長軸	短軸	残存深	底面標高	埋土 埋土	平面形	長軸	短軸					埋土	平面形	長軸	短軸	埋土	平面形	長軸	短軸	埋土				
P2	小穴	円形	20	19	15	66.7	7Be	-	-	-	-	-		P263	小穴	楕円形?	(44)	44	35	63.5	5Ad	-	-	-	-	-	整地層より新
P5	小穴	円形	27	24	24	66.1	8Be	-	-	-	-	-		P279	柱穴	円形	28	28	17	72.3	掘埋1:7Bd 掘埋2:10Bd	円形	12	11	5B	あ	
P11	柱穴	円形	29	25	4	65.5	4Bd	円形	15	13	3B	あ	SB2・P164より新	P286	柱穴	円形	28	27	30	72.9	10Ba	円形	14	12	4B	あ	
P12	小穴	円形	23	22	12	65.5	7Be	-	-	-	-	-	P44より新	P287	柱穴	円形	30	28	19	72.2	掘埋1:10Ba 掘埋2:8Ba	円形	12	11	9B	あ	
P14	小穴	円形	30	26	25	65.4	8Be	-	-	-	-	-		P295	小穴	円形	17	14	9	68.4	5Bd	-	-	-	-	-	
P19	小穴	円形	20	20	28	66.7	7Bd	-	-	-	-	-		P297	小穴	円形	26	25	16	67.8	9Bd	-	-	-	-	-	
P24	小穴	円形	25	22	35	65.2	9Be	-	-	-	-	-		P298	柱穴	円形	22	22	14	72.2	抜穴:7Bd	-	-	-	-	-	柱抜取
P25	小穴	円形	26	25	24	65.4	9Be	-	-	-	-	-		P299	柱穴	円形	26	25	23	72.2	抜穴:7Ba	-	-	-	-	-	柱抜取
P26	小穴	円形	26	25	12	65.4	5Be	-	-	-	-	-		P300	柱穴	円形	24	24	23	72.4	抜穴:9Bc	-	-	-	-	-	柱抜取
P27	小穴	円形	23	21	13	65.5	9Be	-	-	-	-	-		P301	小穴	円形	23	23	10	73.3	10Bc	-	-	-	-	-	P302より新
P35	小穴	楕円形	28	24	8	65.4	3Bd	-	-	-	-	-		P302	柱穴	円形	21	20	16	73.3	9Bc	楕円形	16	10	9B	あ	P301より古
P36	小穴	円形	34	30	6	65.5	7Be	-	-	-	-	-		P303	小穴	楕円形	27	20	15	74.2	5Be	-	-	-	-	-	整地層より新
P38	小穴	円形?	36	(20)	24	65.5	9Bc	-	-	-	-	-	SB2・P20より古	P304	柱穴	円形	29	27	12	73.9	10Bc	円形	12	10	5B	あ	整地層より新
P40	小穴	円形	39	36	11	65.3	7Be	-	-	-	-	-		P305	柱穴	楕円形	41	27	15	73.6	9Bc	円形	14	14	5B	あ	整地層より新
P44	柱穴	楕円形	82	50	59	65.0	抜穴1:5Bd 抜穴2:4Bb	-	-	-	-	-	SB1・P165より新 SB2・P164, P12より古 柱抜取	P306	柱穴	円形	30	30	8	74.0	9Bc	楕円形	20	16	5B	あ	整地層より新
P49	小穴	楕円形	30	25	38	65.0	7Be	-	-	-	-	-		P307	柱穴	楕円形	60	38	13	73.5	掘埋1:9Bc 掘埋2:10Bc	楕円形	22	18	5B	あ	整地層より新
P55	柱穴	円形	34	34	24	65.0	抜穴:10Bc 掘埋:4Bc	-	-	-	-	-	柱抜取	P308	小穴	円形	20	17	11	73.4	5Be	-	-	-	-	-	整地層より新
P64	柱穴	円形	34	32	12	65.0	7Bc	円形	15	15	9B	あ		P309	柱穴	楕円形	27	20	7	73.4	5Be	円形	9	9	5B	あ	整地層より新
P65	小穴	円形?	30	(28)	17	65.1	9Bc	-	-	-	-	-	P66より古	P310	小穴	円形	17	16	3	73.8	5Be	-	-	-	-	-	整地層より新
P66	小穴	円形	31	30	22	65.1	9Be	-	-	-	-	-	P65より新	P321	柱穴	円形	30	29	15	72.9	抜穴:7Be	-	-	-	-	-	柱抜取
P78	小穴	円形	28	26	30	64.8	7Bd	-	-	-	-	-		P323	柱穴	円形	29	27	23	76.0	抜穴:7Be	-	-	-	-	-	整地層より古、柱抜取
P79	小穴	円形	25	24	20	64.9	7Bd	-	-	-	-	-		P324	柱穴	円形	26	23	15	76.2	抜穴:7Be	-	-	-	-	-	整地層より古、柱抜取
P83	小穴	円形	30	28	11	64.9	7Bd	-	-	-	-	-		P326	柱穴	円形	28	28	11	75.5	抜穴:7Be	-	-	-	-	-	整地層より古、柱抜取
P84	小穴	円形	24	24	26	64.7	9Bd	-	-	-	-	-		P330	柱穴	円形	35	34	13	75.9	9Bd	円形	19	19	5B	あ	整地層より古
P92	小穴	円形	18	17	7	65.0	9Be	-	-	-	-	-		P331	小穴	円形	30	27	19	76.6	7Be	-	-	-	-	-	整地層より古
P93	小穴	円形	21	20	15	64.8	9Be	-	-	-	-	-		P332	小穴	円形	23	20	11	75.7	5Be	-	-	-	-	-	整地層より古
P102	小穴	円形	29	28	11	64.6	9Be	-	-	-	-	-		P333	小穴	円形	26	24	9	75.4	7Bc	-	-	-	-	-	整地層より古
P110	小穴	円形	26	26	14	64.5	9Bc	-	-	-	-	-															
P122	小穴	円形	32	30	6	64.6	9Bd	-	-	-	-	-															
P127	小穴	円形	28	27	17	64.5	7Be	-	-	-	-	-															
P130	小穴	円形	28	24	30	64.3	8Be	-	-	-	-	-															
P135	小穴	円形	25	23	13	64.3	7Bd	-	-	-	-	-	SB14・P134より新														
P136	小穴	円形	24	23	33	64.2	7Bd	-	-	-	-	-															
P139	小穴	円形	24	24	25	64.3	7Bd	-	-	-	-	-															
P140	小穴	円形	33	33	30	64.3	7Bd	-	-	-	-	-															
P142	小穴	円形	29	29	36	64.2	9Bc	-	-	-	-	-															
P144	小穴	円形	23	19	23	64.2	7Be	-	-	-	-	-															
P146	小穴	円形	30	29	17	64.1	7Be	-	-	-	-	-															
P151	小穴	円形	30	28	14	64.4	7Bd	-	-	-	-	-															
P152	小穴	円形	31	28	33	64.1	7Bd	-	-	-	-	-															
P153	小穴	円形	28	25	59	63.8	1層:8Bd 2層:7Bd	-	-	-	-	-															
P154	小穴	円形	33	33	50	63.9	1層:8Bd 2層:7Bd	-	-	-	-	-															
P158	小穴	円形	25	25	33	64.0	8Bc	-	-	-	-	-															
P159	小穴	円形	26	24	34	64.0	8Bc	-	-	-	-	-															
P160	小穴	円形	30	27	20	64.1	8Bc	-	-	-	-	-															
P161	小穴	円形?	34	(28)	43	63.8	9Be	-	-	-	-	-															
P180	小穴	円形?	44	(G1)	46	65.0	9Be	-	-	-	-	-	SA5・P181より古														
P183	小穴	円形	45	44	6	65.1	9Be	-	-	-	-	-															
P190	小穴	円形?	26	(20)	48	64.2	7Bd	-	-	-	-	-	SA9・P191より古														
P192	柱穴	円形	39	35	65	66.4	掘埋1:9Be 掘埋2:8Bc	円形	20	18	5B	あ															
P196	小穴	円形	19	17	18	64.5	9Bd	-	-	-	-	-															
P201	柱穴	円形	36	32	29	63.9	7Bc	円形	23	22	9B	い															
P207	小穴	楕円形	34	28	18	64.1	9Bd	-	-	-	-	-	SB11・P205より新 SB8・P206より古														
P223	小穴	円形	27	25	37	64.2	9Be	-	-	-	-	-															
P251	柱穴	楕円形	26	22	24	63.3	9Bd	楕円形	17	13	4B	あ	整地層より古														
P253	柱穴	円形	38	36	13	62.3	抜穴1:5Be 抜穴2:3Bc	-	-	-	-	-	整地層より古 柱抜取														
P254	柱穴	円形	28	25	28	61.7	9Bc	円形	17	15	4B	あ	整地層より古														
P255	柱穴	円形	28	24	20	61.8	9Bc	円形	17	17	4B	う	整地層より古														
P256	柱穴	円形	23	21	19	62.5	5Bd	楕円形	17	12	4B	あ	P257, 整地層より古														
P257	柱穴	楕円形	28	16	25	62.2	9Bd	楕円形	19	14	4B	あ	P256より新, 整地層より古														
P258	柱穴	円形	18	16	23	63.0	掘埋1:9Bd 掘埋2:7Bd	円形	11	11	5B	い	整地層より古														
P259	柱穴	円形	23	23	28	62.8	抜穴1:5Be 抜穴2:3Bc	-	-	-	-	-	整地層より古 柱抜取														
P260	柱穴	円形	20	18	12	62.9	掘埋1:9Bd 掘埋2:8Bc	円形	9	9	4B	い	整地層より古														
P261	小穴	円形	18	16	23	62.1	4Be	-	-	-	-	-	整地層より古														
P262	柱穴	円形	20	20	15	62.6	9Ac	円形	14	12	4B	あ	整地層より古														

●ピット(柱穴・小穴) 類型

【柱類型】

あ: 柱痕跡が柱穴掘方
底面に接するもの 

い: 柱痕跡が柱穴掘方
底面まで至らない
もの 

う: 柱痕跡が柱穴掘方
底面よりさらに下
に延びるもの 

【柱痕跡・掘方の埋土・堆積土類型】

■土色

1: 黒褐色 (10YR2/2) 2: 黒褐色 (10YR3/1) 3: 黒褐色 (10YR3/2)
4: 暗褐色 (10YR3/3) 5: 暗褐色 (10YR3/4) 6: 褐灰色 (10YR4/1)
7: 灰黄褐色 (10YR4/2) 8: 灰黄褐色 (10YR5/2) 9: にぶい黄褐色 (10YR4/3)
10: にぶい黄褐色 (10YR5/3) 11: にぶい黄褐色 (10YR6/4) 12: にぶい黄色 (2.5Y6/4)

■土性

A: シルト B: 砂質シルト

■混入物

a: 地山ブロック含む b: 地山ブロック少量含む
c: 地山粒子多く含む d: 地山粒子含む
e: 地山粒子少量含む f: その他のもの(上記以外のもの※)

※fを選択した場合は備考欄に堆積土混入物を記載
※備考欄の関係から、下記の内容については記載を省略した
炭化物片→炭片 黒色土ブロック→黒ブ 礫・小礫

【記載例】



1Aa・・・土色: 黒褐色(10YR2/2)、土性: シルト、混入物: 地山ブロック含む


第9-2表 驚足館跡 ピット(柱穴・小穴) 属性表(2) ※SA・SBを構成するもの以外 P335~589

遺構番号	種類	柱穴・ピット掘方(長軸・短軸:cm, 底面積:cm ²)					柱痕跡				備考 (重複・出土遺物等)	遺構番号	種類	柱穴・ピット掘方(長軸・短軸:cm, 底面積:cm ²)					柱痕跡				備考 (重複・出土遺物等)				
		平面形	長軸	短軸	残存深	底面積	埋土	平面形	長軸	短軸				埋土	平面形	長軸	短軸	埋土	平面形	長軸	短軸	埋土					
P335	柱穴	円形	27	26	44	82.4	7Bc	円形	10	8	4B	あ		P530	小穴	円形	38	37	20	96.1	5Bc	-	-	-	-	P531より新	
P336	小穴	円形	23	20	24	81.7	9Bc	-	-	-	-	-		P531	小穴	円形?	38	(27)	16	96.1	9Bc	-	-	-	-	SB17-P521、P530より古	
P339	柱穴	円形	26	24	10	83.0	7Bc	円形	12	12	7B	あ		P532	小穴	円形	21	21	17	96.0	9Bc	-	-	-	-		
P341	小穴	円形	24	23	12	83.1	7Bd	-	-	-	-	-		P536	小穴	円形	16	16	8	96.4	9Bc	-	-	-	-		
P344	柱穴	円形	40	36	43	82.6	7Bc	円形	12	11	3B	あ		P541	小穴	円形	24	20	30	95.7	7Bd	-	-	-	-		
P358	柱穴	円形	28	26	8	83.8	5Ad	円形	10	10	4B	あ		P544	小穴	円形	22	20	24	96.0	9Ac	-	-	-	-		
P360	小穴	円形	26	26	17	84.0	7Ad	-	-	-	-	-		P546	小穴	円形	26	26	13	96.0	9Ac	-	-	-	-		
P365	小穴	円形	28	24	13	84.3	4Bd	-	-	-	-	-		P547	柱穴	円形	37	33	10	107.3	11Bf	楕円形	13	10	9B	あ	堆積物多量
P368	柱穴	円形	30	28	37	84.0	7Bc	円形	14	12	5A	あ		P550	小穴	円形	30	30	15	108.2	10Bf	-	-	-	-	堆積物多量	
P375	柱穴	円形?	36	(33)	40	84.0	7Bd	円形	16	13	5B	あ	P376より古	P558	柱穴	円形	33	30	14	106.9	5Bd	楕円形	16	12	4B	あ	
P376	小穴	楕円形	37	30	17	84.2	9Bd	-	-	-	-	-	P375より新	P559	柱穴	円形	33	30	10	106.4	抜穴:4Bd	-	-	-	-	SD3より古、柱採取	
P377	小穴	円形	23	22	38	84.0	9Bd	-	-	-	-	-		P561	小穴	楕円形	25	20	9	106.3	9Bc	-	-	-	-	SA66-P560より新	
P383	小穴	円形	23	23	8	84.4	5Bc	-	-	-	-	-		P563	柱穴	円形	29	25	30	105.2	抜穴:10Bd 抜穴:9Bd	-	-	-	-	柱採取	
P392	小穴	楕円形	30	25	30	82.4	4Bb	-	-	-	-	-	整地層より古	P565	小穴	楕円形	33	27	28	105.1	9Bf	-	-	-	-	堆積物少量	
P393	小穴	円形	26	24	8	82.3	4Bb	-	-	-	-	-	整地層より古	P567	柱穴	円形	32	28	23	104.9	抜穴:10Bc 抜穴:10Bc	-	-	-	-	柱採取	
P416	小穴	楕円形	48	36	16	78.8	9Ba+f	-	-	-	-	-	整地層より古、堆積物黒色土ゾ	P568	柱穴	円形	33	30	26	105.3	10Bf	円形	13	11	9B	う	堆積物
P427	小穴	円形?	23	(8)	18	76.8	5Bd	-	-	-	-	-	SA30-P428より古	P569	小穴	円形	27	25	16	105.4	9Bd	-	-	-	-		
P429	小穴	円形	20	17	16	77.5	5Bd	-	-	-	-	-		P570	柱穴	円形	44	40	28	105.0	抜穴:10Bc 抜穴:10Bc	-	-	-	-	柱採取	
P431	小穴	円形	23	19	18	74.8	4Bd	-	-	-	-	-		P572	柱穴	円形	25	25	18	105.4	10Bd	円形	15	12	9B	あ	
P434	柱穴	円形	36	34	16	96.7	9Bc	円形	20	18	5B	あ		P578	小穴	円形	33	32	62	104.6	9Bd	-	-	-	-		
P435	柱穴	円形	40	38	30	96.4	9Bc	円形	22	20	4B	あ		P580	柱穴	楕円形	47	38	61	104.9	掘埋:11Bd+f 掘埋:9Bd+f 掘埋:10Bd+f	円形	21	19	9B	あ	堆積物少量
P444	小穴	円形	28	25	38	96.3	5Bd	-	-	-	-	-		P581	小穴	円形	34	30	14	104.6	11Bf	-	-	-	-	堆積物多量	
P445	柱穴	円形	27	26	14	96.5	9Bc	円形	12	12	5B	あ		P582	小穴	円形	24	22	46	105.1	9Bd	-	-	-	-		
P446	小穴	円形	27	24	47	96.2	5Bc	-	-	-	-	-		P584	小穴	円形	22	21	40	105.1	9Bd	-	-	-	-		
P448	小穴	円形	26	24	10	96.5	7Bc	-	-	-	-	-		P585	小穴	円形	30	30	20	105.1	9Bd	-	-	-	-		
P452	小穴	円形	22	22	8	95.7	7Bc	-	-	-	-	-		P588	小穴	円形	30	30	20	105.4	10Bd	-	-	-	-		
P453	柱穴	円形	22	20	11	95.7	9Bc	円形	10	9	9B	あ		P589	小穴	楕円形	30	25	14	105.4	10Bd	-	-	-	-		
P454	柱穴	楕円形	70	39	41	95.6	抜穴:10Bc 抜穴:9Bc 掘埋:10Bd	-	-	-	-	-	柱採取														
P460	柱穴	円形	25	24	40	96.0	9Bd	円形	10	9	5B	あ															
P461	小穴	円形	30	29	43	96.0	5Bc+f	-	-	-	-	-	堆積物炭片														
P463	柱穴	楕円形	28	23	36	96.1	9Bd	円形	12	11	5B	あ															
P465	小穴	円形	23	23	20	96.4	9Bc	-	-	-	-	-															
P466	小穴	円形	25	23	28	96.1	1層:7Bc 2層:11Bc 3層:9Bc	-	-	-	-	-															
P468	小穴	円形	22	18	14	96.0	7Bc	-	-	-	-	-															
P469	柱穴	楕円形	40	33	26	96.1	抜穴:10Bc 抜穴:7Bc	-	-	-	-	-	柱採取														
P470	柱穴	円形	29	26	25	95.9	9Bd	円形	10	9	4B	あ															
P474	柱穴	円形	28	25	31	96.0	9Bd	円形	12	10	5B	あ															
P476	小穴	円形	23	23	14	96.6	7Bc	-	-	-	-	-															
P477	小穴	円形	23	23	11	96.6	7Bc	-	-	-	-	-															
P479	小穴	円形?	33	(18)	28	95.4	5Bd+f	-	-	-	-	-	SB17-P478より古 堆積物炭片														
P480	小穴	円形	33	29	33	95.6	5Bd+f	-	-	-	-	-	SB17-P481より古 堆積物炭片														
P482	小穴	楕円形	22	17	10	95.5	10Bc	-	-	-	-	-															
P486	小穴	円形	20	20	20	96.0	9Bc	-	-	-	-	-															
P487	小穴	円形	20	18	15	95.8	9Bc	-	-	-	-	-															
P489	小穴	円形	20	18	10	96.0	9Bd	-	-	-	-	-															
P490	小穴	円形	24	22	8	96.0	9Bd	-	-	-	-	-															
P492	小穴	円形	24	22	16	95.6	9Bd	-	-	-	-	-															
P494	小穴	円形	14	14	6	96.0	5Bd	-	-	-	-	-	SB19-P493より古														
P498	柱穴	円形	27	25	22	96.0	9Bc	楕円形	14	10	4B	あ															
P499	柱穴	円形	33	29	20	96.0	5Bc	円形	16	14	4B	あ	P500より古														
P500	柱穴	円形?	30	(25)	24	96.0	9Bc	円形	14	12	4B	あ	P499より古														
P501	柱穴	円形	35	33	26	95.7	5Bd	円形	12	9	4B	あ															
P503	小穴	円形	24	20	7	96.2	5Bc	-	-	-	-	-															
P505	小穴	円形	24	22	19	95.6	9Bc	-	-	-	-	-															
P508	柱穴	円形	33	31	27	95.6	7Bc	円形	12	10	4B	あ															
P514	柱穴	円形	42	39	40	95.6	5Bc	楕円形	16	11	4B	あ															
P515	小穴	円形	23	22	29	95.7	9Bd	-	-	-	-	-															
P516	小穴	円形	25	24	20	95.4	5Bc	-	-	-	-	-															
P520	小穴	円形	28	28	17	95.9	9Bc	-	-	-	-	-															
P522	小穴	円形	26	23	11	95.6	9Bc	-	-	-	-	-															
P525	柱穴	楕円形?	(45)	35	80	95.4	4Bc	円形	15	14	4B	あ	P526より古														
P526	小穴	円形	27	27	19	95.9	9Bc	-	-	-	-	-	P525より古														
P527	小穴	楕円形	30	24	35	96.0	5Bc	-	-	-	-	-															
P528	小穴	円形	19	19	18	95.9	5Bc	-	-	-	-	-															
P529	小穴	円形	29	29	20	96.0	9Bc	-	-	-	-	-															

●ピット(柱穴・小穴) 類型

【柱類型】

あ: 柱痕跡が柱穴掘方底面に接するもの  い: 柱痕跡が柱穴掘方底面まで至らないもの 

う: 柱痕跡が柱穴掘方底面よりさらに下に延びるもの 

【柱痕跡・掘方の埋土・堆積土類型】

■土色

1: 黒褐色 (10YR2/2) 2: 黒褐色 (10YR3/1) 3: 黒褐色 (10YR3/2)
 4: 暗褐色 (10YR3/3) 5: 暗褐色 (10YR3/4) 6: 灰褐色 (10YR4/1)
 7: 灰黄褐色 (10YR4/2) 8: 灰黄褐色 (10YR5/2) 9: にぶい黄褐色 (10YR4/3)
 10: にぶい黄褐色 (10YR5/3) 11: にぶい黄褐色 (10YR6/4) 12: にぶい黄色 (2.5Y6/4)

■土性

A: シルト B: 砂質シルト

■混入物

a: 地山ブロック含む b: 地山ブロック少量含む
 c: 地山粒子多く含む d: 地山粒子含む
 e: 地山粒子少量含む f: その他のもの(上記以外のもの※)

※fを選択した場合は備考欄に堆積土混入物を記載
 ※備考欄幅の関係から、下記の内容については記載を省略した
 炭化物片→炭片 黒色土ブロック→黒ブ 礫・小礫

【記載例】

1Aa・・・土色: 黒褐色 (10YR2/2)、土性: シルト、混入物: 地山ブロック含む

●その他の記載事項

■柱穴・ピットの計測値

- ・(数値)は推定値を示す

■柱穴・ピット掘削の「埋土・堆積土(堆積土)」記載事項

- ・柱穴の場合は「掘方埋土」を意味する
- ・「1層・2層」等の記載: 「柱穴・小穴」の埋土等が2層以上に分層した場合を示す
- ・「抜穴」: 柱抜き取り穴の埋土・堆積土 / 「抜穴1」: 抜き取り穴1層の埋土・堆積土
- ・「切穴」: 柱切り取り穴の埋土・堆積土 / 「切穴1」: 切り取り穴1層の埋土・堆積土

■備考欄の記載事項

- ・柱採取: 柱が抜き取られているもの ・柱切取: 柱が切り取られているもの
- ・その他、重複関係・出土遺物を記載

5 土坑

今回の調査では、土坑7基（SK1～7）を検出した。このうち、SK1～3土坑はA区平場A-1（第10図）、SK4土坑はB区平場B-8（第12図）、SK5土坑はB区平場B-6（第12図）、SK6土坑はB区平場B-3（第12図）、SK7土坑はB区平場B-4（第12図）で確認した。以下、それぞれの詳細について記載する。

【SK1土坑】（第115図）

【概要】 A区の平場A-1西端の標高66.3mの平坦面で検出した。底面で焼面を確認していることから、焼成土坑と考えられる。

【重複】 なし。

【規模・形状】 106cm×100cmのやや歪んだ円形。深さ9cm。底面は平坦で、断面形は皿状である。

【堆積土】 1層確認した。地山粒子・炭化物片を含む自然堆積層である。

【出土遺物】 なし。

【SK2土坑】（第115図）

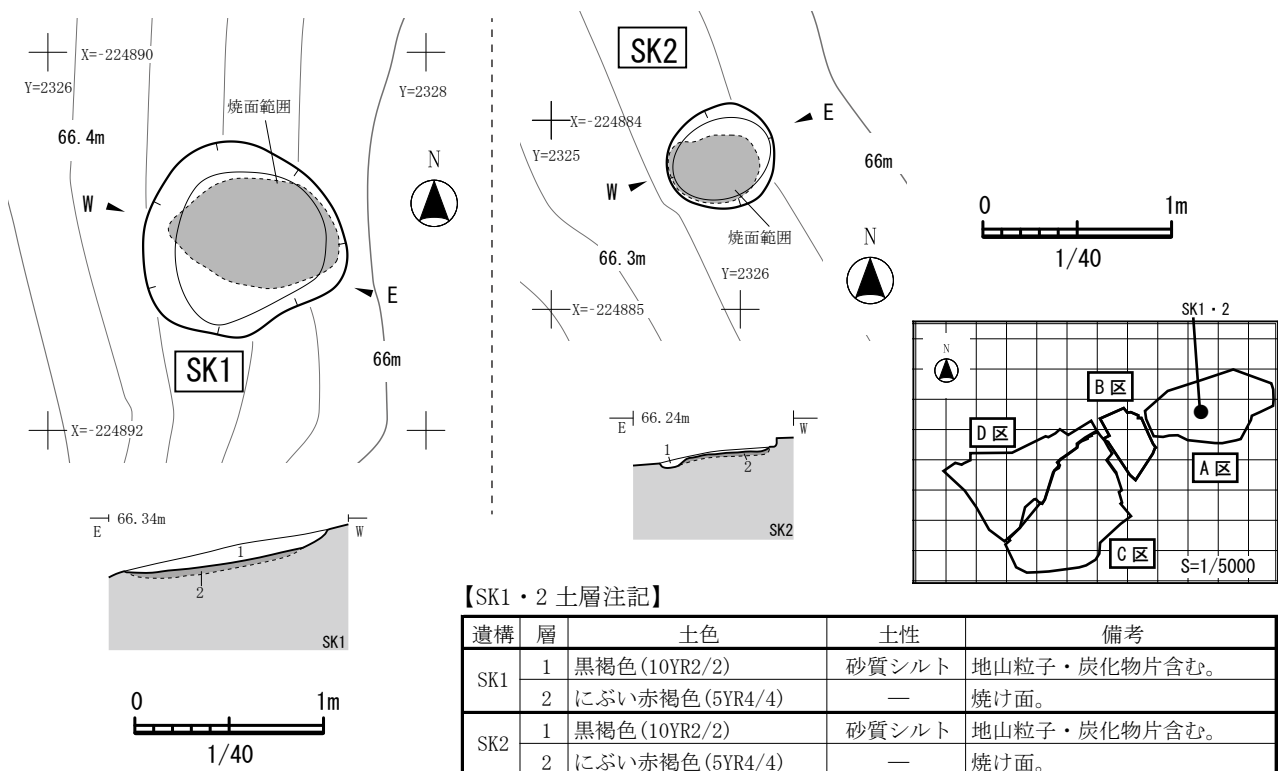
【概要】 A区の平場A-1西端の標高66.1mの平坦面で検出した。底面で焼面を確認していることから、焼成土坑と考えられる。

【重複】 なし。

【規模・形状】 57cm×55cmの円形。深さ3cm。底面にはやや凹凸があり、断面形は皿状である。

【堆積土】 1層確認した。地山粒子・炭化物片を含む自然堆積層である。

【出土遺物】 なし。



第115図 SK1・2土坑 平面・断面図

【SK3 土坑】（第116図）

【概要】 A区の平場A-1西端の標高67.0mの平坦面で検出した。

【重複】 なし。

【規模・形状】 157cm×100cmの楕円形。深さ14cm。底面は平坦で、断面形は皿状である。

【堆積土】 1層確認した。自然堆積層である。

【出土遺物】 なし。

【SK4 土坑】（第116図）

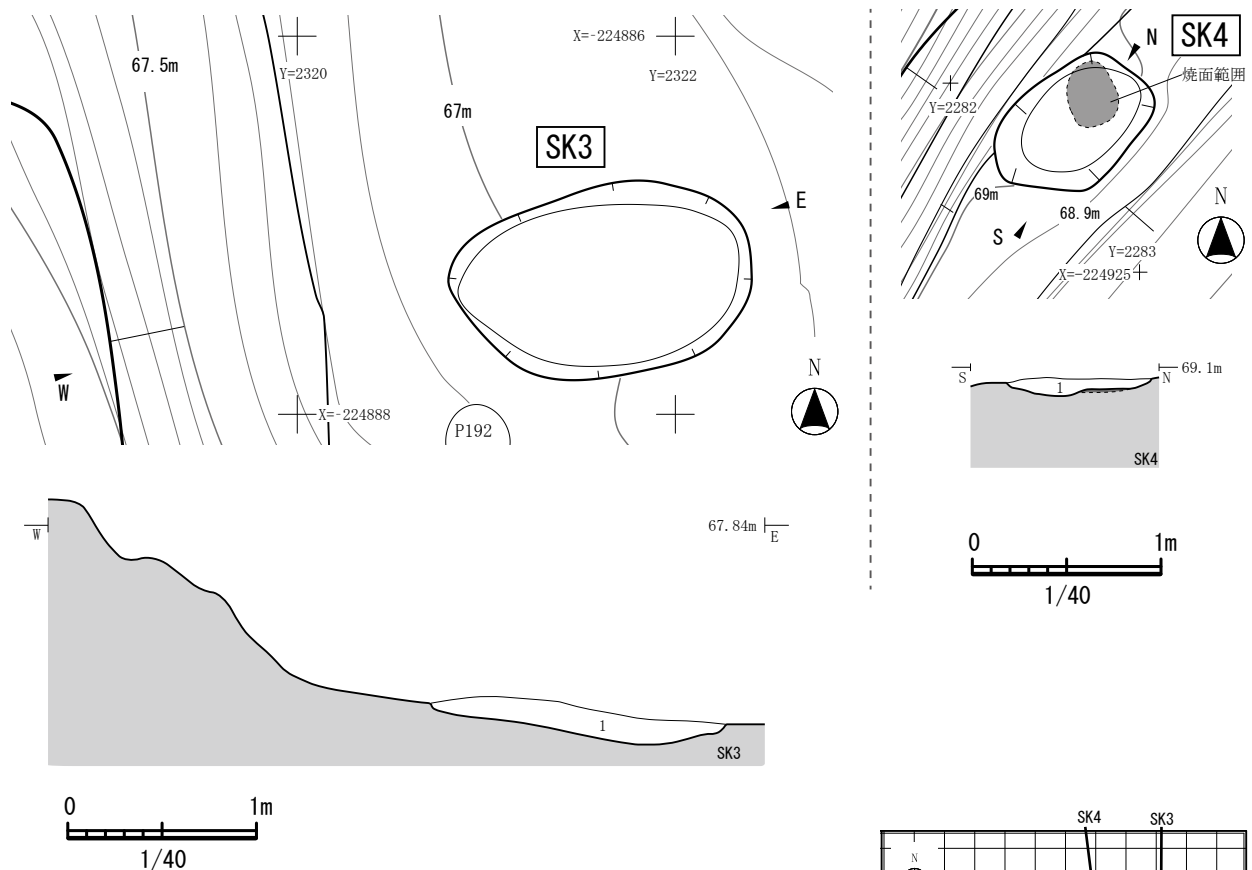
【概要】 B区南斜面に位置する平場B-8上の標高69.0mの地点で検出した。底面で焼面を確認していることから、焼成土坑と考えられる。

【重複】 なし。

【規模・形状】 81cm×63cmの円形。深さ9cm。底面は平坦で、断面形は皿状である。

【堆積土】 1層確認した。炭化物片を多く含む自然堆積層である。

【出土遺物】 なし。



【SK3・4 土層注記】

遺構	層	土色	土性	備考
SK3	1	暗褐色(10YR3/4)	砂質シルト	地山粒子含む。
SK4	1	黒褐色(10YR3/1)	砂質シルト	炭化物片多く含む。
	2	にぶい赤褐色(5YR4/4)	—	焼け面。

第116図 SK3・4 土坑 平面・断面図

【SK5 土坑】（第 117 図）

【概要】 B区南斜面に位置する平場 B-6 上の標高 73.0m の地点で検出した。

【重複】 なし。

【規模・形状】 60cm×55cm の楕円形。深さ 33cm。底面は中央がやや凹み、断面形は U 字形である。

【堆積土】 2層確認した。いずれも自然堆積層である。

【出土遺物】 なし。

【SK6 土坑】（第 117 図）

【概要】 B区南斜面に位置する平場 B-3 上の標高 75.5m の地点で検出した。

【重複】 B区南斜面を覆う整地層下で確認しており、整地層より古い遺構とみられる（SK6→整地層）。

【規模・形状】 78cm×70cm の楕円形。深さ 31cm。底面は中央がやや凹み、断面形は U 字形である。

【堆積土】 3層確認した。いずれも自然堆積層である。

【出土遺物】 なし。

【SK7 土坑】（第 117 図）

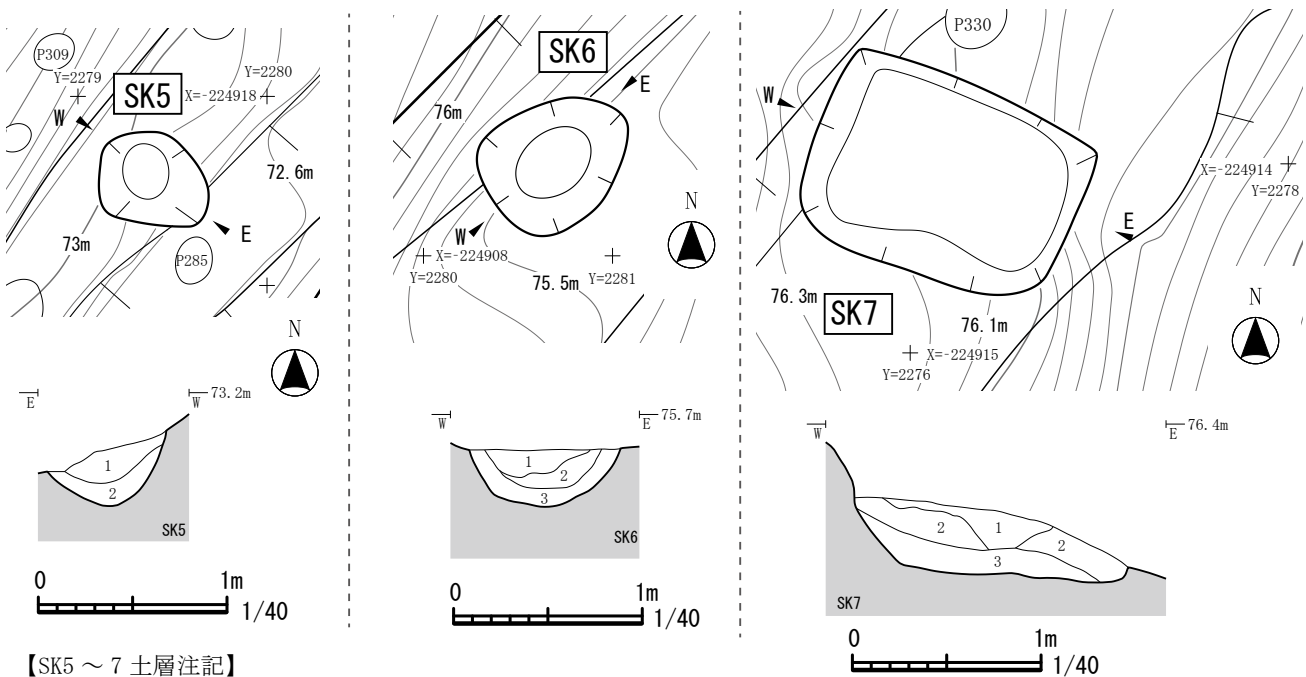
【概要】 B区南斜面に位置する平場 B-4 上の標高 76.2m の地点で検出した。

【重複】 B区南斜面を覆う整地層下で確認しており、整地層より古い遺構とみられる（SK7→整地層）。

【規模・形状】 148cm×105cm の隅丸長方形。深さ 37cm。底面は平坦で、断面形は皿状である。

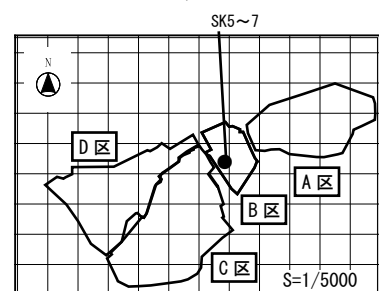
【堆積土】 3層確認した。いずれも自然堆積層である。

【出土遺物】 なし。



【SK5～7 土層注記】

遺構	層	土色	土性	備考
SK5	1	暗褐色(10YR3/4)	砂質シルト	地山ブロック微量含む。
	2	にぶい黄褐色(10YR4/3)	砂質シルト	地山ブロック少量含む。
SK6	1	暗褐色(10YR3/4)	砂質シルト	地山粒子少量含む。
	2	にぶい黄褐色(10YR5/3)	砂質シルト	地山粒子多く含む。
	3	にぶい黄褐色(10YR4/3)	砂質シルト	地山粒子少量含む。
SK7	1	暗褐色(10YR3/4)	砂質シルト	地山ブロック少量含む。
	2	にぶい黄褐色(10YR4/3)	砂質シルト	地山粒子少量含む。
	3	灰黄褐色(10YR4/2)	砂質シルト	地山粒子含む。

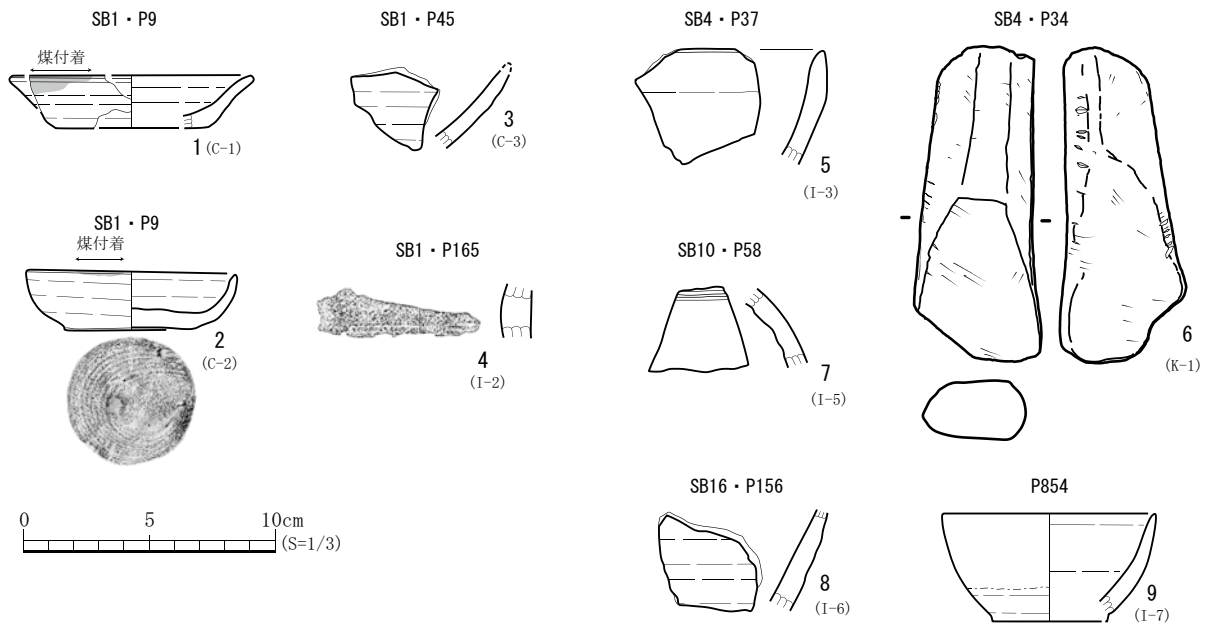


第117図 SK5～7 土坑 平面・断面図

6 出土遺物 (第118～120図)

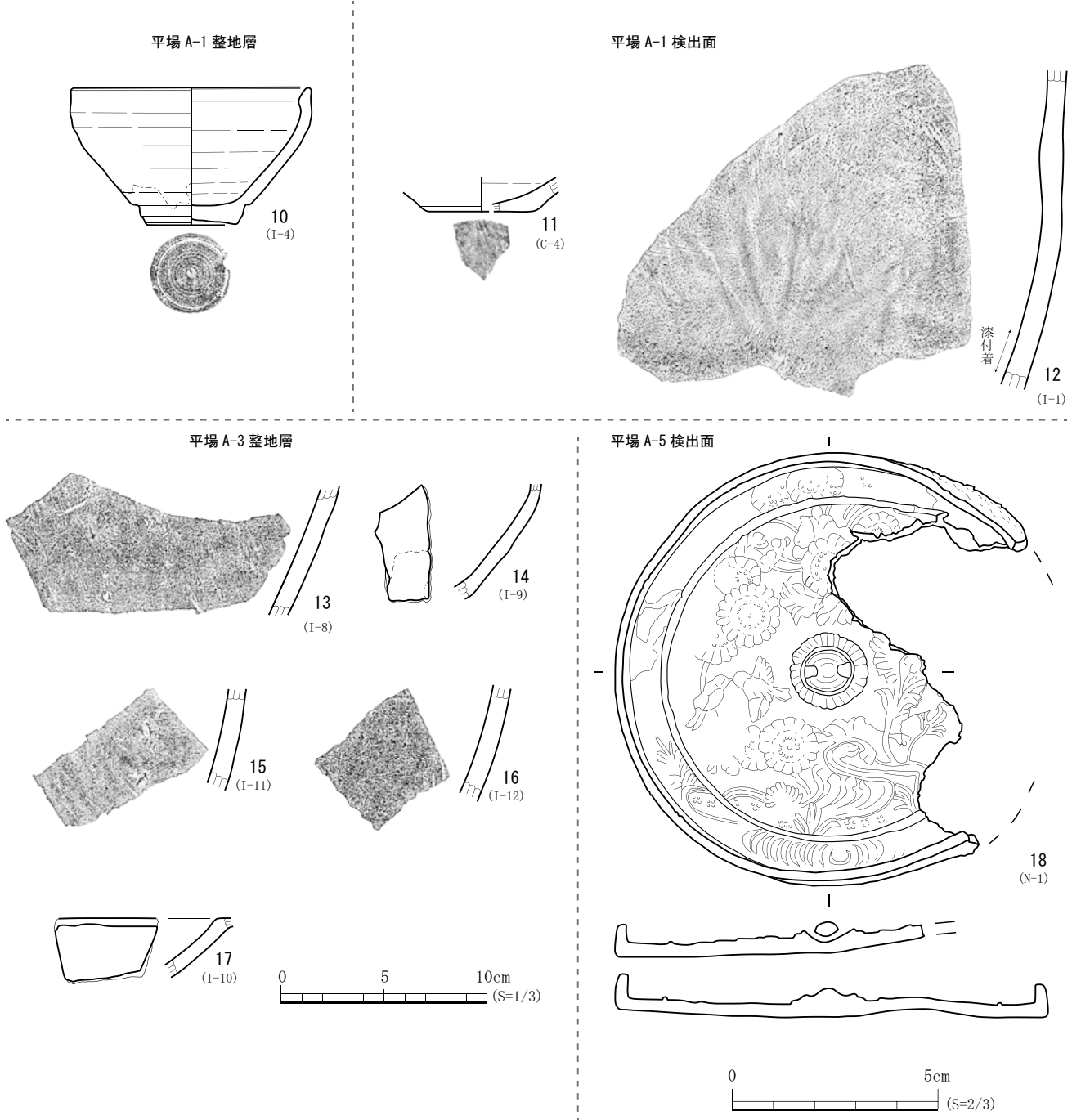
今回の調査区では、掘立柱建物跡を構成する柱穴、その他の小穴、平場の整地層、遺構検出面、表土、などから、縄文土器1点(130g)、土師器1点(20g)、須恵器1点(55g)、かわらけ5点(95g)、中世陶器5点(630g)、施釉陶器8点(225g)、磁器1点(75g)、金属製品1点(155g)、石器1点(265g)が出土した。

このうち、図示できたのは、かわらけ4点、中世陶器5点、施釉陶器7点、金属製品1点、石器1点の合計18点で、その内訳は、SB1・P9/掘方埋土出土のかわらけ皿破片2点(第118図1・2)、SB1・P45/堆積土出土のかわらけ皿破片1点(第118図3)、SB1・P165/1層出土の中世陶器甕破片(第118図4)、SB4・P37/堆積土出土の天目茶碗破片1点(第118図5)、SB4・P34/掘方埋土出土の砥石(第118図6)、SB10・P58/堆積土出土の灰釉陶器瓶子または梅瓶破片1点(第118図7)、SB16・P156/1層出土の灰釉陶器大型鉢破片(第118図8)、P854/堆積土出土の丸碗破片(第118図9)、平場A-1/整地層(3d層)出土の天目茶碗破片(第119図10)、平場A-1/検出面出土のかわらけ皿破片(第119図11)・中世陶器甕破片(第119図12)、平場A-3南斜面/整地層出土の中世陶器甕破片(第119図13・15・16)・天目茶碗破片(第119図14)・灰釉陶器折縁皿破片(第119図17)、平場A-5/検出面出土の和鏡(第119図18)である。



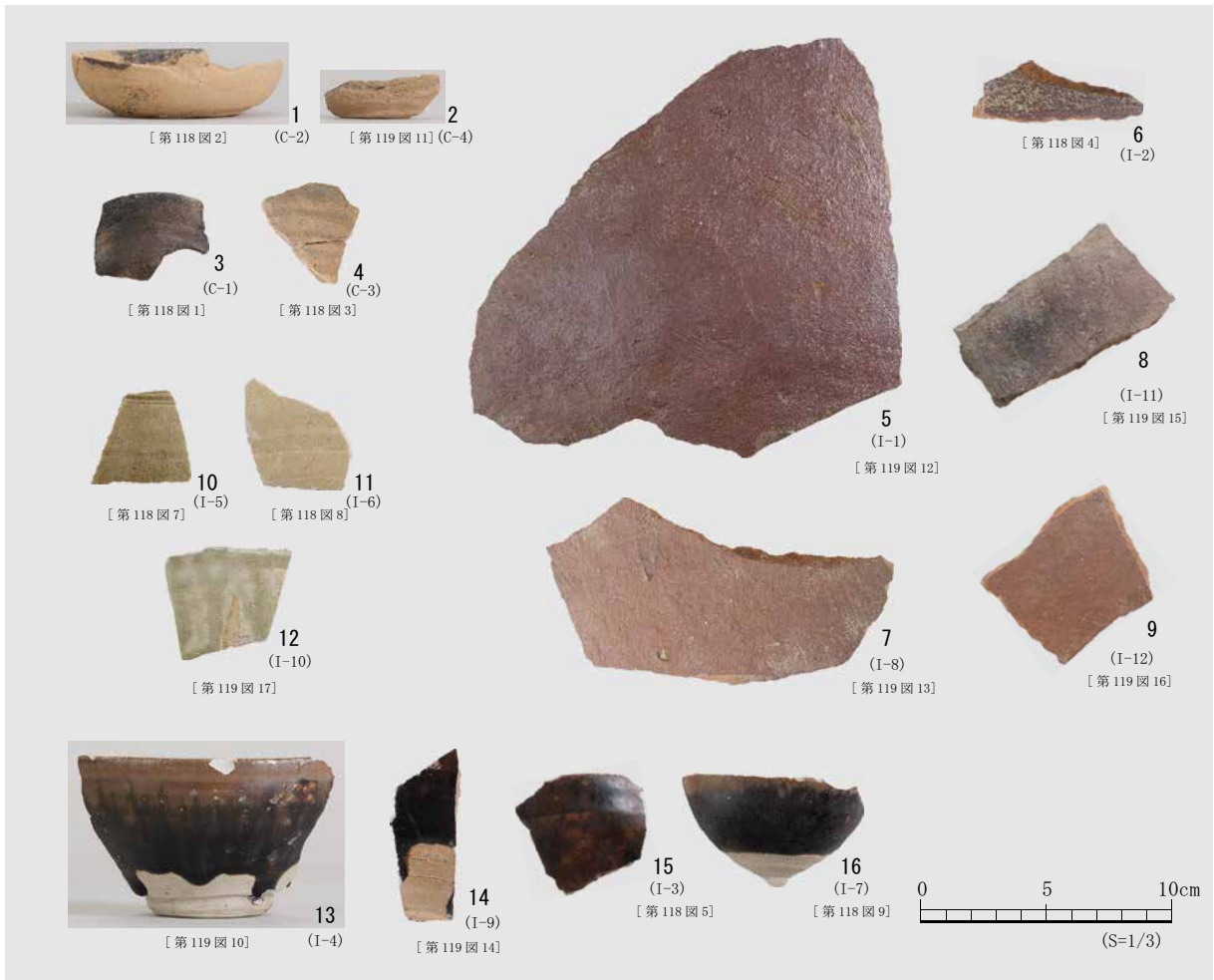
No.	遺構名・層	位置	種別	器種	残存	特徴【技法(外面・内面)→色調(外面・内面)→法量→その他の特徴の順に記載】	登録
1	SB1・P9 掘方埋土	平場 A-1	かわらけ	皿	口縁部 ～底部	内外面：ロクロナデ、色調：内外面・黒褐色(10YR3/1)、法量：口径(9.7)cm・器高2.1cm・底径6.0cm・器厚0.4～0.5cm、内外面：煤付着、灯明皿	C-1
2	SB1・P9 掘方埋土	平場 A-1	かわらけ	皿	口縁部 ～底部	外面：ロクロナデ・底部回転糸切り無調整、内面：ロクロナデ、色調：内外面・にぶい橙色(7.5YR6/4)、法量：口径8.2cm・器高2.4cm・底径5.1cm・器厚0.3～0.8cm、内外面：煤付着、灯明皿	C-2
3	SB1・P45 堆積土	平場 A-1	かわらけ	皿?	胴部	内外面：ロクロナデ、色調：内外面・にぶい橙色(7.5YR6/4)、法量：器厚0.65cm	C-3
4	SB1・P165 1層	平場 A-1	中世陶器	甕	胴部	内外面：ナデ、色調：外面・灰赤褐色(2.5YR5/2)、内面・にぶい赤褐色(2.5YR5/3)、法量：器厚1.2cm、産地：常滑	I-2
5	SB4・P37 堆積土	平場 A-1	施釉陶器	天目茶碗	口縁部	内外面：鉄釉、色調：内外面・暗褐色(7.5YR3/3)、断面・灰褐色(2.5Y6/2)、法量：器厚0.5～0.8cm、産地：古瀬戸	I-3
6	SB4・P34 掘方埋土	平場 A-1	石器	砥石	—	石材：安山岩、法量：長さ12.5cm、幅5.05cm、厚さ4.15cm、重量265g	K-1
7	SB10・P58 堆積土	平場 A-1	灰釉陶器	瓶子 or梅瓶	肩部	外面：灰釉、内面：ロクロナデ、色調：外面・黄褐色(2.5Y5/3)、内面・黄灰色(2.5Y6/1)、法量：器厚0.8cm、産地：古瀬戸	I-5
8	SB16・P156 1層	平場 A-1	灰釉陶器	大型鉢	胴部	内外面：ロクロナデ・灰釉、色調：内外面・にぶい黄色(2.5Y6/3)、断面・灰黄色(2.5Y7/2)、法量：器厚0.4～0.9cm、産地：古瀬戸	I-6
9	P854 堆積土	平場 B-12	施釉陶器	丸碗	口縁部 ～胴部	内外面：ロクロナデ→鉄釉、色調：外面・黒色(7.5YR2/1)、内面・黒色(7.5YR2/1)／暗褐色(7.5YR3/3)、法量：口径(8.4)cm・残存高4.3cm・器厚0.3～0.7cm、産地：古瀬戸	I-7

第118図 鷲足館跡1～5次調査 出土遺物(1) -SB・Pit出土遺物-



No.	遺構名・層	種別	器種	残存	特徴【技法(外面・内面)→色調(外面・内面)→法量→その他の特徴の順に記載】	登録
10	平場A-1東斜面 整地層(3d層)	施釉陶器	天目茶碗	口縁部 ～底部	外面：ロクロナデ・鉄釉・高台削り出し高台、内面：ロクロナデ・鉄釉、色調：外面・灰黄色(2.5Y7/2)/灰褐色(7.5YR4/2)/黒色(N3/0)、内面・灰褐色(7.5YR4/2)/黒色(N3/0)、法量：口径(11.4)cm・器高6.7cm・底径4.4cm・器厚0.6～0.7cm、産地：古瀬戸	I-4
11	平場A-1 検出面	かわらけ	皿	底部	外面：ロクロナデ・底部回転糸切り無調整、内面：ロクロナデ、色調：内外面・にぶい橙色(7.5YR6/4)、法量：底径(7.4)cm・残存高1.7cm・器厚0.4～0.7cm	C-4
12	平場A-1西端 検出面	中世陶器	甕	胴部	内外面：ナデ、色調：外面・にぶい赤褐色(5YR4/4)、内面・灰褐色(5YR4/2)、法量：器厚0.9～1.2cm、内面：漆付着、断面：磨滅箇所あり・漆付着→補修跡?、産地：白石?	I-1
13	平場A-3南斜面 整地層(18層)	中世陶器	甕	胴部	内外面：ナデ、色調：外面・にぶい橙色(5YR6/4)、内面・にぶい赤褐色(5YR5/4)、法量：器厚0.8～1.0cm、産地：常滑	I-8
14	平場A-3南斜面 整地層(18層)	施釉陶器	天目茶碗	胴部	内外面：ロクロナデ→鉄釉、色調：外面・黒色(7.5YR2/1)、内面・暗褐色(7.5YR3/3)、法量：器厚0.8～0.9cm、産地：古瀬戸	I-9
15	平場A-3南斜面 整地層(21層)	中世陶器	甕	胴部	外面：ナデ・ケズリ、内面：ナデ、色調：外面・灰褐色(7.5YR5/2)、内面・灰褐色(7.5YR4/2)、法量：器厚0.8～0.9cm、産地：常滑	I-11
16	平場A-3南斜面 整地層(21層)	中世陶器	甕	胴部	内外面：ナデ、色調：外面・灰褐色(5YR6/2)、内面・にぶい赤褐色(5YR5/3)、法量：器厚0.8～0.9cm、産地：常滑	I-12
17	平場A-3南斜面 整地層(21層)	灰釉陶器	折縁皿	口縁部 ～胴部	外面：ロクロナデ→灰釉、内面：調整不明→灰釉、色調：内外面・灰白色(5Y7/2)、法量：器厚0.4～0.7cm、産地：古瀬戸	I-10
18	平場A-5中央 検出面	金属製品	和鏡	—	材質：銅製、文様：州浜・菊花・双鳥、花蕊座鈕、法量：直径10.5cm、重量155g、一部欠損	N-1

第119図 鷲足館跡1～5次調査 出土遺物(2) -整地層・検出面出土遺物-



1～4：かわらけ 4～9：中世陶器
 10～12：施釉陶器（灰釉） 13～16：施釉陶器（鉄釉）
 17：石器（砥石） 18：金属製品（和鏡）

【出土遺構別一覧】
 SB1/P9：1・2 SB1/P45：3 SB1/P165：4
 SB4/P37：5 SB4/P34：6 SB10/P58：7
 SB16/P156：8 P854：9
 平場 A-1 整地層：10 平場 A-1 検出面：11・12
 平場 A-3 整地層：13～17 平場 A-5 検出面：18

※()内：遺物登録番号/[]内：遺物実測図 掲載図版番号

第120図 鷺足館跡1～5次調査 出土遺物（3）-写真図版-



鷲足館跡 調査風景

第3章 自然科学分析

第1節 はじめに

鷲足館跡は調査前の段階から中世の山城と推定されていたものの、実際の現地調査においては、その年代を示す遺物の出土がきわめて少ない状況であった。その一方で、山城を構成する平場で確認した整地層（人為堆積層）や斜面部の自然堆積層には部分的ではあるが炭化物片を含む層が確認された。年代幅を推定する目的で下記のとおり自然科学分析を実施したものである。

1 自然科学分析の項目と分析目的

今回の調査では、下記の1項目について、業務委託により自然科学分析等を実施した。分析内容、分析目的、分析機関については以下のとおりである。

(1) 炭化物の放射性炭素年代測定

[分析内容]

- ①館跡を構成する平場造成時の整地層（人為堆積層）出土炭化物の放射性炭素年代測定
- ②館跡を構成する平場の斜面自然堆積層出土の炭化物の放射性炭素年代測定

[分析目的]

- ①平場造成時の年代推定
- ②平場機能時の年代推定

[分析委託機関] 株式会社加速器分析研究所

[分析結果] 第3章第2節に記載

2 試料の採取地点と採取方法

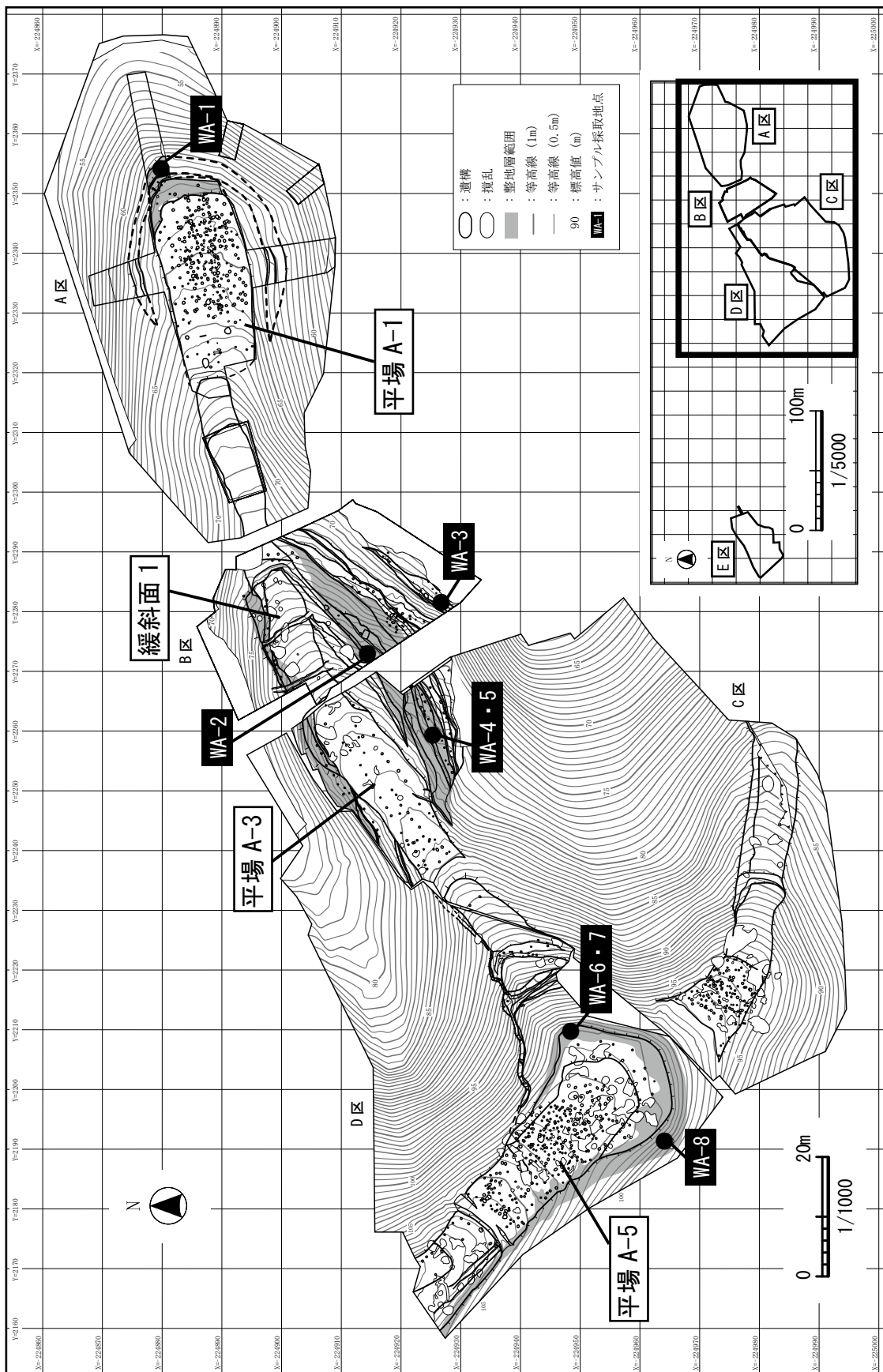
それぞれの分析試料の採取地点等は第10表・第121図のとおりである。放射性炭素年代測定に使用した試料は、発掘担当者が直接発掘調査現場で採取した。

試料については、炭化物が含まれる土壌一式を採取し、出土層位を記録した上でビニール袋に詰めて現場から持ち帰り、その後、整理作業の段階で年代測定に適した炭化物を数点抽出した上で、分析委託機関に試料を引き渡し、分析を実施した。

なお、今回は複数年にわたる調査であったため、その分析は3回に分けて実施しており（分析実施年度：平成25・26・27年度）、その都度、分析結果報告書を納品している状態であった。したがって、本書に掲載した分析結果報告（第3章第2節）については、町担当者が委託業者から納品した報告書を編集したものであることを申し添えておく。

第10表 鷲足館跡 炭化物試料採取遺構・層位一覧

試料No.	遺構名	採取箇所	
WA-1	平場A-1 東端	3d層（整地層）	第27図土層断面A-A' 参照
WA-2	緩斜面1 南斜面	27層（自然堆積層）	第32図土層断面D-D' 参照
WA-3	緩斜面1 南斜面	14層（自然堆積層）	
WA-4	平場A-3 南斜面	21層（整地層）	第33図土層断面H-H' 参照
WA-5	平場A-3 南斜面	21層（整地層）	
WA-6	平場A-5 東端	2層（整地層）	第44図土層断面C-C' 参照
WA-7	平場A-5 東端	8層（整地層）	
WA-8	平場A-5 西端	5層（整地層）	第44図土層断面B-B' 参照



第121図 炭化物サンプル採取地点

第2節 鷺足館跡第1～4次調査における放射性炭素年代 (AMS 測定)

(株) 加速器分析研究所

1 測定対象試料

鷺足館跡の測定対象試料は、第1～4次調査において平場周辺で確認された整地層及び斜面の堆積層から出土した炭化物9点である (第11表)。

2 化学処理工程

- (1) メス・ピンセットを使い、根・土等の付着物を取り除く。
- (2) 酸-アルカリ-酸 (AAA : Acid Alkali Acid) 処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA 処理における酸処理では、通常 $1\text{mol}/\ell$ (1M) の塩酸 (HCl) を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム (NaOH) 水溶液を用い、0.001M から 1M まで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が 1M に達した時には「AAA」、1M 未満の場合は「AaA」と表1に記載する。
- (3) 試料を燃焼させ、二酸化炭素 (CO_2) を発生させる。
- (4) 真空ラインで二酸化炭素を精製する。
- (5) 精製した二酸化炭素を、鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト (C) を生成させる。
- (6) グラファイトを内径 1mm のカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

3 測定方法

加速器をベースとした ^{14}C -AMS 専用装置 (NEC 社製) を使用し、 ^{14}C の計数、 ^{13}C 濃度 ($^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$)、 ^{14}C 濃度 ($^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$) の測定を行う。測定では、米国国立標準局 (NIST) から提供されたシュウ酸 (HOxII) を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

4 算出方法

- (1) $\delta^{13}\text{C}$ は、試料炭素の ^{13}C 濃度 ($^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$) を測定し、基準試料からのずれを千分偏差 (‰) で表した値である (表11)。AMS 装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。
- (2) ^{14}C 年代 (Libby Age : yrBP) は、過去の大気中 ^{14}C 濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年 (0yrBP) として遡る年代である。年代値の算出には、Libby の半減期 (5568年) を使用する (Stuiver and Polach 1977)。 ^{14}C 年代は $\delta^{13}\text{C}$ によって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を表11に、補正していない値を参考値として表12に示した。 ^{14}C 年代と誤差は、下1桁を丸めて10年単位で表示される。また、 ^{14}C 年代の誤差 ($\pm 1\sigma$) は、試料の ^{14}C 年代がその誤差範囲に入る確率が 68.2%であることを意味する。
- (3) pMC (percent Modern Carbon) は、標準現代炭素に対する試料炭素の ^{14}C 濃度の割合である。pMC が小さい (^{14}C が少ない) ほど古い年代を示し、pMC が 100 以上 (^{14}C の量が標準現代炭素と同等以上) の場合 Modern とする。この値も $\delta^{13}\text{C}$ によって補正する必要があるため、補正した値を表11に、補正していない値を参考値として表12に示した。
- (4) 暦年較正年代とは、年代が既知の試料の ^{14}C 濃度をもとに描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の

^{14}C 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、 ^{14}C 年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1 標準偏差 ($1\sigma = 68.2\%$) あるいは 2 標準偏差 ($2\sigma = 95.4\%$) で表示される。グラフの縦軸が ^{14}C 年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、 $\delta^{13}\text{C}$ 補正を行い、下 1 桁を丸めない ^{14}C 年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal13 データベース (Reimer et al. 2013) を使い、OxCal v4.2 較正プログラム (Bronk Ramsey 2009) を使用した。暦年較正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として表 12 に示した。暦年較正年代は、 ^{14}C 年代に基づいて較正 (calibrate) された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」または「cal BP」という単位で表される。

5 測定結果

測定結果を第 11・12 表、第 122 図に示す。

試料の ^{14}C 年代は、WA-1 が 620 ± 20 yrBP、WA-2 が 1140 ± 20 yrBP、WA-2 が 660 ± 20 yrBP、WA-4 が 500 ± 20 yrBP、WA-5 が 440 ± 20 yrBP、WA-6 が 620 ± 20 yrBP、WA-7 が 580 ± 20 yrBP、WA-8 が 2460 ± 30 yrBP である。

暦年較正年代 (1σ) は、平場 A-1 東端整地層から採取した WA-1 が 1300~1393cal AD、緩斜面 1 の南斜面の自然堆積層から採取した WA-2・3 がそれぞれ 885~966cal AD、1286~1385cal AD の範囲で示され、WA-1 と WA-3 が中世、WA-2 が古代に相当する。平場 A-3 南斜面の整地層から採取した WA-4・5 の暦年較正年代 (1σ) は、WA-4 が 1415~1435cal AD、WA-5 が 1436~1457cal AD の範囲で示され、両者の値は誤差 ($\pm 1\sigma$) の範囲で一致しないが、おおむね近い。平場 A-5 の整地層から採取した WA-6~9 の暦年較正年代 (1σ) は、WA-6 が 1299~1391cal AD、WA-7 が 1320~1405cal AD、WA-8 が 750~514cal BC の間に各々複数の範囲で示され、WA-6・7 は中世、WA-8 は縄文時代晩期後葉頃に相当する (小林編 2008、佐原 2005)。推定される年代に対して、WA-6・7 は整合するが、WA-8 は大幅に古い。WA-8 については、古い時期の炭化物が混入した可能性も考慮する必要がある。

試料の炭素含有率はすべて 60%を超える十分な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

文献

- Bronk Ramsey, C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, *Radiocarbon* 51(1), 337-360
 小林達雄編 2008 総覧縄文土器, 総覧縄文土器刊行委員会, アム・プロモーション
 Reimer, P.J. et al. 2009 IntCal09 and Marine09 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, *Radiocarbon* 51(4), 1111-1150
 Stuiver, M. and Polach, H.A. 1977 Discussion: Reporting of ^{14}C data, *Radiocarbon* 19(3), 355-363

第11表 放射性炭素年代測定結果 ($\delta^{13}\text{C}$ 補正值)

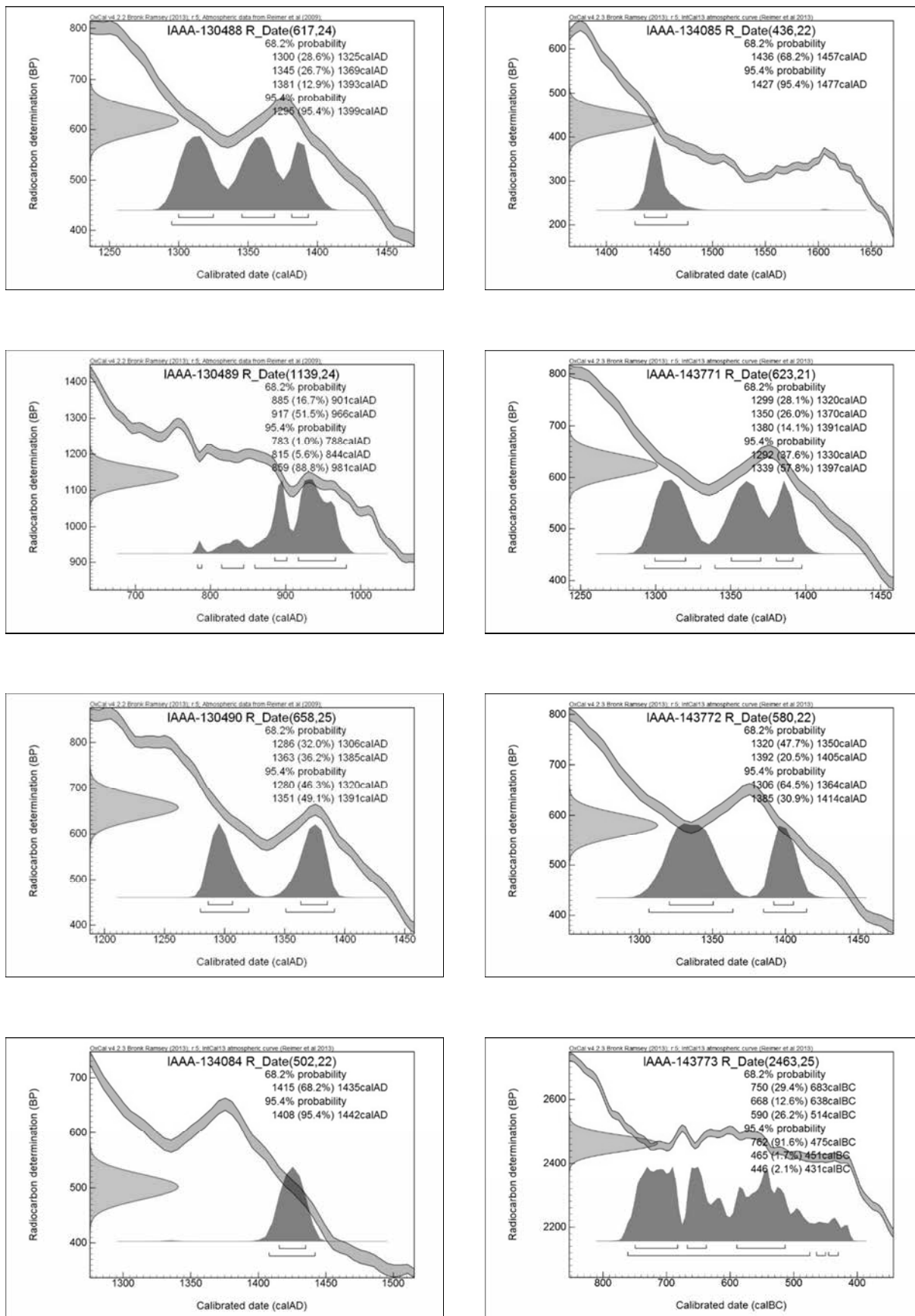
測定番号	試料名	採取場所	試料 形態	処理 方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						Libby Age (yrBP)	pMC (%)
I AAA-130488	WA-1	A区 平場 A-1 東端 整地層 (3d層:人為堆積層)	炭化物	AAA	-27.23 ± 0.53	620 ± 20	92.60 ± 0.28
I AAA-130489	WA-2	B区 緩斜面 1 南斜面 自然堆積層 27 層	炭化物	AAA	-26.72 ± 0.41	1,140 ± 20	86.77 ± 0.27
I AAA-130490	WA-3	B区 緩斜面 1 南斜面 自然堆積層 14 層	炭化物	AAA	-25.10 ± 0.58	660 ± 30	92.13 ± 0.29
I AAA-134084	WA-4	C区 平場 A-3 南斜面 整地層 (21層:人為堆積層)	炭化物	AAA	-27.27 ± 0.82	500 ± 20	93.94 ± 0.27
I AAA-134085	WA-5	C区 平場 A-3 南斜面 整地層 (21層:人為堆積層)	炭化物	AAA	-26.97 ± 0.40	440 ± 20	94.71 ± 0.27
I AAA-143771	WA-6	D区 平場 A-5 東端 整地層 (2層:人為堆積層)	炭化物	AAA	-27.67 ± 0.27	620 ± 20	92.53 ± 0.25
I AAA-143772	WA-7	D区 平場 A-5 東端 整地層 (8層:人為堆積層)	炭化物	AaA	-25.75 ± 0.21	580 ± 20	93.02 ± 0.26
I AAA-143773	WA-8	D区 平場 A-5 西端 整地層 (5層:人為堆積層)	炭化物	AAA	-26.90 ± 0.25	2,460 ± 30	73.59 ± 0.23

[WA-1～3 : #5875, WA-4・5 : #6528, WA6～8 : #7267]

第12表 放射性炭素年代測定結果 ($\delta^{13}\text{C}$ 未補正值、暦年較正用 ^{14}C 年代、較正年代)

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年較正用(yrBP)	1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
I AAA-130488	650 ± 20	92.17 ± 0.26	617 ± 24	1300calAD - 1325calAD (28.6%) 1345calAD - 1369calAD (26.7%) 1381calAD - 1393calAD (12.9%)	1295calAD - 1399calAD (95.4%)
I AAA-130489	1,170 ± 20	86.47 ± 0.26	1,139 ± 24	885calAD - 901calAD (16.7%) 917calAD - 966calAD (51.5%)	783calAD - 788calAD (1.0%) 815calAD - 844calAD (5.6%) 859calAD - 981calAD (88.8%)
I AAA-130490	660 ± 20	92.11 ± 0.27	658 ± 25	1286calAD - 1306calAD (32.0%) 1363calAD - 1385calAD (36.2%)	1280calAD - 1320calAD (46.3%) 1351calAD - 1391calAD (49.1%)
I AAA-134084	540 ± 20	93.50 ± 0.22	502 ± 22	1415calAD - 1435calAD (68.2%)	1408calAD - 1442calAD (95.4%)
I AAA-134085	470 ± 20	94.33 ± 0.26	436 ± 22	1436calAD - 1457calAD (68.2%)	1427calAD - 1477calAD (95.4%)
I AAA-143771	670 ± 20	92.02 ± 0.24	623 ± 21	1299calAD - 1320calAD (28.1%) 1350calAD - 1370calAD (26.0%) 1380calAD - 1391calAD (14.1%)	1292calAD - 1330calAD (37.6%) 1339calAD - 1397calAD (57.8%)
I AAA-143772	590 ± 20	92.88 ± 0.25	580 ± 22	1320calAD - 1350calAD (47.7%) 1392calAD - 1405calAD (20.5%)	1306calAD - 1364calAD (64.5%) 1385calAD - 1414calAD (30.9%)
I AAA-143773	2,490 ± 30	73.31 ± 0.23	2,463 ± 25	750calBC - 683calBC (29.4%) 668calBC - 638calBC (12.6%) 590calBC - 514calBC (26.2%)	762calBC - 475calBC (91.6%) 465calBC - 451calBC (1.7%) 446calBC - 431calBC (2.1%)

[参考値]



第 122 図 暦年較正年代グラフ (参考)

第4章 総括

第1節 出土遺物の特徴と時期

鷲足館跡 1～5 次調査において出土した遺物は、縄文土器、土師器、須恵器、かわらけ、中世陶器、施釉陶器、磁器、金属製品、石器である。出土遺物の総数は 24 点 (1,650g) で、調査面積に対して極めて少ない。出土遺物の内訳は縄文土器 1 点 (130g)、土師器 1 点 (20g)、須恵器 1 点 (55g)、かわらけ 5 点 (95g)、中世陶器 5 点 (630g)、施釉陶器 8 点 (225g)、磁器 1 点 (75g)、金属製品 1 点 (155g)、石器 1 点 (265g) である。このうち、図示できたのは、かわらけ 4 点、中世陶器 5 点、施釉陶器 7 点、金属製品 1 点、石器 1 点の合計 18 点で、これらは概ね中世のものと考えられる。以下、中世の遺物を中心に検討を行う。

1 中世陶器・施釉陶器 (第 118～120 図、第 13 表)

陶器類は、中世陶器 5 点、施釉陶器 8 点、合計 13 点出土し、このうち 12 点を図示した。

出土した中世陶器はすべて甕胴部の破片である。その産地は、在地の「白石窯」産の可能性のあるものが 1 点 (第 119 図 12)、愛知県の「常滑窯」産が 4 点 (第 118 図 4・第 119 図 13・15・16) である。このうち、第 119 図 12 の内面・断面には漆と推定される補修痕跡が認められた。これらの年代は、いずれも胴部資料であるため詳細な年代は不明であるが、白石窯産のものは白石窯の一支群である一本杉窯跡群の調査成果 (県教委 1996) から 13 世紀後半～14 世紀前半頃の年代が推定される。常滑窯産のものについては、概ね中世のものとみておきたい。

施釉陶器の内訳は、瓶子または梅瓶 1 点 (第 118 図 7)、大型鉢 1 点 (第 118 図 8)、折縁皿 1 点 (第 119 図 17)、天目茶碗 3 点 (第 118 図 5・10・14)、丸碗 1 点 (第 118 図 9) で、瓶子または梅瓶・大型鉢・折縁皿には灰釉、天目茶碗・丸碗には鉄釉が施され、すべて古瀬戸である。その年代は、形状の特徴から、瓶子または梅瓶・折縁皿は概ね中世、大型鉢は 13～15 世紀、天目茶碗のうち第 118 図 5 は 14～15 世紀、第 119 図 10 は 14 世紀末～15 世紀前半、第 119 図 14 は 15～16 世紀、丸碗は 16 世紀頃と考えられる (註 1)。

第 13 表 鷲足館跡 1～5 次調査 出土中世陶器・施釉陶器一覧

出土遺構	種別	器種	産地等	年代	登録	実測図図版	遺物写真
平場 A-1 検出面	中世陶器	甕	白石?	13～14c	I-1	119 図 12	120 図 5
平場 A-1 SB1	中世陶器	甕	常滑	中世	I-2	118 図 4	120 図 6
平場 A-3 整地層	中世陶器	甕	常滑	中世?	I-8	119 図 13	120 図 7
平場 A-3 整地層	中世陶器	甕	常滑	中世?	I-11	119 図 15	120 図 8
平場 A-3 整地層	中世陶器	甕	常滑	中世?	I-12	119 図 16	120 図 9
平場 A-1 SB10	施釉陶器 (灰釉)	瓶子 or 梅瓶	古瀬戸	中世	I-5	118 図 7	120 図 10
平場 A-1 SB16	施釉陶器 (灰釉)	大型鉢	古瀬戸	13～15c	I-6	118 図 8	120 図 11
平場 A-3 整地層	施釉陶器 (灰釉)	折縁皿	古瀬戸	中世?	I-10	119 図 17	120 図 12
平場 A-1 SB4	施釉陶器 (鉄釉)	天目茶碗	古瀬戸	14c～15c	I-3	118 図 5	120 図 15
平場 A-1 整地層	施釉陶器 (鉄釉)	天目茶碗	古瀬戸	14c 末～15c 前半	I-4	119 図 10	120 図 13
平場 A-3 整地層	施釉陶器 (鉄釉)	天目茶碗	古瀬戸	15～16c	I-9	119 図 14	120 図 14
平場 B-12 P854	施釉陶器 (鉄釉)	丸碗	古瀬戸	16c?	I-7	118 図 9	120 図 16

2 かわらけ (第118・119図)

かわらけは5点出土し、このうち4点を図示した。器種はいずれもロクロ成形の皿で、底部資料(第118図2・第119図11)の切り離し技法は回転糸切り無調整である。第118図1・2の皿の口縁部付近には油煙とみられる痕跡が確認されており、これらは灯明皿として利用されたと考えられる。かわらけの年代は、出土点数が少ないためその詳細は不明だが、成形技法・器形の特徴から概ね13～15世紀と考えられる(註1)。

3 金属製品 (第119図18)

金属製品は和鏡が1点出土した(第119図18)。直径10.5cm、重量155gほどの鏡で、約3分の1が欠損している。鏡背の縁は直立中縁で、中心に花蕊座鈕、下方に州浜、左上方に菊、その左下に小鳥の図柄が配された「州浜菊花双鳥鏡」とみられる。鈕座や図柄の特徴から、13世紀第4四半期～14世紀第1四半期の鎌倉時代後期のものと考えられる(註2)。

4 石器 (第118図5)

石器は砥石が1点出土した。その石材は安山岩である。他の遺物の年代からみて、中世のものと考えられる。

5 その他の遺物 -縄文土器・土師器・須恵器・磁器-

縄文土器は深鉢底部破片が1点、土師器は赤焼土器坏破片が1点出土、須恵器は壺胴部破片が1点、磁器は壺の破片が1点出土した。いずれも小破片のためその詳細な年代は不明であるが、このうち、土師器・須恵器については概ね平安時代、磁器は近世以降と考えられる。縄文土器については、周辺の平場で出土した炭化物片の年代から縄文時代晩期頃の可能性がある。なお、これらの遺物は館跡に伴うものでない。

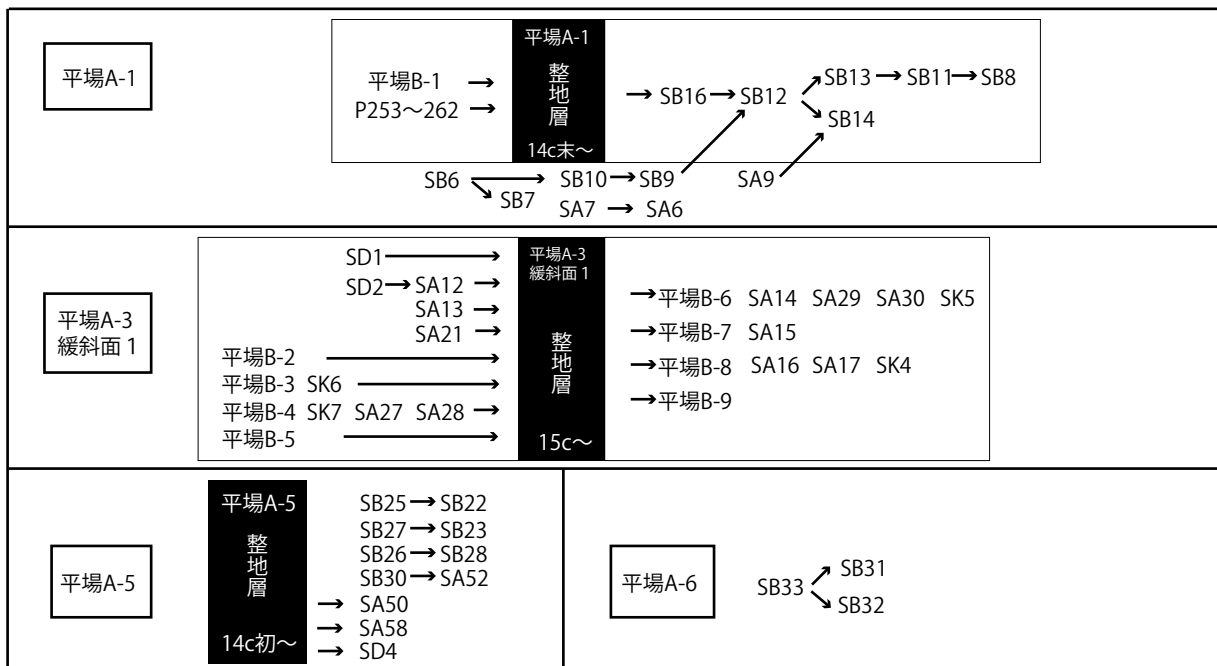
第2節 検出遺構の特徴と時期

今回の調査(A～E区)で検出した遺構は、平場20ヶ所(平場A:6ヶ所/平場A-1～6、平場B:14ヶ所/平場B-1～14)、緩斜面2ヶ所(緩斜面1・2)、整地層、土塁跡1条(土塁跡1)、溝跡10条(SD1～10)、掘立柱建物跡33棟(SB1～33)、柱穴列70条(SA1～70)、土坑7基(SK1～7)、柱穴・小穴875個(掘立柱建物跡・柱穴列跡を構成する柱穴を含む)である。これらの遺構からは、縄文土器、土師器、須恵器、中世陶器、施釉陶器、磁器、和鏡、石器(砥石)が出土した。このうち、縄文土器、土師器、須恵器、磁器については、今回の検出した遺構の内容やその出土状況から館跡の遺構に伴うものではなく、周辺から流入したものと判断される。これら以外の中世陶器、施釉陶器、和鏡、砥石については、館跡に伴うものと考えられ、概ね中世の年代が想定された。しかしながら、遺物の出土量はわずかであり、出土遺物のみで遺構の時期を推定することは難しい。そこで、本節では出土遺物の年代に、遺構の特徴や重複関係(第123図)、第3章で示した放射性炭素年代測定の結果も踏まえた上で、各遺構の時期・性格について検討することとする。なお、ここでは、中世の山城という性格を踏まえ、平場毎に構成する遺構をまとめ(第14表)、その特徴・年代についてみていく。

第14表 鷲足館跡1~5次調査 各平場の構成遺構一覧

平場名等	位置	構成遺構等	
平場 A-1	平坦面	掘立柱建物跡 16 棟 (SB1~16) / 柱穴列跡 11 条 (SA1~11) 柱穴・小穴 252 個 (P1~252:うち、SB・SA を構成する柱穴は 198 個) 土坑 3 基 (SK1~3) / 整地層(平坦面東端)	
	北斜面	-	
	東斜面 南斜面	平場 B-1※ 平場 B-1 上に柱穴・小穴 11 個 (P253~262) → 整地層	
平場 A-2	平坦面	柱穴列跡 2 条 (SA18・19)	
緩斜面 1	緩斜面 1 尾根上	柱穴列跡 2 条 (SA12・13) / 柱穴・小穴 19 個 (P311~329:うち、SA を構成する柱穴は 15 個) 溝跡 2 条 (SD1・2) / 整地層(尾根北端と尾根南斜面の 2 か所)	
	南斜面	平場 B-2※	平場 B-2 → 整地層
		平場 B-3※	平場 B-3 上に土坑 1 基 (SK6) / 柱穴・小穴 3 個 (P331~333) → 整地層
		平場 B-4※	平場 B-4 上に土坑 1 基 (SK7) / 柱穴・小穴 1 個 (P330) → 整地層
		平場 B-6	平場 B-6 上に土坑 1 基 (SK5) / 柱穴列跡 3 条 (SA14) / 柱穴・小穴 23 個 (P283~286・288~293、298~310:うち、SA を構成する柱穴は 8 個)
		平場 B-7	平場 B-7 上に柱穴列跡 1 条 (SA15) / 柱穴・小穴 7 個 (P277~282・287:うち、SA を構成する柱穴は 4 個)
平場 B-8	平場 B-8 上に土坑 1 基 (SK4) / 柱穴列跡 2 条 (SA16・17) / 柱穴・小穴 10 個 (P271~276・294~297:うち、SA を構成する柱穴は 8 個)		
平場 A-3	北斜面	平場 B-5※ 平場 B-9	
	南斜面	平場 B-5※	平場 B-5 → 整地層
		平場 B-9	-
		平坦面	柱穴列跡 9 条 (SA20~26・31・32) / 柱穴・小穴 69 個 (P334~371・374~398・408~413:うち、SA を構成する柱穴は 53 個) / 整地層(平場北端及び北斜面と南斜面の 2 か所) / 溝状の窪み (SA25 東端と SA26 西端の間)
		平場 B-2※	平場 B-2 → 整地層
		平場 B-3※	平場 B-3 → 整地層
		平場 B-4※	平場 B-4 上に柱穴列跡 2 条 (SA27・28) / 柱穴・小穴 15 個 (P401・402・405~407・414~423:うち、SA を構成する柱穴は 14 個) → 整地層
平場 B-6	平場 B-6 上に柱穴列跡 3 条 (SA29・30) / 柱穴・小穴 11 個 (P399・400・403・404・424~430:うち、SA を構成する柱穴は 10 個)		
平場 B-7	平場 B-7 上に柱穴・小穴 1 個 (P431)		
緩斜面 2	尾根上	柱穴列跡 1 条 (SA33:平場 A-3 西側付近)	
		平場 B-11	-
		平場 B-12	平場 B-12 上に柱穴・小穴 2 個 (P854・855)
		平場 B-13	平場 B-13 上に柱穴列跡 3 条 (SA39~41) / 柱穴・小穴 15 個 (P836~851:うち、SA を構成する柱穴は 13 個)
		平場 B-14	平場 B-14 上に溝跡 1 条 (SD6) / 柱穴・小穴 2 個 (P852・853)
平場 A-4	平坦面	掘立柱建物跡 3 棟 (SB17~19) / 柱穴列跡 5 条 (SA34~38)	
	東側斜面	平場 B-10	
平場 A-5	平坦面	溝跡 4 条 (SD3~5・7) / 掘立柱建物跡 11 棟 (SB20~30) / 柱穴列跡 29 条 (SA42~70) 柱穴・小穴 289 個 (P547~835:うち、SB・SA を構成する柱穴は 53 個) / 整地層(平場西端・南東端)	
平場 A-6	平坦面	掘立柱建物跡 3 棟 (SB31~33)	
	西側斜面 東側	溝跡 1 条 (SD10) 溝跡 2 条 (SD8・9) / 土塁跡 1 条 (土塁跡 1) ※調査区外に土塁跡 2 有	

※平場 B-1~5: 整地層下で検出



第123図 主要遺構の重複関係

1 平場 A-1 (第 124 図)

平場 A-1 は、遺跡南東部末端の 64.0～67.5m の尾根上に位置する平場である。平場の北・東・南側は約 30～35° の斜面となり、その斜面上に幅約 1.1～2.7m ほどの細長い平場 B-1 が配置される。平場 B-1 は平場 A-1 をコの字状に囲むように配置されており、平場 A-1 の平場がいわゆる「曲輪」、平場 B-1 が「腰曲輪」として機能した平場と考えられる(註3)。

平場の平坦面上には、掘立柱建物跡 16 棟 (SB1～16)、柱穴列跡 11 条 (SA1～11)、柱穴・小穴 252 個 (P1～252 : うち、SB・SA を構成する柱穴は 198 個)、土坑 3 基 (SK1～3) が所在する。平場の東端には整地層が認められた。

(1) 構成遺構の特徴

【掘立柱建物跡】(SB1～16)

掘立柱建物跡は、平場平坦面の中心部で確認した。掘立柱建物跡 16 棟の規模の内訳は、4×1 間張出付 : 1 棟 (SB14)、3×2 間張出付 : 1 棟 (SB1)、2×2 間庇付 : 1 棟 (SB6)、2×1 間庇付 : 1 棟 (SB11)、4×2 間 : 1 棟 (SB4)、4×1 間 : 1 棟 (SB2)、3×2 間 : 3 棟 (SB5・7・8)、3×1 間 : 2 棟 (SB3・9)、2×2 間 : 1 棟 (SB12)、2×1 間 : 4 棟 (SB10・13・15・16) である。建物の面積は 20～30 m² で、建物の方向はその東辺・西辺が真北に対して西に 10° 前後に傾く建物 (SB1～7)、西また東に 20° 以上傾く建物 (SB9～16) に大きく分けることができる。これらの建物は、その配置から同時存在が不可能なものを考慮すると、平場 A-1 の平坦面内で最大 13 回にわたり建て替えが行われた可能性が考えられるが、建物として認定できなかった柱穴・小穴が多数残されていることから、それ以上の時期変遷があったとみられる。

【柱穴列跡】(SA1～11)

柱穴列跡は、平場の周縁部で確認した。その配置から平場を囲む柵として機能していたと考えられる。

【土坑】(SK1～3)

土坑は平場の西端で 3 基検出した。このうち、2 基 (SK1・2) については、底面に焼面が認められたことから焼成遺構と考えられる。その用途は不明であるが、平場内でも掘立柱建物跡の分布域から離れた箇所に位置しており、建物に関わる遺構ではなく、屋外で火が使用された痕跡と考えられる(註4)。

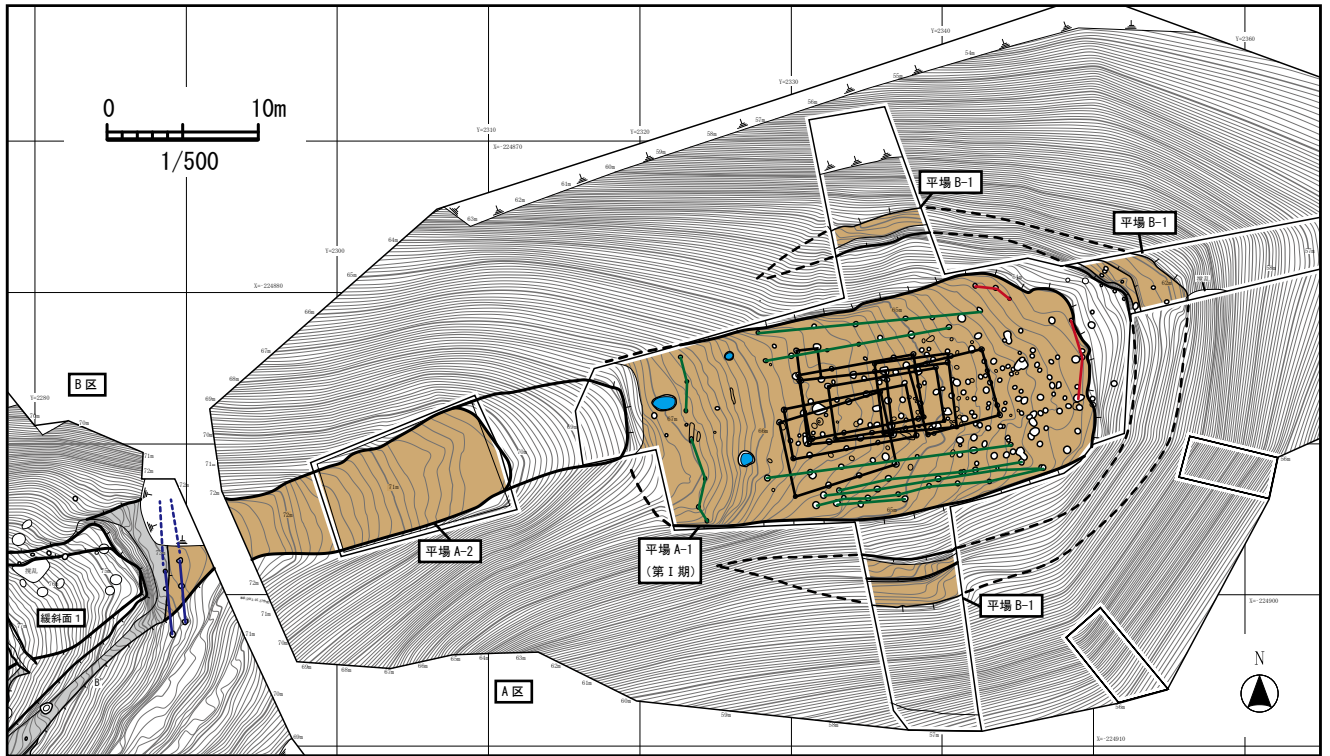
【整地層】

平場東端で確認した。東側斜面を埋め立て、平場の範囲を東に 4m ほど拡張している。平場 B-1 は、この整地層の下で検出されたことから、平場 B-1 は整地層を伴う段階ではその機能を終えていたと考えられる。

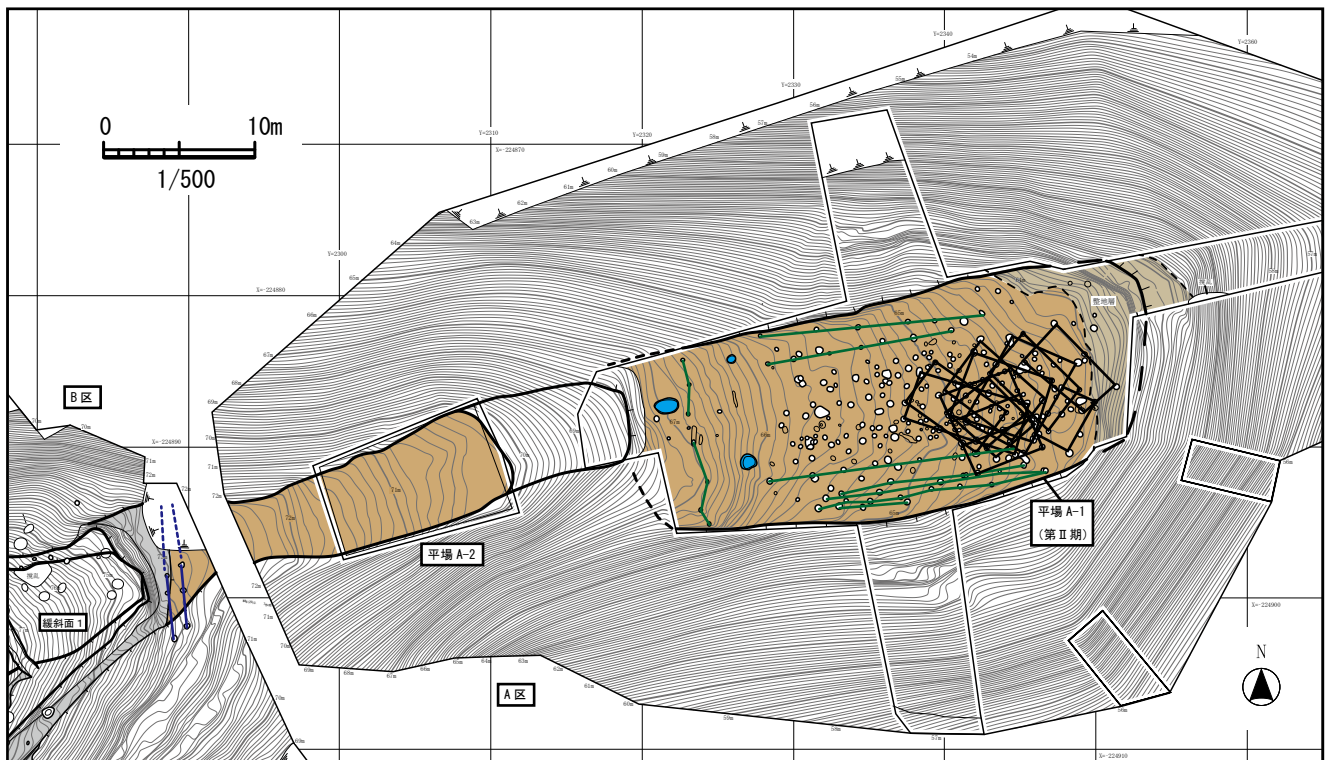
(2) 遺構の変遷

平場東端の整地層と平場 B-1 との重複関係から、平場 A-1 では 1 度の改修があったとみられ、**第 1 期** (平場 A-1 + 平場 B-1) → **第 2 期** (平場 A-1 + 整地層) の大きく 2 期の変遷があったと想定される。

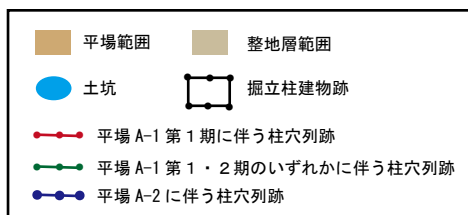
平場の平坦面上で確認した掘立柱建物跡のうち、その柱穴が整地層の上面から掘り込まれている建物は SB14・16 で、これらは確実に第 2 期に属する建物とみられる。この SB14 と 16 と重複関係にある建物には SB8・11・12・13 があり、その変遷は SB16 を起点として、① SB16 → SB12 → SB13 → SB11 → SB8、② SB16 → SB12 → SB14 となる。このことから、SB8・11～14・16 の 6 棟については、第 2 期の建物と考えられる。なお、これらの建物は、いずれも建物の角度が真北に対し西または東に 20° 以上傾く建物である。この他の建物で重複関係にある建物としては、SB6・7・9・10・12 がある。その変遷は SB6 を起点として、① SB6 → SB7、② SB6 → SB10 → SB9 → SB12 となる。SB6・7 はその角度が真北に対し西または東に 10° 前後傾く建物で、SB9・10・12 は 20° 以上傾く建物である。推測の域であるが、この関係に着目した場合、建物の角度が真北に対し「10° 前後のもの (SB1～7)」→「20° 以上のもの (SB8～16)」に変遷したと想定でき、前者が第 1 期、後者が第 2 期に伴う建物である可能性が考えられる。また、柱穴列のうち、SA10・11 については、位置的にみて第 1 期の平場縁辺部に位置することから、これらは第 1 期に伴う柱穴列と推定される。この他の柱穴列については、整地層との重複関係がないため、どちらの時期に属するものかは不明である。



平場 A-1 第 1 期



平場 A-1 第 2 期



平場 A-1 の主要遺構

- 【平場 A-1 第 1 期の主要遺構】
腰曲輪：平場 B-1 / 柱穴列跡：SA10・11 / 掘立柱建物跡：(SB1 ~ 7 ?)
- 【平場 A-1 第 2 期の主要遺構】
整地層 / 掘立柱建物跡：SB8・11 ~ 14・16、(SB9・10・15 ?)
- 【平場 A-1 第 1・2 期のいずれかに所属する遺構】
柱穴列跡：SA1 ~ 9 / 土坑：SK1 ~ 3

平場 A-2 の主要遺構

- 柱穴列跡：SA18・19

第124図 平場A-1・平場A-2の主要遺構の配置

(3) 年代

平場 A-1 の範囲内で、遺物は、遺構検出面、SB1・4・10・16、整地層から出土している。このうち、ある程度年代の推定が可能なものは、検出面出土の中世陶器甕（第 119 図 12）：13 世紀後半～14 前半頃、SB16 出土の灰坑陶器大型鉢（第 118 図 8）：13～15 世紀、SB4 出土の天目茶碗（第 118 図 5）：14～15 世紀、整地層出土の天目茶碗（第 119 図 10）：14c 末～15c 前半である。この他、平場 A-1 東端の整地層 3d 層から採取した炭化物試料（WA-1）の放射性炭素年代測定も実施しており、その結果は 1300～1393cal AD（14c 初頭～末）であった（第 3 章第 2 節参照）。この中で特に注目すべき点は、平場 A-1 東端の整地層の造成時期である。整地の年代に関わるものは、整地層出土の天目茶碗、整地層に含まれた炭化物の年代で、これらを総合すると整地層の造成時期は、少なくとも 14c 末～15c 前半以降と想定される。したがって、平場 A-1 のおおよその年代については、整地層を伴う第 2 期が 14c 末～15c 前半以降と考えられ、それよりも古い段階の第 1 期は、平場 A-1 内で出土している在地産の中世陶器の年代から、13c 後半以降と想定される。以上、平場 A-1 及びそれに関わる遺構の時期についてまとめると以下のとおりとなる。

	年代	平場範囲	構成遺構 ※ () 内は想定	所属時期不明
平場 A-1 第 1 期	13c 後半以降	東西 29.1m、南北 14.1m (占有面積：約 390 m ²)	平場 B-1/P253～262/ SA10・11/ (SB1～7?)	SA1～9
平場 A-1 第 2 期	14c 末～ 15c 前半以降	東西 33.6m、南北 14.1m (占有面積：約 440 m ²)	整地層/SB8・11～14・16/ (SB9・10・15?)	SK1～3

2 平場 A-2 (第 124 図)

平場 A-2 は、平場 A-1 西側の標高 70.3～73.5m の尾根上に位置する。東西 22.8m、南北 4.0～6.6m の細長い平場で、その占有面積は約 130 m²である。平場の北・南側は約 30～35° 斜面となる。この平場の西端部にあたる緩斜面 1 との接続部分には、柱穴列跡 2 条（SA18・19）が存在する。

(1) 構成遺構の特徴

SA18・19 は南北方向に延びる柱列で、東西に延びる尾根を分断する形で配置されている。平場 A-2 ではこの柱穴列以外の遺構は確認されていない。

(2) 年代

遺物が出土しておらず、その詳細な年代は不明である。平場 A-2 は、平場 A-1 と後述する緩斜面 1・平場 A-3 の間に位置し、これらを接続する関係にあることから、平場 A-1 と同様の年代幅におさまる時期の平場と考えられる。

3 緩斜面 1・平場 A-3 (第 125 図)

緩斜面 1 は標高 74.5～81.8m の尾根上、平場 A-3 はその西側の標高 81.8～85.1m の尾根上に位置する。緩斜面・平場 A-3 の北・南側には、北斜面約 30～38°、南斜面約 23～33° の斜面があり、南側の斜面には平場 B-2～4・6～8 の細長い平場、平場 A-3 付近の北側斜面には平場 B-5・9 が配置される。なお、この平場 B-5・9 が位置する平場 A-3 の北側斜面については、比較的その傾斜が緩やかである。

緩斜面 1 の尾根上には、溝跡 2 条（SD1・2）、柱穴列跡 2 条（SA12・13）、柱穴・小穴 19 個（P311～329：うち、SA を構成する柱穴は 15 個）、平場 A-3 の平坦面上と北側斜面上部には柱穴列跡 9 条（SA20～26・31・32）、柱穴・小穴 69 個（P334～371・374～398・408～413：うち、SA を構成する柱穴は 53 個）が存在する。整地層はそれぞれの尾根北端と尾根南斜面の 2 か所で認められた。

(1) 構成遺構の特徴

【平場 B-2～4・6～8】

平場 A-3・緩斜面 1 の南斜面上に位置する。平場 B-6～8 は整地層除去前の段階、平場 B-2～4 は整地層下で確認した。その新旧関係は、「平場 B-2～4 → 整地層 + 平場 B-6～8」の関係にある。これらの平場は、幅が 0.4～3.3m の細長い平場で、斜面部につくられた腰曲輪として機能した遺構と考えられる。

【平場 B-5・9】

平場 A-3 の北斜面上に位置する。平場 B-5 と B-9 は平坦面の幅が約 0.3m 前後の細長い平場で、その立地・形状が類似していることから、同様の機能を有した平場であったと考えられる。位置的にみて、平場 A-3 への通路跡の可能性はある。このうち、平場 B-5 は平場 A-3 の整地層下で確認しており、「平場 B-5 → 整地層 + 平場 B-9」の変遷が想定される。なお、平場 B-5 付近に位置する SA21 は、平場と平行する形で配置されていることから、平場 B-5 に関連する柱穴列とみられる。

【柱穴列跡】(SA12～17・20～32)

柱穴列跡は、平場 A-3 の平坦面周縁部や北斜面 (SA12・13・20～26・31・32)、南斜面の平場上 (SA14～17・27～30) で確認した。SA27・28 は平場 B-4、SA14・29・30 は平場 B-6、SA15 は平場 B-7、SA16・17 は平場 B-8 の平坦面に位置し、これらの平場に伴う柱穴列とみられる。このうち、SA12・13・21・27・28 については、整地層下で柱穴を確認しており、「SA12・13・21・27・28 → 整地層」の新旧関係にある。これらの柱穴列は、その配置から平場や斜面側の平場の行き来を遮断する柵として機能していたと考えられる。

【溝跡】(SD1・2)

溝跡は、緩斜面 1 の尾根上に位置する。SD1・2 の北端部は整地層の下で確認したことから、SD1・2 → 整地層の新旧関係にある。いずれも尾根を南北に分断する形でつくられていることから、尾根の行き来を遮断するため堀切として機能していたと考えられる。

【土坑】(SK4～7)

土坑は緩斜面 1 の南側斜面に平場上に位置する。SK4 は平場 B-8、SK5 は平場 B-6、SK6 は平場 B-3、SK7 は平場 B-4 で検出した。SK4 は底面で焼け面が確認された焼成土坑で、平場 A-1 で確認した土坑 (SK1・2) と同様の用途の可能性はある。この他の土坑 (SK5～7) では焼面等は確認されておらず、用途不明である。これらの土坑は、検出状況から見て、平場に伴う遺構と判断される。なお、SK6・7 は整地層下で確認している。

【整地層】

平場 A-3 及び緩斜面尾根上の北側と南斜面で確認した。北側の整地層は平場北端の斜面を埋め立て、平場の範囲を北に拡張する形で造成されている。一方、南斜面の整地層については、斜面上段付近から下で確認され、平場 B-2～4 を埋める形となっており、平場の範囲拡張ではなく、斜面部の改修を目的としたものとみられる。

【その他の遺構】

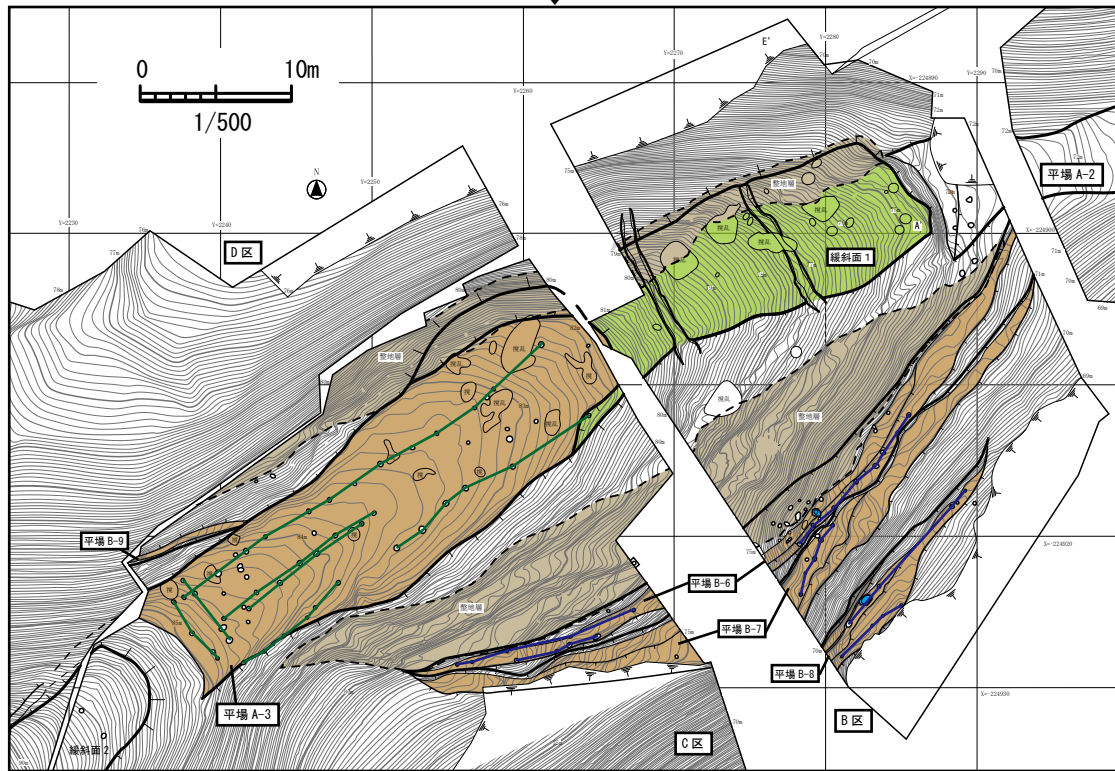
平場 A-3 の南西部端、SA25 柱穴列東端と SA26 柱穴列西端の間で最大幅 1.8m ほどの溝状の窪みを確認した。この窪みは、平場 B-3 と接続する。位置的にみて、平場 A-3 から平場 B-3 へ移動するための通路跡であったと考えられる。

(2) 遺構の変遷

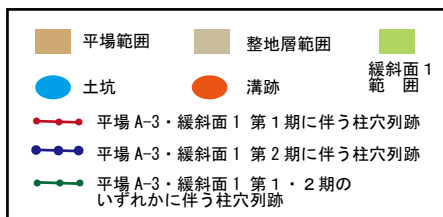
平場 A-3 及び緩斜面 1 の北側・南側の各整地層とそれぞれ重複関係にある遺構の状況から、平場 A-3・緩斜面 1 においては以下のとおり大きく 2 期の変遷があったと想定される。ただし、平場 A-3 の平坦面上に位置する柱穴列については、整地層との重複関係がないため、どちらの時期に属するものかは不明である。



平場 A-3・緩斜面1 第1期



平場 A-3・緩斜面1 第2期



平場 A-3・緩斜面1 の主要遺構

- 【平場 A-3・緩斜面1 第1期の主要遺構】
- 柱穴列跡：SA12・13・20・21/溝跡：SD1・2
- 腰曲輪：平場 B-2～4 (柱穴列跡 SA27・28/土坑 SK6・7) /通路跡：平場 B-5
- 【平場 A-3・緩斜面1 第2期の主要遺構】
- 整地層 / 通路跡：平場 B-9
- 腰曲輪：平場 B-6～8 (柱穴列跡 SA14～17・29・30 /土坑 SK4・5)
- 【平場 A-3・緩斜面1 第1・2期のいずれかに所属する遺構】
- 柱穴列跡：SA22～26・31・32

第125図 平場A-3・緩斜面1の主要遺構配置

第1期：北側斜面 緩斜面1 (SA12・13 柱穴列+SD1・2 溝跡) + 平場 A-3 (柱穴列 SA20・21、平場 B-5)
南側斜面 緩斜面1+平場 A-3+平場 B-2~4 (柱穴列 SA27・28/ SK6・7)

第2期：北側斜面 緩斜面1 (整地層) + 平場 A-3 (整地層+平場 B-9)
南側斜面 緩斜面1・平場 A-3+整地層+平場 B-6~8 (柱穴列 SA14~17・29・30 /SK4・5)

(3) 年代

平場 A-3・緩斜面1 の範囲内で、遺物は、整地層のみで出土した。このうち、ある程度年代の推定が可能なものは、15~16c の天目茶碗破片 (第119 図4) のみである。この他、平場 A-3 南斜面の整地層 21 層から採取した炭化物試料 (WA-4・5) の放射性炭素年代測定を実施しており、その結果は、WA-4 が 1415~1435cal AD、WA-5 が 1436~1457cal AD であった。これらを総合すると、平場 A-3・緩斜面1 の南側に形成された整地層の年代は 15 世紀以降と想定される。以上、平場 A-3・緩斜面1 に関わる遺構の時期についてまとめると以下のとおりとなる。

	年代	平場 A-3 範囲	構成遺構 ※ () 内は想定	所属時期不明
平場 A-3 緩斜面1 第1期	15c 以前?	東西 34.5m、南北 7.6~9.5m (占有面積 約 305 m ²)	平場 B-2~5/SD1・2/SK6・7 SA12・13・20・21・27・28	SA22~26・31・32
平場 A-3 緩斜面2 第2期	15c~	東西 34.5m、南北 7.6~11.9m (占有面積は約 325 m ²)	整地層/平場 6~9/SK4・5 SA14~17・29・30	

4 緩斜面2 (第126 図)

緩斜面2 は平場 A-3 と平場 A-5 の間の標高 86~96m の尾根上に位置する東西 23.6m、南北 5.6~12.3m ほどの西-東方向に細長い緩斜面である。緩斜面2 の範囲内には、平場 B-11~14 が配置されている。

尾根上の緩斜面東側で柱穴列跡1 条 (SA33)、平場 B-13 の平坦面上で柱穴・小穴2 個 (P854・855)、平場 B-14 の平坦面上で溝跡1 条 (SD6)、西側の斜面で柱穴・小穴2 個 (P852・853) を検出した。

(1) 構成遺構の特徴

【平場 B-11・12】

緩斜面2 の北端に配置される。平坦面の幅が 0.2~1.2m ほどの細長い平場で、緩斜面2 の北側が急斜面のため部分的に残存していない箇所はあるが、位置的に見て平場 B-11・12 は一連の遺構であったとみられる。また、標高 95m 付近で平場 B-14 の SD5 溝跡の北端部とも接続する。東側は平場 A-3 と、西側は平場 A-5 と接続していたと考えられ、途中では階段状になる箇所もあることから、平場 B-11・12 は通路として機能していた可能性が高い。

【平場 B-13・14、SA39~41、SD5】

緩斜面2 の尾根上に位置する。平場 B-13 は平坦面の幅が約 0.6~1.9、平場 B-14 は幅が 2.8m ほどの細長い平場で、平場上には柱穴列 (SA39~41) や溝跡 (SD6) が配置される。これらはその規模、尾根上の位置からみて「腰曲輪」として機能した平場と考えられる。平場 B-13 上の柱穴列・平場 B-14 上の溝跡はいずれも尾根を南北に分断する形でつくられていることから、前者は尾根の行き来を遮断するための柵列、後者は堀切として機能していた可能性がある。

(2) 年代

遺物は緩斜面上の遺構確認面でかわらけ破片、平場 B-12 に位置する P854 で施釉陶器の丸碗が出土している。このうち、丸碗は 16 世紀頃の可能性があるが、破片資料ということもあり、その詳細な年代の特定は難しい。緩斜面2 の東西に位置する平場 A-3・A-5 との接続関連から、それらと同時期のものとみておきたい。

5 平場 A-5 (第 126 図)

平場 A-5 は、標高 101.9～108.5m の尾根上に位置する。北西-南東 57.9m 以上、南西-北東 10.3～22.9m、占有面積約 760 m²以上の北西-南東方向に長い平場である。南東部分が広く、平場北西部に位置する SD4・5 溝跡を境に、その北西側がさらに一段高くなる。平場 A-5 は、今回の調査を行った中で最も占有面積の広い平場で、平場の北東・南西・南東側は 40° 前後の急斜面となっている。

平場の平坦面上には、溝跡 4 条 (SD3～5・7)、掘立柱建物跡 11 棟 (SB20～30)、柱穴列跡 29 条 (SA42～70)、柱穴・小穴 289 個 (P547～835: うち、SB・SA を構成する柱穴は 53 個) の遺構が所在する。また、平場の西端・南東端では整地層を確認した。

(1) 構成遺構の特徴

【掘立柱建物跡】(SB20～30)

掘立柱建物跡は、平場平坦面の中央～南東部で確認した。掘立柱建物跡 11 棟の規模の内訳は、4×1 間: 4 棟 (SB25～27・30)、3×1 間: 1 棟 (SB29)、2×2 間: 1 棟 (SB28)、1×1 間: 5 棟 (SB20～24) である。建物の面積は 30 m²前後のもの (SB25～30) と 10 m²前後のもの (SB20～24) に大きく分けられ、その分布域も前者が平場中央部、後者が平場南東部に偏ることから、それぞれ性格を異にする建物が配置されていた可能性が考えられる。これらの建物は、その配置から前者が 6 時期、後者が 4 時期の変遷を想定することができるが、建物として認定できなかった柱穴・小穴が多数残されていることから、それ以上の時期変遷があったとみられる。

【柱穴列跡】(SA42～70)

柱穴列跡は、平場の周縁部と平場北西中央部で確認した。平場周縁部に配置される柱穴列 (SA42～54・58・65・66・67) は平場を囲む柵として機能していたと考えられる。一方、平場北西部中央部で検出した SA68～70 については、2 本柱となる柱穴列で、他の柱穴列と比較すると柱穴の規模が大きい。これらは平場北西部に位置する SD4・5 溝跡を境の一段高くなる平場の手前に位置し、SD4・5 と平行する形で東西方向に配置されている。位置的にみて門跡の可能性はある。この SA68～70 付近に位置する SA55～57・59～64 についても、その配置から SA68～70 に関連する柱穴列の可能性が高い。

【溝跡】(SD3～5・7)

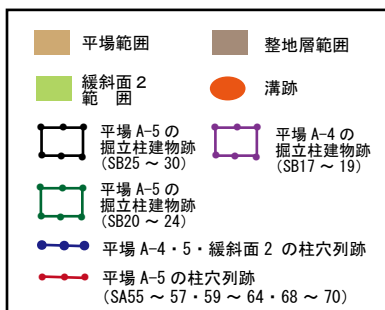
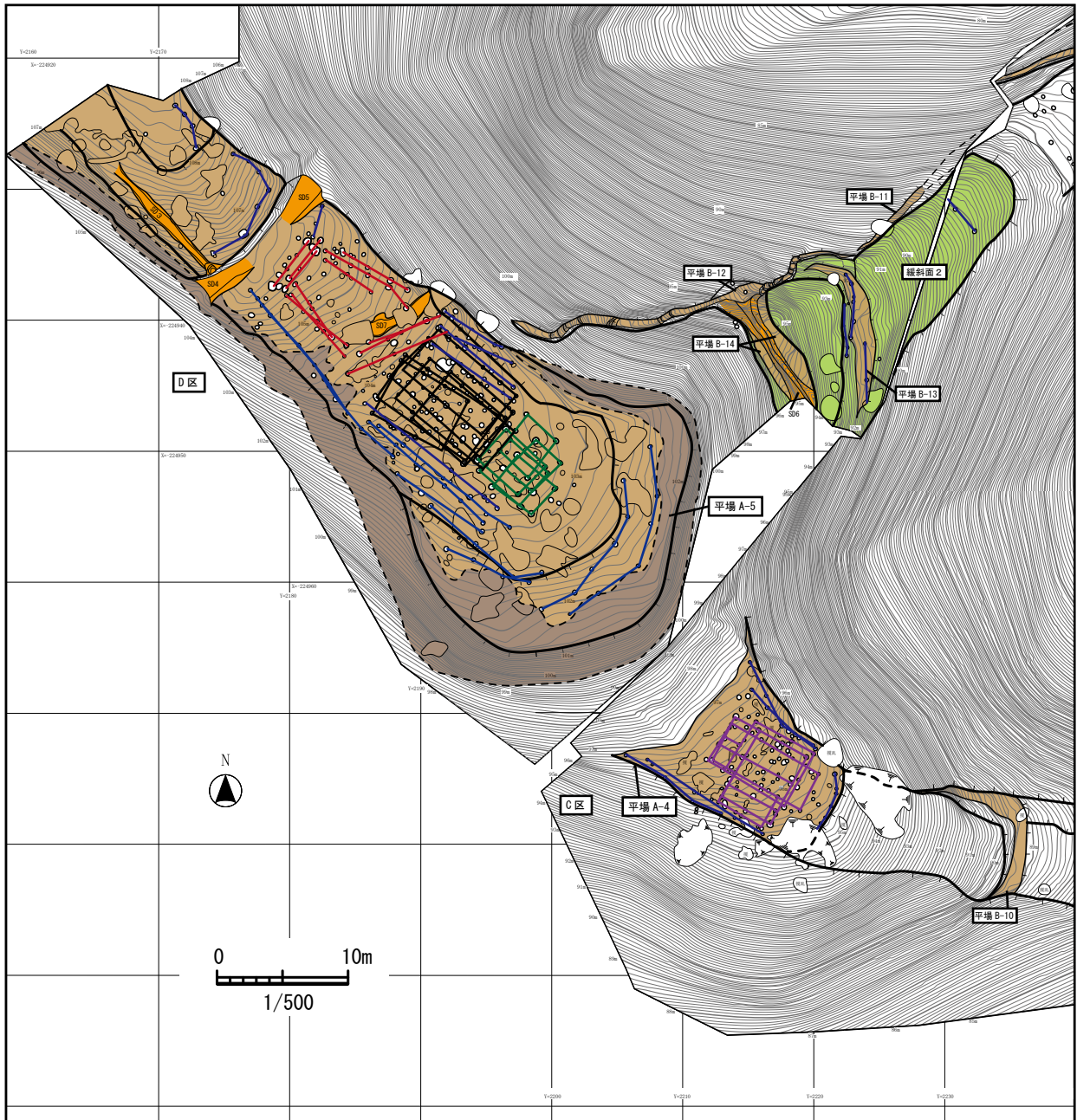
溝跡は平場北西部で確認した。SD4・5 は平場を南北に分断する形でつくられており、それを境に平場北西部が一段高くなることから、堀切として機能していたと考えられる。SD3 は SD4・5 北西部の一段高くなる平場の南西端に位置し、SD4 と接続する。その接続部分は階段状となっていることから通路跡の可能性はある。SD7 は東-西方向に延びる溝で平場 A-5 の平場上を東西に横断せず、平場の東端から中央部付近まで延びる溝である。先に述べた SA68～70 付近にあり、緩斜面 2 で確認された通路跡 (平場 B-12) の延長線上に位置することから、通路跡の可能性が高い。

【整地層】

平場の西端・南東端で確認した。平場端部の地形を段状に掘削した後、その上に盛土を行うといった工程で形成された整地層である。整地層の下では遺構が確認されないことから平場造成時のものと考えられる。

(2) 年代

遺物は平場の遺構確認面から和鏡 (第 119 図 18) が出土した。和鏡の年代は 13 世紀後半～14 世紀中頃とみられ、少なくともその時期には平場は存在したと考えられる。また、平場の整地層から採取した炭化物試料 (WA-6・7) の放射性炭素年代測定の結果では、WA-6: 1299～1391cal AD、WA-7: 1320～1405 cal AD の年代が得られている。これらを総合すると、平場 A-5 の造成時期は、14 世紀初頭以降と考えられる。



平場 A-4・平場 A-5・缓斜面 1 の主要遺構

- | | |
|---|--|
| <p>【缓斜面 2 の主要遺構】</p> <ul style="list-style-type: none"> 柱穴列跡：SA33 腰曲輪：平場 B-13 (SA39 ~ 41) 平場 B-14 (堀切 SD6) 通路跡：平場 B-11・B-12 | <p>【平場 A-5 の主要遺構】</p> <ul style="list-style-type: none"> 掘立柱建物跡：SB20 ~ 30 柱穴列跡：SA42 ~ 70 ※SA68 ~ 70 門跡 堀切：SD4・5 通路跡：SD3・7 |
| <p>【平場 A-4 の主要遺構】</p> <ul style="list-style-type: none"> 掘立柱建物跡：SB17 ~ 19 柱穴列跡：SA34 ~ 38 | |

第126図 平場A-4・平場A-5・缓斜面2の主要遺構配置

6 平場 A-4 (第 126 図)

平場 A-4 は、標高 95.3~97.0m の尾根上に位置する。北西-南東 12.6m、南西-北東 9.5m、占有面積 120 m²ほどの北西-南東にやや長い狭い平場である。平場東側の尾根上斜面には平場 B-10 が所在し、北東・南西側は約 31~45° の急斜面となる。平場 B-10 は平坦面の幅が約 0.3~1.8m ほどの細長い平場で、西から東に向かって延びる尾根斜面を南北方向に分断する形で L 字状に配置されている。平場 A-4 の平場が「曲輪」、平場 B-10 が「腰曲輪」として機能した平場と考えられる。

平場 A-4 の平坦面上には、掘立柱建物跡 3 棟 (SB17~19)、柱穴列跡 5 条 (SA34~38)、柱穴・小穴 115 個 (P432~546: うち、SB・SA を構成する柱穴は 62 個) が所在する。

(1) 構成遺構の特徴

【掘立柱建物跡】(SB17~19)

掘立柱建物跡は、平場平坦面の中心部で確認した。掘立柱建物跡 3 棟の規模の内訳は、2×2 間庇・張出付:1 棟 (SB17)、3×1 間張出付:1 棟 (SB18)、2×2 間張出付:1 棟 (SB19) である。建物の面積は 20 m²前後である。これらの建物は、その配置から 2 回程度建て替えが行われたと考えられるが、建物として認定できなかった柱穴・小穴が多数残されていることから、それ以上の建て替えがあったとみられる。

【柱穴列跡】(SA34~38)

柱穴列跡は、平場の周縁部で確認した。その配置から平場を囲む柵として機能していたと考えられる。

(2) 年代

遺物が出土しておらず、その詳細な年代は不明であるが、他の平場と同様に、館を構成する平場のひとつと考えられ、中世のいずれかの時期に機能した曲輪とみられる。平場 A-4 の北西側に位置する平場 A-5 との位置関係から、少なくとも平場 A-5 が存在した年代幅におさまる時期の平場と考えられる。

7 平場 A-6 (第 127 図)

平場 A-6 は、遺跡西部末端の標高 127.5~130.4m の尾根上に位置する。南西-北東 35.2m、北西-南東 7.2~9.3m、占有面積約 270 m²の南西-北東方向に長い平場である。平場の北・南側は 33° ほどの急斜面となる。西側の急斜面下には溝跡 (SD10)、東側の尾根上には、尾根を南北に分断する形で西から溝跡 (SD9) →土塁跡 1→溝跡 (SD8) →土塁 2 の順に配置されている。

平場平坦面の中央やや南東に位置には、東西 6m・南北 4m ほどの平坦面がさらに作り出されており、その範囲内に掘立柱建物跡 3 棟 (SB31~33) が配置されるが、その他に遺構は存在しない。

(1) 構成遺構の特徴

【掘立柱建物跡】(SB31~33)

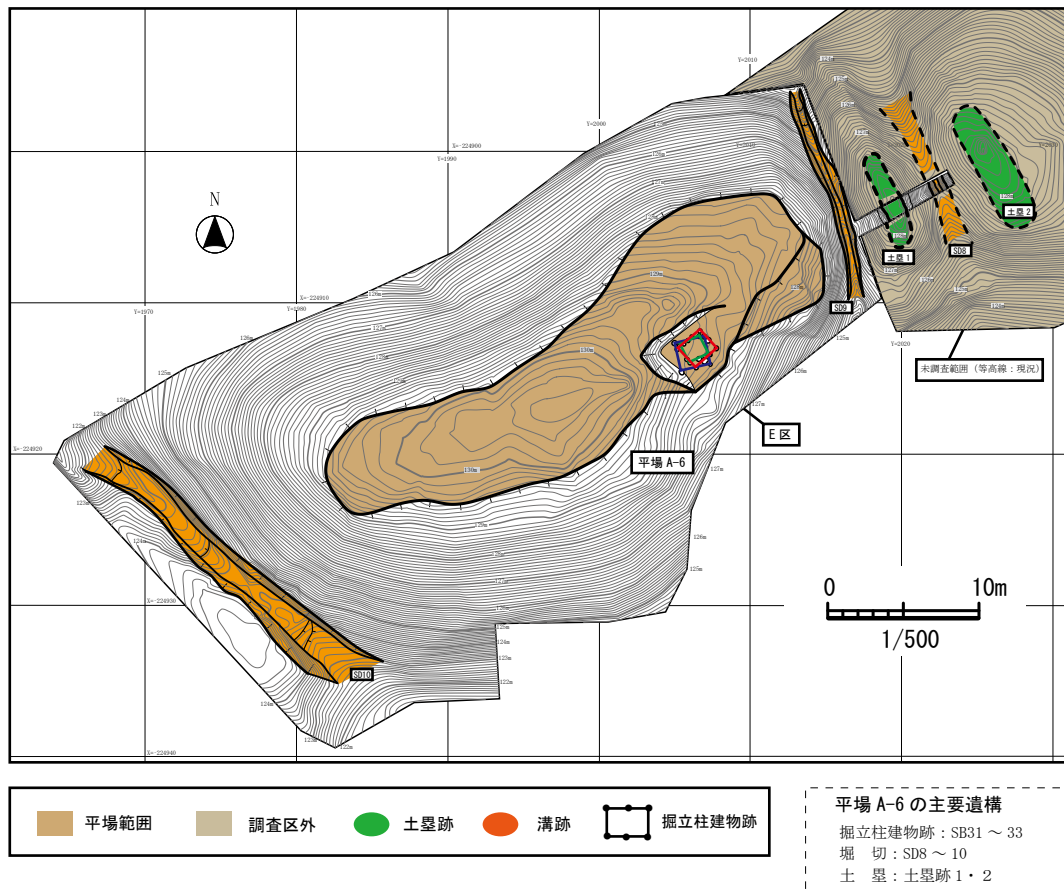
掘立柱建物跡は、平場平坦面で確認した。掘立柱建物跡 3 棟の面積は 3 m²前後で、非常に規模が小さい。これらの建物は、その配置から 2 回の建て替えが行われたと考えられる。

【溝跡】(SD8~10)

平場 A-6 の東西に位置する溝跡 (SD8~10) は、それぞれ尾根を分断する形で配置されており、堀切として機能していたと考えられる。

(2) 年代

遺物が出土しておらず、その年代は不明であるが、他の平場と同様に館跡を構成する平場と考えられ、中世のいずれかの時期に機能した曲輪と考えられる。



第127図 平場A-6の主要遺構配置

第3節 まとめ

前節では、今回調査した平場・緩斜面ごとに構成遺構の特徴やその変遷・年代等について触れた。本節では今回の発掘調査で確認できた事項を踏まえ、平場の存続期間やその性格等について若干の検討を行う。

1 鷲足館跡の存続期間について

今回、調査を実施した鷲足館跡の中世山城を構成する平場6ヶ所のうち、検出遺構や出土遺物、年代測定の結果から、平場の造成・機能時期をある程度推定できたのは、平場A-1、平場A-3、平場A-5の3ヶ所のみである。その年代を列挙すると、平場A-1が第1期：13世紀後半～14世紀末頃→第2期：14世紀末～15世紀前半以降、平場A-3が第1期：15世紀以前→第2期：15世紀以降、平場A-5の造成時期が14世紀初頭以降となる。これらの平場の年代幅と出土遺物の年代から、今回の調査範囲内における鷲足館跡の存続期間については、13世紀後半頃から16世紀代頃と想定することができる。また、前節で確認した平場A-1や平場A-3の整地層と配置遺構の関係から、鷲足館跡南東部の一部の平場においては15世紀初頭ないし15世紀前半頃に平場の改修があり、大きく2時期の変遷があったことも確認できた。しかし、上記以外の平場については、出土遺物がほとんどなく、その年代幅を把握するまでには至っていない。したがって、今回の確認した各平場の共存関係については不明といわざるを得ない。

2 平場の位置づけ

今回確認した尾根上の各平場の位置関係については第128図のとおりである。調査範囲の東端部には平場A-1が位置し、そこから西に向かって延びる尾根上に平場A-1(標高65m前後)→平場A-2(標高70m前後)→(緩斜面1)→平場A-3(標高80m前後)→(緩斜面2)→平場A-5(標高105m前後)の順に平場が配置される。また、平場A-5の南東部に延びる尾根上には平場A-4(標高95m前後)が配置される。平場A-6は調査範囲外に所在する鷲足館跡で標高の最も高い平場(第4図の平場1)の西側に所在し、遺跡西側の末端部に位置する。以下、各平場の性格、平場へ至る経路等について若干の検討を行うこととする。

(1) 各平場の性格について

今回の調査で確認した各平場内で検出できた各種遺構の概要は第15表のとおりで、掘立柱建物が配置されている平場は平場A-1・4・5・6の4ヶ所(第129図)で、平場A-2・3については柱穴列のみが配置されている状況であった。建物が配置された平場と配置されない平場とでは、その用途が異なっていた可能性がある。ここでは、各平場で確認された遺構の種別を整理し、それぞれの性格について検討してみたい。

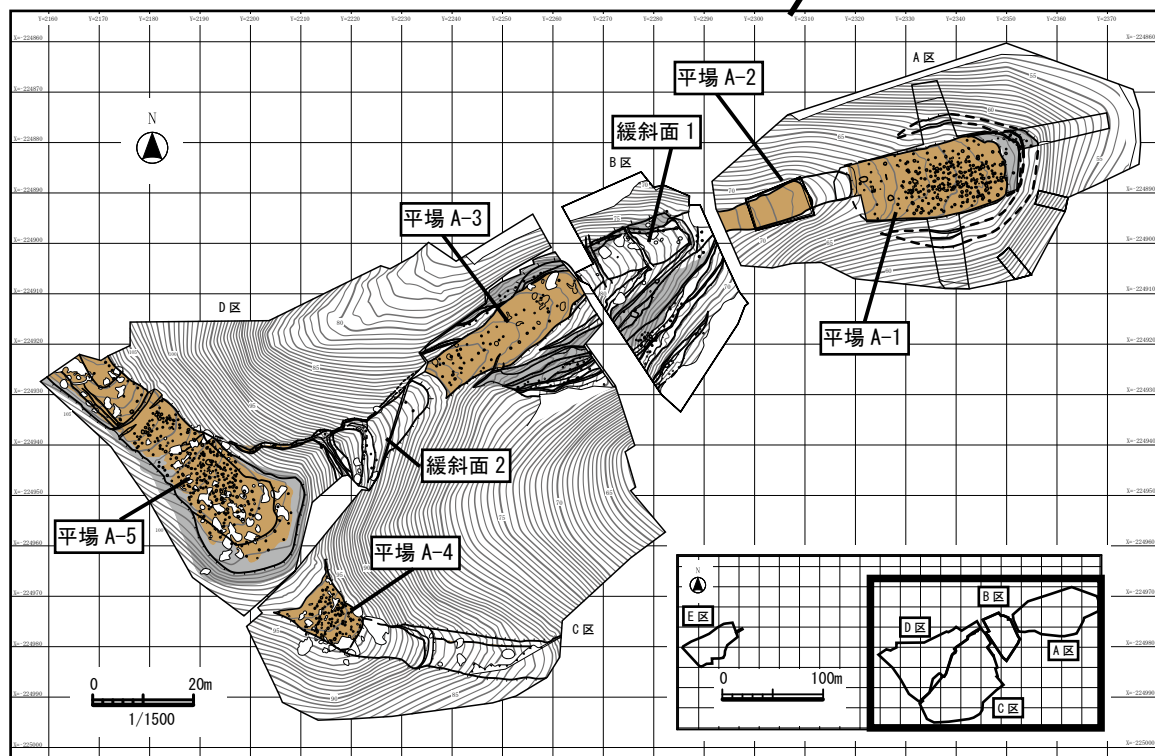
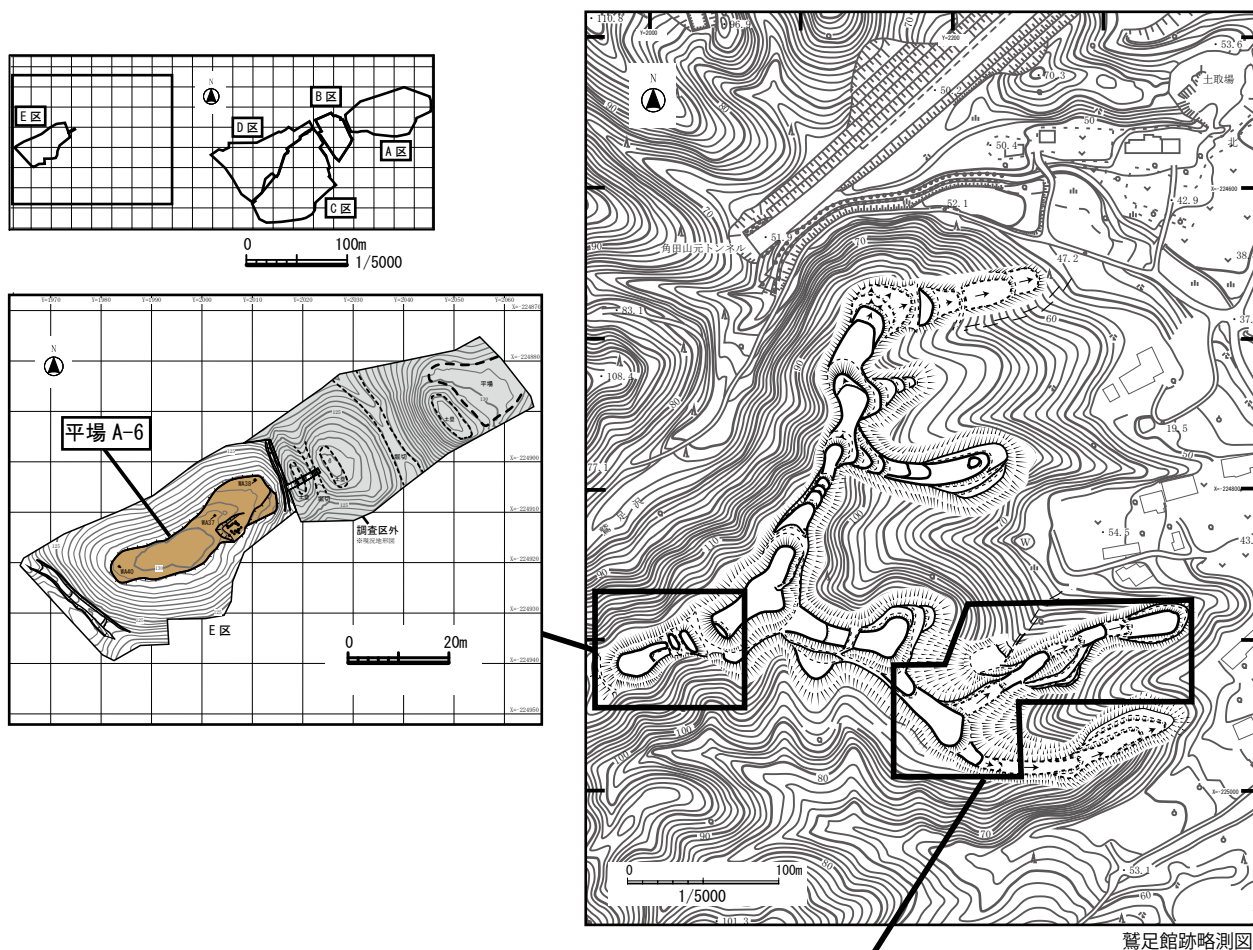
第15表 各平場の標高・面積と配置された遺構種別一覧

平場名	標高	面積	配置遺構		
			平坦部	斜面部	その他
平場A-1(1期)	64.0~67.5m	390 m ²	掘立柱建物、柱穴列	平場(1段)+柱穴列?	
平場A-1(2期)		440 m ²	掘立柱建物、柱穴列	-	整地層(平場拡張)
平場A-2	70.3~73.5m	130 m ²	柱穴列	-	-
平場A-3(1期)	81.8~85.1m	305 m ²	柱穴列	南斜面に平場(3段)+柱穴列 北斜面:通路	
平場A-3(2期)		325 m ²	柱穴列	平場(3段)+柱穴列 北斜面:通路	整地層(平場拡張)
平場A-4	95.3~97.0m	120 m ²	掘立柱建物、柱穴列	平場(1段)	
平場A-5	101.9~108.5m	760 m ² 以上	掘立柱建物、柱穴列 門・堀切・通路	東斜面:通路	整地層(平場拡張)
平場A-6	127.5~130.4m	270 m ²	掘立柱建物	西斜面:堀切	東側に土塁・堀切(2重)

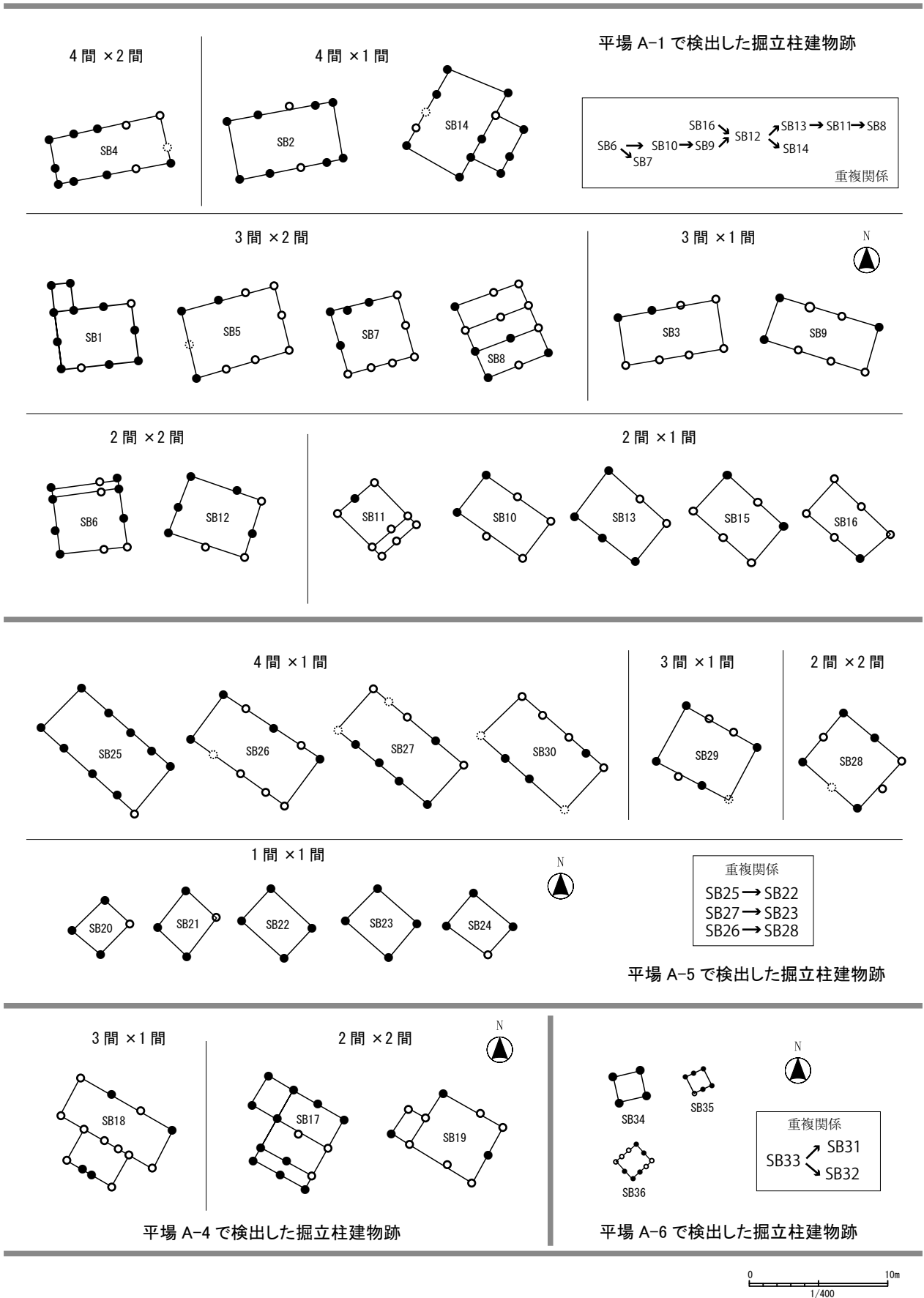
①平場A-1

平場A-1の平場には、面積20~30m²前後の建物(4間×2間~2間×1間)が配置される。その周囲の平場周縁部には平場の遮蔽または斜面からの侵入防止のための柱穴列がある。北・東・南側の斜面には第1期の段階で細長い平場(腰曲輪)がつくられる。その平場上には柱穴跡が確認されており、柱穴列が存在していた可能性がある。平場A-1を囲む斜面は、切岸として造成された斜面か否かは判断がつかないが、急傾斜な斜面である。斜面上では平場に至る通路等の痕跡は確認されていない。

平場A-1は館の東側末端部に位置することから、配置された建物は櫓などの施設が置かれた平場であったと推定されるが、張出しや庇の付く建物も確認されており、それ以外の用途の建物も存在したと考えられる。平場A-1の第1期には外敵の侵入を防ぐための腰曲輪や柵などが設置されていることから、一定の防御性を備えた平場であったといえる。その一方、第2期になると、斜面部の腰曲輪はなくなり、その防御性を失う代わりに、平場の拡張と建物の配置替え(南東方向に向けた建物を平場東端に配置)するようになる。平場A-1の第2期は14世紀末~15世紀前半以降とみられるが、この時期に建物の配置や平場A-1の構造を大幅に変える何らかの必要性が生じたものと推察される。



第128図 鷲足館跡1～5次調査 各平場の位置関係



第 129 図 鷺足館跡(1～5次調査)掘立柱建物跡模式図

②平場 A-2・緩斜面 1・A-3・緩斜面 2

平場 A-1 と平場 A-5 の間に位置する。平場 A-2・3 では縁辺部に柱穴列が配置されるのみで建物は存在しない。緩斜面 1・2 の尾根上には柱穴列・堀切・腰曲輪が配置される。これらの尾根南北の斜面は、切岸として造成された斜面か否かは判断がつかないが、平場 A-3 の北側付近を除き、急傾斜な斜面となる。平場 A-2 西端・緩斜面 1・平場 A-3 の南斜面には、数段の細長い平場（腰曲輪）と柱穴列が配置される。一方で、平場 A-3 から緩斜面 2 の北斜面には、尾根北側の沢地から続く通路が配置される程度で、防御的な施設は配置されていない。

このように、平場 A-2 から緩斜面 2 に至る尾根上の平場は、建物が存在しない平場であり、位置的にみて平場 A-1 と平場 A-5 を行き来するための通路的な位置づけの平場であったと考えられる。ただし、その防御性をみると、平場 A-2～平場 A-3 の間の南斜面には外敵の侵入を防ぐための腰曲輪や柵などが設置され、尾根上にも尾根を分断するための施設（東から 平場 A-2：柱穴列 → 緩斜面 1：堀切 → 平場 A-3：柱穴列 → 緩斜面 2：腰曲輪・堀切・柱穴列）が所々に配置されている。このことから、平場 A-1 から平場 A-5 の間は、南側斜面の防御と外敵の平場侵入時の尾根上移動の両者を意識した構造となっており、一定の防御性を備えていた通路的な位置づけの平場であったと推定される。一方で、北斜面は防御性は低く、登城通路として利用されていたと考えられる。

③平場 A-5

平場 A-5 には、平場南半に面積 10 m²ほどの 1 間×1 間の建物と面積 30 m²前後の建物（4 間×1 間）の 2 種の建物、平場北半に門と考えられる遺構や通路・堀切が配置される。その周囲の平場周縁部には平場の遮蔽または斜面からの侵入防止のための柱穴列がある。斜面部は切岸として造成された斜面か否かは判断がつかないが、急傾斜な斜面となる。平場 A-5 は今回確認した平場の中でも占有面積が最も広い平場であり、比較的標高の高い地点に位置する。この平場では、他では確認されなかった門などの出入口に関わる施設が配置されており、館の中で重要な役割を担った平場であったと推定される。配置された建物は倉庫や番所・詰所的な建物であった可能性がある。なお、平場 A-5 は、平場周囲を柱穴列で囲む程度であることから、先に述べた平場 A-1 や平場 A-2・3、緩斜面 1・2 と比較すると、その防御性は低かったと考えられる。

④平場 A-4

平場 A-5 の南東部に隣接する平場 A-4 は、占有面積 120 m²程度の狭い平場である。斜面部は切岸として造成された斜面か否かは判断がつかないが、急傾斜な斜面となる。平場内に掘立柱建物跡、その周囲に柱穴列が配置される。配置された建物の面積は 20 m²ほどで、張出や庇のつく建物である。平場 A-4 は平場 A-5 の南東隅に隣接する小規模の曲輪であり、平場南東部を見渡せる位置にある。このことから平場 A-4 は、平場 A-1 と同様、櫓等の建物が配置された平場であった可能性が想定される。なお、平場 A-4 の周辺では通路等の遺構が確認されないことから、平場 A-4 と平場 A-5 との行き来については、平場 A-5 の南東部隅から平場 A-4 へ梯子などを渡し移動していたと推定される。

⑤平場 A-6

平場 A-6 は、鷲足館跡の西部末端に位置する。そのさらに西側には現況で険しい山林・山地が広がり、館に関連する平場のような地形は確認されない（第 128 図）。平場 A-6 には周囲を囲む柱穴列はなく、面積 4 m²以下の建物が一定範囲に配置されるのみで、その他は遺構のない空白地帯となる。配置された建物は非常に小型で、倉庫等の用途が想定される。斜面部は切岸として造成された斜面か否かは判断がつかないが、急傾斜な斜面となる。

西側の斜面下には西から平場への侵入を防ぐ堀切がつくられ、平場の東側には2重の堀切と土塁があり、平場A-6と東側の平場との移動が遮断されている。

このように、平場A-6は、倉庫的な建物と広場的な空間を備えた平場であったとみられ、斜面からの侵入や平場間の移動に関しては一定の防御性は備えているが、平場自体の防御性は低かったと考えられる。その性格については、推測の域ではあるが、平場A-6は鷺足館西末端部の平場に位置することから、西からの敵の侵入に備えるとともに、有事の際の避難場所のような役割をもった平場であった可能性が考えられる。

⑥小結

以上の検討から、平場のうち建物が配置された平場には、それぞれの位置によって役割が異なっていたことが想定された。また、平場A-1から平場A-5へ至る尾根上に位置する平場においては、各種遺構の配置から、標高の低い地点の方の防御性が高く、かつ尾根の南側に防御的な施設が多く配置している状況も確認することができた。このことから、鷺足館跡は、遺跡南部からの外敵侵入に備えた山城であったと想定することができる。平場A-1で確認された14世紀末～15世紀前半頃の平場の改修では、館跡の末端部にも関わらず、その防御の要ともいえる腰郭を廃し、建物の方向を南東向きに変更している。この平場A-1の改修の背景には、当時の社会情勢が深く関わっていたと考えられ、亶理郡の中世の動向を探る上で、非常に興味深い事例といえるだろう。

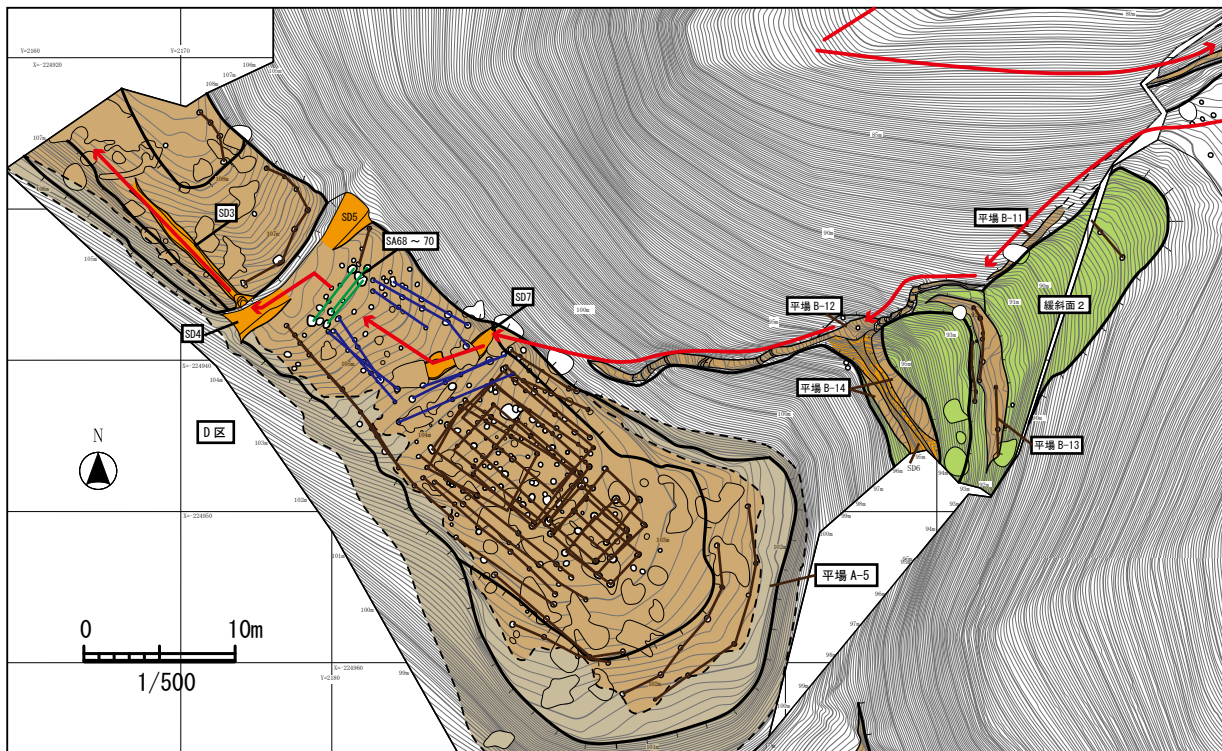
(2) 登城経路について

今回の調査範囲では、平場A-3・緩斜面2・平場A-5において通路と想定される遺構が確認された。ここでは、その状況を把握することができた平場A-5の東に位置する尾根の登城経路(平場A-1～平場A-5)をまとめる。

平場A-1から平場A-5で確認された通路跡等の位置関係から想定される登城経路を第130図に示した。まず、館跡東側の丘陵裾部から平場へ登る経路としては、平場A-3北側の斜面が想定される。平場A-3の東側に位置する平場A-1・A-2のほうが標高的には低い地点にはなるが、その斜面に通路と考えられる遺構は確認されておらず、また平場の南北にある斜面も急傾斜であることから、平場A-1・A-2の斜面には通路は存在しなかったと考えられる。平場A-3の北側には比較的傾斜の緩やかな沢地形が延びており、その沢地から平場への斜面の傾斜は他と比べると緩やかな地形となっている。平場A-3の北斜面で確認された通路跡(平場B-5・9)はその付近に位置している。したがって、鷺足館東端付近からの平場への登城経路については、平場A-1～3北側の沢→平場A-3北側の沢地→平場A-3といったルートが想定される。その後の平場間の移動については、平場A-3を起点とし、東側は尾根伝いで平場A-3→平場A-2→平場A-1といった経路、西側は尾根北端で確認された通路を利用し平場A-3→緩斜面2北端の通路(平場B-10・11)→平場A-5のSD7付近といった経路が想定される。平場A-5では、SD7付近→柱穴列(SA55～57・59～65)に挟まれた空間→SA68～70(門跡)→SD4・5堀切→SD3の順で移動し、平場A-5の北西に位置する平場へ移動したと考えられる。

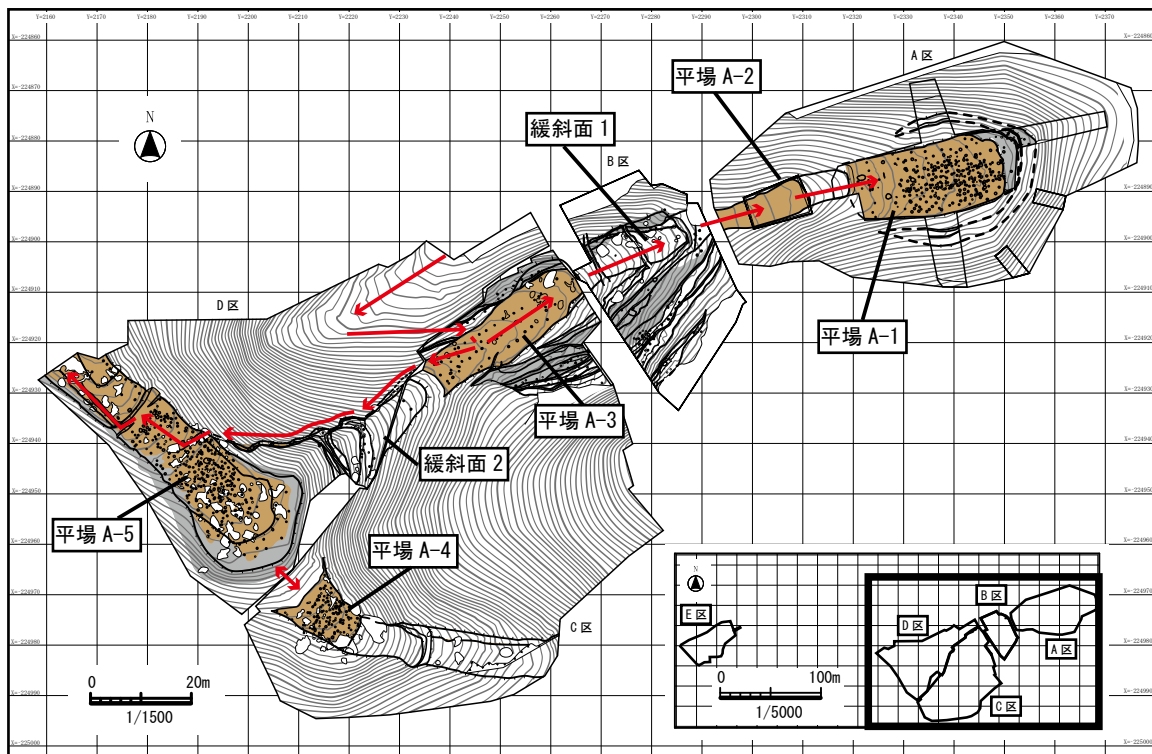
3 鷺足館跡の位置づけ

鷺足館跡が位置する山元町北西部の地形は、阿武隈山地から派生した西から東に向かって楕状に延びる丘陵とその前後に広がる谷中平野により構成される。鷺足館跡が立地する丘陵はその一つにあたり、この丘陵の南東部には緩やかな平坦地が広がる。現在のところ、町北西部では、こうした丘陵上やその周辺の平坦地に多くの遺跡が分布している。鷺足館跡の周辺には、小平館跡、山寺館跡といった中世城館が所在し、また、近年の調査により、北経塚遺跡、日向遺跡、谷原遺跡で中世集落の存在が明らかとなっている(第131図)。以下、鷺足館跡周辺の中世遺跡の概要に触れ、亶理郡の中世における鷺足館跡の位置づけを考えてみたい。



平場 A-5 付近拡大図

想定される登城経路 →



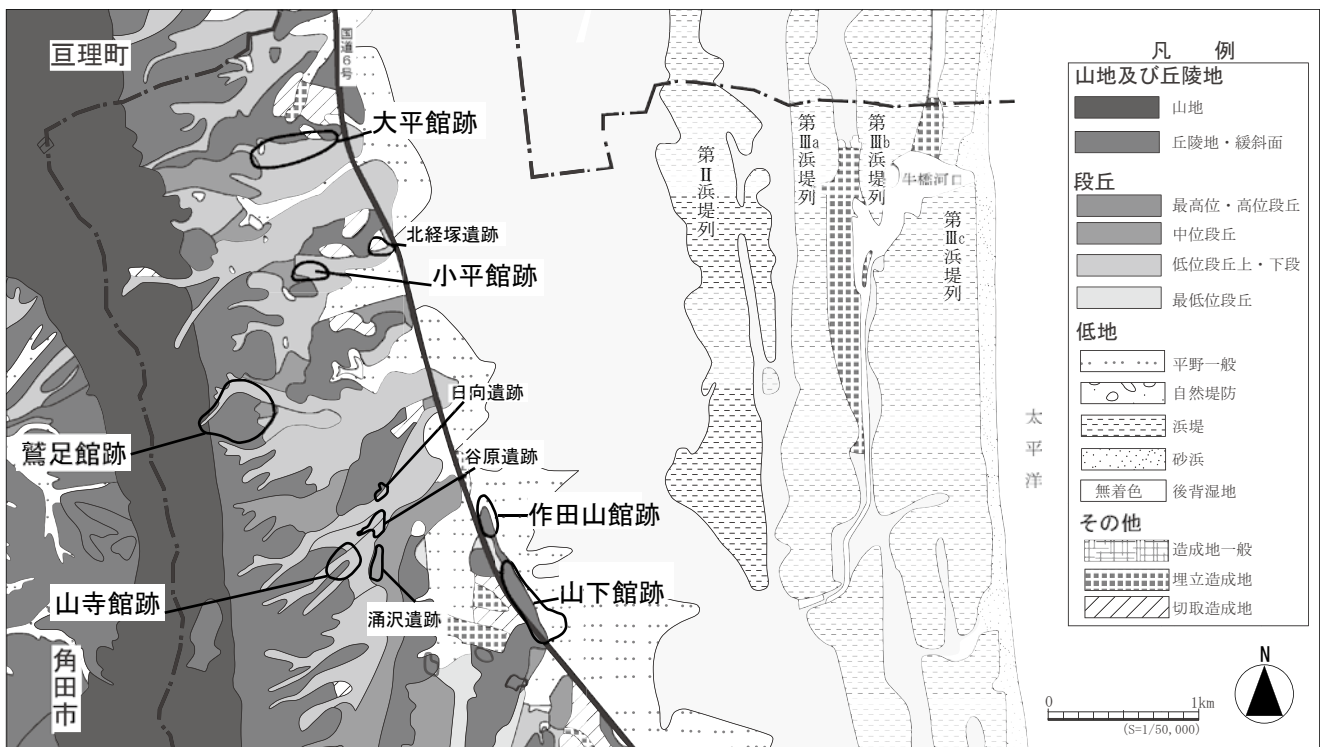
第130図 平場A-1～平場A-5の登城経路

(1) 鷲足館跡周辺の中世城館・集落について

鷲足館跡の北東約1kmの地点にある丘陵上には小平館跡、その南東付近の隣接地に北経塚遺跡が位置する。小平館跡は互理要害14世互理宗隆が隠居したと伝えられている館跡(紫桃1974)で、標高40mほどの丘陵頂部に立地する。本格的な調査が実施されていないため、その詳細は不明である。北経塚遺跡では、12世紀代～17世紀頃まで存続したと考えられる集落が確認されており、位置的にみて、小平館跡の運営主体となった集落であったと推定されている(町教委2017a)。

鷲足館跡の南東約1kmの地点に位置する丘陵南側には、丘陵南斜面に日向遺跡、そのさらに南に広がる平坦地に谷原遺跡があり、谷原遺跡のすぐ南西に位置する丘陵裾部に山寺館跡が所在する。日向遺跡では13世紀後半から16世紀頃まで存続していた可能性のある集落が確認された(町教委2015a)。また、谷原遺跡では13世紀後半～中世末期まで存続した集落が確認され、建物面積が100㎡を超える大型の建物の存在や集落の継続性から、この地の拠点集落に位置付けられている(町教委2016b)。山寺館跡は、菱沼内膳の居館や天正年間の山寺盛純の館跡などと伝えられている館跡(紫桃1974)で、本格的な調査が実施されていないため、その詳細は不明であるが、位置的にみれば、この山寺館跡の運営主体の集落は谷原遺跡周辺にあった可能性が高い。

鷲足館跡周辺にある丘陵部には、この他にも、大平館跡や山下館跡といった中世の館跡が所在する。遺跡の分布状況から、鷲足館跡周辺の中世城館跡は、町北西部の西から東に向かって楕円状に延びる丘陵ごとに設置されていたと考えられ、その付近に広がる平坦地に運営主体となる集落が展開していたと推定される。こうした状況を踏まえれば、鷲足館跡の運営主体の集落は、遺跡の立地する丘陵南東部に広がる平坦地にあった可能性が高い。現状では、鷲足館跡南東部の平坦地で中世の集落は確認されていないが、今後、こうした中世集落が発見される可能性が高い。



第131図 鷲足館跡周辺の中世遺跡

(2) 鷲足館跡の運営主体について

鷲足館跡の館主については、第1章第3節で触れたとおり、様々な口伝はあるものの、中世まで遡る文献史料が確認されていないため、現状では不明といわざるを得ない。そこで、周辺の中世遺跡の調査事例を踏まえ、鷲足館跡の運営主体について考えてみたい。

鷲足館跡が位置する亶理郡内において、本格的な発掘調査が実施された中世城館跡は、亶理町に所在する小堤城跡と山元町に所在する山下館跡の2例のみである。小堤城跡は、中世において亶理地域を領有した武石(亶理)氏の居城跡と推定されている館跡で、その調査では13世紀～14世紀と考えられる在地産・渥美産・常滑産の中世陶器や古瀬戸の灰釉陶器、青磁、かわらけなどの遺物が出土した。しかし、調査範囲が狭かったこともあり、検出された遺構は掘立柱建物跡や竪穴遺構など一部にとどまり、館の詳細を把握するまでには至っていない(県教委1991)。山下館跡の調査では、館跡を構成する平場・堀切・土塁・通路跡などが良好な状態で確認された(宮城県考古学会2014)。その詳細については報告書の刊行を待つ必要があるが、出土遺物はきわめて少なく、現状で搬入品と考えられる遺物は確認されていない。次に中世集落の調査事例をみてみると、亶理郡内では亶理町館南囲遺跡(県教委1991)、山元町北経塚遺跡(町教委2010・2013・2017a)・日向遺跡(町教委2015a)・谷原遺跡(町教委2016b)などが挙げられる。館南囲遺跡は、先にも述べた小堤城跡に隣接する中世集落で、その調査成果から小堤城跡に関連する屋敷地と推定されている。館南囲遺跡の調査では、溝により区画された13世紀後半から14世紀前半を主体とする屋敷地が検出され、中国産の青磁・白磁、古瀬戸の灰釉陶器、在地・渥美・常滑産中世陶器、かわらけなどが出土した。一方、山元町域では、先にも概要を述べたとおり、地域の拠点的な集落(谷原遺跡)や隣接する館跡に関連する屋敷地(北経塚遺跡)などが発見されているが、これらの遺跡から出土した遺物は、在地産の中世陶器が大半を占め、搬入品が極めて少ない(町教委2017a)。

以上、亶理郡内における中世遺跡の調査事例を概観したが、亶理郡内での中世城館跡の調査は極めて少ないため、遺構の構造等の面では、鷲足館跡の位置づけを検討することは難しい。そこで、出土遺物の面から比較検討を行ってみたい。亶理領主が居城したとされる小堤城跡及びそれに付属する館南囲遺跡の屋敷地では、渥美・常滑・古瀬戸の陶器や、中国産の陶磁器類など搬入品が多く出土している。これに対し、山元町域の中世集落では、地域の拠点集落と考えられる谷原遺跡であっても、出土陶器類に搬入品が含まれる割合が極めて低い傾向にあり、領主クラスの集落と想定される館南囲遺跡との差は出土遺物の面で明らかである。こうした傾向を踏まえ、今回の調査で出土した陶器類についてみてみると、鷲足館跡では、遺物自体の出土数は少ないものの、出土陶器は搬入品(常滑・古瀬戸)が多く、在地産の中世陶器はわずかという内容であった。このことから、鷲足館跡は、山元町域の中世遺跡の中でも、出土遺物の面で明らかに優位な位置にあったといえる。鷲足館跡の運営は、こうした搬入品を保持できた階層で、山元町域でも上位に位置する有力層が主体となった可能性が考えられる。

(3) まとめ

中世における亶理郡は、武石氏(後に亶理氏と改称)により領有された地域にあたる(宮城県史編纂委員会1957・亶理町史編纂委員会1975)。鷲足館跡が位置する山元町域もその範囲内に含まれ、鷲足館跡を含めた周辺の城館の築城には武石氏が関わっていたと考えられる。山元町北半地域には北から大平館跡、小平館跡、鷲足館跡、山寺館跡、浅生原館跡・山下館跡が所在する。この中で、鷲足館跡は最も標高の高い地点に立地し、そこからの眺望は町内全域を見渡すことができる地理的環境にある。周辺の館跡の本格的な発掘調査が実施されていない中、鷲足館跡の位置づけを行うことは難しいが、その立地からみて、鷲足館跡は周辺の交通や監視を行う重要な役割を担った館跡に位置づけられていた可能性が高い。その運営主体は、出土遺物の面から、山元町域の中世遺跡の中でも上位の階層であった集団であったとみられる。今回の調査範囲では、館跡の東端に位置する平場は、斜面に設けら

れた腰曲輪の位置などから、南側の防御性が高めた構造であることが確認された。このことから、鷲足館跡は町域南部の監視に重きを置いた館跡であったと推定される。

今回の調査では、鷲足館跡の一部の調査を行ったにすぎない。調査範囲外には、主郭や副郭とみられる平場の他、多くの遺構が残されている。鷲足館跡の具体的な位置づけについては、今後の調査や周辺の中世遺跡の調査成果を待って再度行う必要がある。

(註)

- 1) 中世の陶器の産地・年代、かわらけの年代については、佐藤洋氏（仙台市教育委員会）にご教示いただいた。
- 2) 和鏡の特徴や年代については、久保智康氏にご教示いただいた。
- 3) 「曲輪」や「腰曲輪」などの中世山城の遺構に関する用語については、『城館調査の手引き』（中井 2016）を参考にした。
なお、今回の調査範囲では急斜面が多く確認され、これらの中には、山を切ってつくられた防御施設である「切岸」が含まれている可能性がある。しかし、現地での土層観察等で確実に切岸として認定できる根拠が少なかったため、本報告では、「切岸」の用語の使用は避け、急斜面または斜面として報告することとした。
- 4) 近年発掘調査が実施された南三陸町の新井田館跡では、掘立柱建物内部で土坑状に掘られた底面に焼け面が伴う焼成遺構が確認されており、その性格について囲炉裏が想定されている（南三陸町教委 2016）。今回の鷲足館跡の調査で発見された焼け面を伴う土坑は、掘立柱建物跡の範囲外で確認されており、これらとは別の用途が想定される。

引用・参考文献

- 青山博樹ほか 2000 「宮城県山元町合戦原古墳群の測量調査」『宮城考古学』第2号
- 伊藤晶文 2006 「仙台平野における歴史時代の海岸線変化」『鹿児島大学教育学部紀要自然科学編』57
- 飯村均 2009 『中世奥羽のムラとマチ 考古学が描く列島史』東京椿学出版会
- 飯村均 2015 『東北中世叢書8 中世奥羽の考古学』高志書院
- 小野正敏編 2001 『図解・日本の中世遺跡』東京大学出版会
- 小山正忠・竹原秀雄編 1967 『新版標準土色帖』2010年版
- 菊地逸夫 2003 「一本杉窯跡」『中世奥羽の土器・陶磁器』高志書院
- 桑原滋郎 1976 「須恵系土器について」『東北考古学の諸問題』東北考古学会
- 久保智康 1999 『中世・近世の鏡 日本の美術3 No. 394』至文堂
- 栗原市教育委員会 2008 『三玉城跡』栗原市文化財調査報告書第8集
- 小井川和夫 1984 「いわゆる赤焼土器について」『東北歴史資料館研究紀要』第10巻
- 佐藤洋 2003 「陸奥のかわらけ(2) 陸奥南部2-宮城県-」『中世奥羽の土器・陶磁器』高志書院
- 紫桃正隆 1974 『史料 仙台領内古城・館』第四巻
- 仙臺叢書出版協会 1893 『仙臺叢書 封内風土記 卷ノ九』
- 仙臺叢書刊行会 1923 『仙臺古城記』『仙臺叢書』第4巻
- 多賀城市教育委員会 1990 『新田遺跡 第4・11次調査報告』多賀城市文化財調査報告書第23集
- 多賀城市教育委員会 2014 『桜井館跡ほか』多賀城市文化財調査報告書第115集
- 東北中世考古学会編 2001 『掘立と堅穴』高志書院
- 富谷町教育委員会 2001 『熊谷館跡他発掘調査報告書』富谷町文化財調査報告書第3集
- 中井均 2016 『城館調査の手引き』山川出版社
- 中野政樹 1969 『和鏡 日本の美術10・11 No. 42』至文堂
- 萩原三雄・中井均編 2014 『中世城館の考古学』高志書院
- 初鹿野博之 2013 「宮城県山元町内手遺跡・上宮前北遺跡」『第39回古代城柵官衙遺跡検討会資料集』
- 初鹿野博之 2015a 「熊の作遺跡と互理郡南部の遺跡群」『第41回古代城柵官衙遺跡検討会資料集』
- 初鹿野博之 2015b 「熊の作遺跡と互理郡南部の遺跡群」『古代国家形成期の地域社会—山元町の調査から—』
平成27年度宮城県考古学会総会・研究発表会資料
- 平田禎分 2003 「陸奥のかわらけ(1) 陸奥南部1-福島県-」『中世奥羽の土器・陶磁器』高志書院
- 福島県考古学会中近世部会編 2000 『東北地方南部における中近世集落の諸問題』
- 藤沢良祐 1995 『瀬戸』『古瀬戸をめぐる中世陶器の世界』資料集 瀬戸市埋蔵文化財センター
- 藤本展子・松本秀明 2012 「阿武隈川付近における浜堤列の分類とその形成時期に関する再検討」『人間情報学研究』第17巻
- 藤沼邦彦ほか 1981 『日本城郭体系 第3巻 山形・宮城・福島』新人物往來社
- 文化庁文化財部記念物課 2010a 『発掘調査のてびき—集落遺跡発掘編—』
- 文化庁文化財部記念物課 2010b 『発掘調査のてびき—整理・報告書編—』
- 文化庁文化財部記念物課 2013 『発掘調査のてびき—各種遺構調査編—』
- 宮城県企画部土地対策課編 1988 『土地分類基本調査 角田』
- 宮城県教育委員会 1991 「合戦原遺跡」『合戦原遺跡ほか』宮城県文化財調査報告書第140集
- 宮城県教育委員会 1991 「館南田遺跡」「小堤城跡」『館南田遺跡ほか』宮城県文化財調査報告書第144集
- 宮城県教育委員会 1993 「狐塚遺跡」『狐塚遺跡ほか』宮城県文化財調査報告書第157集
- 宮城県教育委員会 1996 「一本杉窯跡群」宮城県文化財調査報告書第172集
- 宮城県教育委員会 1999 「海蔵庵板碑群」宮城県文化財調査報告書第188集
- 宮城県教育委員会 2002 「館の内遺跡」『名生館遺跡ほか』宮城県文化財調査報告書第188集
- 宮城県教育委員会 2012 「西石山原遺跡ほか—常磐自動車道建設関連遺跡調査報告書I—」宮城県文化財調査報告書第230集
- 宮城県教育委員会 2015 「涌沢遺跡ほか—常磐自動車道建設関連遺跡調査報告書II—」宮城県文化財調査報告書第239集
- 宮城県教育委員会 2016 「熊の作遺跡ほか—常磐線復旧関連遺跡調査報告書—」宮城県文化財調査報告書第243集
- 宮城県考古学会編 2011 『平成23年度宮城県遺跡調査成果発表会発表要旨』
- 宮城県考古学会編 2012 『平成24年度宮城県遺跡調査成果発表会発表要旨』
- 宮城県考古学会編 2013 『平成25年度宮城県遺跡調査成果発表会発表要旨』
- 宮城県考古学会編 2014 『平成26年度宮城県遺跡調査成果発表会発表要旨』
- 宮城県考古学会編 2015 『平成27年度宮城県遺跡調査成果発表会発表要旨』
- 宮城県考古学会編 2016 『平成28年度宮城県遺跡調査成果発表会発表要旨』
- 宮城県史編纂委員会 1957 『宮城県史1(古代・中世史)』
- 宮城県史編纂委員会 1970 「仙臺領古城書立之覺」『宮城県史32(資料編9)』
- 南三陸町教育委員会 2016 『新井田館跡』南三陸町文化財調査報告書第1集
- 山田隆博 2015a 「山元町中筋遺跡の津波痕跡」『宮城考古学』第17号
- 山田隆博 2015b 「山元町の復興調査と合戦原遺跡の横穴墓群」『古代国家形成期の地域社会—山元町の調査から—』
平成27年度宮城県考古学会総会・研究発表会資料
- 山田隆博 2017 「宮城県山元町 合戦原遺跡の調査—横穴墓群の調査を中心に—」『一般社団法人日本考古学協会 2017年度宮崎大会資料集』
- 山元町教育委員会 1995 『狐塚遺跡』山元町文化財調査報告書
- 山元町教育委員会 2004 『北経塚遺跡』山元町文化財調査報告書第3集
- 山元町教育委員会 2010 『北経塚遺跡』山元町文化財調査報告書第4集
- 山元町教育委員会 2013 『北経塚遺跡』山元町文化財調査報告書第5集
- 山元町教育委員会 2014a 『的場遺跡』山元町文化財調査報告書第6集
- 山元町教育委員会 2014b 『石垣遺跡』山元町文化財調査報告書第7集
- 山元町教育委員会 2014c 『日向北遺跡』山元町文化財調査報告書第8集
- 山元町教育委員会 2015a 『日向遺跡』山元町文化財調査報告書第9集
- 山元町教育委員会 2015b 『中筋遺跡』山元町文化財調査報告書第10集
- 山元町教育委員会 2015c 『小平館跡I』山元町文化財調査報告書第11集
- 山元町教育委員会 2016a 『谷原遺跡I』山元町文化財調査報告書第12集
- 山元町教育委員会 2016b 『谷原遺跡II』山元町文化財調査報告書第13集
- 山元町教育委員会 2017a 『北経塚遺跡』山元町文化財調査報告書第14集
- 山元町教育委員会 2017b 『日向遺跡 第2次発掘調査』山元町文化財調査報告書第15集
- 山元町教育委員会 2018 『川内遺跡』山元町文化財調査報告書第16集
- 山元町誌編纂委員会 1971 『山元町誌』
- 山元町誌編纂委員会 1986 『山元町誌 二巻』
- 互理町史編纂委員会 1975 『互理町史 上巻』

報告書抄録

ふりがな	わしあしたてあと							
書名	鷲足館跡 第1～5次発掘調査							
副書名	土砂採取事業に係る発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名	山元町文化財調査報告書							
シリーズ番号	第17集							
編著者名	山田隆博							
編集機関	山元町教育委員会							
所在地	〒989-2203 宮城県亶理郡山元町浅生原字日向12-1 電話 0223-37-5116							
発行年月日	平成30(2018)年3月31日							
所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		位置		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
わしあしたてあと 鷲足館跡	みやぎけん 宮城県 むたりのり 亶理郡 やまもとちょう 山元町 わしあしたて 鷲足字 おおだて 大館	043621	14043	37度 58分 23秒	140度 51分 31秒	2013.02.22～03.08 2013.05.22～06.10 2014.01.06～03.12 2014.09.08～10.16 2015.01.13～01.16 2017.02.13～03.10	10,320 m ²	鷲足地区土砂採取工事
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項		
鷲足館跡	散布地	縄文	-		縄文土器	-		
	散布地	古代	-		土師器、須恵器	-		
	城館	中世	平場、堀切、土塁、掘立柱建物跡、柱穴列跡、土坑、通路跡、門跡		中世陶器・施釉陶器・かわらけ・和鏡・砥石	-		
要約	<p>鷲足館跡は、宮城県亶理郡山元町鷲足字大館に所在する中世の山城である。遺跡は町域の北西部に位置し、海岸線からは5km余り西方にある標高50～130mの丘陵地に立地する。</p> <p>今回の調査(A～E区)では、中世山城の南東部分の一部の平場の調査を実施した。検出した遺構は、平場20ヶ所、整地層、土塁跡1条、溝跡10条、掘立柱建物跡33棟、柱穴列跡70条、土坑7基、柱穴・小穴多数である。遺物は、縄文土器、土師器、須恵器、中世陶器(在地、常滑)、施釉陶器(古瀬戸)、かわらけ、和鏡(州浜菊花双鳥鏡)、砥石などが出土した。検出した遺構の年代は、出土遺物等の特徴から、13世紀後半頃から16世紀代頃のものと考えられる。鷲足館跡が所在する亶理郡では、中世城館の調査事例が少なく、亶理郡の中世史を考える上で貴重な成果を得ることができた。</p>							

山元町文化財調査報告書第17集

鷲足館跡

第1～5次発掘調査

—土砂採取事業に係る発掘調査報告書—

平成30年3月31日 発行

発行 山元町教育委員会

宮城県亘理郡山元町浅生原字日向12-1

TEL0223-37-5116/FAX0223-37-0119

印刷 株式会社 東北プリント

宮城県仙台市青葉区立町24-24
